

2020年度

授業大要（シラバス）

SYLLABUS for STUDENTS

MATSUMOTO DENTAL UNIVERSITY

（第 4 ・ 5 ・ 6 学年）

松本歯科大学

2020 年度

授業大要（シラバス）

（第 4・5・6 学年）

松本歯科大学

建学の理念

佐久間象山 福沢諭吉両先生の学訓に従い

国手的精神に立脚し

教育と研究の有機的結合を強固にして大学の本質を常に究め

近代民主主義の本源的価値観と世界観を確立し

人間の尊厳を認識せしめつつ民主主義的人格を陶冶し

深遠な真理を追求しつつ科学思想昂揚の完璧を期するにある

過去より未来を通じての現代の世界史的位置を認識せしめ

偉大な人類の業績を讃えると共に

未来への方法と科学的展望を確立せしめる

教学一致の不断の研鑽と遠大な理想に基づき

輝ける高雅な環境の醸成につとめ

自治の尊厳を守り

芸術を尊び高度の情操を育成せしめる

創立者

矢崎 康

2020年度 授業科目履修基準表

学則 第8条 別表2

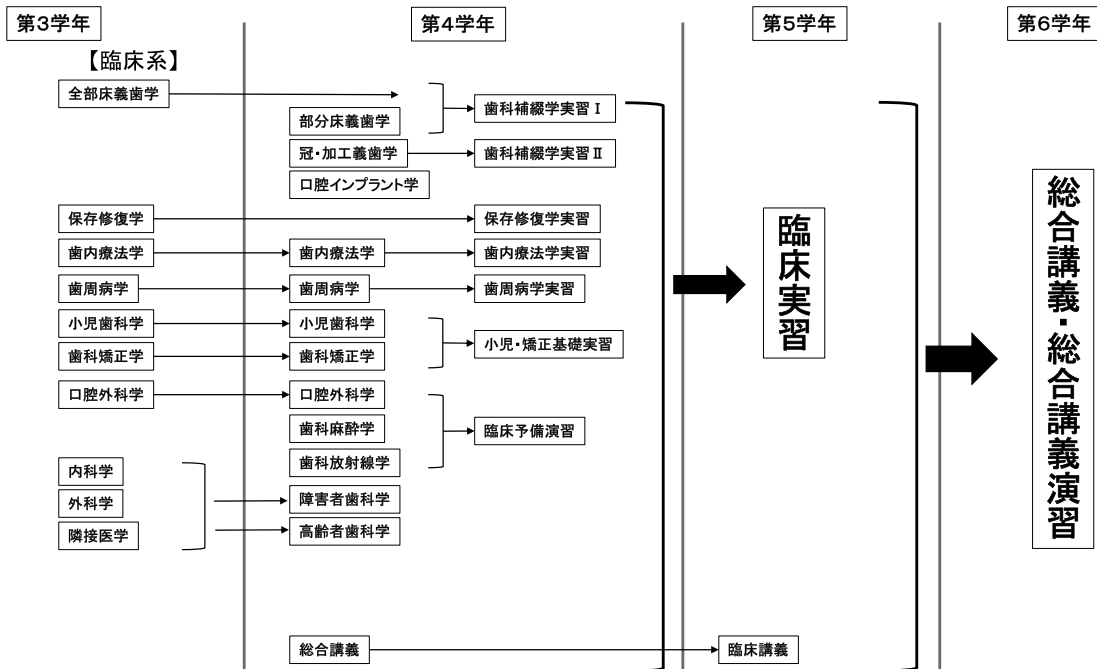
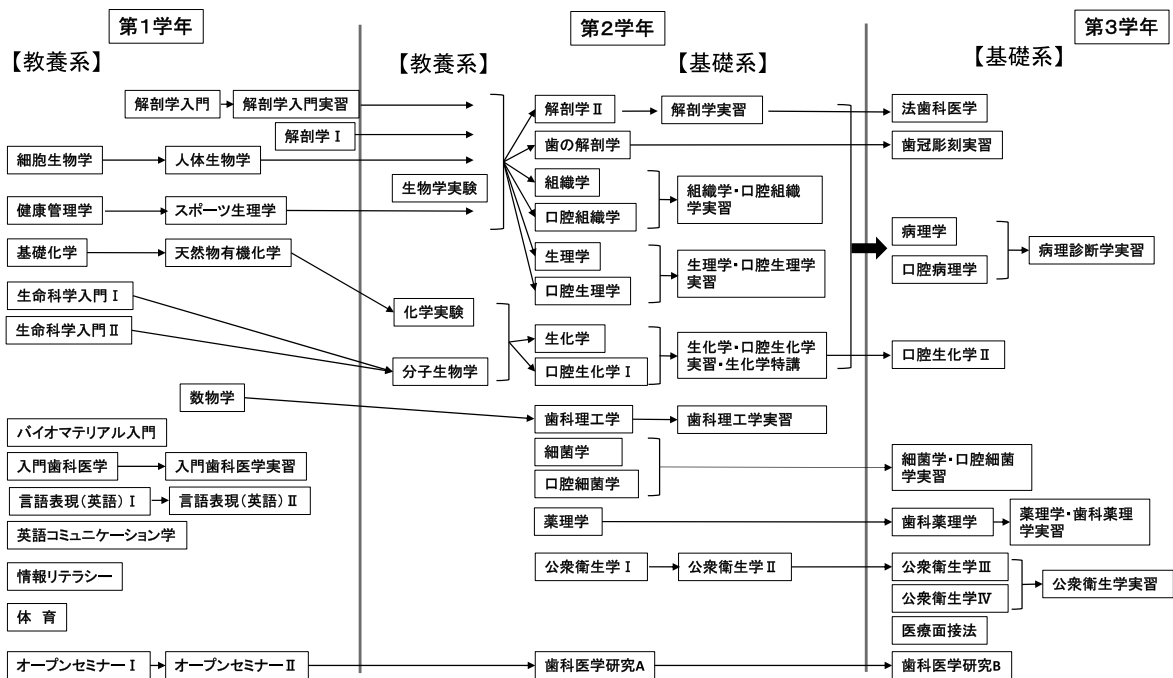
	科目 コード	学 科 目	授業形態	履修区分	履修数		履 修 学 年 及 び 履 修 期										備 考	
							第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年			第6学年
					時間	単位	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		前期
教 養 教 育 科 目	A1010	入 門 歯 科 医 学	講義	必修	30	1	1											
	A1020	生 命 科 学 入 門Ⅰ	講義	必修	30	1	1											
	A1025	生 命 科 学 入 門Ⅱ	講義	必修	30	1	1											
	A1030	入 門 歯 科 医 学 実 習	実習	必修	120	4	2	2										
	A1040	数 物 学	講義	必修	30	1	1											
	A1045	英語コミュニケーション学	講義	必修	30	1	1											
	A1050	体 育	実技	必修	60	2	1	1										
	A1060	情 報 リ テ ラ シ ー	講義	必修	30	1		1										
	A1070	口 腔 科 学 入 門	講義	必修	30	1		1										
	A1080	解 剖 学 入 門	講義	必修	30	1	1											
	A1100	言語表現(英語)Ⅰ	講義	必修	60	2	2											
	A1110	言語表現(英語)Ⅱ	講義	必修	60	2		2										
	A1160	基礎有機化学	講義	必修	60	2	2											
	A1170	天然物有機化学	講義	必修	30	1		1										
	A1175	バイオマテリアル入門	講義	必修	30	1		1										
	A1180	健康管理学	講義	必修	30	1	1											
	A1185	スポーツ生理学	講義	必修	30	1		1										
	A1190	細胞生物学	講義	必修	30	1	1											
	A1195	人体生物学	講義	必修	30	1		1										
	A1200	オープンセミナーⅠ	講義・演習	選択	30	1	(1)											() 選択必修科目
A1210	オープンセミナーⅡ	講義・演習	選択	30	1		(1)											
A2010	化学実験	実験	必修	30	1			1										
A2020	生物学実験	実験	必修	30	1			1										
A2030	分子生物学	講義	必修	30	1			1										
小 計					930	31	28	単位	3	単位	0	単位	0	単位	0	単位	0	単位
専 門 教 育 科 目	B1090	解剖学Ⅰ	講義	必修	30	1		1										
	B1120	解剖学入門実習	実習	必修	30	1		1										
	B2050	解剖学Ⅱ	講義	必修	30	1			1									
	B2060	歯の解剖学	講義	必修	30	1				1								
	B2070	解剖学実習	実習	必修	120	4			1	3								
	B2080	組織学	講義	必修	30	1			1									
	B2090	口腔組織学	講義	必修	30	1				1								
	B2095	組織学・口腔組織学実習	実習	必修	90	3				3								
	B2100	生理学	講義	必修	60	2			2									
	B2110	口腔生理学	講義	必修	30	1				1								
	B2120	生理学・口腔生理学実習	実習	必修	60	2				2								
	B2130	生化学	講義	必修	60	2			2									
	B2140	口腔生化学Ⅰ	講義	必修	30	1				1								
	B3030	口腔生化学Ⅱ	講義	必修	30	1					1							
	B2150	生化学・口腔生化学実習・生化学特講	実習	必修	60	2				2								
	B2160	細菌学	講義	必修	60	2			2									
	B2165	口腔細菌学	講義	必修	30	1				1								
	B3050	細菌学・口腔細菌学実習	実習	必修	60	2					2							
	B2170	薬理学	講義	必修	30	1				1								
	B3060	歯科薬理学	講義	必修	60	2					2							
	B3070	薬理学・歯科薬理学実習	実習	必修	60	2					2							
	B2175	公衆衛生学Ⅰ	講義	必修	30	1			1									
	B2176	公衆衛生学Ⅱ	講義	必修	30	1				1								
	B3090	公衆衛生学Ⅲ	講義	必修	30	1					1							
	B3095	公衆衛生学Ⅳ	講義	必修	30	1						1		★1				★カリキュラムの変更に伴い2020年度のみ開講する
	C4170	公衆衛生学実習	実習	必修	60	2						2						
	B3110	病理学	講義	必修	60	2					2							
	B3130	口腔病理学	講義	必修	60	2						2						
	B3120	病理診断学実習	実習	必修	90	3							3					
	B2180	歯科理工学	講義	必修	90	3			2	1								
	B2190	歯科理工学実習	実習	必修	60	2				2								
	C3150	全部床義歯学	講義	必修	60	2					1	1						
	C4010	歯科補綴学実習Ⅰ	実習	必修	90	3									3			
	C4020	部分床義歯学	講義	必修	60	2									2			
	C4030	歯科補綴学実習Ⅱ	実習	必修	90	3									3			
	C4040	冠・架工義歯学	講義	必修	60	2									2			
	C3160	歯冠彫刻実習	実習	必修	30	1					1							
	C3170	保存修復学	講義	必修	60	2					1	1						
	C4060	保存修復学実習	実習	必修	90	3									3			
	C3180	小児歯科学	講義	必修	30	1						1						
	C4065	小児歯科学	講義	必修	30	1									1			
	C3190	歯科矯正学	講義	必修	30	1						1						
	C4080	歯科矯正学	講義	必修	30	1										1		
	C4095	小児・矯正基礎実習	実習	必修	60	2									2			
	C3200	口腔外科学	講義	必修	30	1						1						
	C4100	口腔外科学	講義	必修	60	2									2			
	C4110	歯科麻酔学	講義	必修	60	2									2			
	C4120	歯科放射線学	講義	必修	60	2									2			
	C3205	歯内療法学	講義	必修	30	1						1						
	C4130	歯内療法学	講義	必修	30	1									1			
C4140	歯内療法学実習	実習	必修	60	2									2				
C3210	歯周病学	講義	必修	30	1						1							
C4150	歯周病学	講義	必修	30	1									1				
C4160	歯周病学実習	実習	必修	60	2									2				
C3220	内科学	講義	必修	60	2					1	1							
C4105	口腔インプラント学	講義	必修	30	1									1				
C3254	法医学歯科学	講義	必修	30	1					1								
C4180	障害者歯科学	講義	必修	30	1									1				
C4185	高齢者歯科学	講義	必修	30	1									1				
C4187	摂食嚥下療法学	講義	必修	30	1									1				
C3251	医療面接法	講義	必修	30	1						1							
C3015	隔接医学	講義	必修	30	1							1						
B2210	歯科医学研究A	演習	選択	30	(1)				(1)								() 自由選択科目	
B3260	歯科医学研究B	演習	選択	30	(1)						(1)							
C4192	臨床予備演習	演習	必修	60	2									2				
C4200	総合講義4年	講義	必修	120	4									4				
D5001	臨床講義	講義	必修	285	9										9			
E6010	総合講義6年	講義	必修	1110	37											37		
E6050	総合講義演習	演習	必修	270	6											6		
D5500	臨床実習	実習	必修	1440	32										32			
小 計					6345	190	2	単位	32 (33)	単位	33 (34)	単位	40	単位	41	単位		
合 計					7275	222 (224)	30	単位	35 (36)	単位	33 (34)	単位	40	単位	41	単位		

2020年度卒業認定・学位授与の当該授業科目一覧表

ディプロマ・ポリシー

DP1	1. 歯科医師としての倫理観を身につける。
DP2	2. 歯科医師として自己研鑽する態度を身につける。
DP3	3. 歯科医師として必要な基礎的知識を身につける。
DP4	4. 歯科医師として必要な基本的技能を身につける。
DP5	5. 歯科医学の問題を自然・社会・人文科学的方法を統合して解決する能力を身につける。
DP6	6. 歯科医師として国際的視野に基づいて社会貢献する態度を身につける。

	No	学 科 目	ディプロマ・ポリシー					
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
教 養 教 育 科 目	A1010	入門歯科医学	○	○	○			
	A1020	生命科学入門Ⅰ		○	○		○	
	A1025	生命科学入門Ⅱ		○	○		○	
	A1030	入門歯科医学実習		○	○	○		
	A1040	教物理学		○	○		○	
	A1045	英語コミュニケーション学		○	○			○
	A1050	体育		○	○			
	A1060	情報リテラシー			○	○	○	
	A1070	口腔科学入門		○	○		○	
	A1080	解剖学入門		○	○		○	
	A1100	言語表現（英語）Ⅰ		○	○			○
	A1110	言語表現（英語）Ⅱ		○	○			○
	A1160	基礎化学		○	○		○	
	A1170	天然物有機化学		○	○		○	
	A1175	バイオマテリアル入門		○	○		○	
	A1180	健康管理学		○	○		○	
	A1185	スポーツ生理学		○	○		○	
	A1190	細胞生物学		○	○		○	
	A1195	人体生物学		○	○		○	
	A1200	オープンセミナーⅠ		○	○		○	
	A1210	オープンセミナーⅡ		○	○		○	
	A2010	化学実験		○	○		○	
	A2020	生物学実験		○	○		○	
	A2030	分子生物学		○	○		○	
専 門 教 育 科 目	B1090	解剖学Ⅰ		○	○			
	B1120	解剖学入門実習		○	○			
	B2050	解剖学Ⅱ		○	○			
	B2060	歯の解剖学		○	○			
	B2070	解剖学実習	○	○	○			
	B2080	組織学		○	○			
	B2090	口腔組織学		○	○			
	B2095	組織学・口腔組織学実習		○	○			
	B2100	生理学		○	○			
	B2110	口腔生理学		○	○			
	B2120	生理学・口腔生理学実習		○	○			
	B2130	生化学		○	○			
	B2140	口腔生化学Ⅰ		○	○			
	B3030	口腔生化学Ⅱ		○	○			
	B2150	生化学・口腔生化学実習、生化学特講		○	○			
	B2160	細菌学		○	○			
	B2165	口腔細菌学		○	○			
	B3050	細菌学・口腔細菌学実習		○	○			
	B2170	薬理学		○	○			
	B3060	歯科薬理学		○	○			
	B3070	薬理学・歯科薬理学実習		○	○			
	B2175	公衆衛生学Ⅰ		○	○			
	B3090	公衆衛生学Ⅱ		○	○			
	B3100	公衆衛生学実習		○	○			
	B4170	公衆衛生学Ⅲ	○	○	○			
	B3095	公衆衛生学Ⅳ	○	○	○			
	B3110	病理学		○	○			
	B3130	口腔病理学		○	○			
	B3120	病理診断学実習		○	○	○		
	B2180	歯科理工学		○	○			
	B2190	歯科理工学実習		○	○	○		
	C3150	全部床義歯学		○	○			
	C4010	歯科補綴学実習Ⅰ		○	○	○		
	C4020	部分床義歯学		○	○			
	C4030	歯科補綴学実習Ⅱ		○	○	○		
	C4040	冠・架工義歯学		○	○			
	C3160	歯冠形成実習		○	○	○		
	C3170	保存修復学		○	○			
	C4060	保存修復学実習		○	○	○		
	C3180	小児歯科学		○	○			
	C4065	小児歯科学		○	○			
	C3190	歯科矯正学		○	○			
	C4080	歯科矯正学		○	○			
	C4095	小児・矯正基礎実習		○	○	○		
	C3200	口腔外科学		○	○			
	C4100	口腔外科学		○	○			
	C4110	歯科麻酔学		○	○			
	C4120	歯科放射線学		○	○			
	C3205	歯内療法学		○	○			
	C4130	歯内療法学		○	○			
	C4140	歯内療法学実習		○	○	○		
	C3210	歯周病学		○	○			
	C4150	歯周病学		○	○			
	C4160	歯周病学実習		○	○	○		
	C3220	内科学		○	○		○	
	C3230	外科学		○	○		○	
	C4105	口腔インプラント学		○	○			
	C3254	法医学歯科学	○	○	○	○		
	C4180	障害者歯科学		○	○			
	C4185	高齢者歯科学		○	○			
	C4187	摂食嚥下療法学		○	○			
	C3251	医療面接法		○	○	○		
	C3015	隣接医学		○	○		○	
	B2210	歯科医学研究 A	○	○	○		○	
	B3260	歯科医学研究 B	○	○	○		○	
	C4192	臨床予備演習	○	○	○	○		
	C4200	総合講義4年		○	○			
	D5001	臨床講義		○	○			
	E6010	総合講義6年	○	○	○		○	
	E6050	総合講義演習		○	○			
	D5500	臨床実習	○	○	○	○	○	
合 計			9	91	91	14	23	3



2020年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧表

	学 科 目	授業 形態	履修 区分	履修数		学年	実務経験 職種	主な担当者 (実務経験のある教員)	実務経験と教育内容の関連性
				時間	単位				
専門	全部床義歯学	講義	必修	60	2	3	歯科医師	黒岩昭弘、松山雄喜、富士岳志、笠原年男、菅生秀昭、霜野良介、鷹股哲也、平井博一郎、鈴木莊太、吉野旭宏、篠原聖武	歯及び顎口腔系の喪失に伴う形態変化と機能喪失により低下したQOLを可搬性補綴装置により改善させる欠損補綴学の講義をする。
	歯科補綴学実習Ⅰ	実習	必修	90	3	4	歯科医師	黒岩昭弘、倉澤郁文、松山雄喜、富士岳志、笠原年男、菅生秀昭、霜野良介、平井博一郎、鈴木莊太、吉野旭宏、篠原聖武	可搬性補綴装置により改善させる有床義歯の基本的な臨床手技ならびに製作法の実習を行う。
	部分床義歯学	講義	必修	60	2	4	歯科医師	倉澤郁文、富士岳志、笠原年男	部分欠損患者の機能回復の手段となる部分床義歯を中心に学理と技法の講義を行う。
	歯科補綴学実習Ⅱ	実習	必修	90	3	4	歯科医師	黒岩昭弘、倉澤郁文、松山雄喜、富士岳志、笠原年男、菅生秀昭、霜野良介、平井博一郎、鈴木莊太、吉野旭宏、篠原聖武	欠損歯列模型を用いて、部分欠損の補綴装置ならびに歯冠補綴装置を製作する術式について実習する。
	冠・架工義歯学	講義	必修	60	2	4	歯科医師	黒岩昭弘、倉澤郁文、松山雄喜、富士岳志、笠原年男、霜野良介、鷹股哲也	クラウンブリッジによる機能回復法ならびにその術後管理に関する講義を行う。
	歯冠彫刻実習	実習	必修	30	1	3	歯科医師	黒岩昭弘、倉澤郁文、金剛英二、松山雄喜、富士岳志、笠原年男、霜野良介、平井博一郎、鈴木莊太、吉野旭宏、篠原聖武	歯冠修復物の形態的具備要件を臨床上で適切、かつ効率的に適用するために必要な歯冠形態、咬合関係の回復に関する実習を行う。
	保存修復学	講義	必修	60	2	3	歯科医師	亀山敦史、森 啓、小町谷美帆、小松佐保、内川竜太郎	歯の硬組織疾患に対する治療を適切に行うために、各々の疾患の病因・病態、ならびにそれらの疾患に対する診察、検査、診断、治療および術後の口腔健康管理に関する講義を行う。
	保存修復学実習	実習	必修	90	3	4	歯科医師	亀山敦史、山本昭夫、安西正明、森 啓、小町谷美帆、尾崎友輝、中村 卓、小松佐保、内川竜太郎、石岡康明、佐放竜介、三好弥忠、中村圭吾、宮國 西、岩崎拓也、奥瀬稔之、田井康寛、朝倉莉紗、水谷隆一、上原龍一、原 美音、笠原悦男	歯の硬組織疾患に対する治療を適切に行うために、各々の疾患の病因・病態、ならびにそれらの疾患に対する診察、検査、診断、治療および術後の口腔健康管理に関する実習を行う。
	小児歯科学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	大須賀直人、正村正仁、中村浩志	小児期から成人に至る口腔機能について講義をする。
		講義	必修	30	1	4			
	歯科矯正学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	岡藤範正、川原良美	矯正歯科治療の意義と目的及び不正咬合に対する矯正歯科治療の必要性とその意義について講義をする。
		講義	必修	30	1	4			
	小児・矯正基礎実習	実習	必修	60	2	4	歯科医師	大須賀直人、岡藤範正、正村正仁、中村浩志、川原良美、中山 聡、森山敬太、村岡理奈、西村恵子、それらの作製法および調整方法について実習を行う。	乳歯の窩洞形成法、歯冠修復法や歯内療法、小児のブラッシング方法、保障装置の作製法、矯正装置の構造と作用機序を理解し、それらの作製法および調整方法について実習を行う。
	口腔外科学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	芳澤享子、中山洋子、齋藤安奈	口腔外科領域の疾患（外傷、口腔粘膜疾患、腫瘍、嚢胞、顎関節疾患、唾液腺疾患、神経疾患、顎変形症）の原因・発生機序・症状および口腔領域に関わる全身疾患の病態と罹患患者に対する口腔外科的治療法について講義をする。
		講義	必修	60	2	4			
	歯科麻酔学	講義	必修	60	2	4	歯科医師	澁谷徹、谷山貴一	歯科治療における全身管理、局所麻酔、精神鎮静法、全身麻酔の基本、救急処置の基本、口腔顎顔面領域の慢性痛と神経麻痺、および医療事故防止のための安全管理について講義をする。
	歯科放射線学	講義	必修	60	2	4	歯科医師	田口 明、黒岩博子、杉野紀幸	歯科医療における画像検査法の特徴と適応ならびに画像診断、放射線の人体に対する影響、放射線防護の方法および放射線治療の基礎について講義をする。
	歯内療法学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	増田宜子	歯の健康を回復し、歯の機能を維持させるために、歯・歯周組織の構造と機能を理解し、歯の硬組織疾患、歯髄疾患、根尖性歯周組織疾患の概要、原因、症状、検査、診断および処置法について講義をする。
		講義	必修	30	1	4	歯科医師		
	歯内療法学実習	実習	必修	60	2	4	歯科医師	増田宜子、安西正明、小町谷美帆、尾崎友輝、中村 卓、小松佐保、石岡康明、内川竜太郎、三好弥忠、佐放竜介、中村圭吾、宮國 西、岩崎拓也、奥瀬稔之、田井康寛、朝倉莉紗、水谷隆一、甲田調子	髄触を指摘し、臨床応用できる基本的な技術をマネキン、顎模型、レジン歯によるシミュレーションシステムにより実習する。
	歯周病学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	吉成伸夫、尾崎友輝、出分業々衣、中村 卓、石岡康明	歯周組織の形態的・機能的特性、歯周病の病因に基づいて歯周疾患の検査、診断、病態、分類、疫学について各種治療法と、予防法について講義をする。
		講義	必修	30	1	4	歯科医師		
	歯周病学実習	実習	必修	60	2	4	歯科医師	吉成伸夫、尾崎友輝、出分業々衣、中村 卓、石岡康明、佐放竜介、田井康寛、水谷隆一、上原龍一、原 美音	歯周病学の病因、理論を基に、臨床に必要な歯周病の診断、各種歯周治療法や術式などの基礎的技術と模型により実習を行う。
	内科学	講義	必修	60	2	3	医師	前島信也、佐藤 品、川 茂幸	医師として実務経験のある教員が、内科的疾患の病態と治療に関する身体の総合的かつ内科的な疾患を歯科医師としての関わりについて講義をする。
	口腔インプラント学	講義	必修	30	1	4	歯科医師	各務秀明、吉成伸夫、田所 治、杉野紀幸、齋藤安奈、植田章夫	インプラント治療を適切に説明し実践するために、インプラント治療の目的と意義、治療計画、埋入手術方法、装着後のメンテナンスまでの治療などについて講義を行う。
	障害者歯科学	講義	必修	30	1	4	歯科医師	配島弘之、望月慎恭	スペシャルニーズのある（特別な対応を要する）人への歯科保健と歯科医療について講義をする。
	高齢者歯科学	講義	必修	30	1	4	歯科医師	配島弘之、望月慎恭	全身疾患を有する高齢者への歯科保健と歯科医療について講義をする。
	摂食嚥下療法学	講義	必修	30	1	4	歯科医師	配島弘之、望月慎恭	摂食嚥下機能障害を有する障害児・者ならびに高齢者への講義を行う。
	医療面接法	講義	必修	30	1	3	歯科医師	森 啓	歯科臨床における医療面接について、倫理的配慮より適切に患者症状を聴取することができるようになるよう講義をする。
	隣接医学	講義	必修	30	1	3	医師	皮膚科：林 宏一、鈴木啓之 眼科：太田浩一 耳鼻咽喉科：相馬啓子	それぞれの担当科で歯科口腔領域との関連疾患の診断、治療について講義をする。
	臨床実習	実習	必修	1485	33	5	歯科医師	亀山敦史、増田宜子、吉成伸夫、芳澤享子、黒岩昭弘、大須賀直人、岡藤範正、田口 明、澁谷 徹、配島弘之、森 啓、川原一郎	精巧なマネキンを使っているのシミュレーション実習、学生相互による診療行為、医局員による診療の見学と介助、さらには指導者の直接の監督下での診療行為を実施する。
合計				3045	85				
省令で定める基準単位数					19				

2020年度 前期 時間割表

学年		第 1 学 年					第 2 学 年					第 3 学 年			第 4 学 年	第 5 学 年	第 6 学 年
曜日	時間	A	B	C	D	A	B	C	D	A・B	C・D	Weekly Test 講:106・107 本:602	Weekly Test 講:106・107 本:602	臨床実習	臨床実習	臨床実習	
月	1	9:00~10:30	Weedy Test キャンパスイン:101				Weedy Test 本:多目的ホール				Weedy Test 講:106・107 本:602			臨床実習			
	2	10:40~12:10	言語表現(英語)Ⅰ(3クラス編成)①~③ (古賀)講:101・102・105				生化学 (宇田川)実:312				全部基礎科学 (黒岩)講:201			臨床実習			
	3	13:10~14:40	英語コミュニケーション学 (マエムラ)キャンパスイン:101				解剖学実習 (金剛)本:解剖実習室 (山下)実:306		生物学実験 (安藤)実:309	生物学実験 (山下)実:306			小児歯科学 (大須賀)講:202				
	4	14:50~16:20	体育(2クラス変則編成) (北村・安藤)体育館・陸上競技場				婦人衛生学実習とセミナーを履修 (金剛)本:解剖実習室		生物学実験 (安藤)実:309	生物学実験 (山下)実:306			部分実業科学 (笠原)講:202				
	5	16:30~18:00	体育(2クラス変則編成)(北村・安藤)体育館・陸上競技場				婦人衛生学実習とセミナーを履修 (金剛)本:解剖実習室		生物学実験 (安藤)実:309	生物学実験 (山下)実:306			部分実業科学 (笠原)講:202				
火	1	9:00~10:30	日本語演習(留学生)講:101・102・105				細胞学 (中村)実:312				歯科薬理学 (十川)講:201			臨床実習			
	2	10:40~12:10	入門歯科医学 (中村)実:216				生化学 (北川)実:312				医歯面接法 (株)講:201			臨床実習			
	3	13:10~14:40	生命科学入門Ⅱ (岡藤)実:216				化学実験 (山下)実:306	生物学実験 (安藤)実:309		解剖学実習 (金剛)本:解剖実習室 (山下)実:306		細菌学・口腔細菌学実習 (吉田)講:201・実:212			臨床実習		
	4	14:50~16:20					化学実験 (山下)実:306	生物学実験 (安藤)実:309		解剖学実習 (金剛)本:解剖実習室 (山下)実:306		保存修復学実習 (亀山)実:101・312			臨床実習		
	5	16:30~18:00	日本語演習(留学生)講:101・102・105				生化学 (北川)実:312				病理学 (村上)講:201			公衆衛生学Ⅳ (佐)講:202			
水	1	9:00~10:30	細胞生化学 (安藤)実:216				生化学 (宇田川)実:312				病理学 (村上)講:201			臨床講義 本:601			
	2	10:40~12:10	基礎化学(2クラス編成)①~② (山下)講:102・104・実:216				生化学 (宇田川)実:312				病理学 (村上)講:201			部分実業科学 (笠原)講:202			
	3	13:10~14:40	入門歯科医学実習 (谷内)病棟他8班編成				公衆衛生学Ⅰ (山賀)実:312				法医学科学(513~78:8コマ) (中村)講:201・実:207			臨床実習			
	4	14:50~16:20	保存・補綴・初診室・麻酔・放射線・小児・矯正・地域連携				公衆衛生学Ⅰ (山賀)実:312				法医学科学(513~78:7コマ) (中村)講:201・実:207			臨床実習			
	5	16:30~18:00	日本語演習(留学生)講:101・102・105				婦人衛生学は化学セミナーを履修 (山下)実:312				514~716実施、全10回30コマ			臨床実習			
木	1	9:00~10:30	解剖学入門 (田所)実:216				分子生物学 (平岡)実:312				歯科薬理学 (十川)講:201			臨床講義 本:601			
	2	10:40~12:10	言語表現(英語)Ⅰ(3クラス編成)①~③ (古賀)講:101・102・105				解剖学Ⅱ (金剛)実:312				保存修復学 (亀山)講:201			冠・架工義歯学 (倉澤)講:202			
	3	13:10~14:40	数物学 (小田)実:216				細菌学 (吉田)実:312				公衆衛生学Ⅱ (山賀)講:201			臨床実習			
	4	14:50~16:20					婦人衛生学は化学セミナーを履修 (山下)実:312				歯科歯学実習 (吉成)実:101			514~716実施、全10回30コマ			
	5	16:30~18:00	日本語演習(留学生)講:101・102・105				※編入留学生は日本語演習を履修 講:101・102・105							臨床実習			
金	1	9:00~10:30	健康管理学 (安藤)実:216				歯科理工学 (黒岩)実:312				歯冠形制実習 (原田)実:101			臨床講義 本:601			
	2	10:40~12:10	基礎化学(2クラス編成)①~② (山下)講:102・104・実:216				歯科理工学 (黒岩)実:312				518, 713~914実施、全15回30コマ			口腔外科学 (芳澤)講:202			
	3	13:10~14:40	オープンセミナーⅠ(選考) (中村)				細菌学 (吉田)実:312				口腔生化学Ⅱ (小林)講:201			臨床実習			
	4	14:50~16:20					婦人衛生学は化学セミナーを履修 (山下)実:312				内科学 (前島)講:201			臨床実習			
	5	16:30~18:00	日本語演習(留学生)講:101・102・105				※編入留学生は日本語演習を履修 講:101・102・105							臨床実習			
土	1	9:00~10:30												Weekly Test 本:601			Weekly Test 本:602

2020年度 後期 時間割表

学年		第1学年				第2学年				第3学年				第4学年		第5学年	第6学年
曜日	時間	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C-D	Weekly Test 講：106・107	臨床講義 本：601	総合講義6年 本：602		
月	1 9:00~10:30	Weekly Test キャンパスバス：101				Weekly Test 本：多目的ホール				Weekly Test 講：106・107				臨床講義 本：601	総合講義6年 本：602		
	2 10:40~12:10	言語表現(英語)Ⅱ(3クラス編成)①~③ (古賀) 講：101・102・105				歯科理工学 (黒岩) 実：312				歯内療法学 (増田) 講：201							
	3 13:10~14:40	体育(2クラス変回編成) (北村・安藤) 体育館・陸上競技場				生理学・口腔生理解学実習 (北川) 実：113				公衆衛生学実習 (山賀) 実：212・216							
	4 14:50~16:20	体育(2クラス変回編成) (北村・安藤) 体育館・陸上競技場				解剖学実習 (金剛) 本：解剖実習室				病理診断学実習 (村上) 実：207							
	5 16:30~18:00	日本語演習(留学生) 講：101・102・105				薬理学 (十川) 実：312				小児歯科学 (大須賀) 講：201							
火	1 9:00~10:30	口腔科学入門 (吉田) 実：216				口腔生化学Ⅰ (宇田川) 実：312				高齢者歯科学 (配島) 講：202				臨床講義 本：601	総合講義6年 本：602		
	2 10:40~12:10	解剖学Ⅰ (金剛) 実：216				生理学・口腔生理解学実習 (北川) 実：113				小児・矯正基礎実習 小児(大須賀) 実：101 矯正(岡部) 実：101							
	3 13:10~14:40	情報リテラシー (中村) キャンパスバス：101				解剖学実習 (金剛) 本：解剖実習室				公衆衛生学実習 (山賀) 実：212・216							
	4 14:50~16:20	日本語演習(留学生) 講：101・102・105				口腔病理学 (村上) 講：201				総合講義6年 本：602							
	5 16:30~18:00	日本語演習(留学生) 講：101・102・105				口腔病理学 (村上) 講：201				総合講義6年 本：602							
水	1 9:00~10:30	オープンセミナーⅡ(選択) (中村)				口腔生化学Ⅱ (中村) 実：312				口腔外科科学 (芳澤) 講：202				臨床講義 本：601	総合講義6年 本：602		
	2 10:40~12:10	人体生理学 (安藤) 実：216				口腔組織学 (中村) 実：312				総合講義6年 本：602							
	3 13:10~14:40	解剖学入門実習 (田所) 実：207				歯周病学 (吉成) 講：201				臨床分子生物学 (放射線・口腔外・麻酔・医療 面接)							
	4 14:50~16:20	日本語演習(留学生) 講：101・102・105				歯科医学研究A(選択) (中村)				総合講義6年 本：602							
	5 16:30~18:00	日本語演習(留学生) 講：101・102・105				歯科医学研究B(選択) (中村)				総合講義6年 本：602							
木	1 9:00~10:30	天然物有機化学 (山下) 実：312				歯科理工学実習 (黒岩) 実：101・113				冠・技工義歯学 (倉澤) 講：202				臨床講義 本：601	総合講義6年 本：602		
	2 10:40~12:10	言語表現(英語)Ⅱ(3クラス編成)①~③ (古賀) 講：101・102・105				歯科矯正学 (岡部) 講：201				口腔インプラント学 (各務) 講：202							
	3 13:10~14:40	入門歯科民衆実習 (谷内) 病院他 8班編成 保存・補綴・初診室・口腔外科・放射線・小児・矯正・地域連携				生化学・口腔組織学実習 生化学特講 (小林) 実：312・317				歯内療法学実習 (増田) 実：101							
	4 14:50~16:20	日本語演習(留学生) 講：101・102・105				組織学・口腔組織学実習 (中村) 30限(デモ) 実：216 4・50限 実：207				病理診断学実習 (村上) 実：207							
	5 16:30~18:00	日本語演習(留学生) 講：101・102・105				生化学・口腔組織学実習 生化学特講 (吉田) 実：312				総合講義6年 本：602							
金	1 9:00~10:30	バイオマテリアル入門 (黒岩) 実：216				口腔細胞学 (吉田) 実：312				補綴学 (田口) 講：202				臨床講義 本：601	総合講義6年 本：602		
	2 10:40~12:10	マテリアル生理学 (安藤) 実：216				歯の解剖学 (平賀) 実：312				総合講義6年 本：602							
	3 13:10~14:40	日本語演習(留学生) 講：101・102・105				生化学・口腔組織学実習 生化学特講 (小林) 実：312・317				小児歯科学 (佐藤) 講：201							
	4 14:50~16:20	日本語演習(留学生) 講：101・102・105				組織学・口腔組織学実習 (中村) 30限(デモ) 実：216 4・50限 実：207				内科学 (前島) 講：201							
	5 16:30~18:00	日本語演習(留学生) 講：101・102・105				組織学・口腔組織学実習 (中村) 30限(デモ) 実：216 4・50限 実：207				歯科補綴学実習Ⅱ (笠巻) 実：101							
土	1 9:00~10:30	日本語演習(留学生) 講：101・102・105				日本語演習(留学生) 講：101・102・105				日本語演習(留学生) 講：101・102・105				Weekly Test 本：601		Weekly Test 本：602	

2020年度 第4学年 年間授業予定表

《 前 期 》

月曜日				火曜日				水曜日				木曜日				金曜日			
①	月	日	備考	①	月	日	備考	①	月	日	備考	①	月	日	備考	①	月	日	備考
②	5	11		②	5	12		②	5	13		②	5	7		②	5	8	
③		18		③		19		③		20		③		14		③		15	
④		25		④		26		④		27		④		21		④		22	
⑤	6	1		⑤	6	2		⑤	6	3		⑤		28		⑤		29	
⑥		8		⑥		9		⑥		10		⑥	6	4		⑥	6	5	
⑦		15		⑦		16		⑦		17		⑦		11		⑦		12	
⑧		22		⑧		23		⑧		24		⑧		18		⑧		19	
⑨		29		⑨		30		⑨	7	1		⑨		25		⑨		26	
⑩	7	6		⑩	7	7		⑩		8		⑩	7	2		⑩	7	3	
⑪		13		⑪		14		⑪		15		⑪		9		⑪		10	
⑫		20		⑫		21		⑫		22		⑫		16		⑫		17	
⑬		27		⑬		28		⑬		29		⑬		30		⑬		31	
⑭	8	17		⑭	8	18		⑭	8	19		⑭	8	20		⑭	8	21	
⑮		24		⑮		25		⑮		26		⑮		27		⑮		28	
		31			9	1			9	2			9	3			9	4	

- ※ オリエンテーション、健康診断： 5/7（木）
 ※ 前期定期試験： 9/7（月）～9/12（土）
 ※ 前期追・再試験（予定）： 9月～11月

《 後 期 》

月曜日				火曜日				水曜日				木曜日				金曜日			
①	月	日	備考	①	月	日	備考	①	月	日	備考	①	月	日	備考	①	月	日	備考
②	9	14		②	9	15		②	9	16		②	9	17		②	9	18	
③		28		③		24	（木）	③		23		③	10	1		③		25	
④	10	5		④		29		④		30		④		8		④	10	2	
⑤		12		⑤	10	6		⑤	10	7		⑤		15		⑤		9	
⑥		19		⑥		13		⑥		14		⑥		22		⑥		16	
⑦		26		⑦		20		⑦		21		⑦		29		⑦		23	
⑧	11	2		⑧		27		⑧		28		⑧	11	5		⑧		30	
⑨		9		⑨	11	4	（水）	⑨	11	11		⑨		12		⑨	11	6	
⑩		16		⑩		10		⑩		18		⑩		19		⑩		13	
⑪		24	（火）	⑪		17		⑪		25		⑪		26		⑪		20	
⑫		30		⑫	12	1		⑫	12	2		⑫	12	3		⑫		27	
⑬	12	7		⑬		8		⑬		9		⑬		10		⑬	12	4	
⑭		14		⑭		15		⑭		16		⑭		17		⑭		11	
⑮		21		⑮		22		⑮		23		⑮		24		⑮		18	
	1	4			1	5			1	6			1	7				25	

- ※ 後期定期試験： 1/12（火）～1/19（火）
 ※ 後期追・再試験： 1/22（金）～1/28（木）
 ※ 共用試験（CBT）： 2/2（火）、再試験： 2/25（木） 共用試験（CBT）： 2/8（金）
 ※ 共用試験（OSCE）： 2/13（土）、再試験： 2/26（金）

総 目 次

第 4 学年.....	1
第 5 学年.....	161
第 6 学年.....	241
病院概要.....	309
施設概要図.....	312

第 4 学 年

第 4 学年目次

歯科補綴学実習Ⅰ	3
部分床義歯学	19
歯科補綴学実習Ⅱ	22
冠・架工義歯学	38
保存修復学実習	42
小児歯科学	55
歯科矯正学	59
小児・矯正基礎実習	62
口腔外科学	69
歯科麻酔学	74
歯科放射線学	78
歯内療法学	81
歯内療法学実習	85
歯周病学	96
歯周病学実習	99
口腔インプラント学	105
公衆衛生学Ⅳ	108
障害者歯科学	110
高齢者歯科学	112
摂食嚥下療法学	115
臨床予備演習	118
総合講義	135
2020年度 4 学年 日程表	149
2020年度 第 4 学年 年間予定	158

歯科補綴学実習 I (C4010)

第4学年（前期）
実習 必修

【担当者】

教授：黒岩昭弘、倉澤郁文

講師：松山雄喜、富士岳志、笠原隼男、谷内秀寿

助教：菅生秀昭、霜野良介

助手：平井博一郎、鈴木莊太、吉野旭宏、篠原聖武

非常勤講師：伊比篤、北澤富美、小澤謙太、西家孝、栗田和弘、緒方彰、柳田史城、川上智子、中村典正、安東史子

【一般目標（GIO）】

講義で理解した理論を実習によって習得する。有床義歯の基本的な臨床手技ならびに製作法を理解する。

【行動目標（SBOs）】

欠損歯列模型を用いて、床義歯を製作する術式を学ぶ。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 細井紀雄他編：「コンプリートデンチャーテクニック（第6版）」（医歯薬出版）

細井紀雄他編：「無歯顎補綴治療学（第3版）」（医歯薬出版）

黒岩昭弘：「全部床義歯学サイドリーダー（第5版）」（学建書院）（1年次購入済）

五十嵐順正他編：「パーシャルデンチャーテクニック（第5版）」（医歯薬出版）

赤川安正他編：「歯学生のパーシャルデンチャー（第6版）」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

ビデオ・教材を用いて製作手順を理解し、実際に可撤性義歯の製作を行う。製作物および定期試験により内容の理解を確認する。

【フィードバック方法】

試験の正答、評価への疑問や質問は担当教員に申し出ること。その後 Q&A 形式で学生イントラ、補講等で解説する。

【評価方法（Evaluation）】

出席回数（10%）・実習態度・製作物（10%）・定期試験（50%）・Weekly Test（30%）により評価する。

【注意事項】

欠席は特別な理由がない限り認めない。指定した準備品を持参のうえ、白衣を着用し、実習を行うこと。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：実習書および参考書を事前に読み、実習内容を理解したうえで実習に臨むこと。（15分）

復 習：実習で実際に行った作業とその目的について、教科書、講義ノート、参考書を見直し復習すること。（45分）

【オフィスアワー】

原則として木曜日 16:30～18:00

本館4階東棟 歯科補綴学講座医局

連絡先：TEL0263-51-2046（診療にて不在の可能性もあるため電話予約が望ましい）

【授業日程】

<div> <div>歯科補綴学実習Ⅰ</div> <div>第4学年（前期）</div> </div>					
回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	補助者
1	5月8日(金) 3時限	全部床義歯① 器材準備 AB班：咬合採得 CD班：咬合調整用模型リマウント	無菌顎者の咬合採得法を理解する。 作業用模型の取り扱いを理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
2	5月8日(金) 4時限	全部床義歯① 器材準備 AB班：咬合採得 CD班：咬合調整用模型リマウント	無菌顎者の咬合採得法を理解する。 作業用模型の取り扱いを理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
3	5月8日(金) 5時限	全部床義歯① 器材準備 AB班：咬合採得 CD班：咬合調整用模型リマウント	無菌顎者の咬合採得法を理解する。 作業用模型の取り扱いを理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
4	5月15日(金) 3時限	全部床義歯② AB 班：咬合調整用模型リマウント CD 班：咬合調整用模型リマウント	無歯顎者の咬合採得法を理解する。 作業用模型の取り扱いを理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
5	5月15日(金) 4時限	全部床義歯② AB 班：咬合調整用模型リマウント CD 班：咬合調整用模型リマウント	無歯顎者の咬合採得法を理解する。 作業用模型の取り扱いを理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
6	5月15日(金) 5時限	全部床義歯② AB 班：咬合調整用模型リマウント CD 班：咬合調整用模型リマウント	無歯顎者の咬合採得法を理解する。 作業用模型の取り扱いを理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
7	5月22日(金) 3時限	全部床義歯③ 模型装着	咬合器の使用法を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
8	5月22日(金) 4時限	全部床義歯③ 模型装着	咬合器の使用法を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
9	5月22日(金) 5時限	全部床義歯③ 模型装着	咬合器の使用法を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武

回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
10	5月29日(金) 3時限	全部床義歯④ 人工歯排列①	前歯部人工歯排列を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 菅生 良介 伊比 秀昭 北澤 篤 小澤 富美 西家 謙太 栗田 孝 緒方 和弘 柳田 彰 川上 史城 中村 智子 安東 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
11	5月29日(金) 4時限	全部床義歯④ 人工歯排列①	前歯部人工歯排列を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 菅生 良介 伊比 秀昭 北澤 篤 小澤 富美 西家 謙太 栗田 孝 緒方 和弘 柳田 彰 川上 史城 中村 智子 安東 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
12	5月29日(金) 5時限	全部床義歯④ 人工歯排列①	前歯部人工歯排列を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 菅生 良介 伊比 秀昭 北澤 篤 小澤 富美 西家 謙太 栗田 孝 緒方 和弘 柳田 彰 川上 史城 中村 智子 安東 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
13	6月5日(金) 3時限	全部床義歯⑤ 人工歯排列②	臼歯部人工歯排列法を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
14	6月5日(金) 4時限	全部床義歯⑤ 人工歯排列②	臼歯部人工歯排列法を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
15	6月5日(金) 5時限	全部床義歯⑤ 人工歯排列②	臼歯部人工歯排列法を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武

回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
16	6月12日(金) 3時限	全部床義歯⑥ 歯肉形成	義歯研磨面形態を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 菅生 良介 伊比 秀昭 北澤 篤 小澤 富美 西家 謙太 栗田 孝 緒方 和弘 柳田 彰 川上 史城 中村 智子 安東 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
17	6月12日(金) 4時限	全部床義歯⑥ 歯肉形成	義歯研磨面形態を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 菅生 良介 伊比 秀昭 北澤 篤 小澤 富美 西家 謙太 栗田 孝 緒方 和弘 柳田 彰 川上 史城 中村 智子 安東 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
18	6月12日(金) 5時限	全部床義歯⑥ 歯肉形成	義歯研磨面形態を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 菅生 良介 伊比 秀昭 北澤 篤 小澤 富美 西家 謙太 栗田 孝 緒方 和弘 柳田 彰 川上 史城 中村 智子 安東 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
19	6月19日(金) 3時限	全部床義歯⑦ 埋没重合①	埋没法を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
20	6月19日(金) 4時限	全部床義歯⑦ 埋没重合①	埋没法を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
21	6月19日(金) 5時限	全部床義歯⑦ 埋没重合①	埋没法を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武

回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
22	6月26日(金) 3時限	全部床義歯⑧ 埋没重合②	埋没法を習得する。 流蠟・重合操作を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
23	6月26日(金) 4時限	全部床義歯⑧ 埋没重合②	埋没法を習得する。 流蠟・重合操作を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
24	6月26日(金) 5時限	全部床義歯⑧ 埋没重合②	埋没法を習得する。 流蠟・重合操作を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
25	7月3日(金) 3時限	全部床義歯⑨ 掘り出し・研磨	重合後の取り扱いを理解する。 義歯の咬合器再装着を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
26	7月3日(金) 4時限	全部床義歯⑨ 掘り出し・研磨	重合後の取り扱いを理解する。 義歯の咬合器再装着を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
27	7月3日(金) 5時限	全部床義歯⑨ 掘り出し・研磨	重合後の取り扱いを理解する。 義歯の咬合器再装着を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
28	7月10日(金) 3時限	全部床義歯⑩ 咬合調整・個人トレー	削合法を習得する。 咬合調整を習得する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 菅生 良介 伊比 秀昭 北澤 篤 小澤 富美 西家 謙太 栗田 孝 緒方 和弘 柳田 彰 川上 史城 中村 智子 安東 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
29	7月10日(金) 4時限	全部床義歯⑩ 咬合調整・個人トレー	削合法を習得する。 咬合調整を習得する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 菅生 良介 伊比 秀昭 北澤 篤 小澤 富美 西家 謙太 栗田 孝 緒方 和弘 柳田 彰 川上 史城 中村 智子 安東 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
30	7月10日(金) 5時限	全部床義歯⑩ 咬合調整・個人トレー	削合法を習得する。 咬合調整を習得する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 菅生 良介 伊比 秀昭 北澤 篤 小澤 富美 西家 謙太 栗田 孝 緒方 和弘 柳田 彰 川上 史城 中村 智子 安東 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
31	7月17日(金) 3時限	部分床義歯① 器材整備 技工指示書	義歯治療に必要な器材について理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
32	7月17日(金) 4時限	部分床義歯① 器材整備 技工指示書	義歯治療に必要な器材について理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
33	7月17日(金) 5時限	部分床義歯① 器材整備 技工指示書	義歯治療に必要な器材について理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
34	7月31日(金) 3時限	部分床義歯② 咬合採得① 上顎マウント ワイヤー屈曲用模型製作 咬合採得 咬合器装着	部分床義歯の咬合採得法を理解する。 ワイヤークラスプ製作前の準備を理解する。 咬合器装着について理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
35	7月31日(金) 4時限	部分床義歯② 咬合採得① 上顎マウント ワイヤー屈曲用模型製作 咬合採得 咬合器装着	部分床義歯の咬合採得法を理解する。 ワイヤークラスプ製作前の準備を理解する。 咬合器装着について理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
36	7月31日(金) 5時限	部分床義歯② 咬合採得① 上顎マウント ワイヤー屈曲用模型製作 咬合採得 咬合器装着	部分床義歯の咬合採得法を理解する。 ワイヤークラスプ製作前の準備を理解する。 咬合器装着について理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
37	8月21日(金) 3時限	部分床義歯③ 咬合採得② 上顎マウント ワイヤー屈曲用模型製作 咬合採得 咬合器装着	部分床義歯の咬合採得法を理解する。 ワイヤークラスプを製作できる。 咬合器装着について理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
38	8月21日(金) 4時限	部分床義歯③ 咬合採得② 上顎マウント ワイヤー屈曲用模型製作 咬合採得 咬合器装着	部分床義歯の咬合採得法を理解する。 ワイヤークラスプを製作できる。 咬合器装着について理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
39	8月21日(金) 5時限	部分床義歯③ 咬合採得② 上顎マウント ワイヤー屈曲用模型製作 咬合採得 咬合器装着	部分床義歯の咬合採得法を理解する。 ワイヤークラスプを製作できる。 咬合器装着について理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
40	8月28日(金) 3時限	部分床義歯④ 耐火模型製作 ワックスアップ準備	支台装置・フレームワーク製作を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
41	8月28日(金) 4時限	部分床義歯④ 耐火模型製作 ワックスアップ準備	支台装置・フレームワーク製作を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
42	8月28日(金) 5時限	部分床義歯④ 耐火模型製作 ワックスアップ準備	支台装置・フレームワーク製作を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
43	9月4日(金) 3時限	部分床義歯⑤ ワックスアップ	フレームワークの製作手順を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
44	9月4日(金) 4時限	部分床義歯⑤ ワックスアップ	フレームワークの製作手順を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
45	9月4日(金) 5時限	部分床義歯⑤ ワックスアップ	フレームワークの製作手順を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 松山 雄喜 富士 岳志 笠原 隼男 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武

部分床義歯学 (C4020)

第4学年（前期）
講義 必修

【担当者】

教授：黒岩昭弘
講師：笠原隼男、松山雄喜、富士岳志
助教：霜野良介、菅生秀昭

【一般目標（GIO）】

部分欠損患者の機能回復の手段となる部分床義歯を中心に学理と技法を理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. 部分欠損患者の診査・診断・治療計画の立案の基礎について理解する。
2. 部分床義歯の設計について理解する。
3. 部分床義歯の臨床手技について理解する。
4. 部分床義歯の技工操作について理解する。
5. 部分床義歯装着患者の義歯装着後の経過について理解する。

【教科書・参考書】

【教科書】 藍稔他編：「スタンダードパーシャルデンチャー補綴学（第3版）」（学建書院）
歯科医師国家試験対策研究会：「セレクト部分床義歯 縮刷版」（学建書院）
五十嵐順正他編：「パーシャルデンチャーテクニック（第5版）」（医歯薬）

【教育（学習）方略（LS）】

授業は板書・スライドなどを使用し、補綴学用語・補綴的処置・症例などを視覚的に解説し、理解を深める。
教科書を中心に講義するので必ず教科書を持参すること。また、Weekly Testにより授業に対する確認を行う。

【フィードバック方法】

試験実施後、評価に対する疑問や質問等がある場合は試験実施後一週間以内にメールや口頭等で科目担当教授に連絡すること。その後、Q & A 形式でイントラまたは補講等で解説する。

【評価方法（Evaluation）】

出席回数、定期試験（中間・期末）（70％）・Weekly Test（30％）により評価する。無断欠席は認めない。
出席状況や授業態度を加味する。

【注意事項】

前半は理論編、後半は部分床義歯学模型実習に併行した実践的な内容である。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。（15分）
復 習：講義中に指定した教科書の項目や図を中心に講義内容を復習すること。（45分）

【オフィスアワー】

金曜日 16：30～17：30
本館4階東棟 歯科補綴学講座医局
連絡先：TEL0263-51-2046

【授業日程】

<div> <div>部分床義歯学</div> <div>第4学年（前期）</div> </div>				
回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	5月11日(月) 4時限	部分的な歯の欠損 補綴装置	部分的な歯の欠損と欠損の治療、治療の意義を理解する。	黒岩 昭弘
2	5月13日(水) 2時限	歯の欠損に由来する顎口腔系の変化	歯の欠損に伴う病態・障害について理解する。	松山 雄喜
3	5月18日(月) 4時限	歯の欠損様式と義歯の分類	歯の欠損様式と義歯の分類について理解する。	富士 岳志
4	5月20日(水) 2時限	RPDの構成要素 支持・把持・維持	部分床義歯の基本的な構成要素を理解する。 支持・把持・維持について理解する。	笠原 隼男
5	5月25日(月) 4時限	支台歯・欠損部顎堤の負担能力	支台歯・欠損部顎堤の負担能力について理解する。	黒岩 昭弘
6	5月27日(水) 2時限	支台装置の仕組み	支台装置の仕組みを理解する。	笠原 隼男
7	6月1日(月) 4時限	レスト、レストシート	義歯の沈下を防止する構成要素を学ぶ。	笠原 隼男
8	6月3日(金) 2時限	ガイドプレーン・プロキシマルプレート	義歯の動揺を防止する構成要素を学ぶ。	笠原 隼男
9	6月8日(月) 4時限	支台装置(1)	支台装置について理解する。 クラスプの基本形態	黒岩 昭弘
10	6月10日(水) 2時限	支台装置(2)	クラスプの種類・特徴を理解する。	黒岩 昭弘
11	6月15日(月) 4時限	支台装置(3)	クラスプ以外の支台装置を理解する。	笠原 隼男
12	6月17日(水) 2時限	総論範囲の総括		菅生 秀昭
13	6月22日(月) 4時限	大連結子 小連結子 義歯床	大連結子、小連結子、義歯床の形態・要件を理解する。	笠原 隼男
14	6月24日(水) 2時限	部分床義歯による欠損補綴の治療立案	欠損歯列の治療について実際の治療方針の立案法を知る。	黒岩 昭弘
15	6月29日(月) 4時限	欠損歯列の補綴前処置	補綴前に口腔内環境を改善しておくことの必要性を理解する。	笠原 隼男
16	7月1日(水) 2時限	RPDの印象採得法	残存歯と欠損部顎堤といった異なった組織を再現するべき印象法について理解する。	笠原 隼男
17	7月6日(月) 4時限	RPDの設計(1) 欠損形態と設計	生物学的および機械的判断基準について理解する。 欠損形態と設計の関係について理解する。	笠原 隼男
18	7月8日(水) 2時限	RPDの設計(2) 支台歯の条件と設計	支台歯の条件と設計の関係について理解する。	黒岩 昭弘
19	7月13日(月) 4時限	部分欠損における咬合採得技法	咬合採得技法を理解する。	笠原 隼男
20	7月15日(水) 2時限	各論範囲の総括	各論範囲の知識を演習にて理解する。	霜野 良介
21	7月20日(月) 4時限	作業用模型の修正	作業用模型の修正について理解する。	富士 岳志

回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
22	7月22日(水) 2時限	フレームワークの製作・試適手順	フレームワークの製作、試適時の診査を理解する。	松山 雄喜
23	7月27日(月) 4時限	人工歯の選択・排列方法 辺縁部の形態、蠟義歯試適診査時の指導	人工歯の選択基準、人工歯の排列方法等を理解する。 辺縁部の形態、蠟義歯試適時の診査方法を理解する。	富士 岳志
24	7月29日(水) 2時限	義歯の重合手順・研磨方法	義歯の埋没・重合操作の手順、研磨方法について理解する。	松山 雄喜
25	8月17日(月) 4時限	義歯の装着・義歯の装着時の調整・義歯装着時の指導	義歯の管理方法、義歯診査・調整法を共に理解する。	富士 岳志
26	8月19日(水) 2時限	生体変化・義歯変化・リコール	義歯装着後の口腔内、義歯の変化、リコールを理解する。	松山 雄喜
27	8月24日(月) 4時限	リライン・リベースの手技、義歯修理	義歯装着後の変化と対応、リライン・リベースの目的、適応、義歯修理の方法について理解する。	富士 岳志
28	8月26日(水) 2時限	テレスコープクラウン	テレスコープクラウンについて理解する。	黒岩 昭弘
29	8月31日(月) 4時限	インプラント オーバーデンチャー	上部構造の装着、メンテナンスについて理解する。	笠原 隼男
30	9月2日(水) 2時限	補綴装置の種類ならびに適応症 顎補綴	各種補綴装置の利欠点を理解する。 適応症、種類、手順を理解する。	笠原 隼男

歯科補綴学実習Ⅱ (C4030)

第4学年（後期）
実習 必修

【担当者】

教授：黒岩昭弘、倉澤郁文

講師：笠原隼男、松山雄喜、富士岳志、谷内秀寿

助教：霜野良介、菅生秀昭

助手：平井博一郎、鈴木荘太、吉野旭宏、篠原聖武

非常勤講師：伊比篤、北澤富美、小澤謙太、西家孝、栗田和弘、緒方彰、柳田史城、川上智子、中村典正、安東史子

【一般目標（GIO）】

講義で理解した理論を実習によって習得する。部分床義歯および固定性義歯（冠架工義歯、インプラントを含む）の基本的な臨床手技ならびに製作法を理解する。

【行動目標（SBOs）】

欠損歯列模型を用いて、部分欠損の補綴装置ならびに歯冠補綴装置を製作する術式を学ぶ。

【教科書・参考書】

【教科書】五十嵐順正他編：「パーシャルデンチャーテクニック（第5版）」（医歯薬出版）

赤川安正他編：「歯学生のパーシャルデンチャー（第6版）」（医歯薬出版）

古谷野潔他編：「プロソドンティクス 第Ⅰ巻」（永末書店）

石橋寛二他編：「クラウンブリッジテクニック」（医歯薬出版）

公益社団法人日本口腔インプラント学会編：「口腔インプラント学実習書」（永末書店）

【参考書】矢谷博文他編：「クラウンブリッジ補綴学（第5版）」（医歯薬出版）

石上 元他編：「冠橋義歯補綴学テキスト（第3版）」（永末書店）

【教育（学習）方略（LS）】

ビデオ・教材を用いて製作手順を理解し、実際に部分床義歯と冠架工義歯の製作を行う。製作物および定期試験により内容の理解を確認する。

【フィードバック方法】

定期試験、中間試験やレポート実施後、正答率が低い問題に対し解答例または記入例を学生イントラへ掲載または配布するので確認すること。

【評価方法（Evaluation）】

出席回数（10%）・実習態度・製作物（10%）・定期試験（50%）・Weekly Test（30%）により評価する。

【注意事項】

欠席は特別な理由がない限り認めない。指定した準備品を持参のうえ、白衣を着用し、実習を行うこと。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：実習書および参考書を事前に読み、実習内容を理解したうえで実習に臨むこと。（15分）

復 習：実習で実際に行った作業とその目的について、教科書、講義ノート、参考書を見直し復習すること。（45分）

【オフィスアワー】

原則として木曜日 16：30～18：00

本館4階東棟 歯科補綴学講座医局

連絡先：0263-51-2046（診療にて不在の可能性もあるため電話予約が望ましい）

【授業日程】

<div> <div>歯科補綴学実習Ⅱ</div> <div>第4学年（後期）</div> </div>					
回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	補助者
1	9月18日(金) 3時限	部分床義歯⑥ ワックスアップ	フレームワーク製作のためのワックスアップを理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
2	9月18日(金) 4時限	部分床義歯⑥ ワックスアップ	フレームワーク製作のためのワックスアップを理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
3	9月18日(金) 5時限	部分床義歯⑥ ワックスアップ	フレームワーク製作のためのワックスアップを理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
4	9月25日(金) 3時限	部分床義歯⑦ 人工歯排列 歯肉形成	義歯研磨面形態の製作を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
5	9月25日(金) 4時限	部分床義歯⑦ 人工歯排列 歯肉形成	義歯研磨面形態の製作を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
6	9月25日(金) 5時限	部分床義歯⑦ 人工歯排列 歯肉形成	義歯研磨面形態の製作を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
7	10月2日(金) 3時限	部分床義歯⑧ 蠟義歯完成	蠟義歯の製作を理解する。 蠟義歯試適を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
8	10月2日(金) 4時限	部分床義歯⑧ 蠟義歯完成	蠟義歯の製作を理解する。 蠟義歯試適を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
9	10月2日(金) 5時限	部分床義歯⑧ 蠟義歯完成	蠟義歯の製作を理解する。 蠟義歯試適を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
10	10月9日(金) 3時限	冠架工① 器材準備 #36支台歯形成 概形印象	支台歯形成を理解する。 冠架工義歯製作時の概形印象を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
11	10月9日(金) 4時限	冠架工① 器材準備 #37支台歯形成 概形印象	支台歯形成を理解する。 冠架工義歯製作時の概形印象を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
12	10月9日(金) 5時限	冠架工① 器材準備 #38支台歯形成 概形印象	支台歯形成を理解する。 冠架工義歯製作時の概形印象を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
13	10月16日(金) 3 時限	冠架工② 研究用模型製作 個人トレー製作	冠架工義歯の個人トレーを理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
14	10月16日(金) 4 時限	冠架工② 研究用模型製作 個人トレー製作	冠架工義歯の個人トレーを理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
15	10月16日(金) 5 時限	冠架工② 研究用模型製作 個人トレー製作	冠架工義歯の個人トレーを理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
16	10月23日(金) 3 時限	冠架工③ 最終印象 作業用模型製作	最終印象術式を理解する。 印象採得後の取り扱いを理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
17	10月23日(金) 4 時限	冠架工③ 最終印象 作業用模型製作	最終印象術式を理解する。 印象採得後の取り扱いを理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
18	10月23日(金) 5 時限	冠架工③ 最終印象 作業用模型製作	最終印象術式を理解する。 印象採得後の取り扱いを理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
19	10月30日(金) 3 時限	冠架工④ ダウエルピン植立 フォーマー埋没 咬合器装着 (技工所介入)	冠架工義歯の製作模型の操作法を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
20	10月30日(金) 4 時限	冠架工④ ダウエルピン植立 フォーマー埋没 咬合器装着 (技工所介入)	冠架工義歯の製作模型の操作法を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
21	10月30日(金) 5 時限	冠架工④ ダウエルピン植立 フォーマー埋没 咬合器装着 (技工所介入)	冠架工義歯の製作模型の操作法を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
22	11月6日(金) 3時限	インプラント① 埋入術式	インプラントの埋入術式を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
23	11月6日(金) 4時限	インプラント① 埋入術式	インプラントの埋入術式を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
24	11月6日(金) 5時限	インプラント① 埋入術式	インプラントの埋入術式を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
25	11月13日(金) 3時限	冠架工⑤ 歯型分割 ネクトロミング ハードナー・スパーサー塗布 ワックスアップ	ワックスアップ前準備を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
26	11月13日(金) 4時限	冠架工⑤ 歯型分割 ネクトロミング ハードナー・スパーサー塗布 ワックスアップ	ワックスアップ前準備を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
27	11月13日(金) 5時限	冠架工⑤ 歯型分割 ネクトロミング ハードナー・スパーサー塗布 ワックスアップ	ワックスアップ前準備を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
28	11月20日(金) 3 時限	冠架工⑥ ワックスアップ	ワックスアップを理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
29	11月20日(金) 4 時限	冠架工⑥ ワックスアップ	ワックスアップを理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
30	11月20日(金) 5 時限	冠架工⑥ ワックスアップ	ワックスアップを理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
31	11月27日(金) 3 時限	冠架工⑦ ワックスアップ	ワックスアップを理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
32	11月27日(金) 4 時限	冠架工⑦ ワックスアップ	ワックスアップを理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
33	11月27日(金) 5 時限	冠架工⑦ ワックスアップ	ワックスアップを理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
34	12月4日(金) 3時限	冠架工⑧ ボンテック設計 開窓 連結	架工義歯の設計を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
35	12月4日(金) 4時限	冠架工⑧ ボンテック設計 開窓 連結	架工義歯の設計を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
36	12月4日(金) 5時限	冠架工⑧ ボンテック設計 開窓 連結	架工義歯の設計を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
37	12月11日(金) 3 時限	インプラント② 印象採得	印象採得を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
38	12月11日(金) 4 時限	インプラント② 印象採得	印象採得を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
39	12月11日(金) 5 時限	インプラント② 印象採得	印象採得を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
40	12月18日(金) 3 時限	冠架工⑨ CAD/CAM 冠形成 加工画像のビデオ上映	CAD/CAM 冠形成を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
41	12月18日(金) 4 時限	冠架工⑨ CAD/CAM 冠形成 加工画像のビデオ上映	CAD/CAM 冠形成を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
42	12月18日(金) 5 時限	冠架工⑨ CAD/CAM 冠形成 加工画像のビデオ上映	CAD/CAM 冠形成を理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
43	12月25日(金) 3 時限	補綴学実習総括	補綴臨床術式について理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
44	12月25日(金) 4 時限	補綴学実習総括	補綴臨床術式について理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武
45	12月25日(金) 5 時限	補綴学実習総括	補綴臨床術式について理解する。	黒岩 昭弘 倉澤 郁文 笠原 隼男 松山 雄喜 富士 岳志 谷内 秀寿 霜野 良介 菅生 秀昭 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 西家 孝 栗田 和弘 緒方 彰 柳田 史城 川上 智子 中村 典正 安東 史子	平井博一郎 鈴木 莊太 吉野 旭宏 篠原 聖武

冠・架工義歯学 (C4040)

第4学年（前期・後期）
講義 必修

【担当者】

教授：倉澤郁文
講師：笠原隼男

【一般目標（GIO）】

歯質および歯の欠損に起因する障害について理解するとともに、クラウンブリッジによる機能回復法ならびにその術後管理に関する知識を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 歯質欠損に対する歯冠補綴の意義を説明できる。
2. 補綴材料と補綴法の種類およびその適応を説明できる。
3. 補綴に必要な前処置の目的と意義を説明できる。
4. 支台築造の意義、種類および特徴を説明できる。
5. 支台歯形成時の歯髄保護の重要性を説明できる。
6. 支台歯形成の意義を説明できる。
7. 暫間補綴物の意義、種類を説明できる。
8. 咬合器の種類と特徴を説明できる。
9. リコールの意義を説明できる。
10. 歯冠補綴、架工義歯補綴の具備要件を説明できる。
11. 架工義歯の種類と特徴を説明できる。
12. 支台装置と架工歯の種類、特徴を説明できる。
13. 架工義歯の設計ができる。
14. 架工義歯製作に必要な材料の種類、特徴を説明できる。
15. インプラントによる補綴治療の意義、術式を説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕矢谷博文・三浦宏之・細川隆司・小川匠編：「クラウンブリッジ補綴学（第5版）」（医歯薬出版）
會田雅啓ほか編：「冠橋義歯補綴学テキスト」（第3版）（永末書店）
〔参考書〕日本補綴歯科学会編：「歯科補綴学専門用語集（第3版）」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

授業は板書、スライド等を用いて行う。また授業中に適宜、質問を行い、授業内容について積極的に授業への参加を促す。Weekly Test では1回の授業につき、5問ほどの確認テストを行う。

【フィードバック方法】

試験実施後、正解率の低い問題に対して講義で解説する。

【評価方法（Evaluation）】

1. 前後期定期試験および Weekly Test の成績で評価する。（定期試験：70%、Weekly Test：30%）
2. 出席状況や授業態度を加味する。

【注意事項】

1. 授業内容の予習、復習を十分に行うこと。
2. 静粛に聴講し、授業日ごとの講義内容を正しく理解し、着実に知識を積み上げること。
3. 基礎実習および臨床実習の基礎的知識として学習、習得に努めること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：事前にシラバスに該当する内容を教科書で確認し、授業の目的を理解しておくこと。(15分)

復 習：講義終了後は講義内容についてノート、教科書、講義資料を復習し、理解できていないところがないか再確認すること。(45分)

【オフィスアワー】

金曜日 16：30～18：00

本館 4 階東棟 歯科補綴学講座医局

電話0263-51-2046で予約のこと。

【授業日程】

冠・架工義歯学					第4学年（前期・後期）	
回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者		
1	5月13日(木) 4時限	クラウンブリッジ補綴学の意義と目的 咬合咀嚼障害とクラウンブリッジ治療	歯質欠損に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。	倉澤 郁文		
2	5月14日(木) 2時限	診察と診断 初診から治療計画の立案まで	診察と診断の意義と内容を説明できる。	倉澤 郁文		
3	5月21日(木) 2時限	治療計画を左右する因子 口腔内因子、全身的因子、社会・心理的因子	治療計画を左右する因子をあげることができる。	倉澤 郁文		
4	5月28日(木) 2時限	クラウンブリッジの要件生物学的要件、機械的要件、力学的要件、審美的要件、材料学的要件	クラウンブリッジの各要件を説明できる。	倉澤 郁文		
5	6月4日(木) 2時限	クラウンの種類全部鋳造冠、陶材焼付鋳造冠、レジン前装鋳造冠、オールセラミッククラウン、一部被覆冠	各種クラウンの臨床的意義と適応症を説明できる。	倉澤 郁文		
6	6月11日(木) 2時限	ブリッジの種類と構成 ブリッジの臨床的意義、適応症、種類、構成	ブリッジの臨床的意義、適応症、種類、構成要素について説明できる。	倉澤 郁文		
7	6月18日(木) 2時限	ブリッジの設計支台歯の選択基準、支台装置の種類、ボンティックの種類と選択基準、連結方法、材料	ブリッジの設計について説明できる。	倉澤 郁文		
8	6月25日(木) 2時限	前処置 予防的処置、外科的処置、保存的処置、矯正の処置、補綴的処置	前処置の意義と種類を説明できる。	倉澤 郁文		
9	7月2日(木) 2時限	支台歯形成 支台歯形成の原則、全部被覆冠の支台歯形成、部分被覆冠の支台歯形成	各種支台歯形成の原則と手順を説明できる。	倉澤 郁文		
10	7月9日(木) 2時限	支台築造 臨床的意義、築造窩洞形成、支台築造法	支台築造の臨床的意義と手順を説明できる。	倉澤 郁文		
11	7月16日(木) 2時限	印象採得 印象材の種類、印象用器材、印象の前準備、印象法、印象採得後の処理	印象材の種類と特徴、印象採得の手順について説明できる。	倉澤 郁文		
12	7月30日(木) 2時限	プロビジョナルレストレーション 臨床的意義、種類と製作法、仮着	プロビジョナルレストレーションの臨床的意義、製作法と仮着について説明できる。	倉澤 郁文		
13	8月20日(木) 2時限	顎間関係の記録（咬合採得） 臨床的意義、フェイスボウトランスファー、チェックバイト	顎間関係記録の臨床的意義、フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明できる。	倉澤 郁文		
14	8月27日(木) 2時限	咬合器の操作、口腔内情報の記録咬合器の種類と選択、咬合器の装着、咬合器の調節、色調の選択と伝達、技工指示書	咬合器の分類、使用法を説明できる、色調に対する概念、技工指示書の臨床的意義を説明できる。	倉澤 郁文		
15	9月3日(木) 2時限	下顎運動と下顎位 下顎の基本運動、限界運動、下顎位、咬合	下顎の基本運動、限界運動、下顎位、咬合を説明できる。	倉澤 郁文		
16	9月17日(木) 1時限	クラウンブリッジ診療の流れ クラウンブリッジの診療室と技工室で行う診療ステップ	クラウンブリッジ装着までのステップを説明できる。	笠原 隼男		

回数	授業日時 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
17	10月1日(木) 1時限	作業模型の製作 作業模型の構成と要件、模型材の種類、作業模型の種類、菌型の調整	作業模型の要件を列挙できる。模型材の種類、作業模型の種類を説明できる。	笠原 隼男
18	10月8日(木) 1時限	蠟型形成 蠟型の要件、ワックスの種類と特性、蠟型形成、FGP テクニック	蠟型の要件、ワックスの種類と特性、蠟型の種類を説明できる。	笠原 隼男
19	10月15日(木) 1時限	埋没・鋳造・熱処理・研磨 埋没材の種類、埋没法、鋳造用金属	埋没法と鋳造法の種類と手順、鋳造用金属の種類と特性を説明できる。	笠原 隼男
20	10月22日(木) 1時限	連結法 固定性連結、可動性連結、可撤性連結	連結法の種類と臨床的意義、ろう着法の原則と手順を説明できる。	倉澤 郁文
21	10月29日(木) 1時限	陶材焼付鋳造冠 臨床的意義、適応症と禁忌症、陶材と金属の結合、製作法	陶材焼付鋳造冠の適応症、陶材と金属の結合、製作法を説明できる。	笠原 隼男
22	11月5日(木) 1時限	レジン前装鋳造冠 臨床的意義、適応症、レジンと金属の結合、製作法	レジン前装鋳造冠の適応症、レジンと金属の結合、製作法を説明できる。	笠原 隼男
23	11月12日(木) 1時限	オールセラミック修復、接着ブリッジ 臨床的意義、適応症と禁忌症、製作法	オールセラミック修復と接着ブリッジの適応症、製作法を説明できる。	倉澤 郁文
24	11月19日(木) 1時限	オールセラミック修復、接着ブリッジ 臨床的意義、適応症と禁忌症、製作法	オールセラミック修復と接着ブリッジの適応症、製作法を説明できる。	倉澤 郁文
25	11月26日(木) 1時限	口腔内試適と装着	試適時の調整手順、仮着の意義、セメントの種類と合着の手順を説明できる。	倉澤 郁文
26	12月3日(木) 1時限	術後管理、装着後に発生する問題とその対応 ホームケアとブラークコントロール、リコール、支台装置・支台菌・菌周組織の問題点	術後管理の重要性、補綴物装着後に発生する問題点の原因、解決法を説明できる。	笠原 隼男
27	12月10日(木) 1時限	冠・架工義歯による治療過程	冠・架工義歯の症例に応じた治療の流れを説明できる。	倉澤 郁文
28	12月17日(木) 1時限	冠・架工義歯による治療過程	冠・架工義歯の症例に応じた治療の流れを説明できる。	倉澤 郁文
29	12月24日(木) 1時限	歯周組織とクラウンブリッジ 歯周組織に配慮したクラウンブリッジ	歯周組織に配慮したクラウンブリッジについて説明できる。	笠原 隼男
30	1月7日(木) 1時限	顎機能障害とクラウンブリッジ 定義、病態と病因、検査と診断、治療法	顎機能障害の病態と診断、検査法、治療法を説明できる。	倉澤 郁文

保存修復学実習 (C4060)

第4学年（前期）
実習 必修

【担当者】

教授：亀山敦史、山本昭夫、安西正明

准教授：森啓

助 教：小町谷美帆、尾崎友輝、中村 卓、小松佐保、内川竜太郎、石岡康明

助 手：佐故竜介、三好弥恵、中村圭吾、宮國 茜、岩崎拓也、奥瀬稔之、田井康寛、朝倉莉紗、水谷隆一、
上原龍一、原 美音

特任教授：笠原悦男

非常勤講師：石井敏裕、斎藤俊樹、鈴木健雄、竹内博文、酒井基裕、内山真紀子、小林敏郷、春山亜貴子、英保裕和、
小峯明子、松澤千恵

【一般目標（GIO）】

歯の硬組織疾患の病因や病態、ならびにそれらの疾患に対する診察、検査、診断、治療および術後の口腔健康管理を理解し、その手法を身につけるために、必要な基本的知識、技能および態度を修得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 必要な診察・検査項目を説明し、診察・検査を実施できる。
2. 診察・検査結果をもとに診断できる。
3. 診断結果をもとに治療計画を立案できる。
4. 齲蝕治療について説明し、実施できる。
5. 修復に用いる器材を列挙し、準備できる。
6. 簡単な保存修復処置をマネキン上で実施できる。
7. 安全性や患者の不快感、清潔に配慮できる。
8. 修復処置の予後を推測できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕保存修復学実習マニュアル（歯科保存学講座）

千田彰・寺下正道・寺中敏夫・宮崎真至編：「保存修復学（第6版）」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

- ・受動的方法：講義
- ・能動的方法：トレーニング、ロールプレイ
- ・媒体：スライド、プリント、コンピューター画像、マネキン、顎模型など

【フィードバック方法】

Weekly Test については原則として翌週の講義で解説を行う。

【評価方法（Evaluation）】

- 1) プレテスト・ポストテスト（形成的評価）
講義内容、実習内容の理解度について穴埋め式試験で毎回評価する。
- 2) Weekly Test（形成的評価・総括的評価）：30%
前回の実習内容の理解度について多肢選択式試験で毎回評価する。
- 3) 実技による製作物（総括的評価）：10%
実習製作物（形成窩洞、修復物および技工物）から実習内容の習得度を評価する。
- 4) 実技試験（総括的評価）：30%
実習内容の習得度について態度・技能を評価する。
- 5) 客観試験（総括的評価）：30%
実習内容の理解度を多肢選択式試験で評価する。

【注意事項】

1. ネームプレートを付けた白衣を着用し、必要な器材をそろえて決められた時間に所定の場所に集合すること。
2. 学生証は必ず持参し、出席確認時には速やかに提示すること。
3. 白衣は清潔なものを着用すること。サンダル、ハイヒール等は不可とする。
4. 時間は厳守すること。欠席や遅刻は認めない。集合時間に指定の場所に着席していない場合は欠席とみなす。
5. 実習時間中は必要な器材の他に、保存修復学の教科書および本マニュアルを必ず持参すること。
6. 実習はマニュアルに記載された手順やチェックリストを確認しながら行い、ステップごとに検印を受けること。
7. 紛失の原因となるため、学生間での器材の貸し借りは原則として行わないこと。
8. 理解できない内容についてはインストラクターに随時相談し、疑問点を残さないようにすること。
9. 実習室から出て、売店等へ行く場合にはインストラクターステーションに申し出ること。
10. 実習中はマスクを装着すること。
11. マネキン実習の際はゴーグルおよびグローブを装着すること。
12. 実習で使用するマネキンは、実際の歯科臨床における患者を想定し、取り扱うこと。
13. 各種ゴミは分別の上で所定の場所に捨てること。
14. 実習終了後は実習机や使用器材等の片付け、清掃を行い、インストラクターの確認後は検印を受けること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：各回の実習項目について事前に実習マニュアルと教科書を一読する。(30分)

復 習：実習で行った内容、手順、使用した材料や器具について、実習マニュアルや教科書を用いて再確認する。(30分)

【オフィスアワー】

原則として火曜日（実習日） 実習終了後
実習館101実習室

【授業日程】

保存修復学実習					
第4学年（前期）					
回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	補助者
1	5月12日(火) 3時限	【講義】 ・診療環境・設備 ・スタンダードプリコーション ・診療補助 ・診療姿勢 ・ハンドピースの把持・フィンガーレスト 【実習】 ・オリエンテーション ・実習器材の確認 ・齲蝕好発部位の設定と確認 ・プレパレーションプレート実習	1. 医療人として適切な身だしなみに配慮できる。(態度) 2. 各歯種の解剖学的特徴と各部の名称を説明できる。(想起) 3. FDI式のTwo-digitシステムの呼称を用いて各歯種を分別できる。(想起) 4. 齲蝕の好発部位を列挙し説明できる。(想起) 5. 齲蝕の好発部位を図示できる。(解釈)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎 斎藤 俊樹 春山亜貴子	奥瀬 稔之 中村 圭吾 朝倉 莉紗
2	5月12日(火) 4時限		6. 歯科用ユニット各部の名称と機能を説明できる。(想起) 7. 実習で使用する器材の目的と使用方法を説明できる。(想起) 8. 器具の把持法を列挙できる。(想起) 9. 器具使用時の手指固定について説明できる。(想起)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎 斎藤 俊樹 春山亜貴子	奥瀬 稔之 中村 圭吾 朝倉 莉紗
3	5月12日(火) 5時限		10. 診療設備を適切に使用できる。(技能：模倣) 11. 適切な診療姿勢を実践できる。(技能：模倣) 12. 器具を適切に把持できる。(技能：模倣) 13. フィンガーレストを確保できる。(技能：模倣) 14. 指示された形にエナメル質を開拓できる。(技能：模倣) 15. 適切な深さでエナメル質を開拓できる。(技能：コントロール)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎 斎藤 俊樹 春山亜貴子	奥瀬 稔之 中村 圭吾 朝倉 莉紗
4	5月19日(火) 3時限	ミラーテクニックによるエアタービンを用いた切削の練習 ・16番歯 十字模型 齲蝕象牙質の除去 ・齲蝕検知液可染人工歯	1. 4-hand techniqueの意義を説明できる。(知識：想起) 2. 歯科診療補助におけるバキューム（サクション）の役割を説明できる。(知識：想起) 3. バキュームの各部位の名称を説明できる。(知識：想起) 4. バキュームの挿入位置を説明できる。(知識：想起) 5. バキュームの挿入禁忌部位を列挙できる。(知識：想起) 6. 口腔内の各部位におけるバキュームの挿入法を説明できる。(知識：想起) 7. インstrumentの口腔内への挿入順序を説明できる。(知識：想起) 8. バキュームを適切に挿入できる。(技能：模倣) 9. ミラーテクニックを実践できる。(技能：模倣) 10. 高速切削時の注意事項を列挙できる。(知識：想起) 11. 患者や周囲への安全性に配慮できる。(態度) 12. 患者の不快感や痛み に配慮できる。(態度)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎 宮國 茜 石井 敏裕 小峯 明子 松澤 千恵	奥瀬 稔之 朝倉 莉紗 原 美音

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
5	5月19日(火) 4時限		13. 指示された形と深さに切削できる。(技能) 14. 診療に適した姿勢を説明できる。(想起) 15. 診療姿勢に配慮できる。(態度) 16. 適切な診療姿勢をマネキン上で実践できる。(技能：模倣)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太朗 宮國 茜 石井 敏裕 小峯 明子 松澤 千恵	奥瀬 稔之 朝倉 莉紗 原 美音
6	5月19日(火) 5時限			亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太朗 宮國 茜 石井 敏裕 小峯 明子 松澤 千恵	奥瀬 稔之 朝倉 莉紗 原 美音
7	5月26日(火) 3時限	前歯へのコンポジットレジン修復 ・11番歯 5級 ・ラバーダムによる術野隔離法(単独 歯露出) ・サービカルマトリックスの使用法 (デモ)	1. 模型に設定された歯の硬組織疾患の臨床症状を推測できる。(知識：解釈) 2. 模型に設定された歯の硬組織疾患の診察・検査法を列挙できる。(知識：想起) 3. 模型に設定された歯の硬組織疾患を診断できる。(知識：解釈) 4. 模型に設定された歯の硬組織疾患に対する治療法を列挙し、それらの特徴を説明できる。(知識：問題解決) 5. ミニマルインターベンションデンティストリーの概念に配慮できる。(態度) 6. 5級コンポジットレジン修復で具備すべき窩洞形態を説明できる。(知識：問題解決) 7. 5級コンポジットレジン修復に必要な器材を列挙し、組成と使用法を説明できる。(知識：想起) 8. 5級コンポジットレジン修復に必要な器材を準備し、使用できる。(技能：コントロール) 9. 5級コンポジットレジン修復の手順を説明できる。(想起) 10. これから行うことを患者(マネキン)に伝達できる。(態度) 11. 模型上で修復前処置(隔壁・ラバーダム)を実施できる。(技能：模倣) 12. 模型上で齲蝕を除去し、窩洞を形成できる。(技能：コントロール) 13. 窩洞を接着処理できる。(知識：想起、技能：模倣)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太朗 笠原 悦男 斎藤 俊樹 鈴木 健雄	奥瀬 稔之 岩崎 拓也 水谷 隆一

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
8	5月26日(火) 4時限		14. 5級コンポジットレジン修復を 実践できる。(技能：模倣、コ ントロール) 15. 術者の診療に合わせて補助で きる。(態度) 16. 術者・介補者を通して他の学生 の修復手順の不備を指摘でき る。(知識：解釈) 17. 形成後の窩洞および修復後の 模型の不備を指摘できる。(知 識：解釈)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎 笠原 悦男 斎藤 俊樹 鈴木 健雄	奥瀬 稔之 岩崎 拓也 水谷 隆一
9	5月26日(火) 5時限		18. 充填・重合状態を確認できる。 (態度) 19. 患者の不快感や痛みに配慮でき る。(態度) 20. 清潔と安全性に配慮できる。 (態度) 21. 診療姿勢とポジショニングに配 慮できる。(態度) 22. 修復の予後を推測できる。(知 識：解釈)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎 笠原 悦男 斎藤 俊樹 鈴木 健雄	奥瀬 稔之 岩崎 拓也 水谷 隆一
10	6月2日(火) 3時限	前歯へのコンポジットレジン修復 ・21番歯 3級 ・ラバーダムによる術野隔離法 (#14～ #24までの8歯連続露出)	1. 3級コンポジットレジン修復で 具備すべき窩洞形態を説明でき る。(知識：問題解決) 2. 3級コンポジットレジン修復の 手順を説明できる。(想起) 3. 3級コンポジットレジン修復に 必要な器材を列挙し、使用法を 説明できる。(想起) 4. 3級コンポジットレジン修復に 用いる器材を準備できる。(知 識：問題解決)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 中村 卓 小松 佐保 内川竜太郎 鈴木 健雄 英保 裕和	奥瀬 稔之 三好 弥恵 岩崎 拓也
11	6月2日(火) 4時限		5. 3級コンポジットレジン修復に 用いる器材を適切に使用でき る。(模倣) 6. 模型上で3級コンポジットレジ ン修復にあわせて前準備でき る。(技能：模倣・コントロール) 7. 隣在歯や周囲組織の保護に配慮 できる。(態度) 8. 3級コンポジットレジン修復窩 洞を形成できる。(技能：コン トロール)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 中村 卓 小松 佐保 内川竜太郎 鈴木 健雄 英保 裕和	奥瀬 稔之 三好 弥恵 岩崎 拓也
12	6月2日(火) 5時限		9. 3級コンポジットレジン修復 を実践できる。(技能：コン トロール)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 中村 卓 小松 佐保 内川竜太郎 鈴木 健雄 英保 裕和	奥瀬 稔之 三好 弥恵 岩崎 拓也
13	6月9日(火) 3時限	白歯へのコンポジットレジン修復 ・ラバーダムによる術野隔離法 (#34～ #37の4歯連続露出) ・35番歯 1級 ・36番歯 2級	1. 白歯部1級コンポジットレジン 修復の手順を説明できる。(想 起) 2. 白歯部2級コンポジットレジン 修復の手順を説明できる。(想 起) 3. 白歯部コンポジットレジン修復 に必要な器材を列挙し、使用法 を説明できる。(想起)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 尾崎 友輝 小松 佐保 内川竜太郎 斎藤 俊樹 竹内 博文	奥瀬 稔之 田井 康寛 朝倉 莉紗

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
14	6月9日火 4時限		4. 臼歯部コンポジットレジン修復に用いる器材を適切に使用できる。(模倣) 5. 模型に設定された歯の硬組織疾患の修復に具備すべき窩洞形態を説明できる。(想起) 6. これから行うことを患者(マネキン)に伝達できる。(技能:模倣) 7. 模型上で修復前準備を行うことができる。(技能:模倣) 8. 模型上で齲蝕を除去できる。(技能:模倣) 9. 模型上でコンポジットレジン修復窩洞を形成できる。(技能:模倣)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 尾崎 友輝 小松 佐保 内川竜太朗 斎藤 俊樹 竹内 博文	奥瀬 稔之 瀬田 康寛 田井 莉紗 朝倉
15	6月9日火 5時限		10. 模型上に形成した窩洞に接着処理できる。(技能:模倣) 11. 臼歯部コンポジットレジン修復を実践できる。(技能:模倣・コントロール) 12. 充填・重合状態を確認できる。(態度) 13. 術者の診療に合わせて補助できる。(態度) 14. 術者・介補者を通して他の学生の修復手順の不備を指摘できる。(知識:解釈) 15. 形成後の窩洞および修復後の模型の不備を指摘できる。(知識:解釈) 16. 患者の不快感や痛みに配慮できる。(態度) 17. 清潔と安全性に配慮できる。(態度) 18. 診療姿勢とポジショニングに配慮できる。(態度) 19. 修復の予後を推測できる。(知識:解釈)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 尾崎 友輝 小松 佐保 内川竜太朗 斎藤 俊樹 竹内 博文	奥瀬 稔之 瀬田 康寛 田井 莉紗 朝倉
16	6月16日火 3時限	前歯へのコンポジットレジン修復 ・13番歯 くさび状欠損窩洞 ・ストレートベベルの付与 ・歯肉排除 ・サービカルフェンスの装着(デモ) 1級、2級、3級、5級コンポジットレジン修復(最終研磨) 口腔内状態の検査と記録	1. くさび状欠損窩洞に対するコンポジットレジン修復の手順を説明できる。(想起) 2. くさび状欠損へのコンポジットレジン修復に必要な器材を列挙し、使用法を説明できる。(想起) 3. コンポジットレジン修復に用いる器材を適切に使用できる。(模倣) 4. 模型に設定されたくさび状欠損の修復に具備すべき窩洞形態を説明できる。(想起) 5. これから行うことを患者(マネキン)に伝達できる。(技能:模倣) 6. 修復に必要な前準備を模型上で行うことができる。(技能:模倣) 7. 模型上で窩洞を形成できる。(技能:模倣)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太朗 宮國 西 竹内 博文 小峯 明子 松澤 千恵	奥瀬 稔之 瀬田 圭吾 中村 美音 原

回数	授業日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
17	6月16日(火) 4時限		8. 模型上に形成した窩洞に接着処理できる。(技能：模倣) 9. コンポジットレ진을 填塞できる。(技能：模倣) 10. 充填・重合状態を確認できる。(解釈) 11. 修復の予後を推測できる。(解釈) 12. 填塞後のコンポジットレ진을 研磨できる。(技能) 13. 口腔内状態を確認できる。(解釈)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎 宮國 茜 竹内 博文 小峯 明子 松澤 千恵	奥瀬 稔之 中村 圭吾 原 美音
18	6月16日(火) 5時限		14. 口腔内状態を診療録に記録できる。(技能) 15. 患者の痛み・不快感に配慮できる。(態度) 16. 清潔と安全性に配慮できる。(態度)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎 宮國 茜 竹内 博文 小峯 明子 松澤 千恵	奥瀬 稔之 中村 圭吾 原 美音
19	6月23日(火) 3時限	齲蝕好発部位の設定と確認 (臼歯) 基本的窩洞形態の形成 (エポキシ模型) ・46番歯 2級メタルインレー修復窩洞 (MO ボックス) ・46番歯 2級メタルインレー修復窩洞 (MO スライスカット) メタルインレー修復 ・46番歯 隣接面を含む齲蝕に対する窩洞形成 (MO スライスカット窩洞) (A26A-46N) ・裏層 (グラスアイオノマーセメント)	1. 齲蝕好発部位を図示できる。(解釈) 2. 接着性修復窩洞と非接着性修復窩洞の特徴を比較できる。(想起) 3. 修復材料の理工学的性質と齲蝕好発部位を考慮した窩洞形態を設計できる。(問題解決) 4. 各種インレー修復窩洞の特徴を説明できる。(想起) 5. 模型上で齲蝕を除去できる。(技能：模倣)	亀山 敦史 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎 宮國 茜 笠原 悦男 斎藤 俊樹 酒井 基裕	奥瀬 稔之 原 美音
20	6月23日(火) 4時限		6. 齲蝕除去後の状態に応じて象牙質・歯髄複合体を保護できる。(技能・コントロール) 7. 模型上でメタルインレー修復窩洞を形成できる。(技能：模倣) 8. 患者の痛み・不快感に配慮できる。(態度) 9. 清潔と安全性に配慮できる。(態度)	亀山 敦史 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎 宮國 茜 笠原 悦男 斎藤 俊樹 酒井 基裕	奥瀬 稔之 原 美音
21	6月23日(火) 5時限		10. 形成後の窩洞の不備を指摘し、説明できる。(解釈)	亀山 敦史 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎 宮國 茜 笠原 悦男 斎藤 俊樹 酒井 基裕	奥瀬 稔之 原 美音

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
22	6月30日(火) 3時限	メタルインレー修復 ・印象採得 ・咬合採得 ・形成窩洞の仮封 ・作業模型の製作 ・技工指示書の作成 ・咬合器付着	1. メタルインレー修復における印象採得の術式と使用できる材料を列挙し、説明できる。(想起) 2. メタルインレー修復における印象採得を顎模型上で実践できる。(技能：模倣) 3. 咬合採得を顎模型上で実践できる。(技能：模倣) 4. 形成窩洞に仮封できる。(技能：模倣) 5. 患者の痛み・不快感に配慮できる。(態度)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎 笠原 悦男 酒井 基裕 英保 裕和	奥瀬 稔之 岩崎 拓也 朝倉 莉紗
23	6月30日(火) 4時限		6. 清潔と安全性に配慮できる。(態度) 7. 技工指示書を作成できる。(技能・模倣) 8. メタルインレー修復における技工操作の手順とその目的を説明できる。(想起) 9. メタルインレー修復における技工操作を実践できる。(技能：模倣)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎 笠原 悦男 酒井 基裕 英保 裕和	奥瀬 稔之 岩崎 拓也 朝倉 莉紗
24	6月30日(火) 5時限			亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎 笠原 悦男 酒井 基裕 英保 裕和	奥瀬 稔之 岩崎 拓也 朝倉 莉紗
25	7月7日(火) 3時限	メタルインレー修復 ・ワックスパターンの調製 ・埋没 ・鑄造 (デモ・動画)	1. ワックスパターン上で歯の解剖学的・機能的形態を付与できる。(技能：模倣) 2. 埋没材の種類と所要性質を説明できる。(想起) 3. 埋没操作を実践できる。(技能：模倣) 4. 鑄造法を説明できる。(想起) 5. 鑄造収縮とその補償法を説明できる。(想起) 6. 鑄造欠陥の成因とその対策を列挙し説明できる。(想起)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎 石岡 康明 斎藤 俊樹 内山真紀子	奥瀬 稔之 三好 弥恵 田井 康寛
26	7月7日(火) 4時限			亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎 石岡 康明 斎藤 俊樹 内山真紀子	奥瀬 稔之 三好 弥恵 田井 康寛

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
27	7月7日(火) 5時限			亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎 石岡 康明 斎藤 俊樹 内山真紀子	奥瀬 稔之 三好 弥恵 田井 康寛
28	7月14日(火) 3時限	メタルインレー修復 ・インレーの試適・調整 ・インレーの装着	1. メタルインレー修復における合着・接着のメカニズムを説明できる。(知識：想起) 2. 被着面処理法を説明できる。(知識：想起) 3. メタルインレー修復に用いる合着材・接着材の所要性質を説明できる。(知識：想起) 4. インレー合着時の流れを説明できる。(知識：想起) 5. インレー窩洞の仮封を除去できる。(技能：模倣)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎 内山真紀子 小峯 明子 松澤 千恵	奥瀬 稔之 佐故 竜介 水谷 隆一
29	7月14日(火) 4時限		6. メタルインレーを試適し、調整できる。(技能：模倣) 7. メタルインレーを研磨できる。(技能：模倣) 8. インレー合着時における誤飲・誤嚥の防止に配慮できる。(態度) 9. インレー体を窩洞に合着できる。(技能：模倣)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎 内山真紀子 小峯 明子 松澤 千恵	奥瀬 稔之 佐故 竜介 水谷 隆一
30	7月14日(火) 5時限			亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎 内山真紀子 小峯 明子 松澤 千恵	奥瀬 稔之 佐故 竜介 水谷 隆一

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
31	7月21日(火) 3時限	コンポジットレジンインレー修復 基本的窩洞形態の形成 (エポキシ模型) ・46番歯 2級コンポジットレジンインレー修復窩洞 (MO) コンポジットレジンインレー修復 ・46番歯 隣接面を含む齲蝕に対する窩洞形成 (MO 窩洞) ・裏層 (コンポジットレジン) ・レジンコーティング ・仮封 (水硬性仮封材)	1. コンポジットレジンインレー修復窩洞の特徴を説明できる。(想起) 2. 修復材料の理工学的性質や齲蝕好発部位、齲蝕罹患部位を考慮した窩洞形態を設計できる。(問題解決) 3. 模型上でコンポジットレジンインレー修復窩洞を形成できる。(技能：模倣) 4. 模型上で齲蝕を除去できる。(技能：模倣)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎 笠原 悦男 斎藤 俊樹 小林 敏郷	奥瀬 稔之 中村 圭吾
32	7月21日(火) 4時限		5. 齲蝕除去後の状態に応じて象牙質・歯髄複合体を保護できる。(技能・コントロール) 6. 模型上で窩洞を形成できる。(技能：模倣) 7. 患者の痛み・不快感に配慮できる。(態度) 8. 清潔と安全性に配慮できる。(態度)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎 笠原 悦男 斎藤 俊樹 小林 敏郷	奥瀬 稔之 中村 圭吾
33	7月21日(火) 5時限			亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎 笠原 悦男 斎藤 俊樹 小林 敏郷	奥瀬 稔之 中村 圭吾
34	7月28日(火) 3時限	コンポジットレジンインレー修復 ・インレーの装着 ※ラバーダム防湿下 (#44～#47連続露出) グラスアイオノマーセメント修復 (レジン添加型) ・21番歯根面齲蝕への修復 (歯肉排除、簡易防湿) ・カプセル型グラスアイオノマーセメントの練和 (デモ) ・従来型グラスアイオノマーセメント修復 (デモ・動画)	1. コンポジットインレー修復における接着メカニズムを説明できる。(知識：想起) 2. コンポジットレジンインレー装着に必要な被着面処理法を説明できる。(知識：想起) 3. コンポジットレジンインレー修復に用いる接着材の所要性質を説明できる。(知識：想起) 4. コンポジットレジンインレー装着時の流れを説明できる。(知識：想起) 5. コンポジットレジンインレー窩洞の仮封を除去できる。(技能：模倣) 6. コンポジットレジンインレーを試適し、調整できる。(技能：模倣) 8. コンポジットレジンインレーを研磨できる。(技能：模倣) 9. コンポジットレジンインレー装着時における誤飲・誤嚥の防止に配慮できる。(態度) 10. 被着面処理を実践できる。(技能：模倣) 11. インレー体を窩洞に装着できる。(技能：模倣) 12. グラスアイオノマーセメントと歯質への接着機構を説明できる。(想起)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 中村 卓 小松 佐保 内川竜太郎 宮國 西 小林 敏郷 英保 裕和	奥瀬 稔之

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
35	7月28日(火) 4時限		13. グラスアイオノマーセメント修復窩洞の特徴を説明できる。(想起) 14. 模型に設定された歯の硬組織疾患の病態を説明できる。(解釈) 15. 模型に設定された歯の硬組織疾患の臨床症状を推測できる。(解釈) 16. 模型に設定された歯の硬組織疾患に対する治療法を列挙し、それぞれの特徴を説明できる。(想起)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 中村 卓 小松 佐保 内川竜太郎 宮國 茜 小林 敏郷 英保 裕和	奥瀬 稔之
36	7月28日(火) 5時限		17. 模型に設定された歯の硬組織疾患の修復に具備すべき窩洞形態を説明できる。(想起) 18. 模型上で窩洞を形成できる(技能：模倣) 19. 修復に必要な器材を列挙し、使用法を説明できる。(想起) 20. 模型上で修復前準備(歯肉排除法、隔壁法)を実践できる。(技能：模倣) 21. 窩洞に対して接着処理を実践できる。(技能：模倣) 22. グラスアイオノマーセメントを練和できる。(技能：模倣) 23. グラスアイオノマーセメント修復を顎模型上で実践できる。(技能：模倣) 24. 患者の痛み・不快感に配慮できる。(態度) 25. 清潔と安全性に配慮できる。(態度) 26. コンポジットレジンインレーの装着時の術式と使用する器材を説明できる。(想起)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 中村 卓 小松 佐保 内川竜太郎 宮國 茜 小林 敏郷 英保 裕和	奥瀬 稔之
37	8月18日(火) 3時限	コンポジットレジン修復 コンポジットレジンによる補修修復 ・ラバーダムによる術野隔離法 (#14～#24) ・11番歯 4級コンポジットレジン修復 ・21番歯 コンポジットレジン修復周囲に発生した辺縁性二次齲蝕への補修修復	1. 4級コンポジットレジン修復の手順を説明できる。(想起) 2. 補修修復の手順を説明できる。(想起) 3. 4級コンポジットレジン修復に必要な器材を列挙し、使用法を説明できる。(想起) 4. 模型に設定された歯の硬組織疾患の修復に具備すべき窩洞形態を説明できる。(想起) 5. これから行うことを患者(マネキン)に伝達できる。(技能：模倣) 6. 模型上で修復前準備を行うことができる。(技能：模倣) 7. 4級コンポジットレジン修復を正しい手順で実践できる。(技能：模倣) 8. 補修修復を正しい手順で実践できる。(技能：模倣) 9. 患者の痛み・不快感に配慮できる。(態度) 10. 清潔と安全性に配慮できる。(態度)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 小町谷美帆 尾崎 友輝 小松 佐保 内川竜太郎 笠原 悦男 石井 敏裕	奥瀬 稔之 岩崎 拓也

回数	授業日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
38	8月18日(火) 4時限			亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 小町谷美帆 尾崎 友輝 小松 佐保 内川竜太郎 笠原 悦男 石井 敏裕	奥瀬 稔之 岩崎 拓也
39	8月18日(火) 5時限			亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 小町谷美帆 尾崎 友輝 小松 佐保 内川竜太郎 笠原 悦男 石井 敏裕	奥瀬 稔之 岩崎 拓也
40	8月25日(火) 3時限	【講義】 ・共用試験歯学系 OSCE について 【実習】 ロールプレイ 臨床実地問題演習 (グループ学習)	1. 共用試験歯学系 OSCE の目的を説明できる。(想起) 2. 共用試験歯学系 OSCE の保存修復系課題における学習目標を説明できる。(想起) 3. マネキンでの模擬体験を通じて臨床の流れや各ステップの留意点などを確認できる。(想起) 4. 他の学生が行った模擬実演の良かった点、不備な点をそれぞれ列挙し、指摘できる(解釈) 5. 他の学生が行った模擬実演の不備に対し、改善案を提示できる。(問題解決) 6. 改善案をもとに、正しい術式で模擬実演できる。(技能：コントロール)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎 宮國 茜 斎藤 俊樹 春山亜貴子 小峯 明子 松澤 千恵	佐故 竜介 三好 弥恵 中村 圭吾 岩崎 拓也 奥瀬 稔之 田井 康寛 朝倉 莉紗 水谷 隆一
41	8月25日(火) 4時限			亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎 宮國 茜 斎藤 俊樹 春山亜貴子 小峯 明子 松澤 千恵	佐故 竜介 三好 弥恵 中村 圭吾 岩崎 拓也 奥瀬 稔之 田井 康寛 朝倉 莉紗 水谷 隆一
42	8月25日(火) 5時限			亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 森 啓 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎 宮國 茜 斎藤 俊樹 春山亜貴子 小峯 明子 松澤 千恵	佐故 竜介 三好 弥恵 中村 圭吾 岩崎 拓也 奥瀬 稔之 田井 康寛 朝倉 莉紗 水谷 隆一

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
43	9月1日(火) 3時限	グラスアイオノマーセメント修復 ・最終研磨 コンポジットレジン修復 ・11番歯 4級修復の最終研磨 ・21番歯 補修修復の最終研磨 ・13番歯 くさび状欠損への修復の最終研磨 ※残った時間で OSCE の修復系4課題について、自由練習 ・ロールプレイの概要説明 ・ペーパー試験、実習試験の概要説明	1. 修復物の研磨の目的を説明できる。(想起) 2. 修復物の研磨手順を説明できる。(想起) 3. 修復物の研磨を実践できる。(技能：模倣)	亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎 石岡 康明 笠原 悦男 英保 裕和	奥瀬 稔之
44	9月1日(火) 4時限			亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎 石岡 康明 笠原 悦男 英保 裕和	奥瀬 稔之
45	9月1日(火) 5時限			亀山 敦史 山本 昭夫 安西 正明 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎 石岡 康明 笠原 悦男 英保 裕和	奥瀬 稔之

小児歯科学 (C4065)

第4学年（前期）
講義 必修

【担当者】

教授：大須賀直人
准教授：正村正仁、中村浩志
非常勤講師：西川康博

【一般目標（GIO）】

小児期から成人に至る口腔機能を理解する。
健康を維持・増進することを目的に全身ならびに口腔領域の正常な成長・発育を理解する。
口腔領域に発生する疾患や異常について成長発育を考慮した予防法、治療法を理解する。
口腔領域に発生する疾患や異常について成長発育を考慮した健康管理を理解、修得する。

【行動目標（SBOs）】

小児患者の歯科的对応を理解する。
小児の歯冠修復について理解する。
小児の歯内療法について理解する。
咬合誘導の意義と目的について理解する。
咬合誘導装置の種類と適応について理解する。
小児の外科処置について理解する。
小児外傷について理解する。
スポーツによる歯・口腔の外傷の予防について理解する。
小児疾患と歯科治療の留意点について理解する。

【教科書・参考書】

【教科書】大須賀 直人他：「小児の口腔科学（第5版）」（学建書院）
大須賀 直人他：「小児歯科学基礎・臨床実習（第2版）」（医歯薬出版）
【参考書】大須賀 直人他：「歯科医のための小児科学入門」（MDU 出版会）
大須賀 直人他：「小児歯科学（第4版）」（医歯薬出版）
大須賀 直人他：「乳歯列における外傷歯の診断と治療（第2版）」（クイッテセンス出版）
大須賀 直人他：「乳幼児の口と歯の健診ガイド」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

各授業にて教科書を用いて基本的知識の修得をはかるとともに必要に応じて黒板に板書する。また、スライドや映像を併用し、視覚的、触覚的知識の獲得を行う。なお、講義時間中に必要に応じてテストを行い講義修得度を確認することもある。

【フィードバック方法】

配布資料、教科書、ノートを確認してフィードバックする。

【評価方法（Evaluation）】

定期試験と Weekly Test の結果に、出欠席を加味し、評価する。
Weekly Test（30%）、定期試験（70%）とする。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

60分
予習：シラバスを確認して事前に講義内容について予習を行うこと。（15分）

復 習：配付された資料や教科書を復習し知識をまとめること。(45分)

【オフィスアワー】

月曜日 17:00～18:00 本館2階東棟 小児歯科学講座医局 E-mail: info_ped@mdu.ac.jp で予約をすれば、他の時間でも可能

【授業日程】

小児歯科学					第4学年（前期）
回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	
1	5月11日(月) 3時限	小児患者の診療方針 1. 小児患者への歯科的対応	小児の歯科的対応に必要な心理について理解する。	中村 浩志	
2	5月18日(月) 3時限	小児の歯冠修復 1. 乳歯の歯冠修復 2. 幼若永久歯の歯冠修復	乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的について理解する。 乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の診察と診断について理解する。 乳歯と幼若永久歯の歯冠修復法について理解する。 乳歯の形成時における留意点を理解する。	大須賀直人	
3	5月25日(月) 3時限	小児の歯内療法(1) 1. 乳歯の歯内療法	乳歯の歯内療法について理解する。 乳歯の歯髄炎の処置法を理解する。 乳歯の根尖性歯周炎の処置法を理解する。 乳歯の歯髄炎の感染根管治療について理解する。	正村 正仁	
4	6月1日(月) 3時限	小児の歯内療法(2) 1. 幼若永久歯の歯内療法	幼若永久歯の歯内療法について理解する。 幼若永久歯の歯髄炎の処置法を理解する。 幼若永久歯の根尖性歯周炎の処置法を理解する。 幼若永久歯の歯髄炎の感染根管治療について理解する。	正村 正仁	
5	6月8日(月) 3時限	咬合誘導(1) 1. 咬合誘導概論 2. 歯列・咬合の診察と分析法 3. 歯列・咬合を乱す異常	咬合誘導の意義と目的について理解する。 歯列・咬合の診察と分析法について理解する。 歯列・咬合を乱す異常について理解する。	大須賀直人	
6	6月15日(月) 3時限	咬合誘導(2) 1. 保険装置の種類と適応症 2. 動的な咬合誘導 3. 乳歯列期の咬合誘導	保険装置の種類と適応症について理解する。 動的な咬合誘導について理解する。 乳歯列期の咬合誘導について理解する。	大須賀直人	
7	6月22日(月) 3時限	咬合誘導(3) 1. 混合歯列期の咬合誘導 2. 外科的誘導法 3. 口腔習癖	混合歯列期の咬合誘導について理解する。 外科的誘導法について理解する。 口腔習癖について理解する。	大須賀直人	
8	6月29日(月) 3時限	小児の外科処置(1) 1. 乳歯抜去の適応症、禁忌症 2. 局所麻酔法 3. 拔牙の術式 4. 後処置と留意点	乳歯抜去の適応症、禁忌症について理解する。 局所麻酔法について理解する。 乳歯の拔牙の術式について理解する。 拔牙の後処置と留意点について理解する。	大須賀直人	
9	7月6日(月) 3時限	小児の外科処置(2) 1. 全身疾患と拔牙 2. 過剰歯の拔牙 3. 小帯異常の処置	全身疾患と拔牙の問題点について理解する。 過剰歯の拔牙について理解する。 小帯異常の処置について理解する。	大須賀直人	
10	7月13日(月) 3時限	小児の歯の外傷(1) 1. 外傷の疫学 2. 外傷の分類 3. 外傷の処置法 4. 乳歯外傷が永久歯におよぼす影響 5. 外傷の予後 6. 外傷の予防	歯の外傷の疫学について理解する。 小児の歯の外傷の分類について理解する。 小児の歯の外傷の処置法について理解する。 乳歯外傷が永久歯におよぼす影響について理解する。 歯の外傷の予後について理解する。 歯の外傷の予防について理解する。	大須賀直人	

回数	授業日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
11	7月20日(月) 3時限	小児の歯の外傷(2) 1. 外傷の疫学 2. 外傷の分類 3. 外傷の処置法 4. 乳歯外傷が永久歯におよぼす影響 5. 外傷の予後 6. 外傷の予防	歯の外傷の疫学について理解する。 小児の歯の外傷の分類について理解する。 小児の歯の外傷の処置法について理解する。 乳歯外傷が永久歯におよぼす影響について理解する。 歯の外傷の予後について理解する。 歯の外傷の予防について理解する。	西川 康博
12	7月27日(月) 3時限	スポーツによる歯・口腔の外傷の予防	マウスガードの種類について理解する。 マウスガードに用いられる材料の種類、性質や特徴を理解する。	正村 正仁
13	8月17日(月) 3時限	小児疾患と歯科治療 1. 遺伝性疾患 2. 染色体異常 3. 感染症 4. ビタミン欠乏症 5. 内分泌異常 6. 血液、造血器疾患 7. 代謝異常 8. 腎疾患 9. 循環器疾患 10. 呼吸器疾患 11. 免疫性疾患	歯科治療上問題となる遺伝性疾患について理解する。 歯科治療上問題となる染色体異常について理解する。 歯科治療上問題となる感染症について理解する。 歯科治療上問題となるビタミン欠乏症について理解する。 歯科治療上問題となる内分泌異常について理解する。 歯科治療上問題となる血液、造血器疾患について理解する。 歯科治療上問題となる代謝異常について理解する。 歯科治療上問題となる腎疾患について理解する。 歯科治療上問題となる循環器疾患について理解する。 歯科治療上問題となる呼吸器疾患について理解する。 歯科治療上問題となる免疫性疾患について理解する。	正村 正仁
14	8月24日(月) 3時限	小児口腔の健康の維持・増進 1. 包括医療 2. 地域医療 3. 医療連携	小児歯科における包括医療について理解する。 小児歯科における地域医療について理解する。 小児歯科における医療連携について理解する。	中村 浩志
15	8月31日(月) 3時限	まとめ		大須賀直人

歯 科 矯 正 学

(C4080)

第 4 学年（前期）
講義 必修

【担当者】

教 授：岡藤 範正
准教授：川原 良美
非常勤講師：吉川 仁育

【一般目標（GIO）】

1. 乳歯列・混合歯列・永久歯列期における矯正歯科治療の意義と目的を理解する。
2. 不正咬合に対する矯正歯科治療の必要性とその意義を理解する。
3. 矯正歯科治療に用いる矯正装置・矯正材料の適応症、特性を正しく理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. 矯正歯科治療に対する意義と目的を説明できる。
2. 不正咬合の原因と分類を理解し個々に応じた治療法について説明できる。
3. 不正咬合の治療における歯科矯正治療に用いる矯正装置について説明できる。
4. 矯正歯科治療に伴う偶発症を理解し口腔衛生管理の必要性について説明できる。
5. 再発防止について理解し保定の意義、目的、装置について説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 飯田順一郎・葛西一貴・後藤滋巳・末石研二・横宏太郎・山城隆編：「歯科矯正学 第6版」（医歯薬出版）
（3年次購入済）
〔参考書〕 清水典佳・鈴木里奈編：「歯科国試パーフェクトマスター歯科矯正学」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

各授業にて教科書、授業プリントを用いて基本的知識の習得をはかる。講義内容はイントラに事前に掲載する。次週に予定されている Weekly Test において、1回の授業について5問程度の確認テストを行う。

【フィードバック方法】

定期試験、Weekly Test 実施後に正解率が低い問題に対し解答例または記入例を次週講義冒頭に提示するので確認すること

【評価方法（Evaluation）】

授業内容の理解度を Weekly Test で確認する。評価は、Weekly Test（30%）、定期試験（70%）の採点結果より評価する。出席状況、提出物、授業態度を加味する場合がある。

【注意事項】

筆記用具と共に講義内容によっては分度器、定規等が必要となります。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分
復 習：配付されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること

【オフィスアワー】

火曜（17：30～20：00） 本館2階東棟 歯科矯正学講座教授室 オフィスアワー以外でも随時対応可能です。
連絡先 E-mail：norimasa.okafuji@mdu.ac.jp

【授業日程】

<div> <div>歯 科 矯 正 学</div> <div>第4学年（前期）</div> </div>				
回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	5月12日(火) 2時限	歯科矯正治療における抜歯	1. 矯正歯科治療における抜歯の意義と目的を理解する。 2. 抜歯の判定基準を理解する。 3. 連続抜去法の意義と目的を理解する。	岡藤 範正
2	5月19日(火) 2時限	矯正歯科治療方針の立案 矯正歯科治療学概論	1. 矯正歯科診察および分析結果の総合評価について理解する。 2. 矯正歯科治療目標の設定の重要性を理解する。 3. 矯正歯科治療の種類について理解する。	岡藤 範正
3	5月26日(火) 2時限	矯正力	1. 矯正力の種類と大きさの分類について理解する。 2. 矯正力の作用様式について理解する。 3. 歯の移動様式について理解する。	岡藤 範正
4	6月2日(木) 2時限	矯正歯科治療における固定	1. 固定の定義と意義について理解する。 2. 部位による固定の分類について理解する。 3. 抵抗の性質による固定の分類について理解する。 4. 抜歯空隙利用のための固定の分類について理解する。	岡藤 範正
5	6月9日(火) 2時限	歯科矯正用材料の特性	1. 矯正用線材料の機械的特性を理解する。 2. 矯正用線材料の臨床的な要件を理解する。 3. 矯正用接着剤の材料特性について理解する。	岡藤 範正
6	6月16日(火) 2時限	歯科矯正装置①	1. 器械的矯正装置の特徴を理解する。 2. 顎外固定装置の特徴と使用目的を理解する。	岡藤 範正
7	6月23日(火) 2時限	歯科矯正装置②	1. マルチブラケット装置の特徴と使用目的を理解する。 2. 床矯正装置の構成と使用目的を理解する。 3. 機能的矯正装置の特徴を理解する。	岡藤 範正
8	6月30日(火) 2時限	乳歯列期・混合歯列期の矯正歯科治療	1. 乳歯列期の矯正歯科治療の実際を理解する。 2. 混合歯列期の矯正歯科治療の目的を理解する。 3. 混合歯列期の矯正歯科治療の実際を理解する。	岡藤 範正
9	7月7日(火) 2時限	永久歯列期の矯正歯科治療①	1. 永久歯列期の不正咬合の特徴を理解する。 2. 混合歯列期の矯正歯科治療の実際を理解する。	岡藤 範正
10	7月14日(火) 2時限	永久歯列期の矯正歯科治療②	1. 顎変形症に起因する咬合異常を理解する。 2. 顎変形症に対する外科的矯正治療を理解する。	岡藤 範正
11	7月21日(火) 2時限	保定	1. 保定の概念と種類を理解する。 2. 保定装置の種類と機能を理解する。 3. 不正咬合の再発およびその防止策を理解する。	岡藤 範正
12	7月28日(火) 2時限	他科との協同による治療	1. 他科との共同を必要とする矯正歯科治療を理解する。 2. 口唇・口蓋裂の矯正歯科治療を理解する。 3. 顎関節症の矯正歯科治療を理解する。	岡藤 範正
13	8月18日(火) 2時限	矯正歯科治療に伴う偶発症	1. 矯正歯科治療に伴う偶発症の原因について理解する。 2. 矯正歯科治療に伴う偶発症の予防について理解する。 3. 矯正歯科治療に伴う偶発症の対処法について理解する。	岡藤 範正

回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
14	8月25日(火) 2時限	総 括	1. 矯正歯科治療の実際について理解する。 2. 矯正歯科治療に用いる材料について理解する。	岡藤 範正 川原 良美
15	9月1日(火) 2時限	他科との協同による治療	1. 他科との共同を必要とする矯正歯科治療を理解する。 2. 口唇・口蓋裂の矯正歯科治療を理解する。 3. 顎関節症の矯正歯科治療を理解する。	吉川 仁育

小児・矯正基礎実習 (C4095)

第4学年（後期）
実習 必修

【担当者】

教授：大須賀直人、岡藤範正

准教授：正村正仁、中村浩志

講師：中山聡、森山敬太

助教：村岡理奈

非常勤講師：原昌伸、中野潤三郎、山川洋子、松田厚子、西川康博、林牧、水島秀元、谷田幸代、
薄井陽平、紀田晃生、山川祐喜子、青木紗衣佳、芦澤雄二、小幡明彦、小嶋勤、倉田和之、
荒井敦、金沢昌律、徳田吉彦

【一般目標（GIO）】

＜小児＞

1. 乳歯の形態的特徴を理解する。
2. 乳歯の窩洞形成法、歯冠修復法や歯内療法を理解する。
3. 小児のブラッシング方法について理解する。
4. フッ化物の局所応用について理解する。
5. 保険装置について構造を理解し、作製法を理解する。

＜矯正＞

1. 不正咬合に対する治療の必要性和その意義を理解する。
2. 不正咬合の治療に用いられる代表的な矯正装置の構造と作用機序を理解し、それらの作製法および調整方法を理解する。

【行動目標（SBOs）】

＜小児＞

1. 乳歯の形態的特徴を説明できる。
2. 乳歯の窩洞形成法、歯冠修復法を説明できる。
3. 乳歯歯内療法を説明できる。
4. 小児のブラッシング方法について説明できる。
5. フッ化物の局所応用について説明できる。
6. クラウンループについて説明できる。

＜矯正＞

1. 不正咬合の原因、種類、診査、診断、治療および予防法を説明できる。
2. 矯正装置に用いられる器材の名称と使い方を説明できる。
3. 矯正装置の種類と用途を説明できる。
4. 指定された矯正装置を作製できる。
5. 矯正治療に必要な力学を説明できる。
6. 矯正治療によって生じる医原性障害を挙げ、その処置と予防法を説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕

＜小児＞

松本歯科大学小児歯科学講座編：「小児歯科学基礎実習マニュアル」

大須賀 直人他：「小児の口腔科学（第5版）」（学建書院）

大須賀 直人他：「小児歯科学基礎・臨床実習（第2版）」（医歯薬出版）

＜矯正＞

松本歯科大学歯科矯正学講座編：「歯科矯正学基礎実習マニュアル」

〔参考書〕

＜小児＞

大須賀 直人他：「歯科医のための小児科学入門」（MDU 出版会）

大須賀 直人他：「小児歯科学（第4版）」（医歯薬出版）

＜矯正＞

相馬 邦道・後藤滋巳・葛西一貴・山本照子・飯田順一郎編：「歯科矯正学 第5版」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

＜小児＞

実習を通して小児の口腔疾患に対し臨床で行われている各種処置法の手技を修得する。

＜矯正＞

実習デモ、教材を用いて製作手順を理解し、実際に製作を行う。製作物および定期試験により内容の理解を確認する。

次週に予定されている Weekly Test において、1 回の授業について 5 問程度の確認テストを行う。

【フィードバック方法】

Weekly Test、レポート実施後、正解率が低い問題に対し解答例および解説を学生イントラへ掲載する。

【評価方法（Evaluation）】

＜小児＞

実習の進捗状況、実習態度、臨床的対応力（30%）、製作物（20%）筆記試験（50%）により総合的に評価する。

＜矯正＞

1. 実習態度
2. 製作物
3. 相互実習
4. Weekly Test（30%）
5. 定期試験

これらを総合評価する。

・定期試験、追、再試験は、構成科目（小児歯科学、歯科矯正学）毎に実施する。

・追、再試験受験手続きは、1 教科として手続きを行う。

・最終評価は、小児歯科学：歯科矯正学を 1：1 の点数配分で評価する（小数点第 1 位四捨五入）

※評価方法は合計で 100% になるよう記載すること

【注意事項】

＜小児＞

実習はマネキンを使用して行うが、患者に対する臨床実習を見据えて「生体に対して処置を行う」といった自覚を持って実習に望むこと。

＜矯正＞

遅刻、欠席は基本的に認めない。将来、医療従事者となる自覚を持って実習に望むこと。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について予習を行うこと。（15分）

復 習：配布された資料や教科書を復習し知識をまとめること。（45分）

【オフィスアワー】

＜小児＞

火曜日 実習終了より 1 時間 実習室あるいは本館 2 階東棟 小児歯科学講座医局

＜矯正＞

本館 2 階東棟 歯科矯正学講座医局 予約をすれば他の時間でも可能

【授業日程】

小児・矯正基礎実習					
第4学年（後期）					
回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	補助者
1	9月15日(火) 3時限	1. オリエンテーション・器材検査 2. 歯牙の彫刻 (下顎右側第一乳臼歯) (上顎右側第一乳臼歯)	乳歯の形態的特徴について理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太 原 昌伸 中野潤三郎 山川 洋子 松田 厚子 青木紗衣佳	
2	9月15日(火) 4時限	1. オリエンテーション・器材検査 2. 歯牙の彫刻 (下顎右側第一乳臼歯) (上顎右側第一乳臼歯)	乳歯の形態的特徴について理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太 原 昌伸 中野潤三郎 山川 洋子 松田 厚子 青木紗衣佳 山川祐喜子	
3	9月24日(木) 3時限	1. Ⅲ級 CRF（充填・研磨まで） (上顎左側乳中切歯) 2. CRCr（修復・研磨まで） (上顎右側乳中切歯)	乳歯の形態・齲蝕・歯冠修復の特徴を理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太 中野潤三郎 山川 洋子 松田 厚子 山川祐喜子	
4	9月24日(木) 4時限	1. Ⅲ級 CRF（充填・研磨まで） (上顎左側乳中切歯) 2. CRCr（修復・研磨まで） (上顎右側乳中切歯)	乳歯の形態・齲蝕・歯冠修復の特徴を理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太 中野潤三郎 山川 洋子 松田 厚子	
5	9月29日(火) 3時限	1. 生活歯髄切断法（水酸化カルシウム法） (下顎左側第二乳臼歯) 2. 乳歯既製金属冠の試適、合着	乳歯の形態・構造・歯髄炎・処置法の特徴と歯冠修復の重要性について理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太 原 昌伸 林 牧 西川 康博 谷田 幸代 薄井 陽平	

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
6	9月29日(火) 4時限	1. 生活歯髄切断法 (水酸化カルシウム法) (下顎左側第二乳臼歯) 2. 乳歯既製金属冠の試適、合着	乳歯の形態・構造・歯髄炎・処置法の特徴と歯冠修復の重要性について理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太 原 昌伸 林 牧 西川 康博 谷田 幸代 薄井 陽平	
7	10月6日(火) 3時限	1. ラバーダム防湿 2. F.S. (下顎左側第一大臼歯) 3. フッ化物による局所応用	小児歯科におけるラバーダム防湿の重要性について理解する。 第1大臼歯が齲蝕に罹患しやすい理由と予防充填法について理解する。 フッ化物の作用機序、フッ化物歯面塗布の方法、塗布溶液の種類、塗布後の説明事項について理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太 紀田 晃生 水島 秀元 青木紗衣佳	
8	10月6日(火) 4時限	1. ラバーダム防湿 2. F.S. (下顎左側第一大臼歯) 3. フッ化物による局所応用	小児歯科におけるラバーダム防湿の重要性について理解する。 第1大臼歯が齲蝕に罹患しやすい理由と予防充填法について理解する。 フッ化物の作用機序、フッ化物歯面塗布の方法、塗布溶液の種類、塗布後の説明事項について理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太 紀田 晃生 水島 秀元 青木紗衣佳	
9	10月13日(火) 3時限	保護者に対するブラッシング指導 (仕上げ磨きの指導)	小児の年齢、歯列状態に応じた仕上げ磨きの方法について理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太 原 昌伸 中野潤三郎 山川 洋子 松田 厚子 西川 康博 谷田 幸代	
10	10月13日(火) 4時限	保護者に対するブラッシング指導 (仕上げ磨きの指導)	小児の年齢、歯列状態に応じた仕上げ磨きの方法について理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太 原 昌伸 中野潤三郎 山川 洋子 松田 厚子 西川 康博 谷田 幸代	
11	10月20日(火) 3時限	クラウンループの作製	クラウンループの作成方法と適応を理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太	
12	10月20日(火) 4時限	クラウンループの作製	クラウンループの作成方法と適応を理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太	

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
13	10月27日(火) 3 時限	クラウンループの作製	クラウンループの作成方法と適応を理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太	
14	10月27日(火) 4 時限	クラウンループの作製	クラウンループの作成方法と適応を理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太	
15	11月 4 日(水) 3 時限	S.T. ロック鑢着 脚部の屈曲 主線の屈曲 鑢着練習 主線と脚部の鑢着 研磨	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 小幡 明彦 津村 智信 三原 正志 藤田 一隆	中根 隆 檜本 達也 丸山 歩美 深沢香菜子
16	11月 4 日(水) 4 時限	S.T. ロック鑢着 脚部の屈曲 主線の屈曲 鑢着練習 主線と脚部の鑢着 研磨	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 小幡 明彦 津村 智信 三原 正志 藤田 一隆	中根 隆 檜本 達也 丸山 歩美 深沢香菜子
17	11月10日(火) 3 時限	補助弾線の鑢着・屈曲ダンキング	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 駒崎 佑介 津村 智信 楓 公士朗 小出 大吾	中根 隆 檜本 達也 丸山 歩美 深沢香菜子
18	11月10日(火) 4 時限	補助弾線の鑢着・屈曲ダンキング	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 駒崎 佑介 津村 智信 楓 公士朗 小出 大吾	中根 隆 檜本 達也 丸山 歩美 深沢香菜子
19	11月17日(火) 3 時限	補助弾線の鑢着・屈曲ダンキング	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 宮崎 顕道 津村 智信 藤田 一隆 徳田 吉彦	中根 隆 檜本 達也 丸山 歩美 深沢香菜子
20	11月17日(火) 4 時限	補助弾線の鑢着・屈曲ダンキング	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 宮崎 顕道 津村 智信 藤田 一隆 徳田 吉彦	中根 隆 檜本 達也 丸山 歩美 深沢香菜子

回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
21	12月1日(火) 3時限	ダンキング 完成	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。 4. 矯正治療に必要な力学を説明できる。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 富永 憲俊 津村 智信 楓 公士朗 金沢 昌律	中根 隆 橋本 達也 丸山 歩美 深沢香葉子
22	12月1日(火) 4時限	ダンキング 完成	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。 4. 矯正治療に必要な力学を説明できる。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 富永 憲俊 津村 智信 楓 公士朗 金沢 昌律	中根 隆 橋本 達也 丸山 歩美 深沢香葉子
23	12月8日(火) 3時限	ワイヤーベンディング トルク調整 オメガグループ付与 前歯部排列 完成	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 薄井 陽平 津村 智信 三原 正志 小出 大吾	中根 隆 橋本 達也 丸山 歩美 深沢香葉子
24	12月8日(火) 4時限	ワイヤーベンディング トルク調整 オメガグループ付与 前歯部排列 完成	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 薄井 陽平 津村 智信 三原 正志 小出 大吾	中根 隆 橋本 達也 丸山 歩美 深沢香葉子
25	12月15日(火) 3時限	ワイヤーベンディング トルク調整 オメガグループ付与 前歯部排列 完成	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 津村 智信 楓 公士朗 藤田 一隆 金沢 昌律	中根 隆 橋本 達也 丸山 歩美 深沢香葉子
26	12月15日(火) 4時限	ワイヤーベンディング トルク調整 オメガグループ付与 前歯部排列 完成	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 津村 智信 楓 公士朗 藤田 一隆 金沢 昌律	中根 隆 橋本 達也 丸山 歩美 深沢香葉子
27	12月22日(火) 3時限	ワイヤーベンディング トルク調整 オメガグループ付与 前歯部排列 完成	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 荒井 敦 津村 智信 小出 大吾 金沢 昌律 宮本 剛至	中根 隆 橋本 達也 丸山 歩美 深沢香葉子

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	補助者
28	12月22日(火) 4時限	ワイヤーベンディング トルク調整 オメガグループ付与 前歯部排列 完成	1. 矯正治療に用いる器材の名称と 使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明で きる。 3. 指定された矯正装置を作製でき る。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 荒井 敦 津村 智信 小出 大吾 金沢 昌律 宮本 剛至	中根 隆 楢本 達也 丸山 歩美 深沢香菜子
29	1月5日(火) 3時限	臨床的対応	矯正歯科における診療の実際につい て理解する。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 名和 孝行 山木 貴子 津村 智信 三原 正志	中根 隆 楢本 達也 丸山 歩美 深沢香菜子
30	1月5日(火) 4時限	臨床的対応	矯正歯科における診療の実際につい て理解する。	岡藤 範正 川原 良美 村岡 理奈 西村 恵子 名和 孝行 山木 貴子 津村 智信 三原 正志	中根 隆 楢本 達也 丸山 歩美 深沢香菜子

口 腔 外 科 学

(C4100)

第 4 学年（前期・後期）
講義 必修

【担当者】

教 授：芳澤享子
講 師：中山洋子
助 教：齋藤安奈

【一般目標（GIO）】

口腔外科疾患の原因、症状と診断法を理解し、診断および治療方針を立てるための基本的な知識を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 外傷、口腔粘膜疾患、腫瘍、嚢胞、顎関節疾患、唾液腺疾患、神経疾患、顎変形症の原因、症状、診断、治療方法を理解する。
2. 口腔領域に関わる全身疾患の病態と罹患患者に対する口腔外科的治療法を理解する。

【教科書・参考書】

【教科書】白砂 兼光・古郷 幹彦：「口腔外科学 第3版、第4版」（医歯薬出版）
榎本 昭二・道 健一・天竺 光雄他：「最新口腔外科学（第5版）」（医歯薬出版）
山根 源之他編：「口腔内科学」（永末書店）
【参考書】道 健一監修：「改訂版 口腔顎顔面疾患カラーアトラス」（永末書店）
栗田 賢一・覚道 健治：「SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療（第5版）」（永末書店）

【教育（学習）方略（LS）】

教科書を主体に Power Point を用いて講義を行い、Weekly Test で知識を評価する。

【フィードバック方法】

本試験実施後、解答を掲示するので、疑問点等あればオフィスアワーに質問に来ること。
講義内容、Weekly Test、定期試験にて質問の多い内容については講義あるいは学生イントラにて解説する。

【評価方法（Evaluation）】

Weekly Test を30%、定期試験を70%の比率として100点満点に換算し、65点以上を合格とする。

【注意事項】

1. 医療従事者となる自覚をもって授業に臨むこと。
2. 事前に教科書を読んで、授業の内容を理解しておくこと。
3. 講義後は講義資料だけでなく、教科書、参考書を用いて内容を復習、整理し、理解すること。
4. Weekly Test は、授業の理解度を確認する資料となる。
5. 評価は、Weekly Test（30%）と定期試験の成績で行うので Weekly Test を欠席しないこと。欠席分は0点として評価する。

【準備学習時間（予習・復習）】

75分

予 習：事前に当日の講義範囲について教科書、参考書で予習を行うこと。（30分）

復 習：当日の講義内容を講義資料を中心に復習し、教科書・参考書を利用して各自知識を整理すること。（45分）

【オフィスアワー】

月曜日・水曜日 17：00～18：00

本館5階東棟 口腔顎顔面外科学講座教授室、医局

オフィスアワー以外で質問等ある場合は事前に日程を確認すること

【授業日程】

<div> <div>口腔外科学</div> <div>第4学年（前期・後期）</div> </div>				
回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	5月8日(金) 2時限	外傷(1) 総論、軟組織損傷 「第3版口腔外科学」p85-95	外傷の初期治療を説明できる。外傷の分類と治療過程を説明することができる。軟組織の損傷の診断ができる。軟組織損傷の治療法を説明できる。	芳澤 享子
2	5月15日(金) 2時限	外傷(2) 歯の外傷および歯槽骨骨折、顎骨骨折 「第3版口腔外科学」p96-124	歯の脱臼および歯の破折、歯槽突起骨折の診断ができ、治療法を説明することができる。鼻骨骨折、顎骨骨折の診断（下顎骨骨折、頬骨骨折、上顎骨骨折、吹き抜け骨折、鼻骨骨折等）ができる。鼻骨骨折、顎骨骨折の治療手順（救急処置、整復、固定、術後の管理）を説明することができる。	芳澤 享子
3	5月22日(金) 2時限	口腔粘膜疾患(1) 口内炎、アフタおよびアフタ病変、水疱疾患、ウイルス性疾患、角化性疾患 「第3版口腔外科学」p163-173「口腔内科学」p337-386	口腔粘膜疾患の病名とその臨床症状、治療法を説明することができる。	中山 洋子
4	5月29日(金) 2時限	口腔粘膜疾患(2) 角化性疾患、膠原病とその類症、色素異常、薬物による病変、Quincke浮腫 「第3版口腔外科学」p173-181「口腔内科学」p337-386	口腔粘膜疾患の病名とその臨床症状、治療法を説明することができる。	芳澤 享子
5	6月5日(金) 2時限	口腔腫瘍：総論 「第3版口腔外科学」p183-198	口腔・顎・顔面に発症する良性及び悪性腫瘍の分類と発症頻度を知り、腫瘍類似疾患、前癌病変について説明することができる。	芳澤 享子
6	6月12日(金) 2時限	歯源性腫瘍(1) 1. 良性上皮性歯原性腫瘍 2. 歯源性腫瘍と歯源性外胚葉性腫瘍からなる良性歯源性腫瘍 「第3版口腔外科学」p199-220「最新口腔外科学」第3章	歯源性腫瘍の分類、良性上皮性歯原性腫瘍の診断、治療について説明することができる。歯源性腫瘍と歯源性外胚葉性腫瘍からなる良性歯源性腫瘍の診断と治療について説明することができる。	芳澤 享子
7	6月19日(金) 2時限	歯源性腫瘍(2) 3. 良性間葉性歯原性腫瘍 4. 悪性歯源性腫瘍 5. 骨関連疾患 「第3版口腔外科学」p220-226「最新口腔外科学」第3章	良性間葉性歯原性腫瘍、悪性歯源性腫瘍、骨関連疾患の診断、治療法について説明することができる。	芳澤 享子
8	6月26日(金) 2時限	良性腫瘍 良性上皮性腫瘍 良性非上皮性腫瘍、軟骨に見られるその他の腫瘍、骨の腫瘍および骨関係腫瘍 「第3版口腔外科学」p227-239「最新口腔外科学」第3章	非歯源性腫瘍について各々の腫瘍の発症頻度、好発部位、エックス線所見、画像所見（CT、MRI、シンチグラムなど）の診断、治療方法について説明することができる。	芳澤 享子
9	7月3日(金) 2時限	悪性腫瘍(1) 口腔扁平上皮癌の診断 「第3版口腔外科学」p250-261、p651-680、684-709 「最新口腔外科学」第3章	扁平上皮癌の診断法を説明できる。	芳澤 享子

回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
10	7月10日(金) 2時限	悪性腫瘍(2) 1. 悪性リンパ腫 2. 悪性黒色腫 3. 肉腫 「第3版口腔外科学」p261-279、p651-680、684-709 「最新口腔外科学」第3章	悪性リンパ腫、悪性黒色腫、肉腫の診断、治療法について説明することができる。	芳澤 享子
11	7月17日(金) 2時限	悪性腫瘍(3) 腫瘍の治療法：総論 治療選択に関係する因子、治療法の概要、緩和医療（緩和ケア）について 「第3版口腔外科学」P651-660	治療選択に関係する因子、治療法の概要、緩和医療（緩和ケア）について、臨床上必要な知識を身につける。	芳澤 享子
12	7月31日(金) 2時限	悪性腫瘍(4) 腫瘍の治療法：外科療法： 切除範囲の決定、口腔癌の手術法、頸部郭清術 「第3版口腔外科学」p660-683 「最新口腔外科学」p776-816	腫瘍の切除範囲の決定法を含め、口腔癌の手術法、頸部郭清術を説明することができる。	芳澤 享子
13	8月21日(金) 2時限	悪性腫瘍(5) 腫瘍の治療法：移植と再建外科 移植法の種類、遊離皮膚移植、有茎皮弁、遊離皮弁、骨の移植、仮骨延長法による再建、生体材料による顎骨再建 「第3版口腔外科学」p527-573	組織移植法の種類と特徴、移植骨、仮骨延長法、生体材料を用いた硬組織の再建方法を説明することができる。	芳澤 享子
14	8月28日(金) 2時限	悪性腫瘍(6) 腫瘍の治療法：放射線治療と化学療法およびその他の治療法（非特異的免疫療法、特異的免疫療法、温熱療法、ホルモン療法） 「第3版口腔外科学」p684-716	口腔癌に用いられる外科的治療以外の治療法（放射線治療法、化学療法、免疫療法等）の特徴と合併症について説明することができる。	芳澤 享子
15	9月4日(金) 2時限	顎変形症 誘因、分類、診断、治療法（上顎骨骨切り術、下顎骨骨切り術、仮骨延長術） 「第3版口腔外科学」第3、16章	顎変形症の誘因、顎変形症の分類について理解し、診断ができる。 顎変形症に対する手術法とその適応を説明することができる。	芳澤 享子
16	9月16日(水) 1時限	顎口腔の嚢胞(1) 総論：定義と頻度、分類、診断法、治療法 各論1：軟組織の嚢胞（頬皮嚢胞と頬表皮嚢胞、鰓嚢胞、甲状舌管嚢胞、粘液嚢胞） 「第3版口腔外科学」p297-299, 311-323	嚢胞について、その成因、症状、診断、治療方法を説明することができる。 顎口腔に発生する軟組織嚢胞について、その成因、症状、診断、治療方法を説明することができる。	芳澤 享子
17	9月23日(水) 1時限	顎口腔の嚢胞(2) 各論：顎嚢胞（菌原性嚢胞、非菌原性嚢胞、嚢胞性疾患） 「第3版口腔外科学」p297-299, 300-310	顎口腔に発生する軟組織嚢胞について、その成因、症状、診断、治療方法を説明することができる。	芳澤 享子
18	9月30日(水) 1時限	顎関節疾患(1) 顎関節部の構造と機能、顎関節疾患の分類、顎関節の先天異常・発育異常、顎関節脱臼、顎関節軟組織損傷 「第3版口腔外科学」p327-341	顎関節部の構造と機能を理解し、顎関節疾患の分類から診断ができる。 顎関節の先天異常、発育異常、脱臼や外傷の病態と治療法を説明することができる。	芳澤 享子
19	10月7日(水) 1時限	顎関節疾患(2) 顎関節の炎症、変形性顎関節症、顎関節の良性腫瘍、顎関節の悪性腫瘍、腫瘍類似疾患、代謝性顎関節症、顎関節強直症 「第3版口腔外科学」p342-353	顎関節の炎症、変形性顎関節症、腫瘍あるいは腫瘍類似疾患、全身疾患に関連した顎関節異常、顎関節強直症の診断と治療法を説明することができる。	芳澤 享子

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
20	10月14日(水) 1時限	顎関節疾患(3)顎関節症： 総論、顎関節症の分類、顎関節症の診断、顎関節症の治療 「第3版口腔外科学」p353-376	顎関節症の症型分類を理解し、診断することができる。 治療法について説明することができる。	芳澤 享子
21	10月21日(水) 1時限	唾液腺疾患(1) 総論：唾液腺疾患の診断法、唾液分泌量の測定法、唾液前の画像診断 各論(1)：先天異常、唾石症、急性唾液腺炎、慢性唾液腺炎、流行性耳下腺炎、巨大細胞性封入体症、AIDS関連疾患 「第3版口腔外科学」p377-389	唾液腺疾患の診断ができる。治療法を説明することができる。 唾液腺の先天異常、唾液腺の炎症性疾患、ウイルス性疾患について診断、治療法を説明することができる。	芳澤 享子
22	10月28日(水) 1時限	唾液腺疾患(2) 各論(2)：Sjögren症候群、良性リンパ上皮性病変、Heerfordt症候群、唾液腺症、オンコサイト症、壊死性唾液腺化性、唾液腺嚢胞 「第3版口腔外科学」p389-399	Sjögren症候群、唾液腺の腫瘍状病変、唾液腺嚢胞について診断ができる。 治療法を説明することができる。	芳澤 享子
23	11月11日(水) 1時限	唾液腺疾患(3) 各論(3)：良性腫瘍（多形腺腫、Warthin腫瘍、筋上皮腫、オンコサイトーマ）、悪性腫瘍（腺様嚢胞癌、粘表皮癌、多形性腺腫由来癌腫、転移性多形性腺腫） 「第3版口腔外科学」p399-424	唾液腺腫瘍に関する基礎的事項を理解し、唾液腺良性腫瘍の診断、治療法について説明することができる。 唾液腺悪性腫瘍の診断ができる。 唾液腺腫瘍の治療法を説明することができる。	芳澤 享子
24	11月18日(水) 1時限	血液疾患(1)総論： 血液疾患の基礎、貧血、白血病、白血球減少症 「第3版口腔外科学」p430-447	血液疾患の分類と、その特徴を理解し、貧血、白血病、白血球減少症患者の診断法、罹患患者への口腔外科的対応について説明できる。	芳澤 享子
25	11月25日(水) 1時限	血液疾患(2)出血性素因1： 止血機構（血液凝固機序）、出血傾向の検査、血管壁の異常、血小板の異常 「第3版口腔外科学」p447-454	出血性素因の分類とその特徴を理解し、検査結果から診断ができる。 出血性素因を持つ患者の外科治療法について説明することができる。	芳澤 享子
26	12月2日(水) 1時限	血液疾患(3)出血性素因2： 凝固因子の異常、線溶系の異常 「第3版口腔外科学」p454-461	臨床症状、検査結果から凝固因子および線溶系の異常による出血性素因の診断ができる。出血性素因を持つ患者の外科治療法について説明することができる。	芳澤 享子
27	12月9日(水) 1時限	心因性病態、神経痛と類似疾患 口腔心身症、舌痛症、非定型顔面痛、味覚異常 三叉神経痛、帯状疱疹痛、舌咽神経痛、茎状突起過長症 「第3版口腔外科学」第12章 「口腔内科学」第5章	顎顔面領域の神経疾患の診断ができる。治療法が説明できる。 三叉神経痛および顎顔面領域における神経痛類似疾患の原因、症状を理解し、診断ができる。 治療方法を説明することができる。	芳澤 享子
28	12月16日(水) 1時限	神経麻痺・神経痙攣 顔面神経麻痺、三叉神経麻痺、舌咽神経麻痺、軟口蓋麻痺、舌下神経麻痺、顔面痙攣、三叉神経痙攣 「第3版口腔外科学」第12章 「口腔内科学」第5章	顎顔面領域の神経麻痺の原因と神経障害部位による症状を理解し、診断ができる。 治療方法を説明することができる。 神経痙攣の診断法、治療法について説明することができる。	芳澤 享子
29	12月23日(水) 1時限	口腔外科に関連する全身疾患 歯科医師に必要とされる医学的知識 「口腔内科学」第4章 「第3版口腔外科学」第18章	口腔外科に関連する全身疾患の病態について理解することで、歯科口腔外科治療を行う上での注意点について説明することができる。	齋藤 安奈

回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
30	1月6日(水) 1時限	有病者の歯科治療 有病者への対応、治療上の注意点、実際の治療手順、口腔ケア・周術期口腔管理 「第3版口腔外科学」第18章 「最新口腔外科学」644-648	有病者の特徴を理解し、それぞれの疾患に応じた対応を学ぶことで、歯科・口腔外科的治療するために必要な知識を身につける。 口腔ケア・周術期口腔管理を理解する。	齋藤 安奈

歯科麻酔学 (C4110)

第4学年（前期・後期）
講義 必修

【担当者】

教授：澁谷徹
講師：谷山貴一
非常勤講師：林直樹

【一般目標（GIO）】

1. 歯科治療における全身管理、局所麻酔、精神鎮静法および全身麻酔の基本を理解する。
2. 救急処置の基本を修得する。
3. 口腔顎顔面領域の慢性痛と神経麻痺を理解する。
4. 医療事故防止のための安全管理を理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. バイタルサインの意義とそのモニタリング方法を説明できる。
2. 血圧、脈拍、呼吸の測定方法と異常所見を説明できる。
3. 歯科治療中の全身状態に影響を及ぼす疾患を説明できる。
4. 患者の全身状態の評価についてを説明できる。
5. 局所麻酔の目的を説明できる。
6. 局所麻酔薬の分類と、その作用機序を説明できる。
7. 局所麻酔作用に影響を及ぼす因子を説明できる。
8. 血管収縮薬の使用方法、種類および臨床使用上の注意を説明できる。
9. 局所麻酔の実施法と合併症を説明できる。
10. 精神鎮静法の目的と種類を説明できる。
11. 吸入鎮静法と静脈内鎮静法に使用する薬剤、適応、禁忌および合併症を説明できる。
12. 全身麻酔の目的と概念を説明できる。
13. 全身麻酔に使用する薬物、機器、器具を説明できる。
14. 全身麻酔の合併症と周術期管理を説明できる。
15. 歯科治療時の全身合併症を説明できる。
16. 心肺蘇生法の手順を説明できる。
17. 救急処置に用いられる薬物を説明できる。
18. 三叉神経痛と神経麻痺を説明できる。
19. 医療事故防止のための安全管理体制を説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 丹羽均・入船正浩・小長谷光・澁谷徹・深山治久編：「第5版 臨床歯科麻酔学」（永末書店）
〔参考書〕 福島和昭監修・一戸達也他編：「歯科麻酔学（第8版）」（医歯薬出版）
今井裕、岩渕博史監修・石垣佳希他編：「有病者歯科学」（永末書店）

【教育（学習）方略（LS）】

教科書を用いて黒板への板書と適宜スライドを使用して講義を行い、教科書に記載された内容のうち重要な事項につき解説を行う。原則として講義終了前に Post Test を行い、理解度を確認する。

【フィードバック方法】

Post Test と Weekly Test の正答率が低い問題につき解説を行う。

【評価方法（Evaluation）】

定期試験を70点満点、Weekly Test の平均を30点満点に換算し、合計100点満点で前期と後期の評価を行う。前期・後期評価点を平均し、65点以上を合格とする。65点未満の者には後期に1回のみ再試験を行う。また、出席状況や受講態度

を評価に加味することがある。

【注意事項】

教科書を必ず持参し、板書内容や説明事項をノートに筆記すること。
講義内容の不明な点や理解できない個所は、受講後に質問して解決する。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

教科書、講義ノートおよび Post Test の内容につき復習する。

【オフィスアワー】

月曜日、火曜日 16：30～17：30

本館5階西棟 歯科麻酔学講座教授室または医局

他の曜日・時間も予約をすれば対応可能

【授業日程】

<div> <div>歯 科 麻 酔 学</div> <div>第 4 学 年（前期・後期）</div> </div>				
回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	5月11日(月) 2時限	麻酔の概念 歯科麻酔の役割	局所麻酔、精神鎮静法、全身麻酔の目的を説明できる。 全身管理の必要性を説明できる。	澁谷 徹
2	5月18日(月) 2時限	呼吸生理	呼吸器系の構造と機能を説明できる。	澁谷 徹
3	5月25日(月) 2時限	血液による酸素と二酸化炭素の運搬	血液中の酸素と二酸化炭素運搬を説明できる。	澁谷 徹
4	6月1日(月) 2時限	循環生理	心臓の構造と機能を説明できる。 循環器系の構造と機能を説明できる。	澁谷 徹
5	6月8日(月) 2時限	神経生理 生体のストレス反応 酸塩基平衡	自律神経系の構造と機能を説明できる。 ストレスに対する自律神経系、内分泌系の反応を説明できる。 酸塩基平衡を説明できる。	澁谷 徹
6	6月15日(月) 2時限	全身状態評価法 1. 診察法 2. バイタルサイン 3. 臨床検査 4. 手術危険度	診察に必要な事項を説明できる。 バイタルサインを把握できる。 各種臨床検査の基準値を知り、異常値の意味を説明できる。	澁谷 徹
7	6月22日(月) 2時限	管理上問題となる疾患 1. 循環器系疾患－①	麻酔管理上問題となる疾患について説明できる。	澁谷 徹
8	6月29日(月) 2時限	1. 循環器系疾患－② 2. 呼吸器系疾患	麻酔管理上問題となる疾患について説明できる。	澁谷 徹
9	7月6日(月) 2時限	3. 内分泌系疾患 4. 腎疾患 5. その他の疾患	麻酔管理上問題となる疾患について説明できる。	澁谷 徹
10	7月13日(月) 2時限	局所麻酔薬 1. 局所麻酔薬の分類 2. 作用機序 3. 局所麻酔作用に影響する因子	局所麻酔の目的を説明できる。 局所麻酔薬を分類し、その作用機序を説明できる。 局所麻酔作用に影響する因子を説明できる。	澁谷 徹
11	7月20日(月) 2時限	4. 局所麻酔薬の吸収、代謝、排泄 5. 各種局所麻酔薬の特徴	局所麻酔薬の代謝を説明できる。 各種局所麻酔薬の特徴を説明できる。	澁谷 徹
12	7月27日(月) 2時限	血管収縮薬 1. 血管収縮薬添加の目的 2. 血管収縮薬の種類	血管収縮薬を添加する目的を説明できる。 血管収縮薬の種類と特徴を説明できる。 臨床使用上の注意を説明できる。	澁谷 徹
13	8月17日(月) 2時限	局所麻酔法 1. 表面麻酔法 2. 浸潤麻酔法 3. 周囲麻酔法	局所麻酔法の種類と特徴を説明できる。 浸潤麻酔法を説明できる。	澁谷 徹
14	8月24日(月) 2時限	4. 伝達麻酔法	伝達麻酔法と麻酔奏効範囲を説明できる。	澁谷 徹
15	8月31日(月) 2時限	局所麻酔の合併症	局所麻酔の合併症を説明できる。	澁谷 徹
16	9月14日(月) 2時限	医療事故防止のための安全管理体制	医療事故防止のための安全管理について説明できる。	澁谷 徹

回数	授業日時 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
17	9月28日(月) 2時限	モニタリング	呼吸器系、循環器系のモニタについて説明できる。	澁谷 徹
18	10月5日(月) 2時限	精神鎮静法の適応と禁忌 吸入鎮静法 静脈内鎮静法	精神鎮静法の目的を説明できる。 精神鎮静法の適応と禁忌を説明できる。 精神鎮静法の種類を説明できる。	林 直樹
19	10月12日(月) 2時限	全身麻酔の理論 吸入麻酔法 1. 吸入麻酔薬 2. 麻酔薬の吸収と排泄	全身麻酔の目的を説明できる。 吸入麻酔薬の種類と特徴を説明できる。	澁谷 徹
20	10月19日(月) 2時限	3. 麻酔器、麻酔回路 4. 麻酔用器具 5. 気管挿管	麻酔器と麻酔回路について説明できる。 麻酔導入法を説明できる。	澁谷 徹
21	10月26日(月) 2時限	静脈麻酔法 静脈麻酔薬 筋弛緩薬	静脈麻酔薬の特徴を説明できる。 筋弛緩薬について説明できる。	澁谷 徹
22	11月2日(月) 2時限	術前管理 1. 麻酔前投薬 2. 術前経口摂取制限	麻酔前投薬の目的と種類を説明できる。 経口摂取の制限について説明できる。	澁谷 徹
23	11月9日(月) 2時限	術中管理 1. 呼吸、循環、代謝管理 2. 輸液、輸血 3. 術中合併症	呼吸、循環および代謝管理を説明できる。 輸液と輸血の目的と種類を説明できる。 術中合併症を説明できる。	澁谷 徹
24	11月16日(月) 2時限	術後管理 1. 疼痛管理 2. 術後合併症 日帰り全身麻酔	術後の疼痛管理を説明できる。 術後合併症を説明できる。 日帰り全身麻酔の適応を説明できる。	澁谷 徹
25	11月24日(火) 2時限	小児麻酔 高齢者麻酔	小児の生理学的特徴を説明できる。 小児麻酔の特徴を説明できる。 高齢者の生理学的特徴を説明できる。 高齢者麻酔について説明できる。	澁谷 徹
26	11月30日(月) 2時限	歯科治療時の全身偶発症 1. 血管迷走神経反射 2. 過換気症候群 3. 異物の誤飲・誤嚥	歯科治療時の全身偶発症を説明できる。	谷山 貴一
27	12月7日(月) 2時限	4. 内科的基礎疾患の増悪 ①循環器系疾患	歯科治療時の全身偶発症を説明できる。	谷山 貴一
28	12月14日(月) 2時限	②その他の疾患	歯科治療時の全身偶発症を説明できる。	谷山 貴一
29	12月21日(月) 2時限	一次救命処置 (BLS) 二次救命処置 (ACLS)	意識レベル、呼吸および循環の状態を把握できる。 一次救命処置を説明できる。 二次救命処置を説明できる。	澁谷 徹
30	1月4日(月) 2時限	疼痛治療 1. 三叉神経痛 2. 非菌原性歯痛 3. 三叉神経麻痺 4. 顔面神経麻痺 5. 星状神経節ブロック 6. 癌性疼痛治療法	三叉神経痛の症状と治療法を説明できる。 非菌原性歯痛について説明できる。 顔面神経麻痺の症状と治療法を説明できる。 三叉神経麻痺の治療法を説明できる。 癌性疼痛の治療法を説明できる。	澁谷 徹

歯科放射線学 (C4120)

第4学年（前期・後期）
講義 必修

【担当者】

教授：田口明

講師：黒岩博子、杉野紀幸

【一般目標（GIO）】

歯科医療における画像検査法の特徴と適応ならびに画像診断について十分な知識、技能を習得するとともに、放射線の人体に対する影響、放射線防護の方法および放射線治療の基礎について理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. 放射線の性質、影響および防護について説明する。
2. 各種画像検査法の画像形成原理を説明する。
3. 各種画像検査に用いられる装置の種類と特徴および撮影技術について説明する。
4. 歯・口腔顎顔面領域疾患の診断に適した画像検査法を選択する。
5. 歯・口腔顎顔面領域疾患の診断に必要な画像所見の特徴を説明する。
6. 口腔領域悪性腫瘍の放射線治療の基礎および治療患者の口腔管理について説明する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 田口明編：「基礎から始める歯科放射線学」改定第2版（IDP 出版）

〔参考書〕 金田隆編：「Q&A で学ぶ歯科放射線学：SBOs 講義」（学建書院）

有地栄一郎編：「歯科放射線学第6版」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

各授業では、学習すべき内容を網羅した教科書及び印刷物を中心としてプロジェクターにより詳細な内容の説明を行う。

Weekly Test において1回の授業につき5間の確認テストを行う。

【フィードバック方法】

Weekly Test や定期試験において正解率が低い問題に対して詳細な解答例と参考文献を学生イントラへ掲載する。

【評価方法（Evaluation）】

前後期定期試験および Weekly Test の成績で評価する。定期試験の成績の占める割合は全体の70%、Weekly Test の成績の占める割合は全体の30%とする。講義の出席状況を加味する。

【注意事項】

授業において説明する内容を必ず教科書に書きとめ、復習を行うこと。

授業では教科書を必ず持参すること。教科書では特に写真や図を参考にすること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書、参考書で予習を行うこと。(30分)

復 習：講義ノート・教科書を復習し、参考書を利用して各自知識をまとめること。(30分)

【オフィスアワー】

木曜日 18:00～19:00

本館5階西棟 歯科放射線学講座研究室

TELにて予約のこと。連絡先：TEL0263-51-2096

【授業日程】

<div> <div>歯科放射線学</div> <div>第4学年（前期・後期）</div> </div>				
回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	5月8日(金) 1時限	電離放射線とエックス線 1. 電離放射線 2. エックス線の発生 3. エックス線の作用と性質	放射線の種類と性質を説明できる。	田口 明
2	5月15日(金) 4時限	電離放射線とエックス線 4. 放射線の線量と単位 5. 放射線の線質 6. エックス線の減弱	放射線の線量、単位、線質、エックス線の減弱について説明できる。	田口 明
3	5月22日(金) 1時限	放射線機器・器材と情報処理 1. 歯科用エックス線撮影装置 2. パノラマエックス線撮影装置	エックス線装置の種類、その構造について説明できる。	田口 明
4	5月29日(金) 1時限	放射線機器・器材と情報処理 3. エックス線フィルム 4. 特性曲線・粒状性 5. 増感紙 6. エックス線写真処理 7. 歯科用デジタルエックス線撮影装置 8. 医療画像システム＜PACS＞	画像記録系の種類と特性、その写真処理について説明できる。	田口 明
5	6月5日(金) 1時限	エックス線写真の基礎的事項 1. 画像形成とその原理 2. 画像形成・幾何学的条件	エックス線画像の形成原理と幾何学的条件について説明できる。	田口 明
6	6月12日(金) 1時限	エックス線写真の基礎的事項 3. コントラスト 4. 鮮鋭度と解像度 5. 画質に影響する因子	コントラストの概念とコントラストの特性について説明できる。 鮮鋭度と解像度について説明できる。	田口 明
7	6月19日(金) 1時限	画像検査法 1. 歯・歯周組織のエックス線検査	口内法エックス線撮影の種類と適応を説明できる。 水平的垂直的投影法の種類と特徴を説明できる。	杉野 紀幸
8	6月26日(金) 1時限	画像検査法 2. 顎・顔面領域のエックス線検査	パノラマエックス線撮影の特徴と適応を説明できる。 頭部単純エックス線撮影の種類、特徴、適応を説明できる。 特殊エックス線撮影の種類、特徴、適応を説明できる。	田口 明
9	7月3日(金) 1時限	画像検査法 3. 顎・顔面領域の画像検査	顎・顔面領域で利用する特殊画像検査法の種類、原理、適応を説明できる。	田口 明
10	7月10日(金) 1時限	画像検査：基礎 1. 画像検査の選択基準と限界	画像検査法の選択基準と画像検査の限界について説明できる。	田口 明
11	7月17日(金) 1時限	画像検査：基礎 2. 所見の表現と解釈	エックス線所見の解釈について観察項目を列挙し説明できる。	田口 明
12	7月31日(金) 1時限	画像検査：基礎 3. 正常エックス線像	口腔領域で利用されるエックス線撮影で描出される正常構造について説明できる。	田口 明
13	8月21日(金) 1時限	画像診断：歯・歯周組織 1. 歯の疾患	歯の疾患の種類とエックス線所見を説明できる	田口 明
14	8月28日(金) 1時限	画像診断：歯・歯周組織 2. 辺縁性歯周炎 3. 根尖性歯周疾患	歯髄・根尖歯周組織疾患および歯周疾患のエックス線所見を説明できる。	田口 明

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
15	9月4日(金) 1時限	放射線の必須事項 1. 放射線被曝 2. 口内法撮影装置 3. 口内法 4. パノラマエックス線撮影法 5. CT 検査 6. 造影検査 7. ポジトロン放射断層撮影	放射線学に必須とされる項目について再度確認し、理解する。	田口 明
16	9月18日(金) 1時限	画像診断：顎骨 1. 顎骨の外傷 2. 顎骨の炎症	顎顔面領域の骨折における分類、画像検査法の種類、エックス線所見を説明できる。 顎骨炎の種類とエックス線所見を説明できる。	田口 明
17	9月25日(金) 1時限	画像診断：顎骨 3. 顎骨の歯源性嚢胞	顎骨に発生する歯源性嚢胞の種類とエックス線所見を説明できる。	田口 明
18	10月2日(金) 1時限	画像診断：顎骨 4. 顎骨の非歯源性嚢胞 5. 顎骨の嚢胞類似疾患 6. 軟組織に発生する嚢胞	顎骨に発生する非歯源性嚢胞の種類とエックス線所見を説明できる。 軟組織に発生する嚢胞の種類と画像所見を説明できる。	田口 明
19	10月9日(金) 1時限	画像診断：顎骨 7. 顎骨の歯源性腫瘍	顎骨に発生する歯源性腫瘍の種類とエックス線所見を説明できる。 腫瘍の診断に必要な画像検査法を説明できる。	田口 明
20	10月16日(金) 1時限	画像診断：顎骨 8. 顎骨の非歯源性腫瘍	顎骨に発生する非歯源性良性腫瘍、悪性腫瘍の種類とエックス線所見を説明できる。	黒岩 博子
21	10月23日(金) 1時限	画像診断：顎骨 9. 顎骨の腫瘍類似疾患	顎骨の腫瘍類似疾患の種類とエックス線所見を説明できる。	田口 明
22	10月30日(金) 1時限	画像診断：口腔隣接領域 1. 上顎洞疾患	上顎洞疾患の種類とエックス線所見を説明できる。	杉野 紀幸
23	11月6日(金) 1時限	画像診断：口腔隣接領域 2. 唾液腺疾患	唾液腺疾患の種類とエックス線所見を説明できる。	田口 明
24	11月13日(金) 1時限	画像診断：口腔隣接領域 3. 顎関節疾患	顎関節疾患の種類と画像所見を説明できる。	田口 明
25	11月20日(金) 1時限	画像診断：口腔隣接領域 4. 症候性疾患	口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類とエックス線所見を説明できる。	田口 明
26	11月27日(金) 1時限	放射線治療 1. 悪性腫瘍に対する放射線の作用	悪性腫瘍に対する放射線感受性とそれを修飾する生物学的因子を説明できる。	杉野 紀幸
27	12月4日(金) 1時限	放射線治療 2. 口腔領域の放射線治療 3. 照射の副作用と障害 4. 放射線治療と口腔管理	放射線治療の種類、特徴、適応を説明できる。 放射線治療に伴う副作用とその口腔管理を説明できる。	田口 明
28	12月11日(金) 1時限	放射線の影響と健康 1. 放射線の影響	放射線の人体への影響について身体的影響と遺伝的影響、早期影響と晩期影響、確率的影响と確定的影響に関し説明できる。	黒岩 博子
29	12月18日(金) 1時限	放射線の影響と健康 2. 放射線と健康 3. 放射線に関する法的規制	放射線被曝の種類と特徴を説明できる。 ICRP の勧告の基本について説明できる。 歯科エックス線検査における患者と術者の放射線防護方法を説明できる。 放射線に関する法的規制について説明できる。	田口 明
30	12月25日(金) 1時限	正当化と最適化に基づいた画像診断の実際 1. 正当化に基づく画像診断法の選択 2. 最適化に基づく画像診断法の調整 3. 単純エックス線画像および特殊画像検査の診断法	正当化と最適化に基づき各疾患に対する画像診断法の的確な選択ができるとともに、選択した画像から適切な診断が行える。	田口 明

歯内療法学 (C4130)

第4学年（前期）
講義 必修

【担当者】

教授：増田宜子
非常勤講師：辻本恭久

【一般目標（GIO）】

歯の健康を回復し、歯の機能を維持させるために、歯・歯周組織の構造と機能を理解し、歯の硬組織疾患、歯髄疾患、根尖性歯周組織疾患の概要、原因、症状、検査、診断および処置法について修得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 3年後期に修得した内容を説明できる。
2. 根管処置について説明できる。
3. 根管充填について説明できる。
4. 外科的歯内療法について説明できる。
5. 顕微鏡を応用した歯内療法について説明できる。
6. 歯内療法における安全対策について説明できる。
7. 根末完成歯や歯根の病的吸収とその治療法について説明できる。
8. 外傷歯に対する診断と処置について説明できる。
9. 変色歯に対する原因と治療法について説明できる。
10. 歯内一歯周病変を分類し治療方針を説明できる。
11. 高齢者の歯内療法について説明できる。
12. 根管処置後の歯冠修復について説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 勝海一郎他編：「歯内治療学 第5版」（医歯薬出版）
〔参考書〕 興地隆史他編：「第5版エンドドンティックス」（永末書店）
須田英明他編：「エンドドンティックス21 改訂版」（永末書店）
S.Cohen 他：「Pathways of the Pulp 10th ED」（Mosby）

【教育（学習）方略（LS）】

教科書に沿って講義をおこなう。
主要項目および臨床事例はスライド・動画で提示して説明する。

【フィードバック方法】

講義のはじめに前回の講義内容についてのテストを行い解答と解説を行う。講義中は質問により理解度を確認する。講義終了後に講義内容についてテストを行い理解度を確認する。理解しにくかった点について学生に質問し、次の講義で解説する。

【評価方法（Evaluation）】

定期試験、Weekly Test（30％）出席回数、授業態度から総合的に評価する。
※評価方法は合計で100％になるよう記載すること

【注意事項】

3年後期に学習した内容を理解できていると考えて講義を進めるため、いつでも3年時の内容が見直せるよう、教科書を持参すること。途中でわからないことは遠慮なく質問すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して、教科書を読んで予習すること。(15分)

復 習：講義ノート、講義資料、教科書を復習し、理解すること。(45分)

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 18:00～19:00

本館4階西棟 歯科保存学講座教授室

【授業日程】

<div> <div>歯内療法学</div> <div>第4学年（前期）</div> </div>				
回数	授業日時 時間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	5月12日(火) 1時限	3年後期のまとめ	1. 歯内療法学の目的と意義、歴史を説明できる。 2. 歯・歯周組織の構造と機能を説明できる。 3. 歯の硬組織疾患を説明できる。 4. 歯内療法における基本術式の概要について説明できる。 5. 歯髄疾患について説明できる。 6. 根尖性歯周炎について説明できる。 教科書 p 1～114	増田 宜子
2	5月19日(火) 1時限	根管処置(1) 髄室開拓 根管長測定と作業長の決定 P115-123	1. 髄室開拓の要件・術式について説明できる。 2. 根管長測定法と作業長の決定について説明できる。 教科書 p115～123	増田 宜子
3	5月26日(火) 1時限	根管処置(2) 根管形成 根管の化学的清掃 P124-138	1. 根管拡大・形成の意義について説明できる。 2. 根管の化学的清掃の意義について説明できる。 教科書 p124～138	増田 宜子
4	6月2日(木) 1時限	根管処置(3) 根管の消毒 根管内容物の検査 根管治療の補助療法 再根管治療 P138-150	1. 根管の消毒の意義について説明できる。 2. 根管消毒薬の所要性質について説明できる。 3. 根管消毒薬の種類と使用法について説明できる。 4. 根管内容物の検査について説明できる。 5. 根管治療の補助療法について説明できる。 6. 再根管治療について説明できる。 教科書 p138～150	増田 宜子
5	6月9日(火) 1時限	根管充填(1) 根管充填の目的と意義 根管充填の時期 根管充填材の所要性質 根管充填材の種類 P151-160	1. 根管充填の目的と意義について説明できる。 2. 根管充填の時期について説明できる。 3. 根管充填材の所要性質について説明できる。 4. 根管充填剤の種類について説明できる。 教科書 p151～160	増田 宜子
6	6月16日(火) 1時限	根管充填(2) 根管充填の術式 即時根管充填法 根管充填後の治療経過 P160-P176	1. 根管充填の術式について説明できる。 2. 即時根管充填法について説明できる。 3. 根管充填後の根尖部創傷の治癒機転について説明できる。 4. 治癒に影響を及ぼす因子について説明できる。 5. 予後の判定基準と時期について説明できる。 教科書 p160～175	増田 宜子
7	6月23日(火) 1時限	根管処置後の歯冠修復 P 259-263 緊急処置 P 177-182	1. コロナルリーケージについて説明できる。 2. 支台築造について説明できる。 教科書 p259～263 3. 疼痛に対する緊急処置について説明できる。 4. 急性歯髄炎の緊急処置について説明できる。 5. 急性根尖性歯周炎の緊急処置について説明できる。 P 177-182	増田 宜子

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
8	6月30日(火) 1時限	根未完成歯の治療 歯内治療の将来 P183-189	1. アペキシゲネーシスについて説明できる。 2. アペキシフィケーションについて説明できる。 3. アペキシゲネーシスおよびアペキシフィケーションの適応症例について説明できる。 4. MTA を用いた根尖閉鎖療法について説明できる。 5. 歯髄再生療法について説明できる。 教科書 p183～189	増田 宜子
9	7月7日(火) 1時限	歯根の病的吸収 P 191-198 外傷歯の診断と処置 P199-209	1. 歯根の外部吸収について説明できる。 2. 歯髄の内部吸収について説明できる。 教科書 p191～198 1. 外傷歯の分類について説明できる。 2. 外傷歯の診査と検査法について説明できる。 3. 外傷歯の治療法について説明できる。 教科書 p199～209	増田 宜子
10	7月14日(火) 1時限	外科的歯内治療 P211-223	1. 外科的歯内治療の適応症について説明できる。 2. 外科的歯内療法術の術式および治療機転と予後について説明できる。 教科書 p211～223	増田 宜子
11	7月21日(火) 1時限	歯科用実体顕微鏡を応用した歯内治療 P225-234	1. 歯科用実体顕微鏡による検査について説明できる。 2. 歯科用実体顕微鏡による処置の特徴について説明できる。 3. 診療ポジションについて説明できる。 4. 適応症について説明できる。 教科書 p225～234	辻本 恭久
12	7月28日(火) 1時限	レーザーを用いた歯内治療	1. 根管拡大・形成の意義について説明できる。 2. 根管的化学的清掃の意義について説明できる。 3. 根管の消毒の意義について説明できる。 4. 根管消毒薬の所要性質について説明できる。 5. 根管消毒薬の種類と使用法について説明できる。 教科書 p115～150	増田 宜子
13	8月18日(火) 1時限	変色歯の漂白 P235-237 歯内・歯周疾患 P 239-247	1. 変色歯の漂白について説明できる。 教科書 p235～237 1. 歯内疾患と歯周疾患の関連について説明できる。 2. 歯内・歯周疾患の分類と臨床症状について説明できる。 3. 歯内・歯周疾患の診断と治療方針について説明できる。 教科書 p239～247	増田 宜子
14	8月25日(火) 1時限	高齢者・有病者の歯内治療 P 249-257	1. 高齢者の心身における特徴について説明できる。 2. 全身疾患と歯内治療の留意点・影響について説明できる。 3. 高齢者・有病者と成人健康者との歯内治療の違いについて説明できる。 4. 高齢者の歯・歯髄・歯周組織と歯内治療について説明できる。 教科書 p249～257	増田 宜子
15	9月1日(火) 1時限	歯内治療における安全対策 P265-280 まとめ	1. 歯内治療領域の安全対策について説明できる。 教科書 p265～280	増田 宜子

歯内療法学実習 (C4140)

第4学年（後期）
実習 必修

【担当者】

教授：増田宜子、安西正明

助 教：小町谷美帆、尾崎友輝、中村 卓、小松佐保、石岡康明、内川竜太郎

助 手：三好弥恵、佐故竜介、中村圭吾、宮國 茜、岩崎拓也、奥瀬稔之、田井康寛、朝倉莉紗、水谷隆一

診療助手：甲田訓子

非常勤講師：窪川恵太、亀井英彦、坂野雅洋、佐々響子、佐々公太、長縄敬弘、夫馬大介、古田英豊、木村喜保、
前川佳徳、村瀬貴之、田中敏寿、山崎雅弘、高橋惇哉、川尻勝彦、斎藤俊樹、小林 卓、牧英次郎、
西川 徹

【一般目標（GIO）】

講義で学んだ内容を実習により復習し、臨床応用できる基本的な技術を修得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 齲蝕を指摘し、軟化象牙質を除去できる。
2. 根管の解剖学的形態を予測できる。
3. ラバーダム防湿を実施できる。
4. 全ての歯種に髓室開拓を実施できる。
5. 根管拡大を実施できる。
6. 根管洗浄を実施できる。
7. 根管貼薬を実施できる。
8. 仮封を実施できる。
9. 側方加圧根管充填法を実施できる。
10. 根管充填材を根管内から除去できる。

【教科書・参考書】

【教科書】 歯科保存学講座編：「歯内療法学実習マニュアル」

勝海一郎他：「歯内治療学（第5版）」（医歯薬出版）

【参考書】 浅井康弘他訳：「歯内療法マニュアル基礎編」（医歯薬出版）

興地隆史他編：「第5版エンドドンティクス」（永末書店）

須田英明他編：「エンドドンティクス21 改訂版」（永末書店）

S.Cohen 他：「Pathways of the Pulp 10th ED」（Mosby）

【教育（学習）方略（LS）】

マネキン、顎模型、レジン歯によるシミュレーションシステムにより、まず代表的な臨床状況の設定下に、様々な歯種に対して基本的な術式を習得してから、それぞれの歯種について天然抜去歯を用いて同様の処置を行うことで細目が研鑽できる。個々の処置に先がけて、実習マニュアルを基にスライドによる講義により処置の目的や必要性を理解させ、加えて動画デモにより一連の術式の流れを把握させる。

【フィードバック方法】

実習前に実習内容に関するテストを行う。実習後、学生の質問を受け、解説する。

Weekly Test の解説を行う。

【評価方法（Evaluation）】

実習項目の進捗と実習技術の評価（100点満点）、実技試験（100点満点）および Weekly Test の成績（100点満点）を合計して195点以上に達したものを合格とする。（Weekly Test は30%）

【注意事項】

各項目の目的と処置内容との関連・必要性を認識把握すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：マニュアルを事前に読んで予習し、必要な機材を再確認する。(15分)

復 習：実習した項目について教科書・講義資料で復習する。実習でうまくいかなかった点についてはその原因を考察する。(45分)

【オフィスアワー】

実習日の実習終了後 実習館実習室101

【授業日程】

<div> <div>歯内療法学実習</div> <div>第4学年（後期）</div> </div>					
回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	補助者
1	9月17日(木) 3時限	使用する器具の解説 上顎前歯、上顎小臼歯、上顎大臼歯、 下顎小臼歯、下顎大臼歯の根管形態を 確認・スケッチ	歯内治療に使用する器具の使用目的・方法を理解する。 歯根形態、歯冠軸・歯根軸を把握し、正確な歯内治療が行えるようにする。 器具を安全に操作できる。	増田 宜子 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太朗 窪川 恵太 前川 佳徳	甲田 訓子 三好 弥恵 中村 圭吾 宮國 茜 岩崎 拓也 奥瀬 稔之 田井 康寛 朝倉 莉紗 水谷 隆一
2	9月17日(木) 4時限	使用する器具の解説 上顎前歯、上顎小臼歯、上顎大臼歯、 下顎小臼歯、下顎大臼歯の根管形態を 確認・スケッチ	歯内治療に使用する器具の使用目的・方法を理解する。 歯根形態、歯冠軸・歯根軸を把握し、正確な歯内治療が行えるようにする。 器具を安全に操作できる。	増田 宜子 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太朗 窪川 恵太 前川 佳徳	甲田 訓子 三好 弥恵 中村 圭吾 宮國 茜 岩崎 拓也 奥瀬 稔之 田井 康寛 朝倉 莉紗 水谷 隆一
3	10月1日(木) 3時限	根管模型フィルム植立 ラバーダム防湿・ブローチ綿栓の説明 根管模型を用いた髓室開拡（#11#24 #26#36#44） 髓腔模型を用いた髓室開拡（#14#21 #26#45#46） 髓腔模型（#45）を用いた根管洗浄	ラバーダム防湿ができる。 1. ラバーダムシートの正しい位置に穿孔できる。 2. 適切な穿孔サイズを選択できる。 3. 適切なクランプを選択できる。 4. クランプを正しく装着できる。 5. フレームを正しい位置に装着できる。 6. ラバーシートを歯頸部に適合できる。 術野の消毒ができる。 ブローチをホルダーにしっかり固定できる。 四角綿の繊維の方向を理解する。 適切な形態のブローチ綿栓の作製法を理解できる。 ミラーテクニックによる開拡窩洞形成ができる。 適切な外形での切削と歯質保存ができる。 髓室への穿孔ができる。 有鉤探針による天蓋の確認ができる。 ラウンドバーによる天蓋の除去ができる。 NaClO と EDTA による洗浄が安全に行える。 根管口の確認と根管の探索ができる。 根管口の漏斗状拡大ができる。 根尖性歯周疾患の簡単な治療を実践できる。	増田 宜子 安西 正明 尾崎 友輝 小松 佐保 内川竜太朗 石岡 康明 亀井 英彦	佐故 竜介 甲田 訓子 三好 弥恵 中村 圭吾 宮國 茜 岩崎 拓也 奥瀬 稔之 朝倉 莉紗 水谷 隆一

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
4	10月1日(木) 4時限	根管模型フィルム植立 ラバーダム防湿・ブローチ綿栓の説明 根管模型を用いた髓室開拓 (#11 #24 #26 #36 #44) 髓腔模型を用いた髓室開拓 (#14 #21 #26 #45 #46) 髓腔模型 (#45) を用いた根管洗浄	ラバーダム防湿ができる。 1. ラバーダムシートの正しい位置に穿孔できる。 2. 適切な穿孔サイズを選択できる。 3. 適切なクランプを選択できる。 4. クランプを正しく装着できる。 5. フレームを正しい位置に装着できる。 6. ラバーシートを歯頸部に適合できる。 術野の消毒ができる。 ブローチをホルダーにしっかり固定できる。 四角綿の繊維の方向を理解する。 適切な形態のブローチ綿栓の作製法を理解できる。 ミラーテクニックによる開拓窩洞形成ができる。 適切な外形での切削と歯質保存ができる。 髓室への穿孔ができる。 有鉤探針による天蓋の確認ができる。 ラウンドバーによる天蓋の除去ができる。 NaClO と EDTA による洗浄が安全に行える。 根管口の確認と根管の探索ができる。 根管口の漏斗状拡大ができる。 根尖性歯周疾患の簡単な治療を実践できる。	増田 宜子 安西 正明 尾崎 友輝 小松 佐保 内川 竜太郎 石岡 康明 亀井 英彦 村瀬 貴之	佐故 竜介 甲田 訓子 三好 弥恵 中村 圭吾 宮國 茜 岩崎 拓也 奥瀬 稔之 朝倉 莉紗 水谷 隆一
5	10月8日(木) 3時限	第2回の続き	ラバーダム防湿ができる。 1. ラバーダムシートの正しい位置に穿孔できる。 2. 適切な穿孔サイズを選択できる。 3. 適切なクランプを選択できる。 4. クランプを正しく装着できる。 5. フレームを正しい位置に装着できる。 6. ラバーシートを歯頸部に適合できる。 術野の消毒ができる。 ブローチをホルダーにしっかり固定できる。 四角綿の繊維の方向を理解する。 適切な形態のブローチ綿栓の作製法を理解できる。 ミラーテクニックによる開拓窩洞形成ができる。 適切な外形での切削と歯質保存ができる。 髓室への穿孔ができる。 有鉤探針による天蓋の確認ができる。 ラウンドバーによる天蓋の除去ができる。 NaClO と EDTA による洗浄が安全に行える。 根管口の確認と根管の探索ができる。 根管口の漏斗状拡大ができる。 根尖性歯周疾患の簡単な治療を実践できる。	増田 宜子 小町 谷美帆 中村 卓 小松 佐保 内川 竜太郎 高橋 惇哉 斎藤 俊樹	甲田 訓子 三好 弥恵 中村 圭吾 宮國 茜 岩崎 拓也 奥瀬 稔之 田井 康寛 朝倉 莉紗

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
6	10月8日(木) 4時限	第2回の続き	ラバーダム防湿ができる。 1. ラバーダムシートの正しい位置に穿孔できる。 2. 適切な穿孔サイズを選択できる。 3. 適切なクランプを選択できる。 4. クランプを正しく装着できる。 5. フレームを正しい位置に装着できる。 6. ラバーシートを歯頸部に適合できる。 術野の消毒ができる。 ブローチをホルダーにしっかり固定できる。 四角綿の繊維の方向を理解する。 適切な形態のブローチ綿栓の作製法を理解できる。 ミラーテクニックによる開拡窩洞形成ができる。 適切な外形での切削と歯質保存ができる。 髓室への穿孔ができる。 有鉤探針による天蓋の確認ができる。 ラウンドバーによる天蓋の除去ができる。 NaClO と EDTA による洗浄が安全に行える。 根管口の確認と根管の探索ができる。 根管口の漏斗状拡大ができる。 根尖性歯周疾患の簡単な治療を実践できる。	増田 宜子 小町谷美帆 中村 卓 小松 佐保 内川竜太郎 高橋 惇哉 斎藤 俊樹	甲田 訓子 三好 弥恵 中村 圭吾 宮國 茜 岩崎 拓也 奥瀬 稔之 田井 康寛 朝倉 莉紗
7	10月15日(木) 3時限	第2回の続き	ラバーダム防湿ができる。 1. ラバーダムシートの正しい位置に穿孔できる。 2. 適切な穿孔サイズを選択できる。 3. 適切なクランプを選択できる。 4. クランプを正しく装着できる。 5. フレームを正しい位置に装着できる。 6. ラバーシートを歯頸部に適合できる。 術野の消毒ができる。 ブローチをホルダーにしっかり固定できる。 四角綿の繊維の方向を理解する。 適切な形態のブローチ綿栓の作製法が理解できる。 ミラーテクニックによる開拡窩洞形成ができる。 適切な外形での切削と歯質保存ができる。 髓室への穿孔ができる。 有鉤探針による天蓋の確認ができる。 ラウンドバーによる天蓋の除去ができる。 NaClO と EDTA による洗浄が安全に行える。 根管口の確認と根管の探索ができる。 根管口の漏斗状拡大ができる。 根尖性歯周疾患の簡単な治療を実践できる。	増田 宜子 小松 佐保 内川竜太郎 石岡 康明 長縄 敬弘	甲田 訓子 三好 弥恵 中村 圭吾 宮國 茜 岩崎 拓也 奥瀬 稔之 朝倉 莉紗 水谷 隆一

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
8	10月15日(木) 4 時限	第2回の続き	ラバーダム防湿ができる。 1. ラバーダムシートの正しい位置に穿孔できる。 2. 適切な穿孔サイズを選択できる。 3. 適切なクランプを選択できる。 4. クランプを正しく装着できる。 5. フレームを正しい位置に装着できる。 6. ラバーシートを歯頸部に適合できる。 術野の消毒ができる。 ブローチをホルダーにしっかり固定できる。 四角綿の繊維の方向を理解する。 適切な形態のブローチ綿栓の作製法が理解できる。 ミラーテクニックによる開拡窩洞形成ができる。 適切な外形での切削と歯質保存ができる。 髓室への穿孔ができる。 有鉤探針による天蓋の確認ができる。 ラウンドバーによる天蓋の除去ができる。 NaClO と EDTA による洗浄が安全に行える。 根管口の確認と根管の探索ができる。 根管口の漏斗状拡大ができる。 根尖性歯周疾患の簡単な治療を実践できる。	増田 宜子 小松 佐保 内川 竜太郎 石岡 康明 長縄 敬弘	甲田 訓子 三好 弥恵 中村 圭吾 宮國 茜 岩崎 拓也 奥瀬 稔之 朝倉 莉紗 水谷 隆一
9	10月22日(木) 3 時限	歯科用実体顕微鏡 (マイクロスコープ) の解説 マイクロスコープの視度調整 マイクロスコープを使用した模型歯の観察、拡大形成 多目的超音波洗浄器を使用した根管洗浄	マイクロスコープの使用目的を説明できる。 マイクロスコープの視度調整を理解する。 1. 接眼レンズの調整を理解する。 2. 瞳孔間距離の調整を理解する。 3. ビント調整を理解する。 マイクロスコープと表面反射ミラーを使用した根管観察と根管拡大操作を理解する。 マイクロスコープと多目的超音波洗浄器を使用した根管洗浄を理解する。	増田 宜子 安西 正明 尾崎 友輝 小松 佐保 内川 竜太郎 川尻 勝彦	甲田 訓子 三好 弥恵 中村 圭吾 宮國 茜 岩崎 拓也 奥瀬 稔之 田井 康寛 朝倉 莉紗
10	10月22日(木) 4 時限	電氣的根管長測定 (EMR) の解説 EMR 模型を用いた EMR 測定・拡大形成	電氣的根管長測定の理論を理解する。 電氣的根管長測定器の使用方法を理解する。 模型歯と電氣的根管長測定器を使用して根管長を測定できる。	増田 宜子 小町谷美帆 中村 卓 小松 佐保 内川 竜太郎 夫馬 大介	三好 弥恵 中村 圭吾 宮國 茜 岩崎 拓也 奥瀬 稔之 朝倉 莉紗 水谷 隆一
11	10月29日(木) 3 時限	電氣的根管長測定 (EMR) の解説 EMR 模型を用いた EMR 測定・拡大形成	電氣的根管長測定の理論を理解する。 電氣的根管長測定器の使用方法を理解する。 模型歯と電氣的根管長測定器を使用して根管長を測定できる。	増田 宜子 小町谷美帆 中村 卓 小松 佐保 内川 竜太郎 夫馬 大介	三好 弥恵 中村 圭吾 宮國 茜 岩崎 拓也 奥瀬 稔之 朝倉 莉紗 水谷 隆一

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
12	10月29日(木) 4時限	電氣的根管長測定 (EMR) の解説 EMR 模型を用いた EMR 測定・拡大形成	電氣的根管長測定の理論を理解する。 電氣的根管長測定器の使用方法を理解する。 模型歯と電氣的根管長測定器を使用して根管長を測定できる。	増田 宜子 小町谷美帆 中村 卓 小松 佐保 内川竜太朗 夫馬 大介 山崎 雅弘	三好 弥恵 中村 圭吾 宮國 茜 岩崎 拓也 奥瀬 稔之 朝倉 莉紗 水谷 隆一
13	11月5日(木) 3時限	根管模型 (#44) を用いた EMR 測定・拡大形成	模型歯と電氣的根管長測定器を使用して根管長を測定できる。 ファイルの操作法と点検法を理解する。 ファイルを作業長に到達できる。 ファイルを用いて根管拡大ができる。 根管拡大の目的を理解し、適切に形成できる。 根管洗浄法を理解し、安全な操作ができる。 ペーパーポイントによる根管乾燥ができる。	増田 宜子 小松 佐保 内川竜太朗 坂野 雅洋 古田 英豊	三好 弥恵 中村 圭吾 宮國 茜 岩崎 拓也 奥瀬 稔之 田井 康寛 朝倉 莉紗
14	11月5日(木) 4時限	根管模型 (#44) を用いた EMR 測定・拡大形成	模型歯と電氣的根管長測定器を使用して根管長を測定できる。 ファイルの操作法と点検法を理解する。 ファイルを作業長に到達できる。 ファイルを用いて根管拡大ができる。 根管拡大の目的を理解し、適切に形成できる。 根管洗浄法を理解し、安全な操作ができる。 ペーパーポイントによる根管乾燥ができる。	増田 宜子 小松 佐保 内川竜太朗 坂野 雅洋 古田 英豊	三好 弥恵 中村 圭吾 宮國 茜 岩崎 拓也 奥瀬 稔之 田井 康寛 朝倉 莉紗
15	11月12日(木) 3時限	EMR 模型を用いた根管充填・根管模型 (#44) を用いた根管充填	マスターポイントの試適ができる。 1. ポイントに作業長を印記できる。 2. tug back を認識できる。 3. 根尖部への適合を獲得できる。 根管充填に必要な器械・材料を準備できる。 根管長の確認ができる。 側方加圧充填ができる。 1. ポイントに作業長を印記できる。 2. シーラーの練和ができる。 3. マスターポイントの充填ができる。 4. スプレッターの操作ができる。 5. アクセサリーポイントの充填ができる。 6. 充填完了を判定できる。 余剰なポイントを根管口部で除去できる。 根管上部のガッタバーチャを圧接できる。	増田 宜子 安西 正明 尾崎 友輝 小松 佐保 内川竜太朗 石岡 康明 佐々 響子	三好 弥恵 中村 圭吾 宮國 茜 岩崎 拓也 奥瀬 稔之 朝倉 莉紗 水谷 隆一

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
16	11月12日(木) 4 時限	EMR 模型を用いた根管充填・根管模型 (#44) を用いた根管充填	<p>マスターポイントの試適ができる。</p> <p>1. ポイントに作業長を印記できる。</p> <p>2. tug back を認識できる。</p> <p>3. 根尖部への適合を獲得できる。</p> <p>根管充填に必要な器械・材料を準備できる。</p> <p>根管長の確認ができる。</p> <p>側方加圧充填ができる。</p> <p>1. ポイントに作業長を印記できる。</p> <p>2. シーラーの練和ができる。</p> <p>3. マスターポイントの充填ができる。</p> <p>4. スプレッターの操作ができる。</p> <p>5. アクセサリーポイントの充填ができる。</p> <p>6. 充填完了を判定できる。</p> <p>余剰なポイントを根管口部で除去できる。</p> <p>根管上部のガッタパーチャを圧接できる。</p>	<p>増田 宜子</p> <p>安西 正明</p> <p>尾崎 友輝</p> <p>小松 佐保</p> <p>内川 竜太郎</p> <p>石岡 康明</p> <p>佐々 響子</p>	<p>三好 弥恵</p> <p>中村 圭吾</p> <p>宮國 茜</p> <p>岩崎 拓也</p> <p>奥瀬 稔之</p> <p>朝倉 莉紗</p> <p>水谷 隆一</p>
17	11月19日(木) 3 時限	根管模型 (#26) を用いた根管拡大形成 (ステップバック法)・根管充填	<p>ファイルの操作法と点検法を理解する。</p> <p>ファイルを作業長に到達できる。</p> <p>ファイルを用いて根管拡大ができる。</p> <p>ステップバック法の目的を理解し、適切に形成できる。</p> <p>根管洗浄法を理解し、安全な操作ができる。</p> <p>ペーパーポイントによる根管乾燥ができる。</p> <p>根管形態に対応した根管充填が出来る。</p>	<p>増田 宜子</p> <p>小町谷美帆</p> <p>中村 卓</p> <p>小松 佐保</p> <p>内川 竜太郎</p> <p>佐々 公太</p> <p>木村 喜保</p> <p>田中 敏寿</p> <p>高橋 惇哉</p>	<p>三好 弥恵</p> <p>中村 圭吾</p> <p>宮國 茜</p> <p>岩崎 拓也</p> <p>奥瀬 稔之</p> <p>田井 康寛</p> <p>朝倉 莉紗</p>
18	11月19日(木) 4 時限	根管模型 (#26) を用いた根管拡大形成 (ステップバック法)・根管充填	<p>ファイルの操作法と点検法を理解する。</p> <p>ファイルを作業長に到達できる。</p> <p>ファイルを用いて根管拡大ができる。</p> <p>ステップバック法の目的を理解し、適切に形成できる。</p> <p>根管洗浄法を理解し、安全な操作ができる。</p> <p>ペーパーポイントによる根管乾燥ができる。</p> <p>根管形態に対応した根管充填が出来る。</p>	<p>増田 宜子</p> <p>小町谷美帆</p> <p>中村 卓</p> <p>小松 佐保</p> <p>内川 竜太郎</p> <p>佐々 公太</p> <p>木村 喜保</p> <p>田中 敏寿</p> <p>高橋 惇哉</p>	<p>三好 弥恵</p> <p>中村 圭吾</p> <p>宮國 茜</p> <p>岩崎 拓也</p> <p>奥瀬 稔之</p> <p>田井 康寛</p> <p>朝倉 莉紗</p>
19	11月26日(木) 3 時限	第 9 回の続き	<p>ファイルの操作法と点検法を理解する。</p> <p>ファイルを作業長に到達できる。</p> <p>ファイルを用いて根管拡大ができる。</p> <p>ステップバック法の目的を理解し、適切に形成できる。</p> <p>根管洗浄法を理解し、安全な操作ができる。</p> <p>ペーパーポイントによる根管乾燥ができる。</p> <p>根管形態に対応した根管充填が出来る。</p>	<p>増田 宜子</p> <p>小町谷美帆</p> <p>小松 佐保</p> <p>内川 竜太郎</p> <p>窪川 恵太</p> <p>前川 佳徳</p> <p>高橋 惇哉</p>	<p>三好 弥恵</p> <p>中村 圭吾</p> <p>宮國 茜</p> <p>岩崎 拓也</p> <p>奥瀬 稔之</p> <p>朝倉 莉紗</p> <p>水谷 隆一</p>

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
20	11月26日(木) 4 時限	第 9 回の続き	ファイルの操作法と点検法を理解する。 ファイルを作業長に到達できる。 ファイルを用いて根管拡大ができる。 ステップバック法の目的を理解し、適切に形成できる。 根管洗浄法を理解し、安全な操作ができる。 ペーパーポイントによる根管乾燥ができる。 根管形態に対応した根管充填が出来る。	増田 宜子 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎 窪川 恵太 前川 佳徳 高橋 惇哉	三好 弥恵 中村 圭吾 宮國 茜 岩崎 拓也 奥瀬 稔之 朝倉 莉紗 水谷 隆一
21	12月 3 日(木) 3 時限	Ni : Ti ファイル (根管模型) を用いた 髓室開拡・EMR・根管拡大形成	天然歯においても菌髄腔形態を適切に把握し、模型歯と同様に髓室開拡・電氣的根管長測定・根管口明示・根管拡大形成までを行える。	増田 宜子 安西 正明 小町谷美帆 尾崎 友輝 小松 佐保 内川竜太郎 亀井 英彦 村瀬 貴之	三好 弥恵 中村 圭吾 宮國 茜 岩崎 拓也 奥瀬 稔之 田井 康寛 朝倉 莉紗
22	12月 3 日(木) 4 時限	Ni : Ti ファイル (根管模型) を用いた 髓室開拡・EMR・根管拡大形成	天然歯においても菌髄腔形態を適切に把握し、模型歯と同様に髓室開拡・電氣的根管長測定・根管口明示・根管拡大形成までを行える。	増田 宜子 安西 正明 小町谷美帆 尾崎 友輝 小松 佐保 内川竜太郎 亀井 英彦 杉浦 進介 村瀬 貴之 小林 卓 牧 英次郎 西川 徹	三好 弥恵 中村 圭吾 宮國 茜 岩崎 拓也 奥瀬 稔之 田井 康寛 朝倉 莉紗
23	12月10日(木) 3 時限	天然歯 (上顎小臼歯) を用いた髓室開 拡・EMR・根管拡大形成	天然歯においても菌髄腔形態を適切に把握し、模型歯と同様に髓室開拡・電氣的根管長測定・根管口明示・根管拡大形成までを行える。	増田 宜子 中村 卓 小松 佐保 内川竜太郎 斎藤 俊樹	三好 弥恵 中村 圭吾 宮國 茜 岩崎 拓也 奥瀬 稔之 朝倉 莉紗 水谷 隆一
24	12月10日(木) 4 時限	天然歯 (上顎小臼歯) を用いた髓室開 拡・EMR・根管拡大形成	天然歯においても菌髄腔形態を適切に把握し、模型歯と同様に髓室開拡・電氣的根管長測定・根管口明示・根管拡大形成までを行える。	増田 宜子 中村 卓 小松 佐保 内川竜太郎 斎藤 俊樹	三好 弥恵 中村 圭吾 宮國 茜 岩崎 拓也 奥瀬 稔之 朝倉 莉紗 水谷 隆一

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
25	12月17日(木) 3時限	髓腔模型 (#24) を用いた直接覆髄	ラバーダム防湿ができる。 直接覆髄に必要な器械・材料を準備できる。 露髄面の整理ができる。 ケミカルサージェリーの操作ができる。 覆髄剤 (Dycal) 貼付ができる。 リン酸亜鉛セメントの充填ができる。 生活歯髄切断法に必要な器械・材料を準備できる。 歯髄切断面の整理 (ケミカルサージェリー) ができる。 覆髄剤 (水酸化カルシウム) 貼付ができる。 グラスアイオノマーセメントの充填ができる。 歯髄疾患の簡単な治療を実践できる。	増田 宜子 中村 卓 小松 佐保 内川竜太郎 石岡 康明	三好 弥恵 中村 圭吾 宮國 茜 岩崎 拓也 奥瀬 稔之 田井 康寛 朝倉 莉紗
26	12月17日(木) 4時限	髓腔模型 (#24) を用いた直接覆髄	ラバーダム防湿ができる。 直接覆髄に必要な器械・材料を準備できる。 露髄面の整理ができる。 ケミカルサージェリーの操作ができる。 覆髄剤 (Dycal) 貼付ができる。 リン酸亜鉛セメントの充填ができる。 生活歯髄切断法に必要な器械・材料を準備できる。 歯髄切断面の整理 (ケミカルサージェリー) ができる。 覆髄剤 (水酸化カルシウム) 貼付ができる。 グラスアイオノマーセメントの充填ができる。 歯髄疾患の簡単な治療を実践できる。	増田 宜子 小松 佐保 内川竜太郎 長縄 敬弘	三好 弥恵 中村 圭吾 宮國 茜 岩崎 拓也 奥瀬 稔之 田井 康寛 朝倉 莉紗
27	12月24日(木) 3時限	根管模型 (#44) を用いた再根管治療 ガッタパーチャポイントの除去 再根管拡大形成	根管充填が不良と判断した場合の対処法を説明できる。 旧根管充填材を除去できる。 再根管拡大形成ができる。 診断並びに治療に必要な画像検査を選択し、実施できる。	増田 宜子 小松 佐保 内川竜太郎 長縄 敬弘	三好 弥恵 中村 圭吾 宮國 茜 岩崎 拓也 奥瀬 稔之 朝倉 莉紗 水谷 隆一
28	12月24日(木) 4時限	根管模型 (#44) を用いた再根管治療 ガッタパーチャポイントの除去 再根管拡大形成	根管充填が不良と判断した場合の対処法を説明できる。 旧根管充填材を除去できる。 再根管拡大形成ができる。 診断並びに治療に必要な画像検査を選択し、実施できる。	増田 宜子 尾崎 友輝 小松 佐保 内川竜太郎 川尻 勝彦	三好 弥恵 中村 圭吾 宮國 茜 岩崎 拓也 奥瀬 稔之 朝倉 莉紗 水谷 隆一
29	1月7日(木) 3時限	総復習	これまで行った実習の知識・手技について説明できる。	増田 宜子 中村 卓 小松 佐保 内川竜太郎 夫馬 大介 斎藤 俊樹	三好 弥恵 中村 圭吾 宮國 茜 岩崎 拓也 奥瀬 稔之 田井 康寛 朝倉 莉紗

回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
30	1月7日(木) 4時限	総復習	これまで行った実習の知識・手技について説明できる。	増田 宜子 中村 卓 小松 佐保 内川 竜太郎 夫馬 大介 斎藤 俊樹	三好 弥恵 中村 圭吾 宮國 茜 岩崎 拓也 奥瀬 稔之 田井 康寛 朝倉 莉紗

歯 周 病 学 (C4150)

第 4 学年 (前期)
講義 必修

【担当者】

教 授：吉成伸夫

助 教：尾崎友輝、中村 卓

【一般目標 (GIO)】

歯周疾患の各種治療法と、予防法について理解、説明できる。

【行動目標 (SBOs)】

1. 歯周疾患の検査、診断から治療計画に至る流れを説明できる。
2. 病因除去療法としての歯周基本治療を説明できる。
3. 各種歯周基本治療の術式を理解、説明できる。
4. 歯周外科療法の種類、適応症、禁忌症、術式ならびに治癒を説明できる。
5. 歯周組織再生療法の原理、適応症、術式を説明できる。
6. 咬合調整、固定の原則、時期、術式を説明できる。
7. 根分岐部病変の分類、処置法、歯周 - 歯内病変を説明できる。
8. 特殊な歯周疾患の診断と治療計画を説明できる。
9. 歯周疾患の予防法、SPT、メンテナンスを説明できる。
10. 歯周疾患と全身疾患との関連、その可能性のある機序について説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕吉江弘正・伊藤公一・村上伸也・申基喆編：「臨床歯周病学（第2版）」（医歯薬出版、2019）、もしくは（第3版）

〔参考書〕吉江弘正・米山武義・吉成伸夫編：「高齢者への歯周治療と口腔管理」（インターアクション、2018）

沼部幸博・梅田 誠・齋藤 淳・山本松男編：「ザ・ペリオドントロジー（第3版）」（永末書店 2019）

【教育（学習）方略（LS）】

講義（プロジェクター、黒板）

【フィードバック方法】

Weekly Test 実施後、次の講義にて全問解説する。

【評価方法（Evaluation）】

1. 授業出席回数、聴講態度、理解度 20%
 2. Weekly Test 30%
 3. 記述試験 50%
- で評価する。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認し、事前に講義概要について教科書・参考書等で予習を行うこと。（15分）

復 習：配布されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自理解を深める。（45分）

【オフィスアワー】

月曜・火曜・水曜・金曜 18：00～19：00

本館 5 階西棟 歯科保存学講座医局

【授業日程】

<div> <div>歯 周 病 学</div> <div>第4学年（前期）</div> </div>				
回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
1	5月11日(月) 1時限	歯周基本治療 歯周基本治療の内容とそれらの関連性 再評価検査の意義と目的	歯周基本治療の意義や目的を説明できる。 再評価検査の意義と目的を説明できる。	吉成 伸夫
2	5月14日(木) 1時限	モチベーション モチベーションの重要性、影響する因子 ブラークコントロール ブラークコントロールの目的、意義 機械的、化学的ブラークコントロール 歯ブラシの種類 その他の口腔清掃用具 各種ブラッシング法 薬物療法 局所薬物配送システム（LDDS） Full mouth disinfection（FMD）	モチベーションの重要性について説明できる。 ブラークコントロールの目的を説明できる。 機械的、化学的ブラークコントロールについて説明できる。 縁上、縁下ブラークコントロールの意義について説明できる。 毛先、脇腹を用いるブラッシング方法について説明できる。 薬物療法の特徴を説明できる。 LDDS、FMDについて説明できる。 歯周病治療に用いる抗菌薬について説明できる。	吉成 伸夫
3	5月21日(木) 1時限	スケーリング・ルートプレーニング スケーリング・ルートプレーニングの目的と意義 スケーラーの種類 手用スケーラー 超音波・音波スケーラー スケーリング・ルートプレーニングの方法 シャープニングの定義、方法	スケーリング・ルートプレーニングの目的・意義を説明できる。 スケーラーの種類、特徴について説明できる。 手用スケーラーの種類、特徴について説明できる。 スケーリング・ルートプレーニングの方法について説明できる。 スケーリング・ルートプレーニングの臨床効果について説明できる。	吉成 伸夫
4	5月28日(木) 1時限	歯周外科療法 1. 総論 各種歯周外科療法	歯周外科療法は、目的に応じて多くの術式が存在するが、これらの種類、意義を説明できる。	尾崎 友輝
5	6月4日(木) 1時限	歯周外科療法 2. 切除療法 3. 組織付着療法 各種切除、組織付着療法の術式、適応、創傷治癒について	各種切除、組織付着療法の理論を説明できる。 各手術法の目的、適応、禁忌、術式相互の違いを説明できる。 歯周外科療法の実習と関連づけて説明できる。	吉成 伸夫
6	6月11日(木) 1時限	歯周外科療法 4. 歯周組織再生療法 歯周組織再生療法の原理、種類、適応、治療成績に対する解説	歯周組織再生療法の原理、目的、適応、術式について説明できる。	吉成 伸夫
7	6月18日(木) 1時限	歯周外科療法 5. 歯周形成外科手術 歯周形成外科手術の種類と目的、応用についての解説	歯肉、歯槽粘膜に問題のある場合の各種手術法について目的、適応、術式を理解し、説明できる。	尾崎 友輝
8	6月25日(木) 1時限	根分岐部病変の処置(1) 根分岐部病変の検査、診断の理解 グリックマン、リンデとニーマン（Glickman）、（Lindhe&Nyman）の分類による処置法の解説	根分岐部病変の検査、診断を説明できる。	吉成 伸夫
9	7月2日(木) 1時限	根分岐部病変の処置(2) 根分岐部病変の適応症、治療、術式の理解 歯周 - 歯内病変の処置 歯周 - 歯内病変の成因、治療法についての解説	根分岐部病変の適応症、治療、術式を説明できる。 歯根切除、ヘミセクション、歯根分割、トンネル形成、歯冠形態修正法を説明できる。 歯内、歯周病変と根分岐部病変との関連と両者からの治療法を説明できる。	尾崎 友輝

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
10	7月9日(木) 1時限	咬合性外傷の検査と処置 歯周組織と咬合 咬合性外傷の診断 咬合調整の適応、原則、時期 咬合調整の術式と方法 ブラキシズム、習癖 固定の原則と種類	咬合性外傷の症状、検査、咬合調整、固定の時期、各顎位での咬合調整、削合方法について説明できる。	吉成 伸夫
11	7月16日(木) 1時限	口腔機能回復療法として、歯周疾患の咬合、補綴、矯正治療 1. 歯周補綴 2. 歯周矯正	歯周病治療は、歯周組織の炎症、病変の改善後に口腔機能回復療法として、咬合や咀嚼機能の回復も目的とする。したがって歯冠修復、欠損補綴、最終固定について、目的、適応、方法について説明できる。	吉成 伸夫
12	7月30日(木) 1時限	特殊な歯周疾患 1. ホルモン性歯肉疾患 2. 血液病 3. 薬物関連歯肉疾患 4. 栄養障害関連歯肉炎 5. ヘルペスウイルス、真菌由来歯肉疾患 6. 遺伝性歯肉病変 7. 全身疾患の徴候としての歯周炎	妊娠性、思春期性歯肉炎、フェニトイン歯肉増殖症、ニフェジピン歯肉増殖症、シクロスポリン歯肉増殖症、NUG、NUP、慢性剥離性歯肉炎、遺伝性歯肉線維腫症、白血病性歯肉炎、パピヨナルフェーブル症候群等の特別な歯周疾患について説明できる。	中村 卓
13	8月20日(木) 1時限	歯周疾患の予防、メンテナンス、サポータティブペリオドンタルセラピー (SPT) 1. メンテナンス、SPT の意義 2. メンテナンス、SPT の方法	歯周病治療により改善された歯周組織、咬合を維持するために、メンテナンス、SPT が必要である。その意義、目的、方法、リコールについて説明できる。	中村 卓
14	8月27日(木) 1時限	歯周病と全身疾患(1) 1. 歯周疾患と全身疾患との関連	歯周疾患と全身疾患との関連、その可能性のある機序について説明できる。	吉成 伸夫
15	9月3日(木) 1時限	歯周病と全身疾患(2) 1. 歯周疾患と全身疾患との関連 2. 高齢者の歯周病治療	歯周疾患と全身疾患との関連、その可能性のある機序について説明できる。 高齢者の歯周病治療を説明できる。	吉成 伸夫

歯周病学実習 (C4160)

第4学年（前期）
実習 必修

【担当者】

教授：吉成伸夫

助教：尾崎友輝、出分菜々衣、中村 卓、石岡康明

助手：佐故竜介、田井康寛、水谷隆一、上原龍一、原 美音

非常勤講師：大野美知昭、海瀬聖仁、上條博之、河谷和彦、窪川恵太、小松 寿、川尻勝彦、阪中孝一郎、坂本 浩、
佐藤徳志、高橋惇哉、日垣孝一、天竺克彦、梅村昌孝、大口将弘、大野友三、河原 傳、川瀬仁史、
黒柳隆穂、小林 卓、真岡淳之、白水紀充、杉石 晋、杉 大介、西山佐枝子、牧英次郎、村瀬尚子、
吉成雅子、野本冬歌、武居道則

【一般目標（GIO）】

歯周病学の講義で修得した病因、理論を基に、臨床に必要な歯周病の診断、各種歯周治療法や術式などの基礎的技術を修得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 各種歯周組織検査、歯周チャートより歯周組織の状態を把握、分析、整理、説明できる。
2. 検査結果から、診断、治療計画の立案、病状説明、プラークコントロールの術式を修得、説明できる。
3. 各種歯周（基本、外科、暫間固定）治療法についてマネキンで体験し、各術式の基本的手技を実施、説明できる。

【教科書・参考書】

【教科書】吉江弘正・伊藤公一・村上伸也・申基結編：「臨床歯周病学 第2版」（医歯薬出版、2013）

【参考書】野口俊英編：「知っておきたい知識・術式 歯周治療編」（第一歯科出版、2002）

勝山茂・伊藤公一監訳：「ペリオドンタル インストルメンテーション second edition」（医歯薬出版、1994）

【教育（学習）方略（LS）】

模型実習、相互実習（OSCE 形式）

【フィードバック方法】

Weekly Test 実施後、評価に対する疑問や質問等がある場合は、次回の実習時に担当インストラクターに質問、解説を受けること。

【評価方法（Evaluation）】

1. 実習各ステップ達成度、実習態度、出欠席 30%
 2. Weekly Test 30%
 3. 実習試験 40%
- で評価する。

【注意事項】

実習要綱を必ず読み、事前に十分理解しておくこと。
進行状況によっては補講を行うことがある。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：実習帳および教科書の関連する章を読み、実習内容を十分に理解しておくこと。（40分）

復 習：実習内容の理解を図るため、必ず復習すること。理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。（20分）

【オフィスアワー】

月曜・火曜・水曜・金曜 18:00～19:00

本館5階西棟 歯科保存学講座医局

【授業日程】

<div> <div>歯周病学実習</div> <div>第4学年（前期）</div> </div>					
回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	補助者
1	5月14日(木) 3時限	実習全体説明(1) 天然歯植立 マニキュア塗布（人工歯） 歯周病学実習の進め方の説明 歯石沈着天然歯の植立と、模型人工歯へのマニキュア塗布	歯周病学実習の意義、および流れを説明できる。 スケーリング・ルートプレーニングの必要性を説明できる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 大野 美知昭 海瀬 聖仁 上條 博之 河谷 和彦 高橋 惇哉	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
2	5月14日(木) 4時限	実習全体説明(2) 天然歯植立 マニキュア塗布（人工歯） 歯周病学実習の進め方の説明 歯石沈着天然歯の植立と、模型人工歯へのマニキュア塗布	歯周病学実習の意義、および流れを説明できる。 スケーリング・ルートプレーニングの必要性を説明できる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 大野 美知昭 海瀬 聖仁 上條 博之 河谷 和彦 高橋 惇哉	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
3	5月14日(木) 5時限	歯周組織検査	歯周組織の正しい検査方法と、測定値に基づき、歯周疾患の病態を把握できる。 歯周組織検査時のミラー、およびプロープの正しい持ち方、各種測定法、姿勢を習得できる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 窪川 恵太 小松 寿 川尻 勝彦 阪中 孝一郎	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
4	5月21日(木) 3時限	口腔内デンタルエックス線写真読影（軽度、中等度、重度）	口腔内デンタルエックス線写真より症例を読影、描写し、歯周病の病態を把握できる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 中村 卓 石岡 康明 窪川 恵太 小松 寿 川尻 勝彦 阪中 孝一郎	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
5	5月21日(木) 4時限	ブラークコントロール	ブラークコントロール歴の問診、ブラーク付着部位の検査方法、およびブラッシング法を正しく理解し、動機づけと指導ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 中村 卓 石岡 康明 坂本 浩 佐藤 徳志 高橋 惇哉 日垣 孝一	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
6	5月21日(木) 5時限	病状説明	歯周組織検査、O'LearyのPlaque Control Record（PCR）、口腔内写真をもとに病状を説明できる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 中村 卓 石岡 康明 坂本 浩 佐藤 徳志 高橋 惇哉 日垣 孝一	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音

回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
7	5月28日(木) 3時限	ブラッシング指導(1)	相互実習にて、ブラークコントロール歴の問診、ブラーク付着部位の検査方法、およびブラッシング法を正しく理解し、動機づけと指導ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 中村 卓 石岡 康明 天埜 克彦 梅村 昌孝 大口 将弘 大野 友三	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
8	5月28日(木) 4時限	ブラッシング指導(2)	相互実習にて、ブラークコントロール歴の問診、ブラーク付着部位の検査方法、およびブラッシング法を正しく理解し、動機づけと指導ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 中村 卓 石岡 康明 天埜 克彦 梅村 昌孝 大口 将弘 大野 友三	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
9	5月28日(木) 5時限	ブラッシング指導(3)	相互実習にて、ブラークコントロール歴の問診、ブラーク付着部位の検査方法、およびブラッシング法を正しく理解し、動機づけと指導ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 中村 卓 石岡 康明 大原 盛勝 河原 傳 川瀬 仁史 黒柳 隆穂	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
10	6月4日(木) 3時限	スケーリング・ルートプレーニング(1) スケーリング・ルートプレーニングの術式と、グレーシーキュレットの選択、持ち方、13～23に対するスケーリング・ルートプレーニング	天然歯石のスケーリングの感触を把握できる。 13～23のスケーリング・ルートプレーニングができる。 正しいスケーラーの選択と適用部位、スケーラーの把持方法、圧のかけ方や動かし方、術者患者の位置関係、および姿勢ができる。 シャープニングができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 中村 卓 石岡 康明 大原 盛勝 河原 傳 川瀬 仁史 黒柳 隆穂	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
11	6月4日(木) 4時限	スケーリング・ルートプレーニング(2) スケーリング・ルートプレーニングの術式と、グレーシーキュレットの選択、持ち方、33～43に対するスケーリング・ルートプレーニング	天然歯石のスケーリングの感触を把握できる。 33～43のスケーリング・ルートプレーニングができる。 正しいスケーラーの選択と適用部位、スケーラーの把持方法、圧のかけ方や動かし方、術者患者の位置関係、および姿勢ができる。 シャープニングができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 中村 卓 石岡 康明 小林 淳之 真岡 紀充 白水 晋 杉石	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
12	6月4日(木) 5時限	スケーリング・ルートプレーニング(3) スケーリング・ルートプレーニングの術式と、グレーシーキュレットの選択、持ち方、14～17に対するスケーリング・ルートプレーニング	天然歯石のスケーリングの感触を把握できる。 14～17のスケーリング・ルートプレーニングができる。 正しいスケーラーの選択と適用部位、スケーラーの把持方法、圧のかけ方や動かし方、術者患者の位置関係、および姿勢ができる。 シャープニングができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 中村 卓 石岡 康明 小林 淳之 真岡 紀充 白水 晋 杉石	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
13	6月11日(木) 3時限	スケーリング・ルートプレーニング(4) スケーリング・ルートプレーニングの術式と、グレーシーキュレットの選択、持ち方、24～27に対するスケーリング・ルートプレーニング	天然歯石のスケーリングの感触を把握できる。 24～27のスケーリング・ルートプレーニングができる。 正しいスケーラーの選択と適用部位、スケーラーの把持方法、圧のかけ方や動かし方、術者患者の位置関係、および姿勢ができる。 シャープニングができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分葉々衣 中村 卓 石岡 康明 杉 大介 西山佐枝子 牧 英次郎 村瀬 尚子 吉成 雅子 武居 道則	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
14	6月11日(木) 4時限	スケーリング・ルートプレーニング(5) スケーリング・ルートプレーニングの術式と、グレーシーキュレットの選択、持ち方、34～37に対するスケーリング・ルートプレーニング	天然歯石のスケーリングの感触を把握できる。 34～37のスケーリング・ルートプレーニングができる。 正しいスケーラーの選択と適用部位、スケーラーの把持方法、圧のかけ方や動かし方、術者患者の位置関係、および姿勢ができる。 シャープニングができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分葉々衣 中村 卓 石岡 康明 杉 大介 西山佐枝子 牧 英次郎 村瀬 尚子 吉成 雅子 武居 道則	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
15	6月11日(木) 5時限	スケーリング・ルートプレーニング(6) スケーリング・ルートプレーニングの術式と、グレーシーキュレットの選択、持ち方、44～47に対するスケーリング・ルートプレーニング	天然歯石のスケーリングの感触を把握できる。 44～47のスケーリング・ルートプレーニングができる。 正しいスケーラーの選択と適用部位、スケーラーの把持方法、圧のかけ方や動かし方、術者患者の位置関係、および姿勢ができる。 シャープニングができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分葉々衣 中村 卓 石岡 康明 大野美知昭 海瀬 聖仁 上條 博之 河谷 和彦 武居 道則	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
16	6月18日(木) 3時限	暫間固定(1) 暫間固定法 (A-スプリント) を修得し、術式を習得する。	模型上で人工的に作った2次性咬合性外傷の歯に対して、暫間固定 (A-スプリント) ができる。 暫間固定後の咬合調整ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分葉々衣 中村 卓 石岡 康明 大野美知昭 海瀬 聖仁 上條 博之 河谷 和彦	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
17	6月18日(木) 4時限	暫間固定(2) 暫間固定法 (A-スプリント) を修得し、術式を習得する。	模型上で人工的に作った2次性咬合性外傷の歯に対して、暫間固定 (A-スプリント) ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分葉々衣 中村 卓 石岡 康明 窪川 恵太 小松 寿 川尻 勝彦 阪中孝一郎	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
18	6月18日(木) 5時限	暫間固定(3) 暫間固定法 (A-スプリント) を修得し、術式を習得する。	模型上で人工的に作った2次性咬合性外傷の歯に対して、暫間固定 (A-スプリント) ができる。 暫間固定後の咬合調整ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分葉々衣 中村 卓 石岡 康明 窪川 恵太 小松 寿 川尻 勝彦 阪中孝一郎	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音

回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
19	6月25日(木) 3時限	歯周外科療法(1) 歯肉切除術 (31～43)	模型上の歯肉増殖部に対して、歯肉ポケット印記、正しいメスの持ち方、切開線を入れ、歯肉切除術ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 中村 卓 石岡 康明 坂本 浩 佐藤 徳志 高橋 惇哉 日垣 孝一	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
20	6月25日(木) 4時限	歯周外科療法(2) 歯肉切除術 (31～43)	模型上の歯肉増殖部に対して、歯肉ポケット印記、正しいメスの持ち方、切開線を入れ、歯肉切除術ができる。 歯周バックができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 中村 卓 石岡 康明 坂本 浩 佐藤 徳志 高橋 惇哉 日垣 孝一	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
21	6月25日(木) 5時限	歯周外科療法(3) 歯肉剥離搔爬術 (45～47)	模型上で歯肉剥離搔爬術の手術について、正しいメスの持ち方、切開の入れ方、歯肉弁の剥離、翻転、縫合ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 中村 卓 石岡 康明 天竺 克彦 梅村 昌孝 大口 将弘 大野 友三	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
22	7月2日(木) 3時限	歯周外科療法(4) 歯肉剥離搔爬術 (45～47)	模型上で歯肉剥離搔爬術の手術について、正しいメスの持ち方、切開の入れ方、歯肉弁の剥離、翻転、縫合ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 中村 卓 石岡 康明 天竺 克彦 梅村 昌孝 大口 将弘 大野 友三	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
23	7月2日(木) 4時限	歯周外科療法(5) 歯周組織再生療法 (24)	模型上で歯周組織再生療法の手術について、正しいメスの持ち方、切開の入れ方、歯根の切除、歯肉弁の剥離、翻転、再生材料、薬剤の適応、縫合ができる。 再生療法に用いる薬剤の特性を理解できる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 中村 卓 石岡 康明 大原 盛勝 河原 傳 川瀬 仁史 黒柳 隆穂 野本 冬歌	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
24	7月2日(木) 5時限	歯周外科療法(6) 歯周組織再生療法 (24)	模型上で歯周組織再生療法の手術について、正しいメスの持ち方、切開の入れ方、歯根の切除、歯肉弁の剥離、翻転、再生材料、薬剤の適応、縫合ができる。 再生療法に用いる薬剤の特性を理解できる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 中村 卓 石岡 康明 大原 盛勝 河原 傳 川瀬 仁史 黒柳 隆穂 野本 冬歌	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
25	7月9日(木) 3時限	歯周外科療法(7) トライセクション (16)	模型上で歯根切除術の手術について、正しいメスの持ち方、切開の入れ方、歯肉弁の剥離、翻転、歯根切除、縫合ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 中村 卓 石岡 康明 小林 卓 真岡 淳之 白水 紀充 杉石 晋 吉成 雅子 野本 冬歌	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
26	7月9日(木) 4時限	スケーリング・ルートプレーニング(確認テスト1) スケーリング・ルートプレーニングの術式と、グレーシーキュレットの選択、持ち方、スケーリング・ルートプレーニング術式の到達具合をチェックする。	スケーラーの種類と適用部位、スケーラーの把持方法、圧のかけ方や動かし方、術者と患者の位置関係、および姿勢を確認、実施できる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 中村 卓 石岡 康明 小林 卓 真岡 淳之 白水 紀充 杉石 晋 吉成 雅子 野本 冬歌	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
27	7月9日(木) 5時限	スケーリング・ルートプレーニング(確認テスト2) スケーリング・ルートプレーニングの術式と、グレーシーキュレットの選択、持ち方、スケーリング・ルートプレーニング術式の到達具合をチェックする。	スケーラーの種類と適用部位、スケーラーの把持方法、圧のかけ方や動かし方、術者と患者の位置関係、および姿勢を確認、実施できる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 中村 卓 石岡 康明 杉 大介 西山 佐枝子 牧 英次郎 村瀬 尚子 吉成 雅子	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
28	7月16日(木) 3時限	予備日 修了していない項目を行う。	未修了項目を修了する。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 中村 卓 石岡 康明 杉 大介 西山 佐枝子 牧 英次郎 村瀬 尚子 吉成 雅子	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
29	7月16日(木) 4時限	予備日 修了していない項目を行う。	未修了項目を修了する。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 中村 卓 石岡 康明	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音
30	7月16日(木) 5時限	予備日 修了していない項目を行う。	未修了項目を修了する。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 中村 卓 石岡 康明	佐故 竜介 田井 康寛 水谷 隆一 上原 龍一 原 美音

口腔インプラント学 (C4105)

第4学年（後期）
講義 必修

【担当者】

教授：各務秀明、吉成伸夫、小林泰浩
准教授：田所治
講師：杉野紀幸、笠原隼男
助教：齋藤安奈
特任教授：植田章夫

【一般目標（GIO）】

患者にインプラント治療を適切に説明し実践するために必要な基礎知識を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. インプラント治療の目的と意義を説明できる。
2. インプラント治療の利点と欠点を説明できる。
3. インプラントの種類と特徴を説明できる。
4. インプラントの基本構造と治療手順を説明できる。
5. インプラント治療の適応症と禁忌症を説明できる。
6. インプラント治療のリスクファクターと合併症を説明できる。
7. インプラント治療に必要な解剖について説明できる。
8. トップダウントリートメントの意義とその手順を説明できる。
9. エックス線 CT 撮影とシミュレーションについて説明できる。
10. インプラントの治療計画、治療手順を説明できる。
11. インプラントの埋入手術方法を説明できる。
12. インプラント周囲の骨代謝を説明できる。
13. インプラントの補綴術式を説明できる。
14. インプラント上部構造の種類と特徴を説明できる。
15. インプラント上部構造の印象採得と咬合採得を説明できる。
16. インプラントの上部構造の製作手順と装着方法を説明できる。
17. インプラント治療のメンテナンス方法とその重要性を説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕赤川安正他編：「よく分かる口腔インプラント学 第3版」（医歯薬出版）
公益社団法人日本口腔インプラント学会編：「口腔インプラント 治療指針2016」
（http://www.shika-implant.org/publication/dl/2016_guide.pdf）各自ダウンロードのこと（書籍版も使用可）

【教育（学習）方略（LS）】

授業は教科書の内容を中心にスライド、板書等を用いて行う。また、適宜受講者へ質問し、参加型授業を展開する。
Weekly Test では1回の授業につき、3～4問の確認テストを行う。

【フィードバック方法】

Weekly Test で正答率が低い問題があった場合には、解答とその理由を講義にて説明する。

【評価方法（Evaluation）】

定期試験、Weekly Test により評価する。（定期試験70%、Weekly Test 30%）

【注意事項】

欠席は特別な理由がない限り認めない。講義は出入り自由ではないので、講義中は特別な事情が無い限り出入りしないこと。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：各回の授業内容に対応する教科書のページを読み、予習すること。(15分)

復 習：講義スライドを中心に講義内容を復習すること。(45分)

【オフィスアワー】

原則として木曜日 17：00～18：00

本館 5 階 口腔外科学講座教授室

連絡先：0263-51-2065

その他担当教官への個別の質問は、各教授室、教官室にて受ける。

【授業日程】

口腔インプラント学			第4学年（後期）	
回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	9月17日(木) 2時限	口腔インプラント学総論 材料学	インプラントの種類（顎顔面補綴を含む）、特徴、基本構造、利点・欠点、目的および意義を理解する。	各務 秀明
2	10月1日(木) 2時限	インプラント治療のリスクファクター	インプラント治療に必要な診察と検査、及び全身的・局所的リスクファクターについて理解する。	各務 秀明
3	10月8日(木) 2時限	インプラント治療の適応症と禁忌症、インプラント治療の流れ	インプラント治療が可能な症例、困難な症例について理解する。インプラント治療計画の立案と実際の治療の流れを理解する。	各務 秀明
4	10月15日(木) 2時限	インプラント治療に必要な解剖学	上下顎骨の形態や骨質の違い、注意すべき血管や神経など解剖学的構造を理解する。	田所 治
5	10月22日(木) 2時限	インプラント治療に必要な放射線学とシミュレーション	インプラント治療に必要な術前・術中・術後の画像検査とシミュレーションによるプランニング、インプラント体の選択について理解する。	杉野 紀幸
6	10月29日(木) 2時限	インプラント治療に必要な模型診査と局所診査	トップダウントリートメントに必要な診査項目、診断用セットアップ、診断用ステントについて理解する。	笠原 隼男
7	11月5日(木) 2時限	インプラント埋入基本術式	埋入計画の立案、インプラント埋入に必要な器材と埋入基本術式、初期固定について理解する。	植田 章夫
8	11月12日(木) 2時限	骨造成法および軟組織増大法	インプラント埋入の条件改善のための外科術式を理解する。	各務 秀明
9	11月19日(木) 2時限	インプラント治療に伴う外科的偶発症と合併症	インプラント埋入時の外科的偶発症、合併症とその対処法を理解する。	齋藤 安奈
10	11月26日(木) 2時限	インプラント周囲の骨形成・骨代謝	インプラント埋入後に起こる周囲骨の変化について理解する。	小林 泰浩
11	12月3日(木) 2時限	荷重開始時期、骨結合度検査および2次手術	治癒期間経過後の補綴開始時期の判定と2次手術について理解する。	各務 秀明
12	12月10日(木) 2時限	インプラント上部構造の印象採得、咬合採得、暫間補綴	補綴治療に必要な印象採得法と暫間補綴方法を理解する。	笠原 隼男
13	12月17日(木) 2時限	インプラント上部構造の種類、製作方法と装着	インプラント上部構造の種類（オーバーデンチャーを含む）、制作方法と装着方法を理解する。	笠原 隼男
14	12月24日(木) 2時限	メンテナンス、インプラント周囲炎、CIST	インプラント周囲組織のメンテナンスの重要性と周囲炎への対応、患者情報の記録・伝達について理解する。	吉成 伸夫
15	1月7日(木) 2時限	デジタルデンティストリーとインプラント学のまとめ	インプラント治療の流れを復習するとともにこれからのインプラント治療を考える。	各務 秀明

公衆衛生学Ⅳ (C4170)

第4学年（前期）
講義 必修

【担当者】

特任教授：牧茂

【一般目標（GIO）】

歯科医師として適切な歯科保健・医療・福祉を実践するために、社会と歯科医学との関係についての知識を習得することを目標とする。

【行動目標（SBOs）】

1. 患者の権利・自己決定権について説明できる。
2. 医の倫理について概説できる。
3. 医事法制について説明できる。
4. 医療安全について説明できる。
5. 社会保障制度について説明できる。
6. 国際保健について説明できる。
7. 医療経済について説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 矢ヶ崎雅・牧茂・富田美穂子：「社会歯科学 第2版」（MDU 出版）

〔参考書〕 石井拓男他編：「スタンダード社会歯科学 第7版」（学建書院2018年）

社会歯科学会：「歯科六法コンメンタール」（ヒョーロン）

【教育（学習）方略（LS）】

行動目標とキーワードを理解できるよう、プロジェクターと教科書を用いた講義を行う。

【フィードバック方法】

試験実施後、正答や評価に対する疑問、質問がある場合は、試験実施後3日以内に担当教員にその旨を申し出ること。

その後Q&A形式で学生イントラ、補講等で解説する。

【評価方法（Evaluation）】

講義の出席状況（10%）、Weekly Test（30%）、定期試験（60%）などを総合的に評価する。

【注意事項】

講義の遅刻、欠席は減点評価とするので注意すること。

教科書は必ず持参すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスおよび事前連絡による教科書の該当範囲を熟読する。（30分）

復 習：講義ノートの整理。暗記項目は何回も繰り返して完全に暗記する。（60分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 16：30～18：00

本館1階東棟 公衆衛生学講座研究室

【授業日程】

公衆衛生学Ⅳ					第4学年（前期）	
回数	授業日時 間	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者		
1	5月13日(水) 1時限	社会歯科学概論 社会歯科学とは	1. 社会歯科学の定義、社会歯科学の内容と課題について説明できる。 2. 健康の概念を説明できる。口腔と全身の健康との関連を説明できる。 3. 疾病・障害の概念、種類および予防を説明できる。	牧 茂		
2	5月20日(水) 1時限	歯科医療と倫理 医の倫理と歯科医師	1. 患者の権利に関する規定について説明できる。 2. 医の倫理を理解する。 3. 研究倫理が説明できる。 4. インフォームド・コンセントが説明できる。	牧 茂		
3	5月27日(水) 1時限	歯科医師と患者・家族との関係 患者・障害者の心理的問題と社会的問題	1. 患者・家族との関係について説明できる。 2. 患者・障害者の心理的問題と社会的問題について説明できる。	牧 茂		
4	6月3日(水) 1時限	歯科医療機関の開設と管理保健・医療・福祉関係法規(1)日本国憲法と歯科保健・医療・福祉	1. 日本国憲法と歯科保健・医療・福祉の関係について説明できる。	牧 茂		
5	6月10日(水) 1時限	保健・医療・福祉関係法規(2)医療法、歯科医師法、歯科衛生士法、歯科技工士法	1. 医療法について説明できる。 2. 歯科医師法について説明できる。 3. 各法規に記載されている内容が理解できる。	牧 茂		
6	6月17日(水) 1時限	保健・医療・福祉関係法規(3)医師法、薬剤師法、保助看法、薬機法	1. 各法規について内容が理解できる。 2. それぞれの業種を理解し連携できる。	牧 茂		
7	6月24日(水) 1時限	歯科医療の質と安全の確保 感染防止	1. 歯科医療の質と安全およびそれらの管理体制について理解し説明できる。 2. 感染防止を説明できる。	牧 茂		
8	7月1日(水) 1時限	医療事故、医療過誤、医療紛争	1. 医療事故、医療過誤、医療紛争について概説できる。 2. 医療事故の防止について説明できる。	牧 茂		
9	7月8日(水) 1時限	保健・医療・福祉の仕組み(1) 社会保障制度	1. 社会保障制度について説明できる。	牧 茂		
10	7月15日(水) 1時限	保健・医療・福祉の仕組み(2) 社会保険制度	1. 社会保険制度について説明できる。	牧 茂		
11	7月22日(水) 1時限	保健・医療・福祉の仕組み(3) 医療福祉制度、医療扶助	1. 医療福祉制度について説明できる。 2. 医療扶助について説明できる。	牧 茂		
12	7月29日(水) 1時限	保健・医療・福祉の仕組み(4) 介護保険制度	1. 介護保険制度について説明できる。 2. 地域連携医療に携わる職種を理解する。	牧 茂		
13	8月19日(水) 1時限	保健・医療・福祉の仕組み(4) 介護保険制度	1. 介護保険制度について説明できる。 2. 地域連携医療に携わる職種を理解する。	牧 茂		
14	8月26日(水) 1時限	国際保健 世界の保健問題 国際保健協力	1. 世界の保健問題について説明できる。 2. 国際保健協力について説明できる。	牧 茂		
15	9月2日(水) 1時限	まとめ		牧 茂		

障害者歯科学 (C4180)

第4学年（前期）
講義 必修

【担当者】

教授：靛島弘之
講師：望月慎恭

【一般目標（GIO）】

スペシャルニーズのある（特別な対応を要する）人へ歯科保健と歯科医療を提供するために基本的知識と態度を習得するとともに医療連携を理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. スペシャルニーズを説明する。
2. スペシャルニーズのある人のQOLとノーマライゼーションを説明する。
3. スペシャルニーズのある人およびその家族の心理を説明する。
4. スペシャルニーズのある人およびその家族との信頼関係の構築について説明する。
5. スペシャルニーズのある人のリハビリテーションを説明する。
6. 医療連携とチーム医療、関連職種を説明する。
7. スペシャルニーズのある人の社会環境を説明する。
8. スペシャルニーズのある人の口腔保健管理を説明する。
9. 障害者の身体的、精神的及び心理的特徴を説明する。
10. 障害者の特性に配慮した歯科治療を説明する。
11. 障害者の行動調整（行動管理）と歯科治療を説明する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕障害者歯科学会編：「スペシャルニーズデンティストリー 障害者歯科（第2版）」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

1. レジュメが配付されるが、補足や要点を講義中に説明するので、レジュメに書き加えるなどして理解が深まるノートを作成するように努める。
2. 視覚素材（動画）などを使用し、障害や疾患をわかりやすく説明するので、理解力の向上を図る。
3. Weekly Testを受けた後に理解が不足している部分を確認し、補うように努める。

【フィードバック方法】

Weekly Testの結果を確認し、次の講義で補足する。

【評価方法（Evaluation）】

筆記試験：筆記試験の評価は、定期試験を70%、Weekly Testの結果を30%として判定する。

【注意事項】

補足や要点を講義中に説明するので、レジュメに書き加えるなどして理解が深まるノートを作成するように努める。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予習：シラバスを確認して事前に講義範囲のキーワードを教科書で確認しておくこと。（15分）

復習：配付されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。（45分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 17:30～19:00
本館1F 地域連携歯科学講座教室
連絡先：0263-51-8655

【授業日程】

<div>障害者歯科学</div> <div>第4学年（前期）</div>				
回数	授業日時 間	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	5月13日(水) 3時限	スペシャルニーズと障害者歯科の背景	1. スペシャルニーズと障害を説明する。 2. 障害の概念を説明する。 3. QOL とノーマライゼーションを説明する。 4. 障害者のおかれた社会環境を説明する。 5. 障害者の社会福祉制度を説明する。 6. 障害者の心理を説明する。	靱島 弘之
2	5月20日(水) 3時限	知的能力障害者の歯科治療	知的能力障害、Down 症候群の歯科治療上の留意点と対応を説明する。	望月 慎恭
3	5月27日(水) 3時限	自閉スペクトラム症	自閉スペクトラム症を理解し、歯科治療上の配慮すべき点を説明する。	靱島 弘之
4	6月3日(水) 3時限	発達障害	発達障害を説明する。 発達障害者における歯科治療上の配慮すべき点を説明する。	望月 慎恭
5	6月10日(水) 3時限	身体障害と歯科治療(1)	脳性麻痺、重症心身障害児者、超重症児の概要と歯科治療上の配慮すべき事柄を説明する。	望月 慎恭
6	6月17日(水) 3時限	身体障害と歯科治療(2)	二分脊椎、筋ジストロフィー、脊髄損傷、関節リウマチの概要と歯科治療上の配慮すべき事柄を説明する。	靱島 弘之
7	6月24日(水) 3時限	身体障害と歯科治療(3)	難病患者の歯科治療上の留意点と対応を説明する。	靱島 弘之
8	7月1日(水) 3時限	まとめ	障害歯科の背景を説明する。 障害者の概要を説明する。 障害者の歯科治療を行ううえで配慮する点を説明する。	望月 慎恭
9	7月8日(水) 3時限	地域での障害者歯科	障害者歯科における地域医療の役割を説明する。	靱島 弘之
10	7月15日(水) 3時限	身体障害と歯科治療(4)	感覚器障害者の歯科治療上の留意点と対応を説明する。	望月 慎恭
11	7月22日(水) 3時限	精神障害と歯科治療(1)	精神障害者の歯科治療上の留意点と対応を説明する	靱島 弘之
12	7月29日(水) 3時限	行動調整	基本的行動調整を説明する。 行動療法を説明する。	靱島 弘之
13	8月19日(水) 3時限	行動調整と危機管理	特殊な行動調整を説明する。 リクスマネージメントを説明する。 クライシスマネージメントを説明する。 誤嚥、誤飲を説明する。 誤嚥時の対応を説明する。 口腔内外傷の危険性について説明する。 歯科治療時の身体外傷の予防法を説明する。	望月 慎恭
14	8月26日(水) 3時限	障害者への歯科治療	障害者歯科における医療面接、歯周治療、歯冠修復、有床義歯、外傷、不正咬合への対応を説明する。	望月 慎恭
15	9月2日(水) 3時限	障害者への健康支援	レディネスを説明する。 障害の特性に応じた保健指導を説明する。 介助磨きを説明する。	靱島 弘之

高齢者歯科学 (C4180)

第4学年（後期）
講義 必修

【担当者】

教授：靛島弘之

講師：望月慎恭

非常勤講師：小川浩樹、大野智久

【一般目標（GIO）】

全身疾患を有する高齢者へ歯科保健と歯科医療を提供するために、基本的知識と態度を習得するとともに医療連携を理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. 高齢者の社会環境を説明できる。
2. 身体的、精神のおよび心理的加齢変化を説明できる。
3. 口腔・顎の構造と機能の加齢変化を説明できる。
4. 高齢者の歯科治療における一般状態評価と対応を説明できる。
5. 高齢者によくみられる疾患を説明できる。
6. 高齢者によくみられる疾患における歯科治療上の配慮する点を説明できる。
7. 終末期の心理を説明できる。
8. 訪問診療・緩和ケアを説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕佐藤裕二編：「よくわかる高齢者歯科学」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

動画を用いて講義（Power Point）を行い、Weekly Test で習熟度を評価する。

【フィードバック方法】

Weekly Test の結果を確認し、次の講義で補足する。

【評価方法（Evaluation）】

Weekly Test を30%、定期試験を70%で評価し、100点満点中65点以上を合格とする。

【注意事項】

補足や要点を講義中に説明するので、レジュメに書き加えるなどして理解が深まるノートを作成するように努める。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義範囲のキーワードを教科書で調べておくこと。（15分）

復 習：補足や要点を講義中に説明するので、レジュメに書き加えるなどして理解が深まるノートを作成するように努める。（45分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 17：30～19：00

本館1F 地域連携歯科学講座教授室

連絡先：0263-51-8655

【授業日程】

<div> <div>高 齢 者 歯 科 学</div> <div>第 4 学 年（後 期）</div> </div>				
回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
1	9月15日(火) 2時限	高齢者歯科の背景と連携	人口構成の変化を説明できる。 受診患者の変化を説明できる。 歯科診療形態の変化を説明できる。	靱島 弘之
2	9月24日(木) 2時限	高齢者の医療・保健・福祉に関する法制度	医療・保健・福祉に関する法制度を説明できる。 連携する他職種を説明できる。	靱島 弘之
3	9月29日(火) 2時限	高齢者の特徴	高齢者の特徴を説明できる。	靱島 弘之
4	10月6日(火) 2時限	高齢者の全身的な加齢変化 (心、精神機能、神経系、呼吸機能、 腎機能、心血管系、血液・体液、内分泌・代謝系、筋・骨系の加齢変化)	老化の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。	望月 慎恭
5	10月13日(火) 2時限	高齢者の医学的評価と医療安全、法的責任	高齢者の特徴と歯科治療時の全身状態評価とリスクを説明できる。 危険予見義務と法的責任を説明できる。	靱島 弘之
6	10月20日(火) 2時限	高齢者の栄養評価と歯科疾患、口腔ケア	高齢者の栄養状態を評価できる。 栄養摂取の種類と特徴を説明できる。 低栄養と脱水の症状を説明できる。 高齢者の全身状態を踏まえた歯科疾患の特徴を説明できる。 要介護高齢者の口腔ケア法を説明できる。	大野 友久
7	10月27日(火) 2時限	高齢者によくみられる疾患と歯科治療 (1) 認知症	認知症の概要を説明できる。 認知症患者の歯科治療する際の配慮すべき事項を説明できる。	望月 慎恭
8	11月4日(水) 2時限	中間のまとめ	高齢者歯科の背景を説明できる。 高齢者歯科のリスクマネジメントを説明できる。 栄養と口腔の関連を説明できる。 認知症と歯科医療を説明できる。	望月 慎恭
9	11月10日(火) 2時限	高齢者歯科の現状と将来、そして地域医療	高齢者歯科の現状を説明できる。 高齢者歯科の将来を説明できる。 高齢者歯科における地域医療を説明できる。	小川 浩樹
10	11月17日(水) 2時限	高齢者によくみられる疾患と歯科治療 (2) 循環器疾患	循環器疾患患者の歯科治療上のリスクと対応を説明できる。	靱島 弘之
11	12月1日(火) 2時限	周術期の口腔機能管理	口腔ケアの効果が説明できる。 誤嚥性肺炎と創部感染を説明できる。 嚥下障害による窒息を説明できる。 周術期口腔機能管理を概説できる。 口腔機能向上について説明できる。	望月 慎恭
12	12月8日(火) 2時限	高齢者でよくみられる疾患と歯科治療 (3) 脳・神経疾患	脳神経疾患の概要と歯科治療上の配慮点を説明できる。	靱島 弘之
13	12月15日(火) 2時限	高齢者によくみられる疾患と歯科治療 (4) 呼吸器疾患、腎臓・泌尿器系、消化器系疾患	呼吸器疾患の概要と歯科治療上の配慮点を説明できる。 腎臓・泌尿器系の概要と歯科診療上のリスクと留意点を説明できる。	靱島 弘之
14	12月22日(火) 2時限	高齢者によくみられる疾患と歯科治療 (4) 消化器系疾患（肝、胃腸）、代謝・内分泌疾患	消化器系疾患（肝、胃腸）、糖尿病、脂質異常症、骨粗鬆症の概要と歯科診療上のリスクと留意点を説明できる。	望月 慎恭

回数	授業日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
15	1月5日(火) 2時限	訪問診療・緩和ケア	訪問診療の目的を説明できる。 訪問診療の対象となる患者を説明できる。 訪問診療の安全性を説明できる。 緩和ケアの患者の口腔の特徴を説明できる。 緩和ケアの歯科の役割を説明できる。	龍島 弘之

摂食嚥下療法学 (C4187)

第4学年（後期）
講義 必修

【担当者】

教授：畠島弘之

講師：望月慎恭

非常勤講師：小川浩樹、山本敏之

【一般目標（GIO）】

摂食嚥下機能障害を有する障害児・者ならびに高齢者に対する歯科保健と歯科医療を提供するために、基礎的知識と態度を習得するとともに医療連携を理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. 正常な摂食機能とその発達を説明できる。
2. 摂食機能障害の原因を説明できる。
3. 摂食機能障害のスクリーニング検査が実施できる。
4. 摂食機能障害の精密検査を説明できる。
5. 摂食機能障害を呈する疾患とその特徴を説明できる。
6. 摂食機能障害の対応を説明できる。
7. 障害児・者ならびに高齢者の栄養管理を説明できる。
8. 食事介助を説明できる。
9. 摂食機能障害のある患者への食環境指導が説明できる。
10. 摂食機能障害のある患者への食内容指導が説明できる。
11. 摂食機能障害のある患者への機能訓練が説明ができる。
12. 摂食機能療法におけるチームアプローチが説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 向井美恵他編：「歯科学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学（第1版）」

【教育（学習）方略（LS）】

1. 動画を用いて講義（power point）を行い、Weekly test で習熟度を評価する。
2. 機能療法の基本を相互実習する。
3. 動画を用いて診断の演習を行う。

【フィードバック方法】

Weekly test の結果を確認して、次回講義に補足する。

【評価方法（Evaluation）】

Weekly test30%、定期試験70%で評価し、65点以上を合格とする。

【注意事項】

レジュメに講義のポイントを書き込むなど理解を深めるようにすること。理解が不十分な点は講義担当者に質問するなど確認していくこと。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義範囲のキーワードを教科書で確認すること（15分）

復 習：講義内容ならびに教科書を利用して各自知識をまとめること（45分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 17:30～19:00

本館 1F 地域連携菌科学講座教室

連絡先：0263-51-8655

【授業日程】

<div> <div>摂食嚥下療法学</div> <div>第4学年（後期）</div> </div>				
回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	9月15日(火) 1時限	摂食機能療法の概略	摂食機能障害を説明できる。 摂食機能障害患者を取り巻く環境を説明できる。 摂食機能障害への歯科医療の貢献を説明できる。	靱島 弘之
2	9月24日(木) 1時限	摂食嚥下機能の解剖・生理	摂食嚥下機能に必要な解剖を説明できる。 摂食嚥下機能に必要な生理を説明できる。 命令嚥下と咀嚼嚥下を説明できる。	靱島 弘之
3	9月29日(火) 1時限	摂食嚥下障害を引き起こす疾患	摂食嚥下障害を呈することが多い疾患を挙げることができる。 摂食嚥下障害を呈する疾患とその特徴を説明できる。	山本 敏之
4	10月6日(火) 1時限	摂食嚥下機能の診察とスクリーニング検査	摂食嚥下障害を評価できる。	望月 慎恭
5	10月13日(火) 1時限	摂食嚥下機能の精密検査	嚥下内視鏡を説明できる。 嚥下造影検査を説明できる。 摂食機能障害の精密検査の適応を説明できる。	靱島 弘之
6	10月20日(火) 1時限	摂食機能の発達	正常な摂食嚥下の発達を説明できる。	靱島 弘之
7	10月27日(火) 1時限	摂食機能発達障害を呈する疾患	摂食嚥下障害を呈することが多い小児の疾患を挙げることができる。 摂食嚥下障害を呈する小児の疾患とその特徴を説明できる。	靱島 弘之
8	11月4日(水) 1時限	摂食機能発達障害への対応	摂食機能の発達を促すリハビリテーションを説明できる。	靱島 弘之
9	11月10日(火) 1時限	摂食機能障害への対応の基本	摂食機能療法の基本的対応を説明できる。 摂食嚥下療法の適応を説明できる。	靱島 弘之
10	11月17日(火) 1時限	摂食機能障害への食環境指導	摂食機能障害への食環境指導を説明できる。	望月 慎恭
11	12月1日(火) 1時限	摂食機能障害への食内容指導	摂食機能障害への食内容指導を説明できる。 摂食障害患者の栄養指導ができる。 摂食嚥下患者の食形態を選択できる。	靱島 弘之
12	12月8日(火) 1時限	摂食嚥下障害への間接訓練	間接訓練の適応とその方法を説明できる。	靱島 弘之
13	12月15日(火) 1時限	摂食嚥下障害への直接訓練	直接訓練の適応とその方法を説明できる。	靱島 弘之
14	12月22日(火) 1時限	摂食機能療法の対応の基本（相互実習）	基本的な姿勢調節を実施できる。 基本的食形態の調節ができる。 基本的食事介助ができる。	靱島 弘之 小川 浩樹
15	1月5日(火) 1時限	VE/VF 画像を用いた診断演習	臨床画像から障害を診断できる。 診断に基づく機能療法を選択できる。	靱島 弘之 小川 浩樹

臨床予備演習 (C4192)

第4学年（後期）
演習 必修

【担当者】

教授：芳澤享子、澁谷徹、大須賀直人

准教授：森啓

講師：谷山貴一、中山洋子、李憲起、森山敬太

助教：齋藤安奈、大木絵美、高谷達夫、喜多村洋幸、岩崎由紀子、長内秀、山田真一郎
小町谷美帆、小松佐保、内川竜太郎、森こず恵

助手：伊能利之、加藤華子、松村奈穂美、内川恵里、奥瀬稔之、中村圭吾、
宮國 茜、上田敬介、堀内竜太郎

診療助手：甲田訓子

非常勤講師：脇本仁奈

【一般目標（GIO）】

講義で学んだ学理と知識を臨床応用できるようにするために、基本的な知識、技能、態度を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 臨床実習生として好ましい態度と習慣を身につける。
2. 患者との信頼関係を確立する。
3. 検査に必要な知識を習得する。
4. 歯科疾患に対する予防法を説明する。
5. 歯科疾患に対する治療法の基本的技術を習得する。
6. 口腔に関連した全身管理に対応できる知識を習得する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕＜歯科保存学講座（初診室・総合診療科）＞

伊藤孝訓：「改訂版 歯科医療面接 アートとサイエンス」（シエン社）

＜口腔顎顔面外科学講座＞

白砂兼光・古郷幹彦（編）：「第3版 口腔外科学」（医歯薬出版）

＜歯科麻酔学講座＞

丹羽均・澁谷徹・城茂治・梶山加綱・深山治久編：「第5版 臨床歯科麻酔学」（永末書店）

＜歯科放射線学講座＞

田口明編：「基礎から始める歯科放射線学」改定第2版（IDP 出版）

【教育（学習）方略（LS）】

10人程度を1グループとして、DVD、教材等を用いた説明あるいはデモンストレーションを行ったうえで、各自で演技演習、模型実習あるいは相互実習を行う。

1グループに一人のインストラクターがついて指導にあたりフィードバックを行う。

医療面接についてはロールプレイを行ったうえでシュミレーションを行う。

診療チェアにおけるシュミレーションを行う。

【フィードバック方法】

ロールプレイでは指導医あるいは評価者の学生からフィードバックを行う。

シュミレーションについてはSP役の先生あるいは指導医よりフィードバックを行う。

実習の終了時、グループごとにフィードバックを行う。

【評価方法（Evaluation）】

歯科保存学講座（初診室・総合診療科）、口腔顎顔面外科学講座、歯科麻酔学講座および歯科放射線学講座それぞれから、知識、技能、態度について評価する。

評価された点数を100点満点に換算して65点以上を合格とする。

【注意事項】

評価方法にあるように、4講座それぞれで評価するため、1回のみのところを欠席すると評価できないので、欠席しないこと。

＜歯科保存学講座（初診室・総合診療科）＞

頭髮を整えた上での清潔な着衣・靴にすること。

＜口腔顎顔面外科学講座＞

将来、医療従事者になる自覚をもって授業に臨むこと。

グローブ、オベスキンを各自で準備すること。

個人での準備品を忘れずに持参すること。

ラテックス、アルコールアレルギーがある場合は、必ず事前に申し出ること。

＜歯科麻酔学講座＞

マネキンを用いた救急蘇生の実習を行うため、動きやすい服装を着用すること。

女性はパンツが望ましい。

ラテックスアレルギーがある場合は、必ず事前に申し出ること。

＜歯科放射線学講座＞

教科書で必ず予習を行うこと。

【準備学習時間（予習・復習）】

30分

復習：医療面接法についてのノート整理をしっかりと行うこと。

【オフィスアワー】

＜歯科保存学講座（初診室・総合診療科）＞

18：00以降 本館2階北棟病院共同教員室

＜口腔顎顔面外科学講座＞

月曜、火曜、水曜、金曜 18：00～19：00 本館5階東棟 口腔顎顔面外科学講座医局

＜歯科麻酔学講座＞

月、火、水、金曜日 17：00～18：00 本館5階西棟 歯科麻酔学講座医局・教授室

＜歯科放射線学講座＞

18：00～19：00 本館5階西棟 歯科放射線学講座医局

【授業日程】

臨床予備演習					
第4学年（後期）					
回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	補助者
1	9月16日(水) 3時限	〈歯科保存学講座〉 初診時医療面接 修復用隔壁の装着 レジン充填 ラバーダム防湿 齶蝕象牙質の除去 〈口腔顎顔面外科学講座〉 頭頸部の診察、手洗い、拔牙、縫合 〈歯科麻酔学講座〉 バイタルサイン、浸潤麻酔、心肺蘇生 〈歯科放射線学講座〉 エックス線写真の読影、エックス線写真撮影	〈歯科保存学講座〉 初診時医療面接に必要な知識、技能、態度を身につける。 基本的診察および検査能力に対して必要な知識、技能、態度を身につける。 〈口腔顎顔面外科学講座〉 基本的技能に対して必要な知識、技能、態度を身につける。 説明および指導に関して必要な知識、技能、態度を身につける。 〈歯科麻酔学講座〉 基本的臨床技能に対して必要な知識、技能、態度を身につける。 〈歯科放射線学講座〉 基本的臨床技能に対して必要な知識、技能、態度を身につける。	芳澤 享子 森 啓 谷山 貴一 齋藤 安奈 高谷 達夫 長内 秀 山田真一郎 脇本 仁奈	森 こず恵
2	9月16日(水) 4時限	〈歯科保存学講座〉 初診時医療面接 修復用隔壁の装着 レジン充填 ラバーダム防湿 齶蝕象牙質の除去 〈口腔顎顔面外科学講座〉 頭頸部の診察、手洗い、拔牙、縫合 〈歯科麻酔学講座〉 バイタルサイン、浸潤麻酔、心肺蘇生 〈歯科放射線学講座〉 エックス線写真の読影、エックス線写真撮影	〈歯科保存学講座〉 初診時医療面接に必要な知識、技能、態度を身につける。 基本的診察および検査能力に対して必要な知識、技能、態度を身につける。 〈口腔顎顔面外科学講座〉 基本的技能に対して必要な知識、技能、態度を身につける。 説明および指導に関して必要な知識、技能、態度を身につける。 〈歯科麻酔学講座〉 基本的臨床技能に対して必要な知識、技能、態度を身につける。 〈歯科放射線学講座〉 基本的臨床技能に対して必要な知識、技能、態度を身につける。	芳澤 享子 森 啓 谷山 貴一 脇本 仁奈 齋藤 安奈 高谷 達夫 長内 秀 山田真一郎	森 こず恵
3	A 9月23日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 拔牙 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 拔牙の手順、器具の使用、拔牙の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 齋藤 安奈	松村奈穂美 内川 恵里
	B 9月23日(水) 3時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 堀内竜太郎 加藤 華子

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
	C 9月23日(水) 3時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎	森 こず恵
	D 9月23日(水) 3時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介
4	A 9月23日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 拔牙 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 拔牙の手順、器具の使用、拔牙の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 齋藤 安奈	松村奈穂美 内川 恵里
	B 9月23日(水) 4時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 堀内竜太郎 加藤 華子
	C 9月23日(水) 4時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎	森 こず恵
	D 9月23日(水) 4時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介
5	A 9月30日(水) 3時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介
	B 9月30日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 拔牙 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 拔牙の手順、器具の使用、拔牙の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 齋藤 安奈	松村奈穂美 内川 恵里

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標(SBOs)	担当者	補助者
	C 9月30日(水) 3時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 堀内竜太郎 加藤 華子
	D 9月30日(水) 3時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎	森 こず恵
6	A 9月30日(水) 4時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介
	B 9月30日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 齋藤 安奈	松村奈穂美 内川 恵里
	C 9月30日(水) 4時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 堀内竜太郎 加藤 華子
	D 9月30日(水) 4時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎	森 こず恵
7	A 10月7日(水) 3時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎	森 こず恵
	B 10月7日(水) 3時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
	C 10月7日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 拔牙 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 拔牙の手順、器具の使用、拔牙の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 齋藤 安奈	松村奈穂美 内川 恵里
	D 10月7日(水) 3時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 堀内竜太郎 加藤 華子
8	A 10月7日(水) 4時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎	森 こず恵
	B 10月7日(水) 4時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介
	C 10月7日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 拔牙 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 拔牙の手順、器具の使用、拔牙の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 齋藤 安奈	松村奈穂美 内川 恵里
	D 10月7日(水) 4時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 堀内竜太郎 加藤 華子
	A 10月14日(水) 3時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 堀内竜太郎 加藤 華子

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
	B 10月14日(水) 3時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎	森 こず恵
	C 10月14日(水) 3時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介
	D 10月14日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 齋藤 安奈	松村奈穂美 内川 恵里
10	A 10月14日(水) 4時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 堀内竜太郎 加藤 華子
	B 10月14日(水) 4時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎	森 こず恵
	C 10月14日(水) 4時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介
	D 10月14日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 齋藤 安奈	松村奈穂美 内川 恵里
11	A 10月21日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 齋藤 安奈	松村奈穂美 内川 恵里

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
	B 10月21日(水) 3 時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 髙谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 堀内竜太郎 加藤 華子
	C 10月21日(水) 3 時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎	森 こず恵
	D 10月21日(水) 3 時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介
12	A 10月21日(水) 4 時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 齋藤 安奈	松村奈穂美 内川 恵里
	B 10月21日(水) 4 時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 髙谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 堀内竜太郎 加藤 華子
	C 10月21日(水) 4 時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎	森 こず恵
	D 10月21日(水) 4 時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
13	A 10月28日(水) 3時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介
	B 10月28日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 齋藤 安奈	松村奈穂美 内川 恵里
	C 10月28日(水) 3時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 堀内竜太郎 加藤 華子
	D 10月28日(水) 3時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎	森 こず恵
14	A 10月28日(水) 4時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介
	B 10月28日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 齋藤 安奈	松村奈穂美 内川 恵里
	C 10月28日(水) 4時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 堀内竜太郎 加藤 華子
	D 10月28日(水) 4時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎	森 こず恵

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
15	A 11月11日(水) 3時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎	森 こず恵
	B 11月11日(水) 3時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介
	C 11月11日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 拔牙 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 拔牙の手順、器具の使用、拔牙の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 齋藤 安奈	松村奈穂美 内川 恵里
	D 11月11日(水) 3時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 堀内竜太郎 加藤 華子
16	A 11月11日(水) 4時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎	森 こず恵
	B 11月11日(水) 4時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介
	C 11月11日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 拔牙 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 拔牙の手順、器具の使用、拔牙の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 齋藤 安奈	松村奈穂美 内川 恵里
	D 11月11日(水) 4時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 堀内竜太郎 加藤 華子

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
17	A 11月18日(水) 3時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 堀内竜太郎 加藤 華子
	B 11月18日(水) 3時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎	森 こず恵
	C 11月18日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 齋藤 安奈	松村奈穂美 内川 恵里
	D 11月18日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 堀内竜太郎 加藤 華子
18	A 11月18日(水) 4時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 堀内竜太郎 加藤 華子
	B 11月18日(水) 4時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎	森 こず恵
	C 11月18日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 齋藤 安奈	松村奈穂美 内川 恵里
	D 11月18日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 堀内竜太郎 加藤 華子

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
19	A 11月25日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 拔牙 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 拔牙の手順、器具の使用、拔牙の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 齋藤 安奈	松村奈穂美 内川 恵里
	B 11月25日(水) 3時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。	1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接をできる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 堀内竜太郎 加藤 華子
	C 11月25日(水) 3時限	1. 診療チェアの使用法 2. 修復隔壁の装着 3. ラバーダム防湿 4. レジン充填 5. 齲蝕象牙質の除去	1. チェアユニットが操作できる。 2. 修復隔壁を装着できる。 3. ラバーダム防湿に必要な器材を準備できる。 4. ボンディングシステムの手順を操作できる。 5. コンポジットレジンで充填できる。 6. 齲蝕象牙質を除去できる。	石田 直之 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎	甲田 訓子 奥瀬 稔之 中村 圭吾 宮國 茜
	D 11月25日(水) 3時限	1. 診療チェアの使用法 2. フッ素塗布 3. 部分充填 4. 保護者へのブラッシング指導		大須賀直人 森山 敬太	
20	A 11月25日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 拔牙 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 拔牙の手順、器具の使用、拔牙の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 齋藤 安奈	松村奈穂美 内川 恵里
	B 11月25日(水) 4時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。	1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接をできる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 堀内竜太郎 加藤 華子
	C 11月25日(水) 4時限	1. 診療チェアの使用法 2. 修復隔壁の装着 3. ラバーダム防湿 4. レジン充填 5. 齲蝕象牙質の除去	1. チェアユニットが操作できる。 2. 修復隔壁を装着できる。 3. ラバーダム防湿に必要な器材を準備できる。 4. ボンディングシステムの手順を操作できる。 5. コンポジットレジンで充填できる。 6. 齲蝕象牙質を除去できる。	石田 直之 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎	甲田 訓子 奥瀬 稔之 中村 圭吾 宮國 茜

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
	D 11月25日(水) 4時限	1. 診療チェアの使用法 2. フッ素塗布 3. 部分充填 4. 保護者へのブラッシング指導		大須賀直人 森山 敬太	
21	A 12月2日(水) 3時限	1. 診療チェアの使用法 2. フッ素塗布 3. 部分充填 4. 保護者へのブラッシング指導		大須賀直人 森山 敬太	
	B 12月2日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 齋藤 安奈	松村奈穂美 内川 恵里
	C 12月2日(水) 3時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。	1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接をできる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 堀内竜太郎 加藤 華子
	D 12月2日(水) 3時限	1. 診療チェアの使用法 2. 修復隔壁の装着 3. ラバーダム防湿 4. レジン充填 5. 齶触象牙質の除去	1. チェアユニットが操作できる。 2. 修復隔壁を装着できる。 3. ラバーダム防湿に必要な器材を準備できる。 4. ボンディングシステムの手順を操作できる。 5. コンポジットレジンで充填できる。 6. 齶触象牙質を除去できる。	石田 直之 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎	甲田 訓子 奥瀬 稔之 中村 圭吾 宮國 茜
22	A 12月2日(水) 4時限	1. 診療チェアの使用法 2. フッ素塗布 3. 部分充填 4. 保護者へのブラッシング指導		大須賀直人 森山 敬太	
	B 12月2日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 齋藤 安奈	松村奈穂美 内川 恵里
	C 12月2日(水) 4時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。	1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接をできる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 堀内竜太郎 加藤 華子

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
	D 12月2日(水) 4時限	1. 診療チェアの使用法 2. 修復隔壁の装着 3. ラバーダム防湿 4. レジン充填 5. 齲蝕象牙質の除去	1. チェアユニットが操作できる。 2. 修復隔壁を装着できる。 3. ラバーダム防湿に必要な器材を準備できる。 4. ボンディングシステムの手順を操作できる。 5. コンポジットレジン充填塞できる。 6. 齲蝕象牙質を除去できる。	石田 直之 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎	甲田 訓子 奥瀬 稔之 中村 圭吾 宮國 茜
	A 12月9日(水) 3時限	1. 診療チェアの使用法 2. 修復隔壁の装着 3. ラバーダム防湿 4. レジン充填 5. 齲蝕象牙質の除去	1. チェアユニットが操作できる。 2. 修復隔壁を装着できる。 3. ラバーダム防湿に必要な器材を準備できる。 4. ボンディングシステムの手順を操作できる。 5. コンポジットレジン充填塞できる。 6. 齲蝕象牙質を除去できる。	石田 直之 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎	甲田 訓子 奥瀬 稔之 中村 圭吾 宮國 茜
23	B 12月9日(水) 3時限	1. 診療チェアの使用法 2. フッ素塗布 3. 部分充填 4. 保護者へのブラッシング指導		大須賀直人 森山 敬太	
	C 12月9日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 齋藤 安奈	松村奈穂美 内川 恵里
	D 12月9日(水) 3時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。	1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接をできる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 堀内竜太郎 加藤 華子
24	A 12月9日(水) 4時限	1. 診療チェアの使用法 2. 修復隔壁の装着 3. ラバーダム防湿 4. レジン充填 5. 齲蝕象牙質の除去	1. チェアユニットが操作できる。 2. 修復隔壁を装着できる。 3. ラバーダム防湿に必要な器材を準備できる。 4. ボンディングシステムの手順を操作できる。 5. コンポジットレジン充填塞できる。 6. 齲蝕象牙質を除去できる。	石田 直之 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎	甲田 訓子 奥瀬 稔之 中村 圭吾 宮國 茜
	B 12月9日(水) 4時限	1. 診療チェアの使用法 2. フッ素塗布 3. 部分充填 4. 保護者へのブラッシング指導		大須賀直人 森山 敬太	
	C 12月9日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 齋藤 安奈	松村奈穂美 内川 恵里

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
25	D 12月9日(水) 4時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。	1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接をできる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 堀内竜太郎 加藤 華子
	A 12月16日(水) 3時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。	1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接をできる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 堀内竜太郎 加藤 華子
	B 12月16日(水) 3時限	1. 診療チェアの使用法 2. 修復隔壁の装着 3. ラバーダム防湿 4. レジン充填 5. 齶触象牙質の除去	1. チェアユニットが操作できる。 2. 修復隔壁を装着できる。 3. ラバーダム防湿に必要な器材を準備できる。 4. ボンディングシステムの手順を操作できる。 5. コンポジットレジン充填塞できる。 6. 齶触象牙質を除去できる。	石田 直之 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎	甲田 訓子 奥瀬 稔之 中村 圭吾 宮國 茜
	C 12月16日(水) 3時限	1. 診療チェアの使用法 2. フッ素塗布 3. 部分充填 4. 保護者へのブラッシング指導		大須賀直人 森山 敬太	
	D 12月16日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 齋藤 安奈	松村奈穂美 内川 恵里
26	A 12月16日(水) 4時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。	1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接をできる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 堀内竜太郎 加藤 華子
	B 12月16日(水) 4時限	1. 診療チェアの使用法 2. 修復隔壁の装着 3. ラバーダム防湿 4. レジン充填 5. 齶触象牙質の除去	1. チェアユニットが操作できる。 2. 修復隔壁を装着できる。 3. ラバーダム防湿に必要な器材を準備できる。 4. ボンディングシステムの手順を操作できる。 5. コンポジットレジン充填塞できる。 6. 齶触象牙質を除去できる。	石田 直之 小町谷美帆 小松 佐保 内川竜太郎	甲田 訓子 奥瀬 稔之 中村 圭吾 宮國 茜

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標(SBOs)	担当者	補助者
	C 12月16日(水) 4 時限	1. 診療チェアの使用方法 2. フッ素塗布 3. 部分充填 4. 保護者へのブラッシング指導		大須賀直人 森山 敬太	
	D 12月16日(水) 4 時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 拔牙 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 拔牙の手順、器具の使用、拔牙の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 齋藤 安奈	松村奈穂美 内川 恵里
27	AB 12月23日(水) 3 時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 拔牙 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 拔牙の手順、器具の使用、拔牙の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 齋藤 安奈	松村奈穂美 内川 恵里
	CD 12月23日(水) 3 時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。 OSCE のしくみを知る。	1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接ができる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。 6. 病気を持った患者に共感的態度がとれる。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 堀内竜太郎 加藤 華子
28	AB 12月23日(水) 4 時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 拔牙 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 拔牙の手順、器具の使用、拔牙の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 齋藤 安奈	松村奈穂美 内川 恵里
	CD 12月23日(水) 4 時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。 OSCE のしくみを知る。	1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接ができる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。 6. 病気を持った患者に共感的態度がとれる。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 堀内竜太郎 加藤 華子

回数	授業日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
29	1月6日(水) 3時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技 能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践す る。 OSCEのしくみを知る。	1. 主訴に関する現在の症状を聴取で きる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医 療面接ができる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデル および受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取でき る。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測で きる。 6. 病気を持った患者に共感的態度が とれる。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸	伊能 利之 堀内竜太郎 加藤 華子
30	1月6日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を 習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌 手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の 方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を 習得する。	芳澤 享子 中山 洋子 李 憲起 齋藤 安奈	松村奈穂美 内川 恵里

総 合 講 義 (C4200)

第4学年（後期）
講義 必修

【担当者】

基礎講座
臨床講座

【一般目標（GIO）】

臨床実習を行うために必要な社会と歯学、生命科学、材料学および臨床歯学などの基本的知識を修得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 社会と歯学に関する事項を説明できる。
2. 生命科学に関する事項を説明できる。
3. 歯科生体材料と歯科材料に関する事項を説明できる。
4. 臨床歯学に関する事項を説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕「CBTの辞典」（CBTの辞典の会発行）

各科目の教科書については各科目シラバスを参照すること。

【教育（学習）方略（LS）】

1. CBTコアカリキュラムの内容に従い、各科目の内容を復習する。
2. 各科目間で関連する内容の有機的な結び付けを行うことを学生に促す。

【フィードバック方法】

定期試験実施後、質問等がある場合は問合わせること。その後、学生イントラで解説する。

【評価方法（Evaluation）】

Weekly Test（30％）、定期試験（70％）

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書で予習を行うこと。（15分）

復 習：講義ノート、配付されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。（45分）

【オフィスアワー】

各教科のオフィスアワーを参照のこと。

口腔解剖学

担当者	教 授：金銅英二
授業概要	身体の部位と方向の用語を説明する。身体を構成する器官系について器官系を構成する器官群および器官系の働きを説明し、さらに構成する個々の器官の位置、形、働きおよび器官相互の関係について説明する。器官系は運動器系、循環器系、感覚器系、神経系、消化器系、呼吸器系、泌尿器系、生殖器系を説明する。
教科書	伊藤 隆他：「解剖学講義」（南山堂） 相磯 貞和訳：「ネッター解剖学図譜」（南江堂） 山田 英智監訳：「図解 解剖学事典」（医学書院）
参考書	石井 治雄他：「これならわかる要点解剖学」（南山堂） 矢島 俊彦他監訳：「リープゴッド歯科学のための解剖学」（西村書店） 山下 靖雄監修：「口腔解剖学」（医歯薬出版）
フィードバック方法	Weekly Test にて理解度をフィードバックする。
注意事項	
準備学習時間 (予習・復習)	90分 講義内容を確認し教科書・解剖学図譜の該当部位を熟読して受講すること。(60分) 講義内容を整理・確認する。(30分)
オフィスアワー	水曜日 16:30～17:30 本館地階 解剖実習室 場所は変更になる場合があるので、掲示をよく見ておくこと。

口腔組織学

担当者	教 授：中村浩彰
授業概要	組織学の復習を行う。 1. 組織学総論・各論 口腔組織学、口腔組織発生学の復習を行う。 2. エナメル質・象牙質・歯髄・セメント質・歯周組織・口腔粘膜 3. 歯の発生・顔面の発生・顎関節・唾液腺
教科書	2年次「組織学」「口腔組織学」の教科書を用いる。 牛木辰夫：「入門組織学」（南江堂） 脇田稔ほか編：「口腔組織・発生学（第2版）」（医歯薬出版）
参考書	岩永敏彦：「カラーアトラス組織・細胞学」（医歯薬出版） 川崎堅三他：「カラーアトラス口腔組織発生学」（わかば出版）
フィードバック方法	定期試験実施後、質問等がある場合は問合せること。その後学生イントラで解説する。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書で予習を行うこと。(15分) 復 習：講義ノート、配布されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。(45分)
オフィスアワー	金曜日 16:30～18:00 本館4階西棟 口腔解剖学講座教授室

口腔生理学	
担当者	教 授：北川純一
授業概要	人体を構成する器官の機能について復習を行う。特に、循環器系・神経系・感覚器系・分泌器系の重要なポイントを説明する。
教科書	和泉博之・浅沼直和編：「ビジュアル生理学・口腔生理学第3版」(学建書院) 浅沼直和他：「ビジュアル口腔生理学」(学建書院)
参考書	森本俊文・山田好秋編：「基礎歯科生理学第6版」(医歯薬出版) 上羽隆夫編：「スタンダード口腔生理学」(学建書院)
フィードバック方法	定期試験後、正解率の低い問題を中心に補講またはイントラで解説する。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 復 習：講義ノートを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。(60分)
オフィスアワー	水曜日 16:30～18:00 実習館1階顎口腔機能制御学部門研究室 左記以外でも適宜質問に応じます。

口腔生化学	
担当者	教 授：宇田川信之
授業概要	生体を構成する高分子化合物（タンパク質、核酸、糖質、脂質）の構造、代謝、生合成および機能についての基本的知識を理解する。また、口腔およびその関連組織に関する生化学的知識について理解する。生命の分子の基盤に関して、生命を構成する物質、遺伝子と遺伝、細胞の構造と機能、細胞間のコミュニケーションについて理解する。
教科書	金森孝雄：「口腔生化学サイドリーダー第6版」(学建書院)
参考書	宇田川信之他：「口腔生化学第5版」(医歯薬出版) CBT 試験対策研究会編：「セルフチェック CBT 基礎編 Ver.5」(学建書院)
フィードバック方法	試験実施後、疑問や質問等がある場合は試験実施3日間以内にメールにて担当教員に送ること。その後、学生イントラ等で解説する。
準備学習時間 (予習・復習)	90分 予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書で確認すること (10分) 復 習：当該講義の Weekly Test の復習ノートを必ず作成すること (80分)
オフィスアワー	要予約 (TEL 070-5014-3303または nobuyuki.udagawa@mdu.ac.jp) 実習館2階 総合歯科医学研究所

口腔細菌学

担当者	教 授：吉田明弘
授業概要	免疫学の復習を行う。
教科書	川端忠重他編：「口腔微生物学・免疫学（第4版）」（医歯薬出版） 全国歯科衛生士教育協議会監修「疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学」（医歯薬出版）
参考書	熊ノ郷淳他編：「免疫学コア講義」（南山堂） 山本一彦他編：「カラー図解人体の正常構造と機能Ⅶ血液・免疫・内分泌」（日本医事新報社） 石原和幸他編：「口腔微生物学（第6版）」（学建書院）
フィードバック方法	定期試験実施後、正解率が低い問題に対し講義中に解説する。
準備学習時間 （予習・復習）	90分 予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書等で予習を行うこと（受講前の予習を前提に講義を進める）。(45分) 復 習：講義ノート、配布資料を用いて復習し、教科書等で各自知識をまとめること。(45分)
オフィスアワー	木曜日 16：30～17：30 本館5階 口腔細菌学講座研究室 要予約（akihiro.yoshida@mdu.ac.jp）

口腔病理学

担当者	准教授：村上聡 助 教：嶋田勝光
授業概要	1. 細胞損傷、修復、循環障害、炎症および腫瘍の総論を復習する。 2. 病理組織診断の基礎的知識を復習する。 3. 口腔領域の代表的な炎症性疾患、粘膜疾患、嚢胞、腫瘍および腫瘍性疾患の病理学的特徴を復習する。
教科書	下野正基編集：「スタンダード病理学 第1版」（学建書院） 長谷川博雅・井上孝編：「第2版病理総論にもとづく口腔病理学」（永末書店） 賀来亨・田中昭男編：「簡明口腔病理学アトラス」（永末書店）
参考書	森亘・桶田理喜監訳：「ロビンス基礎病理学 第8版」（丸善） 下野正基・高田隆編：「第2版新口腔病理学」（医歯薬出版） 高木實編：「口腔病変アトラス 第2版」（文光堂）
フィードバック方法	Weekly Testの低正答率項目については講義中に解説する。
注意事項	1. 授業に際して、以下のような場合は原則として欠席とする。 ①遅刻、②無断退出など 2. 講義に持参するもの ①3年次の授業ノート ②講義レジュメ 3. 学生イントラに病理組織像などをアップするので著作権に留意して適切に使用すること。
準備学習時間 （予習・復習）	120分 予 習：シラバスを基に3年次の講義ノートを復習する。(60分) 復 習：講義でふれた病態の定義、疾患名、病因、病理組織像などをよく考えて理解する。(60分)
オフィスアワー	随時 本館東棟5階口腔病理学講座医局 予約の場合 1) 口腔病理学講座医局に来室のうえ日時を予約 2) メール予約の場合は必ず返信メールを確認して来室 村上：satoshi.murakami@mdu.ac.jp

歯科薬理学	
担当者	教 授：十川紀夫
授業概要	1. 種々の方法で適用された薬物の生体内運命（薬物動態）を理解する。 2. 薬物の作用に関する基本的事項（作用機序）を理解する。 3. 薬物の併用による作用の変化（薬物相互作用）について理解する。 4. 薬物の副作用・有害作用の種類とその予防対策に関する基本的事項を理解する。
教科書	大谷啓一監修、鈴木邦明・戸茱彰史・青木和弘・兼松隆・筑波隆幸編：「現代歯科薬理学（第6版）」（医歯薬出版）
参考書	渡邊裕司監訳：「ハーバード大学講義テキスト 臨床薬理学 原書3版」（丸善出版） 大浦清、坂上宏、戸刈彰史、二藤彰、山崎純編集：「ポイントがよくわかるシンプル歯科薬理学」（永末書店）
フィードバック方法	定期試験や演習課題実施後、正解率が低い問題に対して、解答例を学生イントラに掲載、または補講等で解説する。
注意事項	臨床科目と関連付けるように自ら努力すること。
準備学習時間 （予習・復習）	60分 予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書で予習を行うこと。（15分） 1）各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。 復 習：講義ノート、配布されたプリントを復習し、教科書を利用して各自知識をまとめること。（45分） 1）授業の理解を図るため、必ず復習すること。 2）ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。
オフィスアワー	随時 実習館3階 歯科薬理学講座教授室

歯科理工学	
担当者	教 授：黒岩昭弘 特任教授：永澤栄
授業概要	材料の取り扱い方法、特性、化学反応についての詳細を理解するために行う。 各項目の基礎知識の再確認と専門用語の意味の理解度を再確認する。
教科書	中冨裕・西山典宏・宮崎隆・米山隆之他：「スタンダード歯科理工学第6版」（学建書院）
参考書	「CBTの達人」（達人の会） 2年次のノート
フィードバック方法	各試験の結果から理解度の低い項目については講義中にフィードバックする。 また問題によっては学生イントラに掲示する。
注意事項	教科書を必ず持参すること。
準備学習時間 （予習・復習）	60分 予 習：シラバスを確認して事前に教科書、参考書、2年時ノートなどにより予習すること。 復 習：配布されたプリント、ノートを用いて理解が足りない箇所が無いかが再確認すること。
オフィスアワー	月曜日～金曜日 随時 不在の時もあるので、口頭あるいはメールにて予約するのが望ましい。 実習館1階 歯科理工学医局

公衆衛生学

担当者	教 授：山賀孝之 助 教：定岡直 特任教授：牧茂
授業概要	1. 2・3年次で学んだ衛生学・口腔衛生学を保健医療に結び付け、疾患予防の指導管理を実践できる段階まで進める。 2. 歯科医療関係者に必要な口腔保健に関する知識を共有する。
教科書	安井利一、宮崎秀夫他編：「口腔保健・予防歯科学」（医歯薬出版、2019年） 末高武彦編：「スタンダード衛生・公衆衛生」（学建書院）
参考書	安井利一編：「口腔保健マニュアル」（南山堂） 石井拓男他編：「スタンダード社会歯科学第7版」（学建書院）
注意事項	
フィードバック方法	試験の正答、評価への疑問や質問は担当教員に申し出ること。その後 Q&A 形式で学生イントラ、補講等で解説する。
準備学習時間 （予習・復習）	90分 予 習：シラバスおよび事前連絡による教科書の該当範囲を熟読する。（45分） 復 習：講義ノートの整理。暗記項目は何回も繰り返して完全に暗記する。（45分）
オフィスアワー	月曜日～金曜日 随時 本館1階東棟 公衆衛生学講座医局

保存修復学

担当者	教 授：亀山敦史
授業概要	第3学年の保存修復学講義および第4学年前期の保存修復学実習で修得した知識をより確実なものにし、かつ他の歯科領域（歯科理工学、口腔組織学、口腔病理学、冠・架工義歯学、歯内療法学など）で修得した知識との関連性を深く理解できるように、臨床術式と基礎理論について学習する。
教科書	千田彰・寺下正道・寺中敏夫・宮崎真至編：「保存修復学（第6版）」（医歯薬出版） 田上順次・奈良陽一郎・山本一世・斎藤隆史監修：「保存修復学 21（第5版）」（永末書店）
参考書	千田彰・宮崎真至・林美加子・向井義晴・斎藤隆史編：「保存修復学（第7版）」（医歯薬出版） 千田彰・寺下正道・田上順次・奈良陽一郎・宮崎真至・片山直編集：「保存修復クリニカルガイド（第2版）」（医歯薬出版）
フィードバック方法	Weekly Test や定期試験で正答率の低い問題については学生イントラに解説を掲載するので確認すること。
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・講義は欠席しないこと。やむを得ず欠席した場合は速やかに欠席届を提出すること。 ・教科書、第3学年の講義で配付した資料、自分が作成した講義ノートおよび保存修復学実習マニュアルを必ず持参すること。 ・講義中にポイントとなる事項などは、教科書の該当ページにメモを取ること。 ・理解できない事項や確認したい事項がある場合には積極的にオフィスアワーを活用すること。 ・講義の撮影、録画は認めない。
準備学習時間 （予習・復習）	1. 事前に講義内容を確認して教科書あるいは3年次の講義資料で復習をして講義を受ける。 2. 講義後は、自分のとったメモと本シラバスをもとに復習する。 3. 自分のメモは第4学年の臨床実習やCBT、そして第6学年の国家試験対策総合講義で役立つはずである。
オフィスアワー	基本的に講義を行った日 17：30～18：30 本館3階東棟 歯科保存学講座 教授室

全部床義歯学

担当者	教授：黒岩昭弘 講師：松山雄喜
授業概要	有歯顎者の生理的な機能と無歯顎者の生理的な機能を学びながら全部床義歯による欠損補綴の意義を教授する。 全部床義歯を用いた欠損補綴について臨床手技、技工操作の概要を理解する。
教科書	山縣健佑・黒岩昭弘共著：「図説無歯顎補綴学」（学建書院） 黒岩昭弘著：「全部床義歯学サイドリーダー 第5版」（学建書院） 細井紀雄他編：「コンプリートデンチャーテクニック 第6版」（医歯薬出版） 細井紀雄他編「無歯顎補綴治療学（第3版）」（医歯薬出版）
参考書	
フィードバック方法	Weekly Test にて正解率が低い問題に対し解答例を学生イントラへ掲載するので確認すること。
注意事項	無断欠席は認めない。教科書を必ず持参すること。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予習：各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。(15分) 復習：講義中に指定した教科書の項目や写真を中心に講義内容を復習すること。(45分)
オフィスアワー	講義実施日 16：30～17：30 本館4階 歯科補綴学講座医局 連絡先：0263-51-2046

歯科矯正学

担当者	教授：岡藤純正
授業概要	乳歯列・混合歯列・永久歯列期の矯正治療の特徴を理解し、適切な治療方針、治療装置を選択する。 成長発育、咬合、不正咬合の種類、原因、生体反応を理解する。
教科書	飯田順一郎・葛西一貴・後藤滋巳・末石研二・横宏太郎・山城隆編：「歯科矯正学 第6版」（医歯薬出版） 3、4年次歯科矯正学（講義）配付のプリント 歯科矯正学実習 実習書
参考書	清水典佳・鈴木里奈編：「歯科国試パーフェクトマスター歯科矯正学」（医歯薬出版）
フィードバック方法	Weekly Test 実施後に正解率が低い問題に対し解答例または記入例を次週講義冒頭に掲示するので確認すること
注意事項	3、4年次までに学んだ歯科矯正学の内容を総復習するため、演習と解説を行う。 出席を重視する。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 復習：配布されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。(60分)
オフィスアワー	授業日（18：00～20：00） 本館2階東棟 歯科矯正学講座教授室オフィスアワー以外の時間帯でも在室時は随時可能 連絡先 E-mail：norimasa.okafuji@mdu.ac.jp

医療面接法

担当者	准教授：森 啓
授業概要	1. 医療倫理と生命倫理を知り、患者中心の視点（患者の権利、自己決定権、インフォームドコンセント）を説明できる。 2. 医療面接の目的と理論モデルを理解し、コミュニケーションの目的と技法を説明できる。 3. 一般歯科診療の基本を説明できる。
教科書	伊藤孝訓：「改訂版 歯科医療面接 アートとサイエンス」（シエン社）
参考書	斎藤清二：「はじめての医療面接」（医学書院）
フィードバック方法	試験（Weekly Test 等）の低正答率問題について解説の資料を配布する。
注意事項	講義は欠席しないこと。やむを得ず欠席した場合は速やかに欠席届を提出すること。 教科書を必ず持参すること。
準備学習時間 （予習・復習）	60分 予 習：3年次のノートを参考にすること
オフィスアワー	月曜日～金曜日 17：30以降～ 本館2階北棟病院共同教員室

【授業日程】

<div> <div>総 合 講 義</div> <div>第4学年（後期）</div> </div>				
回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	5月7日(木) 2時限	オリエンテーション		中村 浩彰
2	9月14日(月) 3時限	口腔組織学① 1. エナメル質 2. 象牙質 3. 歯髄 4. 歯周組織 5. 口腔粘膜	1. エナメル質、象牙質、歯髄および歯周組織の組織学的特徴を説明できる。 2. 口腔粘膜の特徴を部位ごとに説明できる。	中村 浩彰
3	9月14日(月) 4時限	口腔生化学① 歯と歯周組織の生化学 生命を構成する基本物質	骨、象牙質、エナメル質の特有なタンパク質について説明できる。 線維性コラーゲンの特徴を説明できる。 プロテオグリカンの構造と役割を説明できる。 接着性タンパク質について説明できる。 生体内におけるエネルギー利用を説明できる。 酵素の働きと主な代謝異常を説明できる。	宇田川信之
4	9月16日(水) 2時限	口腔解剖学① 身体の部位および方向用語について 運動器系（骨格系と筋系）について 歯種別の形態と特徴について	1. 身体の方角用語を正確に用いることができる 2. 身体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 3. 骨の結合様式を説明できる。 4. 歯種別の形態と特徴を説明できる。	金銅 英二
5	9月18日(金) 2時限	口腔生理学① 1. 血液の成分と作用 2. 心臓の働き 3. 血液循環	1. 血液成分とその作用を列挙できる。 2. 浮腫を起こす原因を説明できる。 3. 心筋の特徴や刺激伝導系を説明できる。 4. 循環系の特徴を説明できる。	北川 純一
6	9月23日(水) 2時限	歯科薬理学① 薬物の作用機序、薬理作用	1. 薬理作用の基本形式および分類を理解する。 2. 薬物の作用機序および薬理作用を理解する。	十川 紀夫
7	9月25日(金) 2時限	口腔病理学① 細胞損傷と修復 1. 細胞損傷の機構と細胞内小器官の形態変化 2. 細胞増殖と分化の調節機構 3. 肉芽組織 4. 創傷の治癒	1. 細胞傷害と組織傷害について説明できる。 2. 壊死の多様性、原因、意義および形態的所見の特徴を説明できる。 3. 壊死とアポトーシスについて説明できる。 4. 萎縮と仮性肥大を説明できる。 5. 修復と再生について説明できる。 6. 化生を説明できる。 7. 肉芽組織の構成成分と意義を説明できる。 8. 創傷治癒に関する細胞とその過程を説明できる。 9. 異物の種類と処理反応を説明できる。 10. 器質化を説明できる。	村上 聡
8	9月28日(月) 3時限	口腔細菌学① 自然免疫	1. 上皮のバリア機構について説明できる。 2. 貪食細胞の機能について説明できる。 3. 補体について説明できる。 4. NK細胞について説明できる。 5. パターン認識について説明できる。	吉田 明弘
9	9月28日(月) 4時限	歯科理工学① 歯科材料に使用される素材とその性質	歯科材料に使用される素材とその性質および所要性質について説明できる。	黒岩 昭弘 永澤 栄
10	9月30日(水) 2時限	口腔解剖学②	1. 骨格系を説明できる。 2. 筋系を説明できる。 3. 消化器系を説明できる。	金銅 英二

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
11	10月2日(金) 2時限	公衆衛生学① 1. 健康の概念、口腔と全身の健康 2. 疾病の概念、種類及び予防 3. 予防の概念 (Leavell&Clark のモデル) 4. プロフェッショナルケア、セルフケア及びコミュニティケア 5. プライマリーヘルスケアとヘルスプロモーション	1. 健康の概念、口腔と全身の健康について説明できる。 2. 疾病の概念、種類及び予防について説明できる。 3. 予防の概念 (Leavell&Clark のモデル) について説明できる。 4. プロフェッショナルケア、セルフケア及びコミュニティケアについて説明できる。 5. プライマリーヘルスケアとヘルスプロモーションについて説明できる。	山賀 孝之
12	10月5日(月) 3時限	口腔組織学② 1. 歯の発生 2. 顔面の発生 3. 顎関節 4. 唾液腺	1. 歯の発生について説明できる。 2. エナメル質形成について説明できる。 3. 象牙質形成について説明できる。 4. 鰓弓について説明できる。 5. 口蓋の発生について説明できる。 6. 顎関節の構造について説明できる。 7. 唾液腺の組織構造について説明できる。	中村 浩彰
13	10月5日(月) 4時限	口腔生化学② 軟骨・骨の形成と吸収機構 細胞のコミュニケーション	軟骨芽細胞による軟骨形成と骨芽細胞による骨形成機構および破骨細胞による骨吸収機構を説明できる。 膜内骨化と軟骨内骨化の違いが説明できる。 細胞の接着装置、接着分子、受容体および細胞内シグナル伝達機構を説明できる。	宇田川信之
14	10月7日(水) 2時限	歯科薬理学② 薬物の作用機序、薬理作用	1. 薬理作用の基本形式および分類を理解する。 2. 薬物の作用機序および薬理作用を理解する。	十川 紀夫
15	10月9日(金) 2時限	口腔生理学② 1. 中枢神経 2. 末梢神経 3. 自律神経	1. 脳の機能局在を説明できる。 2. 脳幹の機能を説明できる。 3. 脳神経の機能を説明できる。 4. 自律神経の作用を説明できる。	北川 純一
16	10月12日(月) 3時限	口腔細菌学② 主要組織適合遺伝子複合体と抗原提示	1. 主要組織適合遺伝子複合体について説明できる。 2. 主要組織適合遺伝子複合体による T 細胞への抗原提示について説明できる。 3. クロスプレゼンテーションについて説明できる。	吉田 明弘
17	10月12日(月) 4時限	歯科理工学② 印象採得に用いる印象材と器具の種類と特性 模型材料の種類と特性	印象材と模型材の種類とそれぞれの特性について説明できる。	永澤 栄
18	10月14日(水) 2時限	公衆衛生学② 1. 主な口腔疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防 2. 齲蝕予防におけるフッ化物の応用方法 3. ライフステージにおける予防	1. 主な口腔疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防について説明できる。 2. 齲蝕予防におけるフッ化物の応用方法について説明できる。 3. ライフステージにおける予防について説明できる。	定岡 直
19	10月16日(金) 2時限	口腔病理学② 循環障害総論 1. 局所の血液分布異常 2. 全身の循環障害 3. 閉塞性循環障害	1. 虚血、充血およびうっ血の徴候、原因および転帰を説明できる。 2. 出血の原因、種類および転帰を説明できる。 3. 血栓症の形態学、成因と条件および転帰を説明できる。 4. 塞栓症について塞栓の運ばれる経路、塞栓の種類および転帰を説明できる。 5. 梗塞の種類、形態および転帰を説明できる。 6. 浮腫の原因とその転帰を説明できる。 7. ショックの原因と成因を説明できる。	嶋田 勝光

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
20	10月19日(月) 3 時限	医療面接法① 求められる 歯科医師像 医療倫理 生命倫理 患者中心の医療	医療倫理の基本を説明できる。 患者中心の医療を実践するにあたり必要な知識を説明できる。 生命倫理観が必要な事例を説明できる。 インフォームドコンセントの意義を説明できる。	森 啓
21	10月19日(月) 4 時限	保存修復学① 1. 歯の硬組織疾患 2. 検査法・診断法 3. 齲蝕の処置	1. 歯の硬組織疾患を列举し、分類できる。(想起) 2. 歯の硬組織疾患の発生原因とメカニズムを説明できる。(想起) 3. 歯の硬組織疾患の病態と考えられる症状を説明できる。(想起・解釈) 4. 齲蝕のリスクファクターを列举できる。(想起) 5. 歯の硬組織疾患の検査法の種類を列举できる。(想起) 6. 歯の硬組織疾患にあわせた検査法を選択できる。(問題解決) 7. 得られた検査結果から病態を推測する。(解釈)	亀山 敦史
22	10月21日(水) 2 時限	歯科薬理学③ 薬物動態	1. 薬物動態 (吸収から排泄までの過程) を理解する。 2. 種々の要因による薬物動態の変化を理解する。	十川 紀夫
23	10月23日(金) 2 時限	公衆衛生学③ 1. 疫学との EBM 概念 2. スクリーニング検査 3. 口腔疾患の疫学的指標	1. 疫学と EBM の概念を説明できる。 2. スクリーニング検査を説明できる。 3. 口腔疾患の疫学的指標を説明できる	定岡 直
24	10月26日(月) 3 時限	口腔組織学③ 1. 上皮組織 2. 結合組織 3. 軟骨・骨組織 4. 血液 5. 筋組織 6. 神経組織 7. 組織学各論 (脈管系、リンパ性器官、消化器系、呼吸器系、泌尿器系、内分泌系)	1. 上皮を形態学的に分類できる。 2. 結合組織の線維要素と細胞要素を説明できる。 3. 軟骨を分類し、その特徴を説明できる。 4. 骨組織の細胞について説明できる。 5. 赤血球、白血球および血小板の形成過程と機能を説明できる。 6. 筋組織の構造と機能を説明できる。 7. 神経細胞の構造を説明できる。 8. 消化器系の基本構造と機能を説明できる。 9. 呼吸器系の基本構造と機能を説明できる。 10. 泌尿器系の基本構造と機能を説明できる。	中村 浩彰
25	10月26日(月) 4 時限	口腔生化学③ 細胞の構造と機能 歯と骨の石灰化機構	細胞膜、核、細胞内小器官、細胞骨格、細胞周期および細胞死について説明できる。 アルカリホスファターゼ説とエピタキシー説および基質小胞説が説明できる。 エナメル質の石灰化の特殊性を説明できる。	宇田川信之
26	10月28日(水) 2 時限	口腔解剖学③ 感覚器系について 呼吸器系について 泌尿器系について 生殖器系について 三叉神経・顔面神経について	1. 皮膚・感覚器の形態、構造を説明できる。 2. 視覚器、聴覚器、平衡感覚器の形態と構造を説明できる。 3. 嗅覚器、味覚器の形態と構造を説明できる。 4. 気道系の構造と機能を説明できる。 5. 腎臓、尿路の分類、形態および構造を説明できる。 6. 男性生殖器、女性生殖器の分類と形態および構造を説明できる。 7. 三叉神経と顔面神経の走行、分布および構成線維を説明できる。	金銅 英二
27	10月30日(金) 2 時限	口腔生理学③ 1. 唾液 2. 嚥下 3. 顎反射	1. 唾液の生成機序を説明できる。 2. 嚥下反射の機序を説明できる。 3. 顎反射のメカニズムが明確に説明できる。	北川 純一

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
28	11月2日(月) 3時限	口腔細菌学③ 獲得免疫(1)液性免疫	1. 抗体の構造について説明できる。 2. 抗体のクラスと機能について説明できる。 3. クラススイッチについて説明できる。 4. 遺伝子再構成について説明できる。 5. 抗原抗体反応とその応用について説明できる。 6. 親和性成熟について説明できる。	吉田 明弘
29	11月2日(月) 4時限	歯科理工学③ レジン系材料の種類と特性	レジン系材料とそれぞれの特性について説明できる。	永澤 栄
30	11月6日(金) 2時限	口腔病理学③ 炎症総論 1. 炎症の形態学的変化 2. 急性炎症と慢性炎症 3. 増殖性炎と肉芽腫性炎	1. 炎症の定義と発生機序を説明できる。 2. 炎症細胞の種類と働きを説明できる。 3. 急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。 4. 炎症の分類、病理組織学的変化および経時的変化を説明できる。 5. 炎症の原因別分類と病因特異的組織変化を説明できる。	嶋田 勝光
31	11月9日(月) 3時限	医療面接法② 医療面接の基本	1. 医療面接における意義と目的を説明できる。 2. 医療面接の基本を説明できる。 3. 病歴聴取項目を説明できる。 4. 急性症状と慢性症状の聴取の違いを説明できる。	森 啓
32	11月9日(月) 4時限	保存修復学② 1. エナメル質齲蝕の処置法 2. 象牙質齲蝕の処置法 3. 根面齲蝕の処置法 4. 非齲蝕性硬組織疾患の処置法 5. 修復時の前処置	1. エナメル質齲蝕への再石灰化療法を説明できる。(想起) 2. エナメル質齲蝕病巣の除去法と使用する器具を説明できる。(想起) 3. 象牙質齲蝕の臨床的所見を説明できる。(想起) 4. 齲蝕象牙質の識別法と使用する器材を説明記できる。(想起) 5. 象牙質齲蝕病巣の除去法と使用する器具を説明できる。(想起) 6. 根面齲蝕を分類できる。(想起) 7. 根面齲蝕の非侵襲的治療法を説明できる。(想起・問題解決) 8. 根面齲蝕の修復方法を列挙し、その使い分けを説明できる。(想起・問題解決) 9. 非齲蝕性硬組織疾患の処置法を説明できる。(想起・問題解決) 9. 修復処置に必要な前処置の種類とそれぞれの目的を列挙できる。(想起) 10. 修復処置に応じた前処置法を選択できる。(問題解決)	亀山 敦史
33	11月11日(水) 2時限	歯科薬理学④ 薬物相互作用	1. 薬理作用に影響する要因を理解する。 2. 薬物相互作用を理解する。	十川 紀夫
34	11月13日(金) 2時限	公衆衛生学④ 医の倫理 医療関連法規	1. 医の倫理を理解する。 2. 医療関連法規を理解する。	牧 茂
35	11月16日(月) 3時限	口腔組織学④ 組織学 口腔組織学 口腔組織発生学	1. 組織学の要点を理解する。 2. 口腔組織の構造の要点を理解する。 3. 口腔組織発生の要点を理解する。	中村 浩彰
36	11月16日(月) 4時限	口腔生化学④ カルシウム代謝調節機構	血清カルシウムを調節するカルシトニン、副甲状腺ホルモン、ビタミンDの性質と機能を説明できる。	宇田川信之

回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
37	11月18日(水) 2 時限	口腔解剖学④ 永久歯の特徴 乳歯の特徴 歯の異常 口腔の構造 咽頭の構造 喉頭の構造	永久歯と乳歯について説明できる。 歯の異常について説明できる。 口腔の構造について説明できる。 咽頭の構造について説明できる。 喉頭の構造について説明できる。	金銅 英二
38	11月20日(金) 2 時限	口腔生理学④ 生理学・口腔生理学の総復習	視覚素材に慣れる。	北川 純一
39	11月24日(火) 3 時限	口腔細菌学④ 獲得免疫(2)細胞性免疫	1. T細胞の種類と性状について説明できる。 2. 細胞性免疫の制御機構について説明できる。 3. T細胞の分化・成熟とメモリー機能について説明できる。 4. ウイルス感染細胞の排除について説明できる。 5. 細胞内寄生細菌に対する感染防御について説明できる。 6. 腫瘍免疫について説明できる。 7. 移植と拒絶反応について説明できる。	吉田 明弘
40	11月24日(火) 4 時限	歯科理工学④ 金属材料を用いた鑄造および熱処理 陶材の特性	歯科用金属材料の種類と用途について説明できる。 金属材料の加工方法について説明できる。 セラミック材料について加工方法と特性について説明できる。	永澤 栄
41	11月25日(水) 2 時限	歯科薬理学⑤ 薬物の副作用・有害作用	薬物による副作用・有害作用およびその発生機序を理解する。	十川 紀夫
42	11月27日(金) 2 時限	口腔病理学④ 腫瘍総論 1. 腫瘍の疫学 2. 腫瘍の組織学的特徴 3. 腫瘍の増殖と転移 4. 癌関連遺伝子の役割とその異常 5. 多段階発癌の分子機構	1. 腫瘍の定義と原因を説明できる。 2. 腫瘍の組織発生を説明できる。 3. 異型性、退形成および分化を説明できる。 4. 腫瘍の異型性と多形性を説明できる。 5. 局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。 6. 発癌機構を概説できる。	嶋田 勝光
43	11月30日(月) 3 時限	歯科矯正学① 1. 顎顔面頭蓋の成長発育 2. 正常咬合と不正咬合 3. 側面頭部エックス線規格写真・模型分析 4. 矯正力と顎整形力	1. 顎顔面頭蓋の成長発育を理解する。 2. 正常咬合と不正咬合について説明できる。 3. 口腔習癖とそれが及ぼす影響について説明できる。 4. 側面頭部エックス線規格写真と模型分析を説明できる。 5. 矯正力と顎整形力について説明できる。	岡藤 範正
44	11月30日(月) 4 時限	口腔生化学⑤ 唾液と唾液腺 歯面への付着物 遺伝子と遺伝	唾液タンパク質の生化学的組成と分泌機構を説明できる。 歯面への付着物の生化学的組成を説明できる。 遺伝子の構造とセントラルドグマを説明できる。	宇田川信之
45	12月 2 日(水) 2 時限	歯科薬理学⑥ 薬物と医薬品	1. 医薬品の分類を理解する。 2. 医薬品の表示および保管方法を理解する。 3. 医薬品開発の流れを理解する。	十川 紀夫
46	12月 4 日(金) 2 時限	公衆衛生学⑤ 1. 主な保健医療統計 2. 主な健康指標 3. 調査方法と統計的分析 4. 保健医療情報の取り扱いと情報セキュリティ 5. 医療情報の開示に関する注意点	1. 主な保健医療統計を説明できる。 2. 主な健康指標を説明できる。 3. 調査方法と統計的分析を説明できる。 4. 保健医療情報の取り扱いと情報セキュリティを説明できる。 5. 医療情報の開示に関する注意点を説明できる。	定岡 直

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
47	12月7日(月) 3時限	医療面接法③ 医療面接法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科診療の流れを説明できる。 2. 医療面接の環境を説明できる。 3. 医療面接の手順を説明できる。 4. 医療情報の記載方法を説明できる。 5. 急性と慢性症状の対応を説明できる。 6. 基本的なコミュニケーション手法を説明できる。 7. 臨床推論を説明できる。 	森 啓
48	12月7日(月) 4時限	保存修復学③ <ol style="list-style-type: none"> 1. 直接修復 2. 間接修復 3. 修復治療の術後管理 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 直接修復の種類を列挙し、それぞれについて特徴と適応症を説明できる。(想起・解釈) 2. 間接修復の種類を列挙し、それぞれについて特徴と適応症を説明できる。(想起・解釈) 3. 各修復法に適した窩洞形成法を説明できる。(解釈・問題解決) 4. 症例に応じた象牙質・歯髄複合体の保護法を選択できる。(問題解決) 5. 各種修復法の術式と使用する器具・材料を説明できる。(想起) 6. 修復治療後の術後管理の必要性について説明できる。(想起) 7. 補修の方法について列挙し、術式と必要な器材を説明できる。(想起) 8. メインテナンスの実際について説明できる。(想起) 	亀山 敦史
49	12月9日(水) 2時限	全部床義歯学① 印象採得	概形印象採得、個人トレーを用いた精密印象採得について理解する。	松山 雄喜
50	12月11日(金) 2時限	口腔病理学⑤ 病理診断	<ol style="list-style-type: none"> 1. 代表的な歯源性腫瘍の病理像を説明できる。 2. 代表的な粘膜腫瘍の病理像を説明できる。 3. 代表的な唾液腺腫瘍の病理像を説明できる。 4. 代表的な嚢胞の病理像を説明できる。 5. 代表的な粘膜疾患の病理像を説明できる。 	村上 聡
51	12月14日(月) 3時限	歯科矯正学② <ol style="list-style-type: none"> 1. 乳歯列・混合歯列・永久歯列期の矯正治療 2. 顎変形症の矯正歯科治療 3. 保定の意義とその種類 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 乳歯列・混合歯列・永久歯列期の矯正治療について説明できる。 2. 顎変形症の矯正歯科治療について説明できる。 3. 保定の意義とその種類について説明できる。 	岡藤 範正
52	12月14日(月) 4時限	口腔生化学⑥ 齲蝕の生化学	齲蝕の発症メカニズムと代用糖（非齲蝕性甘味料）の種類とその性質を説明できる。	宇田川信之
53	12月16日(水) 2時限	全部床義歯学② 咬合採得	咬合採得を理解する。	松山 雄喜
54	12月18日(金) 2時限	公衆衛生学⑥ 社会保障制度 医療経済	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療保険制度を理解する。 2. 介護保険制度が説明できる。 3. 医療経済を理解する。 	牧 茂
55	12月23日(水) 2時限	全部床義歯学③ 咬合器 蠟義歯試適	咬合器について理解する。 蠟義歯試適の目的について理解する。	松山 雄喜
56	12月25日(金) 2時限	公衆衛生学⑦ 健康日本21 国際保健	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康日本21を理解する。 2. 国際保健に関与する機関を理解する。 	定岡 直

2020 年度 4 学年 日程表

曜			月	火	水	木	金	土	日
1			5/4	5/5	5/6	5/7	5/8	5/9	5/10
	1	9:00～ 10:30	みどりの日	こどもの日	振替休日	健康診断	歯科放射線学-1		
	2	10:40～ 12:10				オリエンテーション	口腔外科学-1		
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20				器材・教科書購入	歯科補綴学実習Ⅰ-1		
	5	16:30～ 18:00							

		5/11	5/12	5/13	5/14	5/15	5/16	5/17
2	1	9:00～ 10:30	歯周病学-1	歯内療法学-1	公衆衛生学Ⅳ-1	歯周病学-2	歯科放射線学-2	
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-1	歯科矯正学-1	部分床義歯学-2	冠・架工義歯学-2	口腔外科学-2	
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-1	保存修復学実習-1	障害者歯科学-1	歯周病学実習-1	歯科補綴学実習Ⅰ-2	
	4	14:50～ 16:20	部分床義歯学-1		冠・架工義歯学-1			
	5	16:30～ 18:00						

		5/18	5/19	5/20	5/21	5/22	5/23	5/24		
3	1	9:00～ 10:30	Weekly Test 1	歯内療法学-2	公衆衛生学Ⅳ-2	歯周病学-3	歯科放射線学-3			
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-2	歯科矯正学-2	部分床義歯学-4	冠・架工義歯学-3	口腔外科学-3			
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-2		障害者歯科学-2					
	4	14:50～ 16:20	部分床義歯学-3		保存修復学実習-2				歯周病学実習-2	歯科補綴学実習Ⅰ-3
	5	16:30～ 18:00								

		5/25	5/26	5/27	5/28	5/29	5/30	5/31		
4	1	9:00～ 10:30		歯内療法学-3	公衆衛生学Ⅳ-3	歯周病学-4	歯科放射線学-4			
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-3	歯科矯正学-3	部分床義歯学-6	冠・架工義歯学-4	口腔外科学-4			
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-3		障害者歯科学-3					
	4	14:50～ 16:20	部分床義歯学-5		保存修復学実習-3				歯周病学実習-3	歯科補綴学実習Ⅰ-4
	5	16:30～ 18:00								

		6/1	6/2	6/3	6/4	6/5	6/6	6/7
5	1	9:00～ 10:30	Weekly Test 2	歯内療法学-4	公衆衛生学Ⅳ-4	歯周病学-5	歯科放射線学-5	
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-4	歯科矯正学-4	部分床義歯学-8	冠・架工義歯学-5	口腔外科学-5	
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-4	保存修復学実習-4	障害者歯科学-4	歯周病学実習-4	歯科補綴学実習Ⅰ-5	
	4	14:50～ 16:20	部分床義歯学-7					
	5	16:30～ 18:00						

6			6/8	6/9	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14
	1	9:00～ 10:30		歯内療法学-5	公衆衛生学Ⅳ-5	歯周病学-6	歯科放射線学-6		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-5	歯科矯正学-5	部分床義歯学-10	冠・架工義歯学-6	口腔外科学-6		
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-5	保存修復学実習-5	障害者歯科学-5	歯周病学実習-5	歯科補綴学実習Ⅰ-6		
	4	14:50～ 16:20	部分床義歯学-9						
	5	16:30～ 18:00							

曜			月	火	水	木	金	土	日
7			6/15	6/16	6/17	6/18	6/19	6/20	6/21
	1	9:00～ 10:30	Weekly Test 3	歯内療法学-6	公衆衛生学Ⅳ-6	歯周病学-7	歯科放射線学-7		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-6	歯科矯正学-6	部分床義歯学-12	冠・架工義歯学-7	口腔外科学-7		
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-6	保存修復学実習-6	障害者歯科学-6	歯周病学実習-6	歯科補綴学実習Ⅰ-7		
	4	14:50～ 16:20	部分床義歯学-11						
	5	16:30～ 18:00							

8			6/22	6/23	6/24	6/25	6/26	6/27	6/28	
	1	9:00～ 10:30		歯内療法学-7	公衆衛生学Ⅳ-7	歯周病学-8	歯科放射線学-8			
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-7	歯科矯正学-7	部分床義歯学-14	冠・架工義歯学-8	口腔外科学-8			
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-7		障害者歯科学-7		歯周病学実習-7			歯科補綴学実習Ⅰ-8
	4	14:50～ 16:20	部分床義歯学-13	保存修復学実習-7						
	5	16:30～ 18:00								

9			6/29	6/30	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5
	1	9:00～ 10:30	Weekly Test 4	歯内療法学-8	公衆衛生学Ⅳ-8	歯周病学-9	歯科放射線学-9		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-8	歯科矯正学-8	部分床義歯学-16	冠・架工義歯学-9	口腔外科学-9		
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-8	保存修復学実習-8	障害者歯科学-8	歯周病学実習-8	歯科補綴学実習Ⅰ-9		
	4	14:50～ 16:20	部分床義歯学-15						
	5	16:30～ 18:00							

10			7/6	7/7	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12
	1	9:00～ 10:30		歯内療法学-9	公衆衛生学Ⅳ-9	歯周病学-10	歯科放射線学-10		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-9	歯科矯正学-9	部分床義歯学-18	冠・架工義歯学-10	口腔外科学-10		
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-9	保存修復学実習-9	障害者歯科学-9	歯周病学実習-9	歯科補綴学実習Ⅰ-10		
	4	14:50～ 16:20	部分床義歯学-17						
	5	16:30～ 18:00							

11			7/13	7/14	7/15	7/16	7/17	7/18	7/19
	1	9:00～ 10:30	Weekly Test 5	歯内療法学-10	公衆衛生学Ⅳ-10	歯周病学-11	歯科放射線学-11		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-10	歯科矯正学-10	部分床義歯学-20	冠・架工義歯学-11	口腔外科学-11		
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-10	保存修復学実習-10	障害者歯科学-10	歯周病学実習-10	歯科補綴学実習Ⅰ-11		
	4	14:50～ 16:20	部分床義歯学-19						
	5	16:30～ 18:00							

12			7/20	7/21	7/22	7/23	7/24	7/25	7/26
	1	9:00～ 10:30		歯内療法学-11	公衆衛生学Ⅳ-11	海の日	海の日		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-11	歯科矯正学-11	部分床義歯学-22				
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-11	保存修復学実習-11	障害者歯科学-11				
	4	14:50～ 16:20	部分床義歯学-21						
	5	16:30～ 18:00							

曜			月	火	水	木	金	土	日
13			7/27	7/28	7/29	7/30	7/31	8/1	8/2
	1	9:00～ 10:30		歯内療法学-12	公衆衛生学Ⅳ-12	歯周病学-12	歯科放射線学-12		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-12	歯科矯正学-12	部分床義歯学-24	冠・架工義歯学-12	口腔外科学-12		
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-12	保存修復学実習-12	障害者歯科学-12		歯科補綴学実習Ⅰ-12		
	4	14:50～ 16:20	部分床義歯学-23						
	5	16:30～ 18:00							

14			8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8	8/9
	1	9:00～ 10:30	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

15			8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15	8/16
	1	9:00～ 10:30	山の日 夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

16			8/17	8/18	8/19	8/20	8/21	8/22	8/23
	1	9:00～ 10:30	Weekly test 6	歯内療法学-13	公衆衛生学Ⅳ-13	歯周病学-13	歯科放射線学-13		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-13	歯科矯正学-13	部分床義歯学-26	冠・架工義歯学-13	口腔外科学-13		
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-13	保存修復学実習-13	障害者歯科学-13		歯科補綴学実習Ⅰ-13		
	4	14:50～ 16:20	部分床義歯学-25						
	5	16:30～ 18:00							

17			8/24	8/25	8/26	8/27	8/28	8/29	8/30
	1	9:00～ 10:30		歯内療法学-14	公衆衛生学Ⅳ-14	歯周病学-14	歯科放射線学-14		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-14	歯科矯正学-14	部分床義歯学-28	冠・架工義歯学-14	口腔外科学-14		
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-14	保存修復学実習-14	障害者歯科学-14		歯科補綴学実習Ⅰ-14		
	4	14:50～ 16:20	部分床義歯学-27						
	5	16:30～ 18:00							

18			8/31	9/1	9/2	9/3	9/4	9/5	9/6
	1	9:00～ 10:30	Weekly test 7	歯内療法-15	公衆衛生学Ⅳ-15	歯周病学-15	歯科放射線学-15	Weekly test 8	
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-15	歯科矯正学-15	部分床義歯学-30	冠・架工義歯学-15	口腔外科学-15		
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-15	保存修復学実習-15	障害者歯科学-15		歯科補綴学実習Ⅰ-15		
	4	14:50～ 16:20	部分床義歯学-29						
	5	16:30～ 18:00							

曜			月	火	水	木	金	土	日
19			9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12	9/13
	1	9:00～ 10:30	定期試験 1	定期試験 2	定期試験 3	定期試験 4	定期試験 5		
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

20			9/14	9/15	9/16	9/17	9/18	9/19	9/20
	1	9:00～ 10:30		摂食嚥下療法学-1	口腔外科学-1	冠・架工義歯学-1	歯科放射線学-1		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-1	高齢者歯科学-1	総合講義 口腔解剖学①	口腔インプラント学-1	総合講義 口腔生理学①		
	3	13:10～ 14:40	総合講義 口腔組織学①	小児・矯正基礎実習-1	臨床予備演習-1	歯内療法学実習-1	歯科補綴学実習Ⅱ-1		
	4	14:50～ 16:20	総合講義 口腔生化学①						
	5	16:30～ 18:00							

21			9/21	9/22	9/23	9/24	9/25	9/26	9/27	
	1	9:00～ 10:30	敬老の日	秋分の日	口腔外科学-2	摂食嚥下療法学-2	歯科放射線学-2			
	2	10:40～ 12:10			総合講義 歯科薬理学①	高齢者歯科学-2	総合講義 口腔病理学①			
	3	13:10～ 14:40			臨床予備演習-2	小児・矯正基礎実習-2	歯科補綴学実習Ⅱ-2			
	4	14:50～ 16:20								
	5	16:30～ 18:00								

22			9/28	9/29	9/30	10/1	10/2	10/3	10/4
	1	9:00～ 10:30	Weekly Test 9	摂食嚥下療法学-3	口腔外科学-3	冠・架工義歯学-2	歯科放射線学-3	体育祭	
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-2	高齢者歯科学-3	総合講義 口腔解剖学②	口腔インプラント学-2	総合講義 公衆衛生学①		
	3	13:10～ 14:40	総合講義 口腔細菌学①	小児・矯正基礎実習-3	臨床予備演習-3	歯内療法学実習-2	歯科補綴学実習Ⅱ-3		
	4	14:50～ 16:20	総合講義 歯科理工学①						
	5	16:30～ 18:00							

23			10/5	10/6	10/7	10/8	10/9	10/10	10/11
	1	9:00～ 10:30		摂食嚥下療法学-4	口腔外科学-4	冠・架工義歯学-3	歯科放射線学-4		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-3	高齢者歯科学-4	総合講義 歯科薬理学②	口腔インプラント学-3	総合講義 口腔生理学②		
	3	13:10～ 14:40	総合講義 口腔組織学②	小児・矯正基礎実習-4	臨床予備演習-4	歯内療法学実習-3	歯科補綴学実習Ⅱ-4		
	4	14:50～ 16:20	総合講義 口腔生化学②						
	5	16:30～ 18:00							

24			10/12	10/13	10/14	10/15	10/16	10/17	10/18
	1	9:00～ 10:30	Weekly Test 10	摂食嚥下療法学-5	口腔外科学-5	冠・架工義歯学-4	歯科放射線学-5		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-4	高齢者歯科学-5	総合講義 公衆衛生学②	口腔インプラント学-4	総合講義 口腔病理学②		
	3	13:10～ 14:40	総合講義 口腔細菌学②	小児・矯正基礎実習-5	臨床予備演習-5	歯内療法学実習-4	歯科補綴学実習Ⅱ-5		
	4	14:50～ 16:20	総合講義 歯科理工学②						
	5	16:30～ 18:00							

曜			月	火	水	木	金	土	日
25			10/19	10/20	10/21	10/22	10/23	10/24	10/25
	1	9:00～ 10:30		摂食嚥下療法学-6	口腔外科学-6	冠・架工義歯学-5	歯科放射線学-6		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-5	高齢者歯科学-6	総合講義 歯科薬理学③	口腔インプラント学-5	総合講義 公衆衛生学③		
	3	13:10～ 14:40	総合講義 医療面接学①	小児・矯正基礎実習-6	臨床予備演習-6	歯内療法学実習-5 歯科補綴学実習Ⅱ-6			
	4	14:50～ 16:20	総合講義 保存修復学①						
	5	16:30～ 18:00							

26			10/26	10/27	10/28	10/29	10/30	10/31	11/1
	1	9:00～ 10:30	Weekly Test 11	摂食嚥下療法学-7	口腔外科学-7	冠・架工義歯学-6	歯科放射線学-7		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-6	高齢者歯科学-7	総合講義 口腔解剖学③	口腔インプラント学-6	総合講義 口腔生理学③		
	3	13:10～ 14:40	総合講義 口腔組織学③	小児・矯正基礎実習-7	臨床予備演習-7	歯内療法学実習-6	歯科補綴学実習Ⅱ-7		
	4	14:50～ 16:20	総合講義 口腔生化学③						
	5	16:30～ 18:00							

27			11/2	11/3	11/4（火曜授業）	11/5	11/6	11/7	11/8
	1	9:00～ 10:30		文化の日	摂食嚥下療法学-8	冠・架工義歯学-7	歯科放射線学-8	総合講義 口腔病理学③	
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-7		高齢者歯科学-8	口腔インプラント学-7			
	3	13:10～ 14:40	総合講義 口腔細菌学③		小児・矯正基礎実習-8	歯内療法学実習-7	歯科補綴学実習Ⅱ-8		
	4	14:50～ 16:20	総合講義 歯科理工学③						
	5	16:30～ 18:00							

28			11/9	11/10	11/11	11/12	11/13	11/14	11/15
	1	9:00～ 10:30	Weekly Test 12	摂食嚥下療法学-9	口腔外科学-8	冠・架工義歯学-8	歯科放射線学-9		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-8	高齢者歯科学-9	総合講義 歯科薬理学④	口腔インプラント学-8	総合講義 公衆衛生学④		
	3	13:10～ 14:40	総合講義 医療面接学②	小児・矯正基礎実習-9	臨床予備演習-8	歯内療法学実習-8	歯科補綴学実習Ⅱ-9		
	4	14:50～ 16:20	総合講義 保存修復学②						
	5	16:30～ 18:00							

29			11/16	11/17	11/18	11/19	11/20	11/21	11/22
	1	9:00～ 10:30		摂食嚥下療法学-10	口腔外科学-9	冠・架工義歯学-9	歯科放射線学-10		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-9	高齢者歯科学-10	総合講義 口腔解剖学④	口腔インプラント学-9	総合講義 口腔生理学④		
	3	13:10～ 14:40	総合講義 口腔組織学④	小児・矯正基礎実習-10	臨床予備演習-9	歯内療法学実習-9	歯科補綴学実習Ⅱ-10		
	4	14:50～ 16:20	総合講義 口腔生化学④						
	5	16:30～ 18:00							

30			11/23	11/24 (月曜授業)	11/25	11/26	11/27	11/28	11/29	
	1	9:00～ 10:30	勤労感謝の日	Weekly Test 13	口腔外科学-10	冠・架工義歯学-10	歯科放射線学-11			
	2	10:40～ 12:10		歯科麻酔学-10	総合講義 歯科薬理学⑤	口腔インプラント学-10	総合講義 口腔病理学④			
	3	13:10～ 14:40		総合講義 口腔細菌学④	臨床予備演習-10	歯内療法学実習-10	歯科補綴学実習Ⅱ-11			
	4	14:50～ 16:20		総合講義 歯科理工学④						
	5	16:30～ 18:00								

曜		月	火	水	木	金	土	日	
31		11/30	12/1	12/2	12/3	12/4	12/5	12/6	
	1	9:00～ 10:30	摂食嚥下療法学-11	口腔外科学-11	冠・架工義歯学-11	歯科放射線学-12	歯科補綴学実習Ⅱ-12		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-11	高齢者歯科学-11	総合講義 歯科薬理学⑥	口腔インプラント学-11			総合講義 公衆衛生学⑤
	3	13:10～ 14:40	総合講義 歯科矯正学①	小児・矯正基礎実習-11	臨床予備演習-11	歯内療法学実習-11			
	4	14:50～ 16:20	総合講義 口腔生化学⑤						
	5	16:30～ 18:00							

32			12/7	12/8	12/9	12/10	12/11	12/12	12/13
	1	9:00～ 10:30	Weekly Test 14	摂食嚥下療法学-12	口腔外科学-12	冠・架工義歯学-12	歯科放射線学-13		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-12	高齢者歯科学-12	総合講義 全部床義歯学①	口腔インプラント学-12	総合講義 口腔病理学⑤		
	3	13:10～ 14:40	総合講義 医療面接学③	小児・矯正基礎実習-12	臨床予備演習-12	歯内療法学実習-12	歯科補綴学実習Ⅱ-13		
	4	14:50～ 16:20	総合講義 保存修復学③						
	5	16:30～ 18:00							

33			12/14	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19	12/20
	1	9:00～ 10:30		摂食嚥下療法学-13	口腔外科学-13	冠・架工義歯学-13	歯科放射線学-14		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-13	高齢者歯科学-13	総合講義 全部床義歯学②	口腔インプラント学-13	総合講義 公衆衛生学⑥		
	3	13:10～ 14:40	総合講義 歯科矯正学②	小児・矯正基礎実習-13	臨床予備演習-13	歯内療法学実習-13	歯科補綴学実習Ⅱ-14		
	4	14:50～ 16:20	総合講義 口腔生化学⑥						
	5	16:30～ 18:00							

34			12/21	12/22	12/23	12/24	12/25	12/26	12/27
	1	9:00～ 10:30	Weekly Test 15	摂食嚥下療法学-14	口腔外科学-14	冠・架工義歯学-14	歯科放射線学-15		冬季休業
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-14	高齢者歯科学-14	総合講義 全部床義歯学③	口腔インプラント学-14	総合講義 公衆衛生学⑦		
	3	13:10～ 14:40		小児・矯正基礎実習-14	臨床予備演習-14	歯内療法学実習-14	歯科補綴学実習Ⅱ-15		
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

35		12/28	12/29	12/30	12/31	1/1	1/2	1/3
	1	9:00～ 10:30	冬季休業	冬季休業	冬季休業	冬季休業	元旦	冬季休業
	2	10:40～ 12:10						
	3	13:10～ 14:40						
	4	14:50～ 16:20						
	5	16:30～ 18:00						

36			1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	1/10
	1	9:00～ 10:30		摂食嚥下療法学-15	口腔外科学-15	冠・架工義歯学-15	Weekly Test 16		冬季休業
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-15	高齢者歯科学-15		口腔インプラント学-15			
	3	13:10～ 14:40		小児・矯正基礎実習-15	臨床予備演習-15	歯内療法学実習-15			
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

曜			月	火	水	木	金	土	日
37			1/11	1/12	1/13	1/14	1/15	1/16	1/17
	1	9:00～ 10:30	成人の日	定期試験 1	定期試験 2	ファウンダーズデイ	定期試験 3	定期試験 4	
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

38			1/18	1/19	1/20	1/21	1/22	1/23	1/24
	1	9:00～ 10:30	定期試験 5	定期試験 6			追・再試験 1	追・再試験 2	
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

39			1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31
	1	9:00～ 10:30	追・再試験 3	追・再試験 4	追・再試験 5	追・再試験 6	創立記念日		
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

40			2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	2/6	2/7
	1	9:00～ 10:30	C B T 実施説明	共用試験 (CBT 本試験)					
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

41			2/8	2/9	2/10	2/11	2/12	2/13	2/14
	1	9:00～ 10:30				建国記念日		共用試験 (OSCE 本試験)	
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40					テストラン		
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

42			2/15	2/16	2/17	2/18	2/19	2/20	2/21
	1	9:00～ 10:30							
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

曜			月	火	水	木	金	土	日
43			2/22	2/23	2/24	2/25	2/26	2/27	2/28
	1	9:00～ 10:30		天皇誕生日		共用試験 (OSCE 追再試験)	共用試験 (CBT 再試験)		
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00			フィードバック				

44			3/1	3/2	3/3	3/4	3/5	3/6	3/7
	1	9:00～ 10:30							
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

2020年度 第4学年 年間予定

2020年

4月			5月			6月			7月			8月			9月		
1	水		1	金		1	月	Weekly Test 2 ④	1	水	⑧	1	土	夏季休業(～8/16)	1	火	⑮
2	木		2	土		2	火	④	2	木	⑨	2	日		2	水	⑮
3	金		3	日	憲法記念日	3	水	④	3	金	⑨	3	月		3	木	⑮
4	土		4	月	みどりの日	4	木	⑤	4	土		4	火		4	金	⑮
5	日		5	火	こどもの日	5	金	⑤	5	日		5	水		5	土	Weekly Test 8
6	月		6	水	振替休日	6	土	解剖諸霊位慰霊祭	6	月	⑨	6	木		6	日	
7	火		7	木	オリエンテーション 健康診断	7	日		7	火	⑨	7	金		7	月	定期試験 1
8	水		8	金	①	8	月	動物供養祭 ⑤	8	水	⑨	8	土		8	火	定期試験 2
9	木		9	土		9	火	⑤	9	木	⑩	9	日		9	水	定期試験 3
10	金		10	日		10	水	⑤	10	金	⑩	10	月	山の日	10	木	定期試験 4
11	土		11	月	①	11	木	⑥	11	土		11	火		11	金	定期試験 5
12	日		12	火	①	12	金	⑥	12	日		12	水		12	土	定期試験 6
13	月		13	水	交通安全講習会 ①	13	土		13	月	Weekly Test 5 ⑩	13	木		13	日	
14	火		14	木	②	14	日		14	火	⑩	14	金		14	月	後期授業開始①
15	水		15	金	②	15	月	Weekly Test 3 ⑥	15	水	⑩	15	土		15	火	①
16	木		16	土		16	火	⑥	16	木	⑪	16	日	夏季休業終了	16	水	①
17	金		17	日		17	水	⑥	17	金	⑪	17	月	Weekly Test 6 ⑬	17	木	①
18	土		18	月	Weekly Test 1 ②	18	木	⑦	18	土		18	火	⑬	18	金	①
19	日		19	火	②	19	金	⑦	19	日		19	水	⑬	19	土	
20	月		20	水	②	20	土		20	月	⑪	20	木	⑬	20	日	
21	火		21	木	③	21	日		21	火	⑪	21	金	⑬	21	月	敬老の日
22	水		22	金	③	22	月	⑦	22	水	⑪	22	土		22	火	秋分の日
23	木		23	土		23	火	⑦	23	木	海の日	23	日		23	水	②
24	金		24	日		24	水	⑦	24	金	スポーツの日	24	月	⑭	24	木	②火曜授業
25	土		25	月	③	25	木	⑧	25	土		25	火	⑭	25	金	②
26	日		26	火	③	26	金	⑧	26	日		26	水	⑭	26	土	
27	月		27	水	③	27	土		27	月	⑫	27	木	⑭	27	日	
28	火		28	木	④	28	日		28	火	⑫	28	金	⑭	28	月	Weekly Test 9 ②
29	水	昭和の日	29	金	④	29	月	Weekly Test 4 ⑧	29	水	⑫	29	土		29	火	③
30	木		30	土		30	火	⑧	30	木	⑫	30	日		30	水	③
			31	日					31	金	⑫	31	月	Weekly Test 7 ⑮			

2021年

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	木 ②	1	日	1	火 ⑪	1	金 元日	1	月 CBT実施説明会	1	月
2	金 ③	2	月 ⑦	2	水 ⑪	2	土	2	火 共用試験CBT本試験	2	火
3	土 体育祭	3	火 文化の日	3	木 ⑪	3	日 冬季休業終了	3	水	3	水
4	日	4	水 ⑧火曜授業	4	金 ⑫	4	月 ⑮	4	木 卒業式(予定)	4	木
5	月 ③	5	木 ⑦	5	土	5	火 ⑮	5	金	5	金
6	火 ④	6	金 ⑧	6	日	6	水 ⑮	6	土	6	土
7	水 ④	7	土	7	月 Weekly Test 14 ⑫	7	木 ⑮	7	日	7	日
8	木 ③	8	日	8	火 ⑫	8	金 Weekly Test 16	8	月	8	月
9	金 ④	9	月 Weekly Test 12 ⑧	9	水 ⑫	9	土	9	火	9	火
10	土	10	火 ⑨	10	木 ⑫	10	日	10	水	10	水
11	日	11	水 ⑧	11	金 ⑬	11	月 成人の日	11	木 建国記念の日	11	木
12	月 Weekly Test 10 ④	12	木 ⑧	12	土	12	火 定期試験 1	12	金 OSCEテストラン	12	金
13	火 ⑤	13	金 ⑨	13	日	13	水 定期試験 2	13	土 共用試験 OSCE本試験	13	土
14	水 ⑤	14	土	14	月 ⑬	14	木 ファウンダーズデイ	14	日	14	日
15	木 ④	15	日	15	火 ⑬	15	金 定期試験 3	15	月	15	月
16	金 ⑤	16	月 ⑨	16	水 ⑬	16	土 定期試験 4	16	火	16	火
17	土	17	火 ⑩	17	木 ⑬	17	日	17	水	17	水
18	日	18	水 ⑨	18	金 ⑭	18	月 定期試験 5	18	木	18	木
19	月 ⑤	19	木 ⑨	19	土	19	火 定期試験 6	19	金 一斉技能試験(5年)	19	金
20	火 ⑥	20	金 ⑩	20	日	20	水	20	土	20	土 春分の日
21	水 ⑥	21	土	21	月 Weekly Test 15 ⑭	21	木	21	日	21	日
22	木 ⑤	22	日	22	火 ⑭	22	金 追・再試験 1	22	月	22	月
23	金 ⑥	23	月 勤労感謝の日	23	水 ⑭	23	土 追・再試験 2	23	火 天皇誕生日	23	火
24	土	24	火 Weekly Test 13 ⑩月曜授業	24	木 ⑭	24	日	24	水	24	水
25	日	25	水 ⑩	25	金 ⑮	25	月 追・再試験 3	25	木 共用試験 CBT再試験	25	木
26	月 Weekly Test 11 ⑥	26	木 ⑩	26	土	26	火 追・再試験 4	26	金 共用試験 OSCE再試験	26	金
27	火 ⑦	27	金 ⑪	27	日 冬季休業(～1/3)	27	水 追・再試験 5	27	土	27	土
28	水 ⑦	28	土	28	月	28	木 追・再試験 6	28	日	28	日
29	木 ⑥	29	日	29	火	29	金 創立記念日			29	月
30	金 ⑦	30	月 ⑪	30	水	30	土			30	火
31	土			31	木	31	日			31	水

第 5 学 年

第 5 学年目次

臨 床 講 義	163
口 腔 解 剖 学	165
口 腔 組 織 学	167
口 腔 生 理 学	169
口 腔 生 化 学	171
口 腔 細 菌 学	173
口 腔 病 理 学	175
歯 科 薬 理 学	177
歯 科 理 工 学	179
公 衆 衛 生 学	181
保 存 修 復 学	183
歯 周 病 学	185
歯 内 療 法 学	187
全 部 床 義 歯 学	189
部 分 床 義 歯 学	191
冠 ・ 架 工 義 歯 学	193
口 腔 外 科 学	195
歯 科 矯 正 学	197
歯 科 放 射 線 学	199
小 児 歯 科 学	201
障 害 者 歯 科 学	203
摂 食 嚥 下 療 法 学	205
歯 科 麻 醉 学	207
医 療 面 接 法	209
臨 床 実 習	211
保存学（保存修復学、歯内療法学、歯周病学）	213
補綴学（有床義歯学）	216
補綴学（冠・架工義歯学）	218
医 療 面 接 法	219
口 腔 外 科 学	220
歯 科 矯 正 学	222
小 児 歯 科 学	223
歯 科 放 射 線 学	224
連携型口腔診療（障害者歯科学・高齢者歯科学・摂食機能療法）	225
歯科麻酔学・歯科麻酔科	226
2020年度 5 学年 日程表	229
2020年度 第 5 学年 年間予定	238

臨床講義 (D5001)

第5学年
講義 必修

【担当者】

基礎系・臨床系各講座の教員

【一般目標（GIO）】

臨床上必要な歯科医学および口腔衛生に関して、歯科医師として具有すべき知識および技能を復習・修得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 必修の基本的事項に関する知識を修得する。
2. 人体の正常構造と機能を理解する。
3. 発生、成長、発達、加齢に関する知識を修得する。
4. 咬合と咀嚼に関する知識を修得する。
5. 病因、病態に関する知識を修得する。
6. 疫学に関する知識を修得する。
7. 主要症候に関する知識を修得する。
8. 医療面接と診察に関する知識を修得する。
9. 検査に関する知識を修得する。
10. 治療に関する知識を修得する。
11. 予防と健康管理・増進に関する知識を修得する。
12. 社会と保健医療福祉に関する知識を修得する。
13. 歯顎口腔の発育異常・加齢に伴う疾患について理解する。
14. 歯・歯髄・歯周組織の疾患について理解する。
15. 咬合・咀嚼障害について理解する。
16. 顎・口腔領域の疾患について理解する。
17. 歯科疾患の予防・管理について理解する。
18. 歯科材料と生体材料について理解する。

【教科書・参考書】

【教育（学習）方略（LS）】

1. 歯科医師国家試験の出題基準に従い、各教科の内容を復習する。
2. 各教科間で関連する内容の有機的な結び付けを行うことを学生に促す。
3. 第102回～第113回の過去12年分の歯科医師国家試験問題につき、ESS システムを用いて各自学習する。

【フィードバック方法】

定期試験後に解説を行う。

【評価方法（Evaluation）】

1. I 期、II 期の各定期試験を行う。
なお定期試験問題の約50%は下記のとおり歯科医師国家試験問題の過去問またはその改編問題を出題する。
I 期試験：第102回～第107回
II 期試験：第108回～第113回
2. I、II の評価は Weekly Test を30%、定期試験を70%とする。
3. 各期の評価を I : II = 1 : 2 として算出した総合評価を臨床講義の評価とし、65点以上を合格とする。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書で予習を行うこと。(15分)

復 習：講義ノート、配付されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。(45分)

【オフィスアワー】

各教科のオフィスアワーを参照のこと。

口 腔 解 剖 学

第5学年

【担当者】

准教授：田所治

【授業概要】

頭頸部の形態と構造
口腔の形態と構造
咽頭・喉頭の形態と構造
歯の形態と異常

【教科書・参考書】

〔教科書〕 脇田 稔・井出 吉信監修：「口腔解剖学 第2版」（医歯薬出版）
藤田 恒太郎原著：「歯の解剖学 第22版」（金原出版）
前田 健康監訳：「ネッター頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖アトラス 第3版」（医歯薬出版）
〔参考書〕 秋田 恵一・大川 淳監訳「体表からわかる人体解剖学」（南江堂）
山田 英智訳：「図解解剖学事典」（医学書院）

【フィードバック方法】

Weekly Test 後の講義にて問題の解説をおこなう。

【注意事項】

教科書を必ず持参すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

90分

予 習：シラバスで講義内容を確認し、教科書の該当範囲を読んでおくこと。（20分）

復 習：講義資料をもとに講義内容を整理し、理解したうえで必要な内容を憶える。不明な点は教員に聞いて明らかにする。（40分）

【オフィスアワー】

随時

本館4階西棟 口腔解剖学講座医局、本館地下 解剖学実習室

事前に e-mail にて確認すること。osamu.tadokoro@mdu.ac.jp

【授業日程】

口 腔 解 剖 学				第 5 学 年
回 数	授 業 日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	担 当 者	
1	5 月 8 日(金) 2 時 限	加齢と歯の喪失に伴う顎骨の変化 歯の形態(1) 前歯	田 所	治
2	5 月 29 日(金) 2 時 限	咀嚼と嚥下 歯の形態(2) 小臼歯	田 所	治
3	6 月 26 日(金) 2 時 限	義歯と筋 歯の形態(3) 上顎大臼歯	田 所	治
4	8 月 21 日(金) 2 時 限	感染・炎症と隙 歯の形態(4) 下顎大臼歯	田 所	治
5	9 月 18 日(金) 2 時 限	咽頭・喉頭 歯の形態(5) 乳歯全般	田 所	治
6	11月13日(金) 5 時 限	止血と脈拍	田 所	治

口 腔 組 織 学

第 5 学年

【担当者】

教 授：平賀徹

【授業概要】

口腔の組織構造を再確認するとともに、臨床医学との関連性を理解する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕牛木辰夫：「入門組織学（改訂第2版）」（南江堂）

脇田稔ほか編：「口腔組織・発生学（第2版）」（医歯薬出版）

〔参考書〕下野正基ほか編：「新口腔病理学（第2版）」（医歯薬出版）

田畑純：「口腔の発生と組織（改訂4版）」（南山堂）

【フィードバック方法】

定期試験後に解説を行う。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書で予習を行う。（15分）

復 習：講義ノート、配布されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識を整理する。（45分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 随時 実習館2階 総合歯科医学研究所教授室

（事前予約が望ましい。e-mail：toru.hiraga@mdu.ac.jp）

【授業日程】

口 腔 組 織 学				第 5 学 年
回 数	授 業 日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	担 当 者	
1	5 月 12 日 (火) 2 時 限	歯の組織構造とう蝕	平賀	徹
2	6 月 5 日 (金) 2 時 限	歯周組織の構造と歯周疾患	平賀	徹
3	7 月 17 日 (金) 2 時 限	骨の組織構造と疾患	平賀	徹
4	8 月 28 日 (金) 2 時 限	口腔粘膜の組織構造と疾患	平賀	徹
5	10 月 5 日 (月) 2 時 限	口腔・顔面の発生と先天異常	平賀	徹
6	10 月 22 日 (木) 2 時 限	歯の発生と歯原性病変	平賀	徹

口 腔 生 理 学

第5学年

【担当者】

准教授：安藤宏

講 師：海野俊平

【授業概要】

生理学・口腔生理学における重要項目を再確認する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 プリントを配付する。

〔参考書〕 和泉博之・浅沼直和編：「ビジュアル生理学・口腔生理学」（学建書院）

【フィードバック方法】

定期試験後、正解率が低い問題を中心に補講またはイントラで解説する。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して参考書の該当ページを読み、予習すること。（15分）

復 習：配付されたプリントを復習し、参考書を利用して各自知識をまとめること。（45分）

【オフィスアワー】

木曜日 16：30～18：00

実習館3階 口腔生理学講座研究室

【授業日程】

口 腔 生 理 学				第5学年
回数	授業日時	項 目 ・ 講 義 内 容	担当者	
1	5月15日(金) 1時限	神経、運動、感覚	海野 俊平	
2	6月12日(金) 1時限	体液、呼吸、循環	海野 俊平	
3	7月10日(金) 1時限	消化、排泄、内分泌	海野 俊平	
4	8月28日(金) 3時限	口腔の感覚、顎運動、顎反射	安藤 宏	
5	10月6日(火) 2時限	咀嚼、嚥下、味覚	安藤 宏	

口 腔 生 化 学

第5学年

【担当者】

教 授：宇田川信之

【授業概要】

第1学年から3学年までの「生化学・口腔生化学」関係の網羅的な講義内容全般の理解に立脚した上、第4学年における CBT に対する知識の補充を基盤として、「生化学・口腔生化学」の知識と臨床医学との関連性を理解することを最終目的とする。

また、歯科医師国家試験に向けての知識の総まとめのため、過去の状態試験出題問題（少なくとも10年間分）すべての出題問題を解いてみる（内容を理解することが最も重要）ことがこの1年間の必須事項である。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 宇田川信之他：「口腔生化学」（医歯薬出版）

金森孝雄：「口腔生化学サイドリーダー」（学建書院）

【フィードバック方法】

試験実施後、疑問や質問等がある場合は試験実施3日間以内にメールにて担当教員に送ること。その後、学生イントラ等で解説する。

【注意事項】

遅刻・欠席は認めない。

【準備学習時間（予習・復習）】

90分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書で確認すること（10分）

復 習：当該講義の Weekly Test の復習ノートを必ず作成すること（80分）

【オフィスアワー】

実習館2階 総合歯科医学研究所研究室

要予約 e-mail：nobuyuki.udagawa@mdu.ac.jp または tel：070-5014-3303

【授業日程】

口 腔 生 化 学				第 5 学 年
回 数	授 業 日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	担 当 者	
1	5 月 8 日(金) 1 時 限	骨の形成と吸収に関する細胞とその役割	宇田川信之	
2	5 月 29 日(金) 1 時 限	骨・象牙質・エナメル質の石灰化メカニズム 血清カルシウム代謝調節ホルモン（副甲状腺ホルモン・ビタミン D・カルシトニン）の作用 機序 ビタミン欠乏症の原因と症状 骨・象牙質・エナメル質の石灰化メカニズム ビタミン欠乏症の原因と症状	宇田川信之	
3	7 月 3 日(金) 2 時 限	結合組織の生化学 結合組織を構成するコラーゲンやプロテオグリカンの構造と特徴	宇田川信之	
4	8 月 21 日(金) 1 時 限	免疫 異物の体内への侵入を防ぐために作用する各種免疫担当細胞の種類と役割	宇田川信之	
5	9 月 18 日(金) 1 時 限	唾液の生化学 唾液の分泌メカニズムと唾液の各種成分とそれぞれの生理的役割	宇田川信之	
6	11 月 6 日(金) 5 時 限	齲蝕の生化学 代用糖（非齲蝕性甘味料）の種類とその性質	宇田川信之	

口 腔 細 菌 学

第5学年

【担当者】

教 授：吉田明弘

【授業概要】

医科細菌学・感染症学の復習を行う。
ウイルス性新興・再興感染症、原虫感染症について講義する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕川端重忠他編：「口腔微生物学・免疫学（第4版）」（医歯薬出版）
全国歯科衛生士教育協議会監修：「疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学」（医歯薬出版）
〔参考書〕寺尾豊著：「歯科国試パーフェクトマスター 口腔微生物学・免疫学」（医歯薬出版）
石原和幸他編：「口腔微生物学（第6版）」（学建書院）

【フィードバック方法】

定期試験実施後、正解率が低い問題に対し講義中に解説する。

【注意事項】

受講前の予習を前提として講義を進める。医科細菌学・感染症学を体系的に学習する最後の機会なので休まず受講すること。
教科書・ノート・カラーペンを持参すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

90分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書等で予習を行うこと。（45分）
復 習：講義ノート、配付資料を用いて復習し、教科書等を利用して各自知識を整理する。（45分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 16：30～17：30
本館5階東棟 口腔細菌学講座研究室
要予約（akihiro.yoshida@mdu.ac.jp）

【授業日程】

口 腔 細 菌 学				第 5 学 年
回 数	授 業 日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	担 当 者	
1	6月11日(木) 1時限	感染症学総論	吉田 明弘	
2	6月19日(金) 4時限	化学療法薬と多剤耐性菌 (院内感染上問題となる微生物を含む)	吉田 明弘	
3	7月3日(金) 3時限	細菌感染症各論① サルモネラ症 腸チフス、パラチフス コレラ 腸炎ビブリオ	吉田 明弘	
4	8月28日(金) 4時限	細菌感染症各論② 百日咳 レジオネラ肺炎 カンピロバクター感染症 芽胞形成菌感染症	吉田 明弘	
5	10月6日(火) 1時限	細菌感染症各論③ 非定型細菌感染症	吉田 明弘	

口 腔 病 理 学

第5学年

【担当者】

准教授：村上聡

助 教：嶋田勝光

【授業概要】

1. 細胞損傷、修復、循環障害、炎症および腫瘍総論を復習する。
2. 病理診断の基礎的知識を復習する。
3. 代表的な歯の硬組織疾患、口腔領域の炎症性疾患、粘膜疾患、嚢胞、腫瘍および腫瘍性疾患を復習する。
4. 口腔に症状をあらわす代表的な全身疾患を復習する。

【教科書・参考書】

【教科書】下野 正基編：「スタンダード病理学（第1版）」（学建書院）

賀来 亨・槻木 恵一編：「スタンダード口腔病態病理学（第2版）」（学建書院）

【参考書】森 亘・楠田 理喜監訳：「ロビンス基礎病理学（第8版）」（丸善）

下野 正基・高田 隆編：「第2版新口腔病理学」（医歯薬出版）

賀来 亨・田中 昭夫編：「簡明 口腔病変アトラス」（永末書店）

高木 實編：「口腔病変アトラス（第2版）」（文光堂）

【フィードバック方法】

Weekly Test の低正答率項目については講義中に解説する。

【注意事項】

1. 授業に際して、以下のような場合は原則として欠席とする。
①遅刻、②無断退出など
2. 講義に持参するもの
①講義ノート、②講義資料（含：レジュメ）

【準備学習時間（予習・復習）】

120分

予 習：講義内容に該当する国試過去問題を演習する。（60分）

復 習：すべての国試過去問題を講義で復習した知識をもとに再確認する。さらに疾患の名称、病態、病理組織像などを再確認して理解する。（60分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 随時

本館5階東棟 口腔病理学講座医局（不在の可能性があるのでメールで確認あるいは予約のこと）

村上：satoshi.murakami@mdu.ac.jp

【授業日程】

口 腔 病 理 学				第 5 学 年
回 数	授 業 日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	担 当 者	
1	5月22日(金) 1時限	病理診断の基礎知識 菌原性腫瘍	村上 聡	
2	5月28日(木) 4時限	唾液腺疾患	村上 聡	
3	6月11日(木) 4時限	顎骨の非菌原性腫瘍	嶋田 勝光	
4	7月3日(金) 4時限	口腔領域の嚢胞性疾患	嶋田 勝光	
5	9月4日(金) 1時限	粘膜腫瘍	嶋田 勝光	
6	9月25日(金) 1時限	粘膜疾患	嶋田 勝光	
7	10月30日(金) 3時限	唾液腺腫瘍	村上 聡	

歯科薬理学

第5学年

【担当者】

教授：十川紀夫

【授業概要】

1. 種々の方法で適用された薬物の生体内運命（薬物動態）を理解する。
2. 薬物の作用に関する基本的事項（作用機序）を理解する。
3. 薬物の併用による作用の変化（薬物相互作用）について理解する。
4. 薬物の副作用・有害作用の種類に関する基本的事項を理解する。

【教科書・参考書】

【教科書】 大谷啓一監修、鈴木邦明・戸町彰史・青木和弘・兼松隆・筑波隆幸編：「現代歯科薬理学（第6版）」
（医歯薬出版）

【参考書】 渡邊裕司監訳：「ハーバード大学講義テキスト 臨床薬理学 原書3版」（丸善出版）
大浦清、坂上宏、戸刈彰史、二藤彰、山崎純編集：「ポイントがよくわかるシンプル歯科薬理学」（永末書店）

【フィードバック方法】

定期試験や演習課題実施後、正解率が低い問題に対して、解答例を学生イントラに掲載、または補講等で解説する。

【注意事項】

薬物の適応症、禁忌症などの理由（メカニズム）が重要。
具体的な薬物名は各自で覚えるようにすること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書で予習を行うこと。（15分）

- 1）各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。

復 習：講義ノート、配布されたプリントを復習し、教科書を利用して各自知識をまとめること。（45分）

- 1）授業の理解を図るため、必ず復習すること。
- 2）ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。

【オフィスアワー】

随時

実習館3階 歯科薬理学講座教授室

【授業日程】

歯 科 薬 理 学				第 5 学 年
回 数	授 業 日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	担 当 者	
1	5月15日(金) 2時限	臨床歯科薬理学総論・各論(1) 自律神経作用薬および局所麻酔薬を中心に臨床実習に必要な歯科薬理学的知識を総括する。	十 川 紀 夫	
2	5月22日(金) 4時限	臨床歯科薬理学総論・各論(2) 抗菌薬を中心に臨床実習に必要な歯科薬理学的知識を総括する。	十 川 紀 夫	
3	6月5日(金) 3時限	臨床歯科薬理学総論・各論(3) 抗ウイルス薬・抗真菌薬を中心に、臨床実習に必要な歯科薬理学的知識を総括する。	十 川 紀 夫	
4	7月10日(金) 2時限	臨床歯科薬理学総論・各論(4) 酸性非ステロイド性抗炎症薬を中心に臨床実習に必要な歯科薬理学的知識を総括する。	十 川 紀 夫	
5	9月4日(金) 2時限	臨床歯科薬理学総論・各論(5) ステロイド性抗炎症薬、解熱鎮痛薬を中心に臨床実習に必要な歯科薬理学的知識を総括する。	十 川 紀 夫	
6	10月23日(金) 1時限	臨床歯科薬理学総論・各論(6) 抗悪性腫瘍薬を中心に臨床実習に必要な歯科薬理学的知識を総括する。	十 川 紀 夫	
7	11月13日(金) 4時限	臨床歯科薬理学総論・各論(7) 抗凝固薬および止血薬を中心に臨床実習に必要な歯科薬理学的知識を総括する。	十 川 紀 夫	

歯 科 理 工 学

第5学年

【担当者】

教 授：黒岩昭弘

講 師：洞澤功子

【授業概要】

臨床で使用する各材料の特徴と使用方法について再確認する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 中畠裕・西山典宏・宮崎隆・米山隆之他：「スタンダード歯科理工学第6版」（学建書院）

〔参考書〕 2年次ノート

【フィードバック方法】

各試験によって得られた結果から、理解度の低い問題について講義中にフィードバックする。

また、問題によっては学生イントラで掲示する。

【注意事項】

教科書は最新版のものを用意すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して講義内容について不明確な点を整理し確認すること。（30分）

復 習：配付資料を復習し、確実に理解すること。（30分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 午後5：30以降（黒岩）

午前7：45～8：45（洞澤）

実習館1階 歯科理工学医局

曜日と時間はE-mailで予約を入れる。

上記時間以外は居ないことがあるので、E-mail：akihiro.kuroiwa@mdu.ac.jp（黒岩）、noriko.horasawa@mdu.ac.jp（洞澤）で予約を入れる。

【授業日程】

歯 科 理 工 学				第 5 学 年
回 数	授 業 日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	担 当 者	
1	5月21日(木) 1時限	印象・模型材料 印象、模型材料の種類と、その特徴および使い分け。	黒岩 昭弘 洞澤 功子	
2	5月21日(木) 2時限	合着用材料 合着用材料の種類と、その特徴および使い分け。	洞澤 功子	
3	8月21日(金) 3時限	レジン系材料 充填用材料、前装用材料の使用法	洞澤 功子	
4	9月11日(金) 1時限	金属材料 金属材料の種類と、その特徴および使用方法	洞澤 功子	
5	10月16日(金) 1時限	セラミック材料 前装用陶材、ニューセラミックス	洞澤 功子	
6	11月 6 日(金) 1時限	CAD/CAM による加工技術 設計から加工までの手順、装置の特徴、加工材料	洞澤 功子	

公衆衛生学

第5学年

【担当者】

教授：山賀孝之

助教：定岡直

特任教授：牧茂

【授業概要】

国家試験の過去問題の内容を解析し、齲蝕、歯周疾患その他の歯科疾患予防と「衛生学・公衆衛生学」の範囲も含めて解説する。また、予防歯科の地域保健および国際保健における展開を理解する。

歯科医師として、医療現場での適切な歯科保健・医療・福祉を実践するために、患者の人権と医の倫理、関連法規、診療記録等についての知識を養う。

【教科書・参考書】

【教科書】安井利一他編：「口腔保健・予防歯科学」（医歯薬出版）

【参考書】矢ヶ崎雅・牧茂・富田美穂子：「社会歯科学 第2版」（MDU 出版）

荒川浩久他編：「口腔保健学（第2版）」（学建書院）

末高武彦他編：「新口腔保健学」（医歯薬出版）

末高武彦他編：「スタンダード衛生・公衆衛生」（学建書院）

石井拓男他編：「スタンダード社会歯科学第7版」（学建書院）

厚生労働省ホームページ

国民福祉の動向（財団法人厚生統計協会）

【フィードバック方法】

試験の正答、評価への疑問や質問は担当教員へ申し出ること。その後 Q&A 形式で学生イントラ、補講等で解説する。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

90分

予 習：シラバスおよび事前連絡による教科書の該当範囲を熟読する。（30分）

復 習：講義ノートの整理。暗記項目は何回も繰り返して完全に暗記する。（60分）

【オフィスアワー】

月曜～金曜日

随 時

本館1階東棟 公衆衛生学講座研究室

【授業日程】

公衆衛生学				第5学年
回数	授業日時	項目・講義内容	担当者	
1	5月12日(火) 1時限	公衆衛生学① 予防と健康管理・増進 歯科疾患の予防	山賀 孝之 定岡 直	
2	6月5日(金) 1時限	公衆衛生学② 齲蝕、歯周疾患のリスクと管理	山賀 孝之 定岡 直	
3	6月19日(金) 1時限	公衆衛生学③ 医療統計、歯科疾患の疫学 医療統計、歯科疾患の疫学、EBM についての国家試験の過去問題を解析する。 また、最新の医療統計データについての重要項目を解説する。	山賀 孝之 定岡 直	
4	7月17日(金) 1時限	公衆衛生学④ 患者の人権・医の倫理 インフォームドコンセント等の患者の権利 研究倫理	牧 茂	
5	7月31日(金) 1時限	公衆衛生学⑤ 医療関連法規 地域社会における保健国際協力と交流	牧 茂	
6	8月28日(金) 1時限	公衆衛生学⑥ 介護保険行政関連事業	牧 茂	
7	10月5日(月) 1時限	公衆衛生学⑦ 感染症対策、食品保健・食育 感染症対策、食品保健・食育に関する国家試験の過去問題を解析し、内容を理解しながら必要項目を暗記する。	山賀 孝之 定岡 直	
8	10月22日(木) 1時限	公衆衛生学⑧ 健康増進と疾病予防、地域保健（母子保健、学校保健、産業保健、成人保健）	山賀 孝之 定岡 直	
9	11月13日(金) 1時限	公衆衛生学⑨ 講義まとめ、予備日	山賀 孝之 定岡 直	

保存修復学

第5学年

【担当者】

教 授：亀山敦史

【授業概要】

歯の硬組織疾患に対する治療を適切に行うために、各々の疾患の病因・病態に関する知識、ならびにそれらの疾患に対する診察、検査、診断、治療および術後の口腔健康管理に関する高度な知識を修得する。

【教科書・参考書】

- 〔教科書〕 千田 彰・宮崎真至・林 美加子・向井義晴・斎藤隆史編：「保存修復学（第7版）」（医歯薬出版）
田上順次・奈良陽一郎・山本一世・斎藤隆史監修：「保存修復学21（第5版）」（永末書店）
日本歯科保存学会編：「う蝕治療ガイドライン（第2版 詳細版）」（永末書店）
（http://www.hozon.or.jp/member/publication/guideline/file/guideline_2015.pdf からダウンロード可）
- 〔参考書〕 千田彰・寺下正道・寺中敏夫・宮崎真至編：「保存修復学（第6版）」（医歯薬出版）
千田彰・田上順次・寺下正道・片山直編集：「保存修復クリニカルガイド（第2版）」（医歯薬出版）

【フィードバック方法】

- ・理解できない事項や確認したい事項がある場合には積極的にオフィスアワーを活用すること。
- ・メールでの質問も受け付けます（atsushi.kameyama@mdu.ac.jp）。
- ・Weekly Test や定期試験で正答率の低い問題については学生イントラに解説を掲載するので確認すること。

【注意事項】

- ・講義は欠席しないこと。やむを得ず欠席した場合は速やかに欠席届を提出すること。
- ・教科書を必ず持参すること。
- ・講義中にポイントとなる事項などは、教科書の該当ページにメモを取ること。
- ・講義の撮影・録画は認めない。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスで講義内容を確認する。(30分)

復 習：関連する国家試験過去問題をチェックする。(30分)

【オフィスアワー】

月曜日から金曜日（原則講義を行った日） 17時30分以降
本館3階東棟 歯科保存学講座 教授室

【授業日程】

保存修復学				第5学年
回数	授業日時	項目・講義内容	担当者	
1	5月8日(金) 3時限	日本歯科保存学会編「う蝕治療ガイドライン 第2版」の概要① 1. エナメル質の初期う蝕への非切削での対応 2. 初発う蝕に対する検査・診断と切削介入の決定 3. 中等度の深さの象牙質う蝕におけるう蝕の除去範囲 4. 深在性う蝕における歯髄保護	亀山 敦史	
2	5月29日(金) 3時限	1. 歯の硬組織疾患の検査法(2) 温度診、歯髄電気診、インピーダンス測定検査、レーザー蛍光強度測定検査 2. 歯科用レーザー装置 (Er:YAG レーザー) の使用目的と取り扱い法 3. 超音波発振装置の使用目的と取り扱い法 4. 根拠に基づいた医療 (EBM) 5. 齲蝕の予防法	亀山 敦史	
3	6月26日(金) 3時限	接着歯学①	亀山 敦史	
4	9月4日(金) 3時限	接着歯学②	亀山 敦史	
5	10月9日(金) 3時限	診療設備 術者と補助者の診療姿勢 象牙質知覚過敏の治療	亀山 敦史	
6	10月16日(金) 3時限	レーザー歯学	亀山 敦史	

歯 周 病 学

第5学年

【担当者】

教 授：吉成伸夫

助 教：尾崎友輝、中村 卓

非常勤講師：二宮雅美

【授業概要】

1. 歯周組織検査、診断、治療計画
2. 歯周基本治療
3. 口臭
4. 咬合性外傷
5. 歯周外科療法

【教科書・参考書】

【教科書】吉江弘正・伊藤公一・村上伸也・申基喆編：「臨床歯周病学（第2版）」（医歯薬出版株式会社、2013）

野口俊英編：「最新の歯周外科手術を基本からマスターしよう―基本から高度症例への応用まで―」（第1歯科出版、2010）

【参考書】吉江弘正・米山武義・吉成伸夫編：「高齢者への歯周治療と口腔管理」（インターアクション、2018）

【フィードバック方法】

疑問がある場合にはオフィスアワーを利用し質問に来ること。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認し、事前に講義概要について教科書・参考書等で予習を行うこと。（15分）

復 習：講義内容を復習し、教科書・参考書を利用して各自理解を深める。（45分）

【オフィスアワー】

月～金曜日 18：00～19：00

本館5階西棟 歯科保存学講座医局

【授業日程】

<div> <div>歯 周 病 学</div> <div>第5学年</div> </div>			
回数	授業日時	項目・講義内容	担当者
1	6月12日(金) 3時限	歯周病学① 歯周病の分類、検査項目について	尾崎 友輝
2	6月12日(金) 4時限	歯周病学② 歯周疾患の治療計画 歯周病治療の流れ 1. 医療面接、インフォームド・コンセント 2. モチベーション 3. 歯周基本治療 4. 再評価検査 5. 歯周外科療法 6. 口腔機能回復療法 7. 歯周維持療法 (SPT) 8. メインテナンス	吉成 伸夫
3	9月11日(金) 3時限	歯周病学③ 歯周外科治療(1) 切除療法、組織付着療法、歯周組織再生療法について	二宮 雅美
4	10月9日(金) 4時限	歯周病学④ 歯周外科治療(2) 歯周形成外科手術の目的、適応、術式について	二宮 雅美
5	10月30日(金) 2時限	歯周基本治療の種類、目的、適応、方法について 口臭の原因、診断、治療について 咬合性外傷とその治療法について	中村 卓

歯内療法学

第5学年

【担当者】

教授：増田宜子

【授業概要】

講義・基礎実習で修得した知識・技能をどのように臨床実習に生かして、水準1・2レベルの自験ケースに対応するかについて教授する。また、一連の治療に関する動画を供覧する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 勝海一郎他：「歯内治療学（第5版）」（医歯薬出版）

〔参考書〕 興地隆史他編：「第5版エンドドンティクス」（永末書店）

須田英明他編：「エンドドンティクス21 改訂版」（永末書店）

S. Cohen 他：「Pathways of the Pulp 10th ED」（Mosby）

【フィードバック方法】

定期試験については解説時間、Weekly Test については講義のはじめに前回の解答と解説を行う。

【注意事項】

すでに学習した内容ではあるが、臨床実習中に気付いたことや疑問を中心に講義後の復習を十分行うこと。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：3年後期、4年前期の講義と4年後期の基礎実習で学習した教科書・ノートを復習する。臨床実習での疑問点を質問できるようまとめる。（15分）

復 習：臨床実習に生かせるよう、教科書・講義プリントを見直し学習する。（45分）

【オフィスアワー】

月曜日から金曜日 18：00～19：00

本館4階西棟 歯科保存学講座教授室

【授業日程】

<div> <div>歯 内 療 法 学</div> <div>第5学年</div> </div>			
回数	授業日時	項目・講義内容	担当者
1	5月8日(金) 4時限	臨床講義の進め方、定期試験について 1. 歯髄疾患 2. 歯髄保存療法 3. 歯髄除去療法 (高齢者への対応含む)	増田 宜子
2	5月29日(金) 4時限	1. 根尖性歯周疾患 2. 根尖性歯周疾患の治療 (高齢者への対応含む)	増田 宜子
3	6月26日(金) 4時限	歯内 - 歯周疾患 緊急処置 偶発症と安全対策	増田 宜子
4	9月4日(金) 4時限	根管処置 (髄室開拓、根管形成 手用 Ni-Ti) 根管処置 (化学的清掃、根管貼薬、仮封)	増田 宜子
5	10月16日(金) 4時限	根管充填 (側方加圧、垂直加圧)	増田 宜子

全部床義歯学

第5学年

【担当者】

教授：黒岩昭弘

講師：松山雄喜

【授業概要】

全部床義歯学、部分床義歯学の総復習を行う。同時に行われる臨床実習により得られる実践的な知識も加えて、出題された国家試験の内容をキーワード抽出により意識し、補綴診療のポイントを確認する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 山縣健佑・黒岩昭弘：「図説無歯顎補綴学」（学建書院）

黒岩昭弘：「全部床義歯学サイドリーダー（第5版）」（学建書院）

市川哲雄他編：「無歯顎補綴治療学（第3版）」（医歯薬出版）

細井紀雄他編：「コンプリートデンチャーテクニク（第6版）」（医歯薬出版）

【フィードバック方法】

定期試験、中間試験やレポート実施後、正解率が低い問題に対し解答例または記入例を学生イントラへ掲載するので確認すること。

【注意事項】

無断欠席は認めない。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予習：各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。（15分）

復習：講義中に指定した教科書の項目や写真を中心に講義内容を復習すること。（45分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日

本館4階東棟 歯科補綴学講座医局

連絡先：TEL 0263-51-2046

【授業日程】

全部床義歯学				第5学年
回数	授業日時	項目・講義内容	担当者	
1	5月12日(火) 3時限	全部床義歯学① 人体の正常構造と機能、咬合・咀嚼 主要症候、検査、治療、高齢者の歯科診療 全部床義歯の要件と構成、診査と診断 治療計画・前処置、印象、模型、咬合床	松山 雄喜	
2	5月21日(木) 3時限	全部床義歯学② 咬合採得、咬合器	黒岩 昭弘	
3	10月5日(月) 3時限	全部床義歯学③ 人工歯排列、歯肉形成、試適 埋没、重合、削合、研磨	松山 雄喜	
4	10月6日(火) 3時限	全部床義歯学④ 装着、調整、術後管理・患者教育	松山 雄喜	
5	10月22日(木) 3時限	全部床義歯学⑤ 混合問題	松山 雄喜	
6	10月23日(金) 2時限	全部床義歯学⑥ 混合問題	松山 雄喜	

部分床義歯学

第5学年

【担当者】

教授：黒岩昭弘

講師：笠原隼男、松山雄喜、富士岳志

【授業概要】

全部床義歯学、部分床義歯学の総復習を行う。同時に行われる臨床実習により得られる実践的な知識も加えて、出題された国家試験の内容をキーワード抽出により意識し、補綴診療のポイントを確認する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 山縣健佑・黒岩昭弘：「図説無菌顎補綴学」（学建書院）

黒岩昭弘：「全部床義歯学サイドリーダー（第5版）」（学建書院）

藍稔他編：「スタンダードパーシャルデンチャー補綴学（第3版）」（学建書院）

歯科医師国家試験対策研究会：「セレクト部分床義歯（学建書院）

赤川安正他編：「歯学生のパーシャルデンチャー（第6版）」（医歯薬出版）

細井紀雄他編：「無菌顎補綴治療学（第3版）」（医歯薬出版）

細井紀雄他編：「コンプリートデンチャーテクニック（第6版）」（医歯薬出版）

五十嵐順正他編：「パーシャルデンチャーテクニック（第5版）」（医歯薬出版）

〔参考書〕 黒岩昭弘：「全部床義歯学 サイドリーダー（第5版）」（学建書院）

市川哲雄他編：「無菌顎補綴治療学（第3版）」（医歯薬出版）

【フィードバック方法】

定期試験、中間試験やレポート実施後、正解率が低い問題に対し解答例または記入例を学生イントラへ掲載するので確認すること。

【注意事項】

無断欠席は認めない。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予習：各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。（15分）

復習：講義中に指定した教科書の項目や図を中心に講義内容を復習すること。（45分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日

本館4階東棟 歯科補綴学講座医局

連絡先：TEL 0263-51-2046

【授業日程】

部分床義歯学				第5学年
回数	授業日時	項目・講義内容	担当者	
1	5月12日(火) 4時限	部分床義歯学① 総論、クラスプ、その他の構成装置、連結装置	松山 雄喜	
2	5月21日(木) 4時限	部分床義歯学② 診査・診断、前処置 印象採得	富士 岳志	
3	10月5日(月) 4時限	部分床義歯学③ 設計、咬合採得	富士 岳志	
4	10月6日(火) 4時限	部分床義歯学④ 口腔内装着・試適・調整、術後管理	笠原 隼男	
5	10月16日(金) 2時限	部分床義歯学⑤ 特殊な義歯、その他	笠原 隼男	
6	10月22日(木) 4時限	部分床義歯学⑥ 部分床義歯治療のまとめ	笠原 隼男	

冠・架工義歯学

第5学年

【担当者】

教 授：黒岩昭弘 倉澤郁文
講 師：笠原隼男

【授業概要】

臨床実習をとおして習得する知識、技術、態度の中で、冠・架工義歯学の臨床を行う上で必要となる知識領域の理解を4年次よりさらに深化させるべく、実習期間中に遭遇できる症例、あるいはそれ以外の症例を含めた一口腔単位の治療の流れを中心とした治療計画、方法、術式等についてより具体的に解説する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 會田雅啓ほか編「冠橋義歯補綴学テキスト」（永末書店）
矢谷博文・三浦宏之・細川隆司・小川匠編：「クラウンブリッジ補綴学（第5版）」（医歯薬出版）
赤川安正・松浦正朗・矢谷博文・渡邊文彦編：「よくわかるインプラント学」（医歯薬出版）
古谷野潔・前田芳信・松村英雄・矢谷博文編：「プロソドンティクス第Ⅰ巻」（永末書店）
〔参考書〕 冠・架工義歯学 4年次講義資料
冠・架工義歯学実習（4年次）実習帳
日本補綴歯科学会編：「歯科補綴学専門用語集」（医歯薬出版）
菅沼岳史：「クラウン・ブリッジ補綴学サイドリーダー」（学建書院）

【フィードバック方法】

試験実施後、正解率の低い問題に対して講義で解説する。

【注意事項】

1. 基礎知識については日常的に自問自答できるよう習慣付けすること。
2. 疑問点は何かを意識化する姿勢で聴講すること。
3. 日々の積み重ねを重視し出席、聴講すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：事前にシラバスに該当する内容を教科書で確認し、授業の目的を理解しておくこと。（15分）

復 習：講義終了後は講義内容についてノート、教科書、講義資料を復習し、理解できていないところがないか再確認すること。（45分）

【オフィスアワー】

月曜日、火曜日、木曜日、金曜日 18：00～19：00
本館4階東棟 共同教授室

【授業日程】

冠・架工義歯学				第5学年
回数	授業日時	項目・講義内容	担当者	
1	5月28日(木) 3時限	冠・架工義歯学① クラウン・ブリッジの要件、支台装置、ブリッジの種類、ボンテック、連結部 臨床実習に必要なクラウン・ブリッジの要件、種類に関する知識の復習を行う。	倉澤 郁文	
2	6月11日(木) 2時限	冠・架工義歯学② 診査と診断、治療計画、前処理、支台歯形成、診査と診断、治療計画、前処理、支台築造、 支台歯形成、テンポラリークラウン・ブリッジ、印象、咬合採得 臨床実習に必要なクラウン・ブリッジの診査から咬合採得に至る知識の復習を行う。	笠原 隼男	
3	7月3日(金) 1時限	冠・架工義歯学③ 診査と診断、治療計画、前処理、支台歯形成、診査と診断、治療計画、前処理、支台築造、 支台歯形成、テンポラリークラウン・ブリッジ、印象、咬合採得 臨床実習に必要なクラウン・ブリッジの診査から咬合採得に至る知識の復習を行う。	笠原 隼男	
4	10月9日(金) 1時限	冠・架工義歯学④ 作業用模型、咬合器付着、蝟型形成、埋没、鑄造、ろう付け、研磨、試適、装着、術後管理、インプラント 臨床実習に必要なクラウン・ブリッジの技工操作、装着、術後管理、(インプラント)に至る知識の復習を行う。	倉澤 郁文	
5	10月30日(金) 1時限	冠・架工義歯学⑤ ①～④の内容を踏まえ座学では分かりにくい臨床判断について説明する。	黒岩 昭弘	
6	11月13日(金) 2時限	冠・架工義歯学⑥ ①～④の内容を踏まえ座学では分かりにくい臨床判断について説明する。	倉澤 郁文	

口 腔 外 科 学

第5学年

【担当者】

教 授：芳澤享子
講 師：中山洋子

【授業概要】

第3、4学年の講義で学んだ基礎知識の中で、特に臨床現場で必要とされる知識を中心に学習する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕白砂 兼光・古郷 幹彦：「口腔外科学 第3版、第4版」（医歯薬出版）
榎本 昭二・道 健一・天笠 光雄他：「最新口腔外科学（第5版）」（医歯薬出版）
山根 源之他編：「口腔内科学」（永末書店）
〔参考書〕道 健一監修：「改訂版 口腔顎顔面疾患カラーアトラス」（永末書店）
栗田 賢一・覚道 健治：「SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療（第5版）」（永末書店）

【フィードバック方法】

試験実施後、疑問や質問等がある場合は担当教員に確認すること。

【注意事項】

実際の医療に携わることを念頭においた知識の習得に励むこと。
自らが診療するつもりで、正しい診察、検査が行えるよう確実な知識を身に着けること。
不明な点はまず自分自身で調べて、理解するように努力すること。主体的に学習する能力を習得すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：事前に第3、4学年の講義資料および教科書、参考書を用いて、該当する部分を予習する。（15分）
復 習：講義終了後は講義資料を用いて復習する。不明な点があれば、担当教員に質問し、確実に理解する。（45分）

【オフィスアワー】

月曜日・水曜日 17：00～18：00
本館5階東棟 口腔顎顔面外科学講座教授室、医局
オフィスアワー以外で質問等ある場合は事前に日程を確認すること

【授業日程】

口 腔 外 科 学				第5学年
回数	授業日時	項目・講義内容	担当者	
1	5月22日(金) 3時限	口腔外科における診察と診断診断に必要な医療面接と診察について 1. 主訴、現病歴を細かく聞き取る。 2. 全身疾患を理解する。 3. 全身的症候を読み取る。 4. 局所的症候を読み取る。	中山 洋子	
2	6月19日(金) 3時限	口腔外科疾患の診断に必要とされる検査法・画像診断 ・エックス線写真 ・CT ・MRI・超音波 ・シンチグラフィー ・PET - CT 血液検査 病理組織検査 細胞診	中山 洋子	
3	7月31日(金) 3時限	口腔外科小手術外来で行われる口腔外科手術とその手技について ・外科基本手技 消毒、局所麻酔、切開、剥離、止血、縫合 ・拔牙術 ・歯根端切除術 ・歯牙移植術	芳澤 享子	
4	9月25日(金) 3時限	損傷・軟組織損傷 損傷の種類 ・歯牙の損傷 歯の脱臼 歯の破折 ・顎骨骨折 歯槽骨骨折 上顎骨骨折 下顎骨骨折 頬骨骨折 吹き抜け骨折 鼻骨骨折	芳澤 享子	
5	10月23日(金) 4時限	顎変形症 ・顎変形症の手術 嚢胞 ・嚢胞の治療法	芳澤 享子	
6	11月6日(金) 3時限	腫瘍 ・良性腫瘍の治療法 ・悪性腫瘍の治療法 切除術 頸部郭清術 再建術 化学療法 放射線療法	芳澤 享子	

歯 科 矯 正 学

第5学年

【担当者】

教 授：岡藤 範正

【授業概要】

臨床実習の理解を深めるために乳歯列・混合歯列・永久歯列期の矯正治療の特徴を理解し、適切な治療方針、治療装置を選択する。

矯正歯科材料、矯正装置の特性を適応症的に理解する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 相馬邦道・飯田順一郎・山本照子・葛西一貴・後藤滋巳編：「歯科矯正学 第5版」（医歯薬出版）

清水典佳・鈴木里奈編：「歯科国試パーフェクトマスター 歯科矯正学」（医歯薬出版）

「歯科矯正学基礎実習マニュアル」

「歯科矯正学臨床実習マニュアル」

【フィードバック方法】

Weekly Test 実施後に正解率が低い問題に対し解答例または記入例を次週講義冒頭に掲示するので確認すること

【注意事項】

講義で配付した資料と教科書を持参する。

【準備学習時間（予習・復習）】

120分

予 習：事前に教科書を読んで、授業内容の目的を理解しておく。(60分)

復 習：講義後は、配付資料、臨床実習内容を復習すること。(60分)

【オフィスアワー】

授業日（18：00～20：00） 本館2階東棟 歯科矯正学講座医局、教授室

オフィスアワー以外の時間帯でも在室時は随時可能

連絡先 E-mail：岡藤 範正：norimasa.okafuji@mdu.ac.jp

【授業日程】

歯 科 矯 正 学				第5学年
回数	授業日時	項目・講義内容	担当者	
1	5月28日(木) 1時限	顔顎面頭蓋の成長発育 正常咬合 不正咬合	岡藤 範正	
2	6月19日(金) 2時限	側面頭部エックス線規格写真分析法について 模型分析 矯正力 顎整形力	岡藤 範正	
3	6月26日(金) 1時限	不正咬合の種類 適応に応じた矯正治療法 歯科矯正材料 矯正治療装置	岡藤 範正	
4	9月11日(金) 2時限	乳歯列・混合歯列・永久歯列期の矯正治療	岡藤 範正	
5	9月25日(金) 4時限	顎変形症の矯正歯科治療 保定の意義とその種類	岡藤 範正	
6	11月6日(金) 2時限	総まとめ	岡藤 範正	

歯科放射線学

第5学年

【担当者】

教 授：田口明

講 師：黒岩博子、杉野紀幸

【授業概要】

歯科医療における画像検査法の特徴と適応ならびに画像診断について十分な知識を習得するとともに、放射線の人体に対する影響、放射線防護の方法ならび放射線治療の基礎について理解し習得する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 田口明編：「基礎から始める 歯科放射線学」改定第2版（IDP 出版）

〔参考書〕 金田隆編：「Q&A で学ぶ歯科放射線学：SBOs 講義」（学建書院）

【フィードバック方法】

試験において正解率が特に低い問題について詳細な説明を行う。

【注意事項】

講義内容の不明点は、積極的に質問し解決すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書で予習を行うこと。（15分）

復 習：講義ノート、配付されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。（45分）

【オフィスアワー】

金曜日 18：00～19：00

本館5階西棟 歯科放射線学講座研究室

【授業日程】

<div> <div>歯科放射線学</div> <div>第5学年</div> </div>			
回数	授業日時	項目・講義内容	担当者
1	5月22日(金) 2時限	画像読影・画像検査法	杉野 紀幸
2	6月12日(金) 2時限	画像診断（顎骨・口腔隣接領域）	黒岩 博子
3	7月10日(金) 3時限	放射線治療	田口 明
4	9月18日(金) 3時限	特殊検査画像の実際	田口 明
5	10月23日(金) 3時限	特殊検査画像の実際(2)	田口 明
6	11月13日(金) 3時限	放射線の影響と防護	黒岩 博子

小 児 歯 科 学

第5学年

【担当者】

教 授：大須賀直人

准教授：正村正仁、中村浩志

講 師：中山 聡、森山敬太

【授業概要】

小児期から成人に至る口腔機能を維持、増進することを目的に全身と口腔領域の正常な成長発育、口腔領域に発生する疾患や異常について成長発育を考慮した予防法、治療法ならびに口腔健康管理を改めて理解し習得する。

【教科書・参考書】

教科書：大須賀 直人他：「小児の口腔科学（第5版）」（学研書院）

参考書：大須賀 直人他：「小児歯科学基礎・臨床実習（第2版）」（医歯薬出版）

大須賀 直人他：「小児歯科学（第4版）」（医歯薬出版）

大須賀 直人他：「乳歯列における外傷歯の診断と治療（第2版）」（クイッテセンス出版）

大須賀 直人他：「歯科医師のための小児科学入門」（MDU 出版会）

大須賀 直人他：「乳幼児の口と歯の健診ガイド」（医歯薬出版）

【フィードバック方法】

配布資料、教科書、ノートを確認してフィードバックする。

【注意事項】

5学年であることを自覚し、言語、行動や身だしなみに気をつけること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書で予習を行うこと。（15分）

復 習：講義ノート、配布されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。（45分）

【オフィスアワー】

月曜日

15：30～18：30

本館2階東棟 小児歯科学講座医局

【授業日程】

小 児 歯 科 学				第 5 学 年
回 数	授 業 日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	担 当 者	
1	5月28日(木) 2時限	小児の齲蝕予防と進行抑制、乳歯および幼若永久歯の歯冠修復 乳歯および幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順	森山 敬太	
2	6月11日(木) 3時限	小児の歯内療法 小児の歯周疾患 乳歯、幼若永久歯の齲蝕、歯髄炎の診察、検査と診断、治療法 小児の歯周疾患および口腔粘膜疾患の種類、原因、診察、検査、診断、および処置	中村 浩志	
3	7月17日(金) 3時限	小児の歯の外傷 小児の外科的処置小児の歯の外傷の診察、検査と診断および処置法と予後 小児の外科的処置	大須賀直人	
4	9月25日(金) 2時限	咬合誘導成長発育期の不正咬合予防と静的および動的咬合誘導	正村 正仁	
5	10月9日(金) 2時限	留意すべき小児疾患	中山 聡	

障害者歯科学

第5学年

【担当者】

教 授：畠島弘之

講 師：望月慎恭

【授業概要】

障害者の歯科治療について概説する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕日本障害者歯科学会編：「スペシャルニーズ デンティストリー（初版）」（医歯薬出版）

【フィードバック方法】

Weekly Test 結果を確認し、次回講義で補足する。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：あらかじめキーワードを調べ把握しておくこと。（20分）

復 習：講義内容をまとめる。（40分）。

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 17：30～19：00

本館1F 地域連携歯科学講座教授室

連絡先：0263-51-8655

【授業日程】

障 害 者 歯 科 学				第 5 学 年
回 数	授 業 日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	担 当 者	
1	6 月 5 日(金) 4 時 限	障害者歯科総論	望月 慎恭	
2	7 月 17 日(金) 4 時 限	高齢者歯科総論	靱島 弘之	
3	9 月 18 日(金) 4 時 限	行動調整法まとめ	靱島 弘之	
4	10月30日(金) 4 時 限	リスクマネジメント・クライシスマネジメント 緊急時の対応	望月 慎恭	

摂食嚥下療法学

第5学年

【担当者】

教 授：靑島弘之

【授業概要】

臨床実習で経験する摂食嚥下リハビリテーションについて概説する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 向井美恵・山田好秋：「歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学（第1版）」（医歯薬出版）

【フィードバック方法】

Test 結果を確認し、次回講義で補足する。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：あらかじめキーワードを調べ把握しておくこと。（20分）

復 習：講義内容をまとめる。（40分）。

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 17：30～19：00

本館1F 地域連携歯科学講座教授室

連絡先：0263-51-8655

【授業日程】

摂食嚥下療法学				第5学年
回数	授業日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	担当者	
1	7月31日(金) 4時限	摂食嚥下リハビリテーションの流れと概要	龍島 弘之	
2	9月11日(金) 4時限	摂食嚥下リハビリテーションの基本的対応	龍島 弘之	

歯 科 麻 酔 学

第5学年

【担当者】

教 授：澁谷徹

講 師：谷山貴一

【授業概要】

歯科治療時の全身管理および精神鎮静法について修得する。

歯科治療時の全身偶発症と救急処置について修得する。

口腔顎顔面領域の疼痛治療について修得する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 丹羽 均・入船 正浩・小長谷 光・澁谷 徹・深山 治久編：「第5版 臨床歯科麻酔学」（永末書店）

〔参考書〕 嶋田 昌彦・相山 加綱・深山 治久・丹羽 均編：「わかる！できる！歯科麻酔実践ガイド」（医歯薬出版）

【フィードバック方法】

Weekly Test の正答率が低い問題につき解説を行う。

【注意事項】

講義内容の不明な点は、積極的に質問して解決すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスの講義内容につき、教科書および参考書を用いて予習を行うこと。（30分）

復 習：講義資料や講義ノートを用いて復習すること。（30分）

【オフィスアワー】

月曜日、火曜日 16：30～17：30

本館5階西棟 歯科麻酔学講座医局

他の曜日、時間も予約をすれば対応可能

【授業日程】

歯 科 麻 酔 学				第 5 学 年
回 数	授 業 日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	担 当 者	
1	7月10日(金) 4時限	疼痛治療 1. 三叉神経痛 2. 非菌原性歯痛 3. 星状神経節ブロック 4. 痛性疼痛治療法 救急処置 1. 一次救命処置 2. 二次救命処置	澁谷 徹	
2	7月31日(金) 2時限	全身状態評価法 1. 診察 2. バイタルサイン 3. 手術危険度評価 全身管理上問題となる疾患 1. 循環器系疾患 2. 呼吸器系疾患 3. その他の疾患	谷山 貴一	
3	8月21日(水) 4時限	歯科治療時の全身の偶発症 1. 血管迷走神経反射 2. 過換気症候群 3. アナフィラキシーショック 4. 異物の誤飲・誤嚥 5. 内科的基礎疾患の増悪 ①異常血圧上昇 ②不整脈 ③心筋虚血 ④喘息発作 ⑤その他の偶発症	澁谷 徹	
4	11月6日(金) 4時限	歯科治療時の全身管理 1. モニタリング 2. 精神鎮静法	澁谷 徹	

医療面接法

第5学年

【担当者】

准教授：森啓

【授業概要】

医療倫理

プロフェッショナリズム

医療面接

1. 医療面接の意義と目的
2. 病歴聴取と臨床推論
3. 症状に基づいた医療面接
4. 行動変容に必要な媒体とスキル

コミュニケーションの基本

1. 非言語コミュニケーション

診療の基本

1. 電子カルテの仕組と電子カルテ入力の注意
2. セカンドオピニオン
3. チーム医療
4. 診療器具と診療チェア使用の基本
5. 総合診療計画の立案

【教科書・参考書】

【教科書】伊藤孝訓：改訂版 歯科医療面接 アートとサイエンス（シエン社）

【参考書】伊藤孝訓・寺中敏夫：「歯科医療面接の実際」（クインテッセンス出版）

齊藤清二：「はじめての医療面接」（医学書院）

【フィードバック方法】

臨床実習において個別に指導する。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバス内容を確認し、講義内容をしっかり把握すること。（30分）

復 習：講義の内容について、教科書・参考書を利用し、理解する。（30分）

【オフィスアワー】

月曜日 - 金曜日 17：30以降

本館2階北棟 病院共同教員室

【授業日程】

医 療 面 接 法				第 5 学 年
回 数	授 業 日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	担 当 者	
1	5月15日(金) 3時限	臨床実習における医療面接とプロフェッショナリズムを説明できる。 口腔内診査の方法と治療計画の基本を説明できる。	森	啓
2	5月15日(金) 4時限	医療面接における臨床推論を説明できる。 患者のインフォームド・コンセントと行動変容の技法を説明できる。 医療面接の実際の技法について説明できる。	森	啓

臨床実習 (D5500)

社会的使命の正しい理解に裏付けられた確固たる倫理観に基づき、歯学に関連した社会的使命を有効に遂行しうる人材を養成することを目的とした、歯学部教育の最終段階が病院での臨床実習である。

この実習にあたっては歯科医学生としての立場をよく理解し、医療人として患者に奉仕する姿勢を忘れず、常に自己を律し、患者の信頼に十分応えることが出来るよう、実習指導者の指示に従わなくてはならない。

臨床実習の内容は、精巧なマネキンを使つてのシミュレーション実習、学生相互による診療行為、医局員による診療の見学と介助、さらには指導者の直接の監督下での診療行為の実施である。

【臨床実習心得】

臨床実習は、歯科医師になるために医療人としての心得えと診療に必要な技術に実際に修得するもので、歯科大学における教育の総括である。既修の教育ならびに専門課程（基礎科目、臨床科目）にわたる日頃の勉学の成果を十分に生かし、教員の適切な指導のもと、本大学及び大学病院の諸規定と、この実習心得を基として積極的な姿勢をもって望まなくてはならない。また、対象となる患者は肉体的苦痛と精神的負担とを負っているのも、常に親切を旨とし、誠意ある言動で接しなければならない。

【登院に際しての一般的心得】

A. 服装・身だしなみ等……臨床実習期間中は、下記の事項を厳守すること。

不適切は服装・身だしなみの者は、臨床実習を行うことはできず、欠席扱いとする。

1. 本学指定の診療衣、名札を着用する。
2. 診療中は原則としてマスクとゴム手袋を着用する。
3. 病院内では指定の上履きを使用する。（革製、白色）
4. 整髪、手指の爪を切る等、身体は勿論服装も常に清潔に保つ。
5. 茶髪・ひげ・装身具（ピアス等）・香水・オーデコロンの類は禁止する。
6. 診療衣のまま学外へ出ることは禁止する。
7. 診療室をはじめ病院内各所の実習場所は絶えず清潔を保つよう努める。
8. 指定の喫煙所を除き、病院内はすべて禁煙である。
9. 病院内では静粛を旨とし、みだりに談笑等をしない。
10. 病院内での携帯電話の使用を禁止する。

B. 患者に対する態度と取扱い

1. 患者に対しては懇切丁寧を旨とし、不親切、不勉強または怠慢により迷惑をかけないように注意する。
2. 診療上知り得た個人の秘密に関する事項は他人に絶対漏らさず、その病名、症状に関しても理由なく公開してはならない。
3. 診療記録（カルテ、プロトコール、画像等）の閲覧は許可を得て行う。
4. 各科により多少異なるところがあるので、詳細は各科実習指導者の指示に従うこと。

C. 履修期、実習時間、出欠席

1. 全期を、第1、第2クールに期間を分けて実施する。
2. 出欠席、遅刻、早退については各科で取り扱っているのも、各科実習指導者の指示に従うこと。

D. 機械、器具及び材料の扱い

1. 病院備え付けの機器類は慎重に取り扱い、破損、紛失することのないようにする。
2. 所要の個人器機を有しない者は臨床実習を行うことができない。
3. 各自が使用する器機の欠損、故障は直ちに補充、修理し、常に整備しておくこと。
4. 学生相互間における器機及び材料の交換または賃借を禁ずる。
5. 備え付けの器機は使用場所より持ち出さず、各自の器機は所定の場所に保管する。

【臨床実習実施上の規定要項】

すべての臨床実習は、各科実習指導者の指示監督のもと、本大学病院内で、病院の諸規定に準じて行われる。

臨床実習の実施に関する具体的総括は病院長の責任下におく。

A. 実習時間及び日程

1. すべての実習は、規定された時間内に行うこと。特別の事由がある場合は、指導教員の許可を受

け、その立ち会いのもとに時間外にこれを行い得る。

2. 臨床実習は各々定められた日程表により行われる。

B. その他

如何なる理由があっても、病院外で診断、診療に類する一切の行為をしてはならない。

(たとえ歯科医師の監督のもとでも退学などの嚴重な処分となる。)

C. その他実習期間中の留意点

以上連記した臨床実習心得に著しく違反し、臨床実習学生の本分に反した行為があると認められた者は訓告、実習停止、停学または退学処分に附せられることがある。

保存学（保存修復学、歯内療法学、歯周病学）

第5学年

【担当者】

教授：吉成伸夫、山本昭夫、安西正明、亀山敦史、増田宜子

准教授：森啓

助 教：尾崎友輝、中村 卓、小松佐保、石岡康明、内川竜太郎、出分葉々衣

助 手：佐故竜介、三好弥恵、中村圭吾、宮國 茜、岩崎拓也、奥瀬稔之、田井康寛、水谷隆一、朝倉莉紗、

上原龍一、原 美音

非常勤講師：小林敏郎、石井敏裕、内山真紀子、斎藤俊樹

【一般目標（GIO）】

保存修復学、歯内療法学ならびに歯周病学について、講義で学んだ理論と基礎実習で習得した知識、手技を基にして、臨床実習においては卒業後直ちに一般歯科臨床に携われるまでに、診療参加型実習を行い知識と手技を向上する。そして患者とのコミュニケーションを図るとともに態度を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 手指の消毒を熟練する。
2. 無菌的処置法を熟練する。
3. 口腔内診査ができる。
4. 各種診査法を熟練する。
5. プロトコールにチャートニングする。
6. 口腔内の写真撮影ができる。
7. フォアハンドテクニックを模倣できる。
8. 各種診療機器が操作できる。
9. 症例の見学ができる。
10. 患者への対応を模倣できる。
11. 診療の介助ができる。
12. 予診録が作成できる。
13. 診断を立てる。
14. 診療計画を立案できる。
15. インストラクターと共同で診療行為ができる。
16. 歯周組織検査項目について計測でき、その結果から適切な診断、治療計画を立案できる。
17. プロトコールから患者の治療ステージを理解し、治療を推察できる。
18. プラークコントロールの指導、注意点等を実施、対応できる。
19. スケーリング・ルートプレーニングの基本手技を実施できる。
20. 咬合調整、固定処置の実施、介助ができる。
21. 薬物療法を理解できる。
22. 再評価検査の意義を理解し、検査を実施、その結果を分析できる。
23. 歯周外科処置の見学、介助ができる。
24. 根分岐部病変の治療を見学し、治療法を選択することができる。
25. Supportive Periodontal Therapy（SPT）、メインテナンス治療の実際を理解できる。
26. 変色歯への対応について、その適応と手順を説明できる。
27. コンポジットレジンインレー修復の臨床手技を説明できる。
28. ラバーダム防湿を実施出来る。
29. 根管拡大を理解し実施できる。
30. 根管洗浄、根管乾燥を実施できる。
31. 根管貼薬を実施できる。
32. 仮封の重要性を理解し実施できる。
33. 側方加圧根管充填法を実施できる。

34. Ni：Ti ローターファイルによる根管拡大を実施できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 吉江弘正・伊藤公一・村上伸也・申基結編：「臨床歯周病学（第2版）」（医歯薬出版 2013）

野口俊英編：「最新の歯周外科手術をマスターしよう！—基本から高度症例のへの応用まで—」（第一出版 2010）

〔参考書〕 千田彰・寺下正道・田上順次・奈良陽一郎・宮崎真至・片山直編：「保存クリニカルガイド（第2版）」（医歯薬出版）

岩久正明・河野篤・千田彰・田上順次監：「保存修復学21」（永末書店）

須田英明・戸田忠夫・恵比寿繁之・川崎孝一・中村洋・西川博文・林善彦・藤田勝正編：「改訂版エンドドンティクス21」（永末書店）

黒崎紀正・小野瀬英雄・住友雅人・櫻井薫・井上宏・古郷幹彦・寺下正道編：「イラストレイテッド・クリニカルデンティストリー ①患者の診かたと歯科診療」（医歯薬出版）

黒崎紀正・小野瀬英雄・住友雅人・櫻井薫・井上宏・古郷幹彦・寺下正道編：「イラストレイテッド・クリニカルデンティストリー ②歯・歯髄・歯周組織の疾患」（医歯薬出版）

江澤庸博：「一からわかるクリニカルペリオドントロジー」（医歯薬出版 2001）

【教育（学習）方略（LS）】

学生間の相互実習およびインストラクターの担当する外来患者に対する診療実習の2つのパートにより構成される。講義において説明された学理と基礎実習で習得した技術とを有機的に結びつける。

すべてインストラクターの監督と指導下に実習を行い、診療室で職員（歯科衛生士等）から注意を受けた場合は、素直に従うこと。診療行為における勝手な行動は許されない。

- ①検査、診断、治療計画の立案
- ②相互実習（口腔内検査、歯周組織検査、ブランクコントロール、歯肉縁上スケーリング）
- ③見学ならびに介助
- ④診療機器の説明
- ⑤コンポジットレジンインレー修復（マネキン実習）
- ⑥PBL
- ⑦齶蝕治療（相互実習）
- ⑧彎曲根管模型の機械的拡大
- ⑨顕微鏡を用いた根管治療（顎模型）
- ⑩顕微鏡を用いた歯根尖切除法（顎模型）

目標の習得ケースについて見学、実習を行い、インストラクターおよび教授試問において理解度を評価する。インストラクターは週に1日、指導日を設け、指導日に学生の評価を行う。

【フィードバック方法】

第1クールの試験については解答例を学生イントラへ掲載するので確認すること。

評価に対する疑問がある場合は担当科目教授へ直接申し出ること。

【評価方法（Evaluation）】

1. 症例に対するレポート・口頭試問による理解度の評価
2. 教授試問による評価
3. 実習に臨む態度、身だしなみ、出席状況を総合的に評価

【注意事項】

1. 欠席せずに、自発的かつ積極的に実習に臨む。なお、欠席する場合は必ず電話連絡をすること。
2. 病院内においては、諸規定を守り、すべて指導者の指示に従って行動する。
3. 病院内においては、常に清潔を重んじ、他人に不快な念を与えない。
4. 身だしなみには特に注意を払い、著しく不適切な髪型、化粧などをしてはならない。
5. 病院内においては、常に言動に注意を払い、真摯な態度で実習に臨む。
6. 実習時に実習帳およびケースカードを持参し、適宜検印を受ける。

【オフィスアワー】

随時 17：30以後

山本 保存修復学 本館東棟3階 教授室

吉成 歯周病学 本館西棟5階 教授室

安西 保存修復学 本館東棟3階

亀山 保存修復学 本館東棟3階 教授室

増田 歯内療法学 本館西棟4階 教授室

補綴学（有床義歯学）

第5学年

【担当者】

教 授：黒岩昭弘、倉澤郁文
講 師：松山雄喜、富士岳志、笠原隼男
助 教：霜野良介、菅生秀昭
助 手：平井博一郎、鈴木荘太、吉野旭宏、篠原聖武

【一般目標（GIO）】

全部床義歯学、部分床義歯学に関する系統講義や模型実習を履修した学生が、実際に将来行われるべき補綴診療に関する治療計画立案や基本的な有床義歯による補綴診療を実施するために、必要な知識、態度および技能を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 補綴診療の流れを理解する。
2. 補綴診療に必要な一般的な診査を行う。
3. 補綴診療に特徴的な検査（フェイスボウトランスファー、ゴシックアーチ描記、チェックバイト法）を理解する。
4. 各診察操作の目的を理解する。
5. 各診察操作の方法を理解する。
6. 診療操作を相互実習として実施する。（概形印象採得、最終印象採得、咬合採得）
7. 各技工操作の目的を理解する。
8. 各技工操作の内容を理解する。
9. 技工操作を相互実習として実施する。（研究用模型製作、個人トレー製作、作業模型製作、模型装着、咬合器の顎路調整）
10. 欠損補綴の病態を理解する。
11. 欠損補綴の診断を行う。
12. 診断に基づき合理的な治療計画を立案する。
13. 顎口腔機能の回復に必要な他科との連携を理解する。
14. 高齢者の内科的疾患や社会的立場を把握し、適切に配慮する。
15. 有床義歯装着後に生じる問題の原因と対処法を理解する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 山縣健佑・黒岩昭弘共著：「図説無歯顎補綴学」（学建書院）
藍兎他編：「スタンダードパーシャルデンチャー補綴学」（学建書院）
黒岩昭弘：「全部床義歯学サイドリーダー（第5版）」（学建書院）
歯科医師国家試験対策研究会編：「セレクト部分床義歯学」（学建書院）
細井紀雄他編：「無歯顎補綴治療学（第3版）」（医歯薬）
赤川安正他編：「歯学生のパーシャルデンチャー（第6版）」（医歯薬）

【教育（学習）方略（LS）】

1. 相互実習（製作物）
2. 各自の理解度、経験に応じてチーム診療の一員としての役割を担う

【フィードバック方法】

【評価方法（Evaluation）】

以下により総合的に評価する。

1. 知識：実力試験、レポート、教授試問
2. 技能：相互実習
3. 態度：出席状態および診療見学を含む各実習内容に対する取り組みの評価

【注意事項】

欠席せずに、自主的に実習に取り組むこと。

原則的に無断欠席は認めない。

欠席する場合は必ず、補綴科へ連絡し、欠席届を提出すること。

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 17：30～18：30

本館 4 階東棟 歯科補綴学講座

補綴学（冠・架工義歯学）

第5学年

【担当者】

教授：倉澤郁文、黒岩昭弘
講師：松山雄喜、富士岳志、笠原隼男
助教：菅生秀昭、霜野良介、
助手：平井博一郎、鈴木荘太、吉野旭宏、篠原聖武

【一般目標（GIO）】

冠・架工義歯学に関する系統講義や模型実習を履修した学生が、実際に将来行われるべき補綴診療に関する治療計画立案や基本的な冠・架工義歯による補綴診療を実施するために、必要な知識、態度および技能を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. クラウン・ブリッジ補綴治療に対する臨床的意義を説明できる。
2. 歯科補綴材料とクラウン・ブリッジ補綴治療法の種類、特徴および適応を説明できる。
3. 前処置について説明できる。
4. 築造窩洞形成の方法を理解する。
5. 適切な補綴方法の選択、設計が行える。
6. クラウン・ブリッジ補綴治療に必要な基本的な各種手技、操作が行える。
7. クラウン・ブリッジ補綴治療後の術後管理の目的と方法を説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 石橋寛二他編：「クラウンブリッジ補綴学（第5版）」（医歯薬出版）
石橋寛二他編：「クラウンブリッジテクニック」（医歯薬出版）
赤川安正他編：「よくわかる口腔インプラント学」（医歯薬出版）
〔参考書〕 藍稔：「補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識」（学建書院）
冠・架工義歯学（4年次講義）配付のプリント
冠・架工義歯学実習（4年次）実習書
日本補綴歯科学会編：「歯科補綴学専門用語集」（医歯薬出版）
菅沼岳史：「クラウン・ブリッジ補綴学サイドリーダー（第3版）」（学建書院）

【教育（学習）方略（LS）】

1. マネキンを使用し、支台歯形成を行う。
2. 各自の理解度、経験に応じてチーム診療の一員としての役割を担う。

【フィードバック方法】

【評価方法（Evaluation）】

以下により総合的に評価する。

1. 知識：実力試験、レポート、教授試問
2. 技能：相互実習
3. 態度：出席状態および診療見学を含む各実習内容に対する取り組みの評価

【注意事項】

1. 無断欠席は認めない。欠席したら欠席届けを提出すること。
2. 病気等による欠席・遅刻は必ず医局 電話0263-51-2046 松山まで連絡し、指示を受けること。

【オフィスアワー】

基本的に実習終了後。希望日を要相談のこと。
本館4階東棟 歯科補綴学医局

医療面接法

第5学年

【担当者】

教授：川原一郎

准教授：森 啓

助教：大木絵美、高谷達也、喜多村洋幸、岩崎由紀子

助手：伊能利之、堀内竜太郎、加藤華子

【一般目標（GIO）】

適切な診療を行うために、初診時の円滑な医療面接と総合診療計画立案に必要な知識・態度・技能を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 診療環境の整備を説明できる。
2. 主訴、病歴の聴取を説明できる。
3. 適切な口腔内診査項目を説明できる。
4. 診療録を的確に説明でき、行える。
5. 適確な診断法を説明でき、行える。
6. 総合診療計画を説明でき、立案を行える。
7. インフォームドコンセントを説明できる。
8. 患者中心の医療のために十分な倫理的配慮が説明できる。

【教科書・参考書】

〔参考書〕 伊藤孝訓・寺中敏夫編：「患者ニーズにマッチした歯科医療面接の実際」（クインテッセンス出版）

斎藤清二：「はじめての医療面接」（医学書院）

伊藤孝訓：「改訂版 歯科医療面接 アートとサイエンス」（シエン社）

【教育（学習）方略（LS）】

一口腔単位の歯科治療を行うために患者情報の収集・分析、診断、治療計画、記録についての知識・技能及び態度を修得し、患者との良好関係を構築する。

診断、歯科治療に必要な診察、検査を実施できる知識、技能、態度を修得する。

1. ロールプレイによる医療面接
2. 医療面接、検査、診察、結果より診療録記載、治療方針立案
3. 医療面接（自験ケース）

【フィードバック方法】

臨床実習手帳に基づき個別指導を行う。

【評価方法（Evaluation）】

1. 臨床実習手帳を用い、行動目標に準じる項目について点数（score）を付与する。
2. 評価シートを用いて集計し、個人評価点とする。
3. 個人評価点には概略評定（出欠席を含む）を勘案する。

【注意事項】

臨床に参加することを理解し、医療人として相応しい態度で積極的に臨床実習に臨むこと。

身だしなみに留意し、時間を厳守すること。

【オフィスアワー】

月曜～金曜日 18：00～

本館2階北棟病院共同教員室

口 腔 外 科 学

第 5 学年

【担当者】

教 授：芳澤享子、各務秀明
講 師：中山洋子
助 教：齋藤安奈
助 手：内川恵里、松村奈穂美

【一般目標（GIO）】

講義で学んだ知識を基盤として、実際の口腔外科診療に必要な知識と手技の基本を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 医療面接が行える。
2. 患者の現症の把握ができる。
3. 診断手順を理解する。
4. 臨床検査の評価ができる。
5. 診断内容を理解する。
6. 治療方法を理解する。
7. 治療薬の薬理作用が説明できる。
8. 器械・器具の使用法を習得する。
9. 外科手技の基本を習得する。
10. 治療の合併症を理解する。
11. 手術法を理解する。
12. 術後の経過を理解する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕白砂 兼光監：「口腔外科学（第3版、第4版）」（医歯薬出版）
榎本 昭二・道 健一・天笠 光雄他：「最新口腔外科学（第5版）」（医歯薬出版）
山根 源之他編：「口腔内科学」（永末書店）
〔参考書〕道 健一監修：「改訂版 口腔顎顔面疾患カラーアトラス」（永末書店）
栗田 賢一・覚道 健治：「SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療」（永末書店）

【教育（学習）方略（LS）】

外来診療では抜歯、小手術を中心とした観血的治療を、手術室や病棟では手術手技や入院患者の管理を見学、介助、実践し、それらに関した討議をすることによって知識の確認がなされ、目標の到達をはかる。外来・病棟を問わず、積極的に多くの症例に接することによって、疾患とその治療法を系統立てて理解するとともに、基本的な外科器具の使用法および手技を習得する。

【フィードバック方法】

ポートフォリオやレポート提出時に解説を行う。不明な点、疑問点については担当教員に確認すること。

【評価方法（Evaluation）】

1. 出席日数および臨床実習手帳による評価が基準をみたすこと。
2. レポートが70点以上であること。
3. 実地試験が期日内に終了していること。

以上の3項目を達成した場合に合格とする。

出席はポートフォリオの検印にて判定する。ポートフォリオの検印は、当日担当となったインストラクターが午前、午後それぞれにチェックを行う。出席印と記載の完了印両方が押されていることが出席判定の条件である。（インストラクターが会議等で終了時不在の場合には、他のインストラクターから評価を受けること）。原則として実習当日以外

の評価は認めない。

【注意事項】

1. 患者と接し医療に携わる自覚を持って、身だしなみや行動に留意すること。
2. 将来医療に携わるに十分な能力を養うために努力し、日頃から学習すること。
3. 診療室をやむを得ない事情で退出する時は理由を説明し、インストラクターの許可を取ること。無断退出は当日の単位を認めない。

【オフィスアワー】

火曜日・木曜日 17:00～18:00

本館5階東棟 口腔顎顔面外科学講座教授室および医局

歯 科 矯 正 学

第5学年

【担当者】

教 授：岡藤範正

准教授：川原良美

助 教：村岡理奈、西村恵子

助 手：深沢香菜子、中根隆、橋本達也、丸山歩美

非常勤講師：荒井敦、津村智信、三原正志、金沢昌律、徳田吉彦、宮本剛至

【一般目標（GIO）】

1. 不正咬合に対する治療の必要性とその意義を理解する。
2. 歯科矯正治療を行う上で必要な各種診断資料を作製可能とし、またそれらの使用方法を把握する。
3. 講義や実習で得た知識を臨床応用することによって、総合的に理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. 顎顔面の成長発育を理解する。
2. 正常咬合、不正咬合の分析、診断についての知識を正しく理解する。
3. 個々の症例において、診査、検査、分析を行い、問題点の列挙および適切な診断、治療方針を立案し、説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 相馬邦道・飯田順一郎・山本照子・葛西一貴・後藤滋巳編：「歯科矯正学（第5版）」（医歯薬出版）

〔参考書〕 清水典佳・鈴木里奈編：「歯科国試パーフェクトマスター歯科矯正学」（医歯薬出版）

歯科矯正学基礎実習 臨床実習マニュアル

歯科矯正学（講義）配付プリント

【教育（学習）方略（LS）】

診療見学や症例ファイルなどを用いて、治療方針の立案技能、矯正学用語を解説し、講義、基礎実習で得た知識を深める。

【フィードバック方法】

臨床実習中のレポートに関して質問のある場合は、レポート担当者あるいはヘッドインストラクターに質問すること

【評価方法（Evaluation）】

診断資料採得、症例分析などを行い客観的臨床能力の評価を行う。

【注意事項】

臨床の現場に参加することに対する明確な自覚を持ち、医療人としての身だしなみに十分配慮し、積極的に参加すること

【オフィスアワー】

月曜～金曜 18：00～20：00

本館2階東棟 歯科矯正学講座医局

小児歯科学

第5学年

【担当者】

教授：大須賀直人
准教授：正村正仁、中村浩志
講師：中山聡、森山敬太
臨床教授：西川康博、紀田晃生

【一般目標（GIO）】

小児歯科臨床実習は、本学小児歯科学カリキュラムにおける最終段階のもので、今までに習得した知識と技術を総合的に集約して、一般歯科医師が小児の初期治療を行う際に必要な診断・検査・治療の知識と技能を患者を通して習得する。

特に、成長過程にある小児の総合的な口腔健康管理と患者への対応を身につける。

【行動目標（SBOs）】

1. 小児患者の来院時から処置完了までの対応と取り扱いを習得する。
2. 診査、検査および分析結果を検討し、1口腔1単位としての確かな診断ができるようにする。
3. 診査結果に基づいて治療計画を立案する。
4. 臨床の場における予防と予防処置について習得する。
5. 定期健診の重要性について理解する。

【教科書・参考書】

教科書：大須賀 直人他：「小児の口腔科学（第5版）」（学建書院）
参考書：大須賀 直人他：「小児歯科基礎・臨床実習（第2版）」（医歯薬出版）
大須賀 直人他：「小児歯科学（第4版）」（医歯薬出版）
大須賀 直人他：「乳歯列における外傷歯の診断と治療（第2版）」（クイッテセンス出版）
大須賀 直人他：「歯科医師のための小児科学入門」（MDU 出版会）
大須賀 直人他：「乳幼児の口と歯の健診ガイド」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

実際の臨床現場における小児歯科診療の見学や診療補助、自験を行う事により、これまでに習得した知識と技術を確認し理解を深める。また、各種実習により診療内容を把握する。

【フィードバック方法】

配布資料、教科書、ノートを確認してフィードバックする。

【評価方法（Evaluation）】

臨床見学、アシスタントケース、必修ケース、自験ケースや各種実習項目の履修内容により、知識・技能・態度を総合的に評価する。

【注意事項】

「臨床の場」にいることを自覚して、言動・行動・身だしなみに気をつける。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

【オフィスアワー】

月曜日
17:00～18:00
本館2階東棟 小児歯科学講座医局
E-mail (info_ped@mdu.ac.jp) で予約をすれば、他の時間でも可能。

歯科放射線学

第5学年

【担当者】

教 授：田口明、内田啓一
講 師：黒岩博子、杉野紀幸
助 教：長内秀、山田真一郎、森こず恵

【一般目標（GIO）】

歯科医師に必要な各種画像検査法と正常解剖学、各種撮影法と画像診断について具体的に習得し、さらに放射線の安全な利用について理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. 歯・歯周組織エックス線検査法について、臨床見学及び相互実習により、撮影技術とその画像診断および正常解剖学を習得する。
2. 顎・顔面領域のエックス線検査法について、臨床見学及び実習により、撮影技術とその画像診断および正常解剖学を習得する。
3. 特殊画像検査法について、見学及び実習により、撮像原理とその画像診断を習得する。
4. 放射線の影響と健康について、示説などにより理解を深め、その重要性を認識する。
5. 症例ケースについて、発表検討会により各症例についての画像診断の手順と重要性を習得する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 田口明編：「基礎から始める歯科放射線学」改定第2版（IDP 出版）
〔参考書〕 金田隆編：「Q&A で学ぶ歯科放射線学：SBOs 講義」（学健書院）
中山英二・森本泰宏編：「口腔・歯・顎・顔面 ポケット画像解剖」（医学情報社）

【教育（学習）方略（LS）】

患者撮影および画像検査実習と講義を行い、その内容のうち重要な事項について提示して説明する。

【フィードバック方法】

臨床実習内試験および教授試問項目について質問等がある場合は実習終了後一週間以内にメールを送ること。それに対して学生インストラ上で解説する。

【評価方法（Evaluation）】

相互実習、患者撮影実施、臨床見学、講義の実施項目をすべて終了し、実習記録、症例検討会による評価とともに最終的に教授試問において理解度を評価する。

【注意事項】

4 年次の講義資料と指定教科書を持参すること。
パソコンを積極的に使用するので、使用法等について十分に熟識しておくこと。

【オフィスアワー】

月曜～金曜日 17：00～18：00
本館5階西棟 歯科放射線学講座医局
講義担当者に予約すること。 0263-51-2096（医局）

連携型口腔診療(障害者歯科学・高齢者歯科学・摂食機能療法)

第5学年

【担当者】

教授：靑島弘之

講師：望月慎恭

助手：朝比奈伯明、山上裕介、朝比奈澁直、田村瞬至、村上康彦、中川直子

臨床教授：靑島桂子

非常勤講師：小川浩樹、河瀬聡一郎

【一般目標（GIO）】

スペシャルニーズのある患者の歯科診療に参加することにより基本的知識、態度および臨床技能を修得する。

【行動目標（SBOs）】

1. スペシャルニーズのある患者との適切なコミュニケーション技能と倫理的態度を修得する。
2. スペシャルニーズのある患者の医療情報から自己指向型学習を実施する。
3. 指導のもとにスペシャルニーズのある患者の口腔保健管理上の問題点を整理し、患者あるいは保護者・介助者に説明する。
4. スペシャルニーズのある患者に適した口腔保健指導を実施する。
5. スペシャルニーズのある患者の口腔診査を実施する。
6. スペシャルニーズのある患者の歯科治療に必要な器具、器材を準備し、歯科医療行為の介助を実施する。

【教科書・参考書】

【教科書】日本障害者歯科学会編：「スペシャルニーズ・デンティストリー」（医歯薬出版）

佐藤裕二編：「よくわかる高齢者歯科学」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

1. 個々に実際の患者を担当することにより、障害や疾患の概要はもちろん心理状態も感じ、コミュニケーション、倫理的態度を学ぶ。
2. 医療福祉との連携を学ぶために訪問診療、医療連携を体験する。
3. チュートリアルを実施する。
4. 要介護者の移乗、障害者の口腔内診察、障害者の保健指導を体験する。

【フィードバック方法】

試問にて理解の確認を行い、不足内容を補足説明する。

【評価方法（Evaluation）】

1. 主要な障害と疾患について所定の症例数を見学、診療補助後にレポートを提出し、試問を受ける。
2. 基本的な患者対応法、各種の行動変容法、全身麻酔下集中歯科治療法、低濃度笑気吸入鎮静法、静脈内鎮静法などについても、相互 実習あるいは見学の終了後にレポートを提出し、試問を受ける。
3. 要介護者の移乗、障害者の口腔内診察、障害者の保健指導の実地試験を行う。
4. 最終試問により評価する。

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 17：30～19：00

本館4階 共同教授室

連絡先：0263-51-2255

歯科麻酔学・歯科麻酔科

第5学年

【担当者】

教 授：澁谷徹
講 師：谷山貴一
助 手：上田敬介
非常勤講師：遠藤理香、長江麻帆、石田麻依子

【一般目標（GIO）】

歯科治療における全身管理、局所麻酔法、全身麻酔法および精神鎮静法に関する知識、技能を修得する。
救急蘇生法の基本を修得する。
疼痛治療と神経麻痺に関する知識を修得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 全身状態を評価し、最適な麻酔管理法が選択できる。
2. 浸潤麻酔、伝達麻酔を実施できる。
3. 全身麻酔の目的と、術前・術中・術後管理を理解する。
4. 精神鎮静法の目的、適応および禁忌を理解する。
5. 亜酸化窒素吸入鎮静法を実施できる。
6. 安全な歯科治療のための全身管理方法を理解する。
7. 救急薬品投与のための静脈路を確保できる。
8. 一次救命処置を実施できる。
9. 口腔顎顔面領域の慢性痛と神経麻痺の診断・治療法を理解する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 嶋田 昌彦・梶山 加綱・深山 治久・丹羽 均編：「わかる！できる！歯科麻酔実践ガイド」（医歯薬出版）
丹羽 均・入船 正浩・小長谷 光・澁谷 徹・深山 治久編：「第5版 臨床歯科麻酔学」（永末書店）
〔参考書〕 雨宮 義弘監：「フローチャート式 歯科医のための痛みの診断・治療マニュアル」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

実際の臨床症例を見学することにより、全身麻酔法、精神鎮静法および全身管理法についての理解を深める。
局所麻酔法は、相互実習により手技を修得する。
亜酸化窒素吸入鎮静法と静脈路確保は、相互実習により手技を修得する。
救急蘇生法は、蘇生練習用マネキンを用いて手技を修得する。
疼痛治療と神経麻痺に関する臨床講義を行う。

【フィードバック方法】

実習内容、レポート内容につき試問を行い理解度を確認し、必要に応じて補足説明を行う。

【評価方法（Evaluation）】

臨床見学、マネキン実習、相互実習、提出されたレポート課題の評価、試験（口頭試問等）により、知識・技能・態度の項目を総合的に評価する。

【注意事項】

実習はすべて指導教員の指導のもとに行う。
診療室や病室では、歯科医療関係者としての立場を十分にわきまえ、適切な服装、態度、言葉使いをとるように気をつける。
やむを得ない事情で実習を欠席する場合には、事前に担当指導教員に必ず連絡する。

【オフィスアワー】

月曜日、火曜日 16：30～17：30

本館5階西棟 歯科麻酔学講座医局

他の曜日、時間も予約をすれば対応可能

2020 年度 5 学年 日程表

曜			月	火	水	木	金	土	日
1			4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3
	1	9:00～ 10:30					オリエンテーション 第1クールオリエンテーション		憲法記念日
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

2			5/4	5/5	5/6	5/7	5/8	5/9	5/10
	1	9:00～ 10:30	みどりの日	こどもの日	振替休日	臨床実習1-1	口腔生化学-1		
	2	10:40～ 12:10				健康診断	口腔解剖学-1		
	3	13:10～ 14:40				臨床実習 1-2	保存修復学-1		
	4	14:50～ 16:20					歯内療法学-1		
	5	16:30～ 18:00							

3			5/11	5/12	5/13	5/14	5/15	5/16	5/17
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 1-3	公衆衛生学-1	臨床実習 1-5	臨床実習 1-7	口腔生理学-1	Weekly test-1	
	2	10:40～ 12:10		口腔組織学-1			歯科薬理学-1		
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 1-4	全部床義歯学-1	臨床実習 1-6	臨床実習 1-8	医療面接法-1		
	4	14:50～ 16:20		部分床義歯学-1			医療面接法-2		
	5	16:30～ 18:00							

4			5/18	5/19	5/20	5/21	5/22	5/23	5/24
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 1-9	臨床実習 1-11	臨床実習 1-13	歯科理工学-1	口腔病理学-1		
	2	10:40～ 12:10				歯科理工学-2	歯科放射線学-1		
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 1-10	臨床実習 1-12	臨床実習 1-14	全部床義歯学-2	口腔外科学-1		
	4	14:50～ 16:20				部分床義歯学-2	歯科薬理学-1		
	5	16:30～ 18:00							

5			5/25	5/26	5/27	5/28	5/29	5/30	5/31
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 1-15	臨床実習 1-17	臨床実習 1-19	歯科矯正学-1	口腔生化学-2	Weekly test-2	
	2	10:40～ 12:10				小児歯科学-1	口腔解剖学-2		
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 1-16	臨床実習 1-18	臨床実習 1-20	冠・架工義歯学-1	保存修復学-2		
	4	14:50～ 16:20				口腔病理学-2	歯内療法学-2		
	5	16:30～ 18:00							

6			6/1	6/2	6/3	6/4	6/5	6/6	6/7
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 1-21	臨床実習 1-23	臨床実習 1-25	臨床実習 1-27	公衆衛生学-2		
	2	10:40～ 12:10					口腔組織学-2		
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 1-22	臨床実習 1-24	臨床実習 1-26	臨床実習 1-28	歯科薬理学-3		
	4	14:50～ 16:20					障害者歯科学-1		
	5	16:30～ 18:00							

曜			月	火	水	木	金	土	日
7			6/8	6/9	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 1-29	臨床実習 1-31	臨床実習 1-33	口腔細菌学-1	口腔生理学-2		
	2	10:40～ 12:10				冠・架工義歯学-2	歯科放射線学-2		
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 1-30	臨床実習 1-32	臨床実習 1-34	小児歯科学-2	歯周病学-1		
	4	14:50～ 16:20				口腔病理学-3	歯周病学-2		
	5	16:30～ 18:00							

8			6/15	6/16	6/17	6/18	6/19	6/20	6/21
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 1-35	臨床実習 1-37	臨床実習 1-39	臨床実習 1-41	公衆衛生学-3	Weekly test-3	
	2	10:40～ 12:10					歯科矯正学-2		
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 1-36	臨床実習 1-38	臨床実習 1-40	臨床実習 1-42	口腔外科学-2		
	4	14:50～ 16:20					口腔細菌学-2		
	5	16:30～ 18:00							

9			6/22	6/23	6/24	6/25	6/26	6/27	6/28
	1	9:00～ 10:30	Ⅰ期試験	臨床実習 1-43	第2クール オリエンテーション	Ⅰ期試験解説	歯科矯正学-3		
	2	10:40～ 12:10					口腔解剖学-3		
	3	13:10～ 14:40		臨床実習 1-44			保存修復学-3		
	4	14:50～ 16:20					歯内療法学-3		
	5	16:30～ 18:00							

10			6/29	6/30	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 2-1	臨床実習 2-3	臨床実習 2-5	臨床実習 2-7	冠・架工義歯学-3	Weekly test-4	
	2	10:40～ 12:10					口腔生化学-3		
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 2-2	臨床実習 2-4	臨床実習 2-6	臨床実習 2-8	口腔細菌学-3		
	4	14:50～ 16:20					口腔病理学-4		
	5	16:30～ 18:00							

11			7/6	7/7	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 2-9	臨床実習 2-11	臨床実習 2-13	臨床実習 2-15	口腔生理学-3	I 期試験 追再試	
	2	10:40～ 12:10					歯科薬理学-4		
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 2-10	臨床実習 2-12	臨床実習 2-14	臨床実習 2-16	歯科放射線学-3		
	4	14:50～ 16:20					歯科麻酔学-1		
	5	16:30～ 18:00							

12			7/13	7/14	7/15	7/16	7/17	7/18	7/19
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 2-17	臨床実習 2-19	臨床実習 2-21	臨床実習 2-23	公衆衛生学-4	Weekly test-5	
	2	10:40～ 12:10					口腔組織学-3		
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 2-18	臨床実習 2-20	臨床実習 2-22	臨床実習 2-24	小児歯科学-3		
	4	14:50～ 16:20					障害者歯科学-2		
	5	16:30～ 18:00							

曜			月	火	水	木	金	土	日
13			7/20	7/21	7/22	7/23	7/24	7/25	7/26
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 2-25	臨床実習 2-27	臨床実習 2-29	海の日	スポーツの日		
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 2-26	臨床実習 2-28	臨床実習 2-30				
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

14			7/27	7/28	7/29	7/30	7/31	8/1	8/2
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 2-31	臨床実習 2-33	臨床実習 2-35	臨床実習 2-37	公衆衛生学-5		
	2	10:40～ 12:10					歯科麻酔学-2		
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 2-32	臨床実習 2-34	臨床実習 2-36	臨床実習 2-38	口腔外科学-3		
	4	14:50～ 16:20					摂食嚥下療法学-1		
	5	16:30～ 18:00							

15			8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8	8/9
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 2-39	臨床実習 2-41	臨床実習 2-43	臨床実習 2-45	臨床実習 2-47		
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 2-40	臨床実習 2-42	臨床実習 2-44	臨床実習 2-46	臨床実習 2-48		
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

16			8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15	8/16
	1	9:00～ 10:30	山の日 夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

17			8/17	8/18	8/19	8/20	8/21	8/22	8/23
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 2-49	臨床実習 2-51	臨床実習 2-53	臨床実習 2-55	口腔生化学-4	Weekly test-6	
	2	10:40～ 12:10					口腔解剖学-4		
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 2-50	臨床実習 2-52	臨床実習 2-54	臨床実習 2-56	歯科理工学-3		
	4	14:50～ 16:20					歯科麻酔学-3		
	5	16:30～ 18:00							

18			8/24	8/25	8/26	8/27	8/28	8/29	8/30
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 2-57	臨床実習 2-59	臨床実習 2-61	臨床実習 2-63	公衆衛生学-6		
	2	10:40～ 12:10					口腔組織学-4		
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 2-58	臨床実習 2-60	臨床実習 2-62	臨床実習 2-64	口腔生理学-4		
	4	14:50～ 16:20					口腔細菌学-4		
	5	16:30～ 18:00							

曜			月	火	水	木	金	土	日
19			8/31	9/1	9/2	9/3	9/4	9/5	9/6
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 2-65	臨床実習 2-67	臨床実習 2-69	臨床実習 2-71	口腔病理学-5	Weekly test-7	
	2	10:40～ 12:10					歯科薬理学-5		
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 2-66	臨床実習 2-68	臨床実習 2-70	臨床実習 2-72	保存修復学-4		
	4	14:50～ 16:20					歯内療法学-4		
	5	16:30～ 18:00							

20			9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12	9/13
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 2-73	臨床実習 2-75	臨床実習 2-77	臨床実習 2-79	歯科理工学-4		
	2	10:40～ 12:10					歯科矯正学-4		
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 2-74	臨床実習 2-76	臨床実習 2-78	臨床実習 2-80	歯周病学-3		
	4	14:50～ 16:20					摂食嚥下療法学-2		
	5	16:30～ 18:00							

21			9/14	9/15	9/16	9/17	9/18	9/19	9/20
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 2-81	臨床実習 2-83	臨床実習 2-85	臨床実習 2-87	口腔生化学-5	Weekly test-8	
	2	10:40～ 12:10					口腔解剖学-5		
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 2-82	臨床実習 2-84	臨床実習 2-86	臨床実習 2-88	歯科放射線学-4		
	4	14:50～ 16:20					障害者歯科学-3		
	5	16:30～ 18:00							

22			9/21	9/22	9/23	9/24	9/25	9/26	9/27
	1	9:00～ 10:30	敬老の日	秋分の日	臨床実習 2-89	臨床実習 2-91	口腔病理学-6		
	2	10:40～ 12:10					小児歯科学-4		
	3	13:10～ 14:40			臨床実習 2-90	臨床実習 2-92	口腔外科学-4		
	4	14:50～ 16:20					歯科矯正学-5		
	5	16:30～ 18:00							

23			9/28	9/29	9/30	10/1	10/2	10/3	10/4
	1	9:00～ 10:30	演習1	演習1	臨床実習 2-93	臨床実習 2-95	臨床実習 2-97	体育祭	
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40			臨床実習 2-94	臨床実習 2-96	臨床実習 2-98		
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

24			10/5	10/6	10/7	10/8	10/9	10/10	10/11
	1	9:00～ 10:30	公衆衛生学-7	口腔細菌学-5	臨床実習 2-99	臨床実習 2-101	冠・架工義歯学-4	Weekly test-9	
	2	10:40～ 12:10	口腔組織学-5	口腔生理学-5			小児歯科学-5		
	3	13:10～ 14:40	全部床義歯学-3	全部床義歯学-4	臨床実習 2-100	臨床実習 2-102	保存修復学-5		
	4	14:50～ 16:20	部分床義歯学-3	部分床義歯学-4			歯周病学-4		
	5	16:30～ 18:00							

曜			月	火	水	木	金	土	日
25			10/12	10/13	10/14	10/15	10/16	10/17	10/18
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 2-103	臨床実習 2-105	臨床実習 2-107	臨床実習 2-109	歯科理工学-5		
	2	10:40～ 12:10					部分床義歯学-5		
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 2-104	臨床実習 2-106	臨床実習 2-108	臨床実習 2-110	保存修復学-6		
	4	14:50～ 16:20					歯内療法学-5		
	5	16:30～ 18:00							

26			10/19	10/20	10/21	10/22	10/23	10/24	10/25
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 2-111	臨床実習 2-113	臨床実習 2-115	公衆衛生学-8	歯科薬理学-6	Weekly test-10	
	2	10:40～ 12:10				口腔組織学-6	全部床義歯学-6		
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 2-112	臨床実習 2-114	臨床実習 2-116	全部床義歯学-5	歯科放射線学-5		
	4	14:50～ 16:20				部分床義歯学-6	口腔外科学-5		
	5	16:30～ 18:00							

27			10/26	10/27	10/28	10/29	10/30	10/31	11/1
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 2-117	臨床実習 2-119	臨床実習 2-121	臨床実習 2-123	冠・架工義歯学-5		
	2	10:40～ 12:10					歯周病学-5		
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 2-118	臨床実習 2-120	臨床実習 2-122	臨床実習 2-124	口腔病理学-7		
	4	14:50～ 16:20					障害者歯科学-4		
	5	16:30～ 18:00							

28			11/2	11/3	11/4	11/5	11/6	11/7	11/8
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 2-125	文化の日	臨床実習 2-127	臨床実習 2-129	歯科理工学-6		
	2	10:40～ 12:10					歯科矯正学-6		
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 2-126		臨床実習 2-128	臨床実習 2-130	口腔外科学-6		
	4	14:50～ 16:20					歯科麻酔学-4		
	5	16:30～ 18:00					口腔生化学-6		

29			11/9	11/10	11/11	11/12	11/13	11/14	11/15
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 2-131	臨床実習 2-133	臨床実習 2-135	臨床実習 2-137	公衆衛生学-9	Weekly test-11	
	2	10:40～ 12:10					冠・架工義歯学-6		
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 2-132	臨床実習 2-134	臨床実習 2-136	臨床実習 2-138	歯科放射線学-6		
	4	14:50～ 16:20					歯科薬理学-7		
	5	16:30～ 18:00					口腔解剖学-6		

30			11/16	11/17	11/18	11/19	11/20	11/21	11/22
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 2-139	臨床実習 2-141	臨床実習 2-143	臨床実習 2-145	臨床実習 2-147		
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 2-140	臨床実習 2-142	臨床実習 2-144	臨床実習 2-146	臨床実習 2-148		
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

曜			月	火	水	木	金	土	日
31			11/23	11/24	11/25	11/26	11/27	11/28	11/29
	1	9:00～ 10:30	勤労感謝の日	臨床実習 2-149	臨床実習 2-151	臨床実習 2-153	臨床実習 2-155		
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20		臨床実習 2-150	臨床実習 2-152	臨床実習 2-154	臨床実習 2-156		
	5	16:30～ 18:00							

32			11/30	12/1	12/2	12/3	12/4	12/5	12/6
	1	9:00～ 10:30	Ⅱ 期試験	臨床実習 2-157	Ⅱ 期試験解説	臨床実習 2-159	臨床実習 2-161		
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20		臨床実習 2-158		臨床実習 2-160	臨床実習 2-162		
	5	16:30～ 18:00							

33			12/7	12/8	12/9	12/10	12/11	12/12	12/13
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 2-163	臨床実習 2-165	臨床実習 2-167	演習2	演習2		
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 2-164	臨床実習 2-166	臨床実習 2-168				
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

34			12/14	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19	12/20
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 2-169	臨床実習 2-171	臨床実習 2-173	臨床実習 2-175	臨床実習 2-177		
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 2-170	臨床実習 2-172	臨床実習 2-174	臨床実習 2-176	臨床実習 2-178		
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

35			12/21	12/22	12/23	12/24	12/25	12/26	12/27
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 2-179	臨床実習 2-181	臨床実習 2-183	臨床実習 2-185	臨床実習 2-187		冬季休業
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 2-180	臨床実習 2-182	臨床実習 2-184	臨床実習 2-186	臨床実習 2-188		
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

36			12/28	12/29	12/30	12/31	1/1	1/2	1/3
	1	9:00～ 10:30	冬季休業	冬季休業	冬季休業	冬季休業	元 旦	冬季休業	冬季休業
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

曜			月	火	水	木	金	土	日
37			1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	1/10
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 2-189	臨床実習 2-191	臨床実習 2-193	臨床実習 2-195	臨床実習 2-197	Ⅱ期試験 追再試験	
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 2-190	臨床実習 2-192	臨床実習 2-194	臨床実習 2-196	臨床実習 2-198		
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

38			1/11	1/12	1/13	1/14	1/15	1/16	1/17
	1	9:00～ 10:30	成人の日	臨床実習 2-199	臨床実習 2-201	ファウンダーズデイ	臨床実習 2-203		
	2	10:40～ 12:10		臨床実習 2-200	臨床実習 2-202		臨床実習 2-204		
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

39			1/18	1/19	1/20	1/21	1/22	1/23	1/24
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 2-205	臨床実習 2-207	臨床実習 2-209	臨床実習 2-211	臨床実習 2-213		
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 2-206	臨床実習 2-208	臨床実習 2-210	臨床実習 2-212	臨床実習 (臨床実地試験 トライアル) 2-214		
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

40			1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 2-215	臨床実習 2-217	臨床実習 2-219	臨床実習 2-221	創立記念日		
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 2-216	臨床実習 2-218	臨床実習 2-220	臨床実習 2-222			
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

41			2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	2/6	2/7
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 2-223	臨床実習 2-225	臨床実習 2-227予備日	臨床実習 2-229予備日	臨床実習 2-231予備日		
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 2-224	臨床実習 2-226	臨床実習 2-228予備日	臨床実習 2-230予備日	臨床実習 2-232予備日		
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

42			2/8	2/9	2/10	2/11	2/12	2/13	2/14
	1	9:00～ 10:30	臨床実習 2-233予備日	臨床実習 2-235予備日	臨床実習 2-237予備日	建国記念日		OSCE	
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	臨床実習 2-234予備日	臨床実習 2-236予備日	臨床実習 2-238予備日		OSCE テストラン		
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

曜			月	火	水	木	金	土	日
43			2/15	2/16	2/17	2/18	2/19	2/20	2/21
	1	9:00～ 10:30			進級試験	臨床実習 2-239予備日	臨床実習 2-241予備日		
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20				臨床実習 2-240予備日	臨床実習 2-242予備日		
	5	16:30～ 18:00							

44			2/22	2/23	2/24	2/25	2/26	2/27	2/28
	1	9:00～ 10:30	一斉技能試験 準備	天皇誕生日	一斉技能試験 トライアル	臨床実習2～243 (歯周外科脈顎実 習・実習館)		進級試験 追再試験	
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

2020年度 第5学年 年間予定

2020年

4月			5月			6月			7月			8月			9月		
1	水		1	金	オリエンテーション	1	月		1	水		1	土		1	火	
2	木		2	土		2	火		2	木		2	日		2	水	
3	金		3	日	憲法記念日	3	水		3	金		3	月		3	木	
4	土		4	月	みどりの日	4	木		4	土	Weekly Test 4	4	火		4	金	
5	日		5	火	こどもの日	5	金		5	日		5	水		5	土	Weekly Test 7
6	月		6	水	振替休日	6	土	解剖諸霊位慰霊祭	6	月		6	木		6	日	
7	火		7	木	健康診断 臨床実習開始	7	日		7	火		7	金		7	月	
8	水		8	金		8	月		8	水		8	土		8	火	
9	木		9	土		9	火		9	木		9	日	夏季休業(～8/16)	9	水	
10	金		10	日		10	水		10	金		10	月	山の日	10	木	
11	土		11	月		11	木		11	土	I期追・再試験	11	火		11	金	
12	日		12	火		12	金		12	日		12	水		12	土	
13	月		13	水	交通安全講習会	13	土		13	月		13	木		13	日	
14	火		14	木		14	日		14	火		14	金		14	月	
15	水		15	金		15	月		15	水		15	土		15	火	
16	木		16	土	Weekly Test 1	16	火		16	木		16	日	夏季休業終了	16	水	
17	金		17	日		17	水		17	金		17	月		17	木	
18	土		18	月		18	木		18	土	Weekly Test 5	18	火		18	金	
19	日		19	火		19	金		19	日		19	水		19	土	Weekly Test 8
20	月		20	水		20	土	Weekly Test 3	20	月		20	木		20	日	
21	火		21	木		21	日		21	火		21	金		21	月	敬老の日
22	水		22	金		22	月	I期試験	22	水		22	土	Weekly Test 6	22	火	秋分の日
23	木		23	土		23	火		23	木	海の日	23	日		23	水	
24	金		24	日		24	水	第2クールオリエンテーション	24	金	スポーツの日	24	月		24	木	
25	土		25	月		25	木	I期試験 解説	25	土		25	火		25	金	
26	日		26	火		26	金		26	日		26	水		26	土	
27	月		27	水		27	土		27	月		27	木		27	日	
28	火		28	木		28	日		28	火		28	金		28	月	演習 1
29	水	昭和の日	29	金		29	月		29	水		29	土		29	火	演習 1
30	木		30	土	Weekly Test 2	30	火		30	木		30	日		30	水	
			31	日					31	金		31	月				

2021年

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	木	1	日	1	火	1	金 元日	1	月	1	月
2	金	2	月	2	水	2	土	2	火	2	火
3	土	3	火	3	木	3	日	3	水	3	水
4	日	4	水	4	金	4	月	4	木	4	木
5	月	5	木	5	土	5	火	5	金	5	金
6	火	6	金	6	日	6	水	6	土	6	土
7	水	7	土	7	月	7	木	7	日	7	日
8	木	8	日	8	火	8	金	8	月	8	月
9	金	9	月	9	水	9	土	9	火	9	火
10	土	10	火	10	木	10	日	10	水	10	水
11	日	11	水	11	金	11	月	11	木	11	木
12	月	12	木	12	土	12	火	12	金	12	金
13	火	13	金	13	日	13	水	13	土	13	土
14	水	14	土	14	月	14	木	14	日	14	日
15	木	15	日	15	火	15	金	15	月	15	月
16	金	16	月	16	水	16	土	16	火	16	火
17	土	17	火	17	木	17	日	17	水	17	水
18	日	18	水	18	金	18	月	18	木	18	木
19	月	19	木	19	土	19	火	19	金	19	金
20	火	20	金	20	日	20	水	20	土	20	土
21	水	21	土	21	月	21	木	21	日	21	日
22	木	22	日	22	火	22	金	22	月	22	月
23	金	23	月	23	水	23	土	23	火	23	火
24	土	24	火	24	木	24	日	24	水	24	水
25	日	25	水	25	金	25	月	25	木	25	木
26	月	26	木	26	土	26	火	26	金	26	金
27	火	27	金	27	日	27	水	27	土	27	土
28	水	28	土	28	月	28	木	28	日	28	日
29	木	29	日	29	火	29	金	29	月	29	月
30	金	30	月	30	水	30	土			30	火
31	土			31	木	31	日			31	水

第 6 学 年

第 6 学年目次

総 合 講 義	243
口 腔 解 剖 学	244
口 腔 組 織 学	246
口 腔 生 理 学	248
口 腔 生 化 学	250
口 腔 細 菌 学	252
口 腔 病 理 学	253
歯 科 薬 理 学	256
歯 科 理 工 学	258
公 衆 衛 生 学	259
全 部 床 義 歯 学	262
部 分 床 義 歯 学	264
冠 ・ 架 工 義 歯 学	266
保 存 修 復 学	268
歯 内 療 法 学	273
歯 周 病 学	275
小 児 歯 科 学	278
歯 科 矯 正 学	280
口 腔 外 科 学	282
歯 科 麻 酔 学	286
歯 科 放 射 線 学	289
障害者歯科学・高齢者歯科学	291
摂 食 嚥 下 療 法 学	293
医 療 面 接 法	294
2020年度 6 学年 日程表	295
2020年度 第 6 学年 年間予定	306

総合講義 (E6010)

第6学年（前期・後期）
講義 必修

【担当者】

基礎系・臨床系各講座の教員

【一般目標（GIO）】

臨床に必要な歯科医学および口腔衛生に関して、歯科医師として具有すべき知識および技能を復習・修得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 必修の基本的事項に関する知識を修得する。
2. 人体の正常構造と機能を理解する。
3. 発生、成長、発達、加齢に関する知識を修得する。
4. 咬合と咀嚼に関する知識を修得する。
5. 病因、病態に関する知識を修得する。
6. 疫学に関する知識を修得する。
7. 主要症候に関する知識を修得する。
8. 医療面接と診察に関する知識を修得する。
9. 検査に関する知識を修得する。
10. 治療に関する知識を修得する。
11. 予防と健康管理・増進に関する知識を修得する。
12. 社会と保健医療福祉に関する知識を修得する。
13. 歯顎口腔の発育異常・加齢に伴う疾患について理解する。
14. 歯・歯髄・歯周組織の疾患について理解する。
15. 咬合・咀嚼障害について理解する。
16. 顎・口腔領域の疾患について理解する。
17. 歯科疾患の予防・管理について理解する。
18. 歯科材料と生体材料について理解する。

【教科書・参考書】

【教育（学習）方略（LS）】

1. 当日の総合講義内容につき、自学自習を行う。
2. 総合講義に関連した歯科医師国家試験過去問題について復習する。

【フィードバック方法】

定期試験に解説を行う。

【評価方法（Evaluation）】

1. 各期の評価は Weekly Test を30%、定期試験を70%とする。
2. 各期の評価Ⅰ：Ⅱ：Ⅲ：Ⅳ＝1：1：0.6：1.4として算出した総合評価を総合講義の評価とする。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

各教科の準備学習時間（予習・復習）を参照

【オフィスアワー】

各教科のオフィスアワーを参照

口腔解剖学

担当者	教 授：金銅英二
授業概要	頭頸部の骨格系、筋系、脈管系、神経系およびこれらの関連についてと、口腔の形態と構造について講義する。
教科書	伊藤隆：「解剖学講義」（南山堂）
参考書	中塚敏弘：「口腔解剖学サイドリーダー」（学建書院） 矢島俊彦・高野吉郎監訳：「リープゴット 歯科学のための解剖学」（西村書店） 相磯貞和訳：「ネッター解剖学アトラス」（南江堂） 山田英智監訳：「図解 解剖学事典」（医学書院） 小林茂夫等編：「歯科学学生のための解剖学実習」（南江堂） 金銅英二等編：「口腔顔面痛診断と治療ガイドブック」（医歯薬出版）
フィードバック方法	Daily Test、Weekly Test 理解度をフィードバックする。
注意事項	
準備学習時間 (予習・復習)	90分 予 習：講義の内容をシラバスで確認し、教科書・解剖学図譜を熟読し受講すること。(60分) 復 習：講義内容を整理・確認し復習すること。(30分)
オフィスアワー	水曜日 16:30～17:30まで 本館地階 解剖実習室

【授業日程】

回数	授業日時	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
1	3月27日(金) 3時限	頭頸部骨格系、顎関節	口腔を構成する頭蓋骨を列挙できる。 上顎骨を説明できる。 下顎骨を説明できる。 口蓋骨を説明できる。 蝶形骨を説明できる。 側頭骨を説明できる。 後頭骨を説明できる。 顎関節の形態と構造を説明できる。 顎関節の運動と筋の関係を説明できる。 側頭下窩の範囲と内容を説明できる。	金銅 英二
2	4月8日(水) 3時限	頭頸部の筋系 顎運動、咀嚼運動	頭頸部の筋および顎運動、咀嚼運動に関する詳細で正確な説明ができる。	金銅 英二
3	6月29日(月) 1時限	頭頸部筋系 頭頸部脈管系 頭頸部神経系(1) 頭頸部内臓(1)	頭頸部筋系について説明できる。 頭頸部脈管系の知識を説明できる。 頭頸部の神経について説明できる。 口腔、舌、咽頭、喉頭の構造について説明できる。	金銅 英二
4	6月29日(月) 2時限	頭頸部筋系 頭頸部脈管系 頭頸部神経系(2) 頭頸部内臓(2)	頭頸部筋系について説明できる。 頭頸部脈管系の知識を説明できる。 頭頸部の神経について説明できる。 口腔、舌、咽頭、喉頭の構造について説明できる。	金銅 英二
5	9月18日(金) 3時限	頭頸部神経系(3) 頭頸部内臓(3)	頭頸部の神経について説明できる。 口腔、舌、咽頭、喉頭の構造について説明できる。	金銅 英二

回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
6	10月7日(水) 3時限	口腔 口唇、頬、口蓋、口峽、口腔底、唾液腺、舌 骨折と骨・筋、麻痺と神経、脈拍と動脈、痛みと神経、唾液分泌と神経、味覚と神経、咀嚼と筋・神経、歯の異常、歯の喪失と顎骨の変化	頭頸部の神経について説明できる。 口腔、舌、咽頭、喉頭の構造について説明できる。	金銅 英二
7	10月13日(火) 3時限	頭蓋骨 頭頸部筋系 頭頸部神経系 頭頸部脈管系 咀嚼筋、表情筋、舌骨上筋、舌骨下筋 三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、舌下神経、自律神経系 外頰動脈、顔面動脈、舌動脈、顎動脈	頭蓋骨とそれらに関連する筋、神経、脈管の説明ができる。 頭頸部の神経について説明できる。	金銅 英二
8	10月27日(火) 3時限	疼痛メカニズム 非菌原性疼痛 脳と情動、記憶	疼痛のメカニズム特に非菌原性疼痛について説明できる。 脳と情動や記憶について説明できる。	金銅 英二
9	12月4日(金) 1時限	総括	8回の講義内容を総括できる。	金銅 英二

口腔組織学	
担当者	教 授：中村浩彰、平賀徹
授業概要	国家試験対策として組織学および口腔組織学の復習を行う。 1. 組織学 2. 口腔組織・発生学
教科書	牛木辰夫：「入門組織学」（南江堂） 脇田稔他編：「口腔組織学・発生学（第2版）」（医歯薬出版）
参考書	中村浩彰：歯科国試パーフェクトマスター「口腔組織・発生学」（医歯薬出版）
フィードバック方法	定期試験後に解説を行う。
注意事項	
準備学習時間 (予習・復習)	90分 予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書で予習を行うこと。(30分) 復 習：講義ノート、配布されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。 (60分)
オフィスアワー	金曜日 16:30～18:00 本館4階西棟 口腔解剖学講座 医局

【授業日程】

回数	授業日時	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
1	3月26日(木) 1時限	歯の構造 1. エナメル質 2. 象牙質 3. 歯髄 4. セメント質	エナメル質、象牙質、歯髄およびセメント質の組織学的特徴を説明できる。	中村 浩彰
2	3月26日(木) 2時限	口腔組織の構造 1. 歯周組織 2. 口腔粘膜 歯の発生	1. 歯周組織の組織学的特徴を説明できる。 2. 口腔粘膜の特徴を部位ごとに説明できる。 3. 歯の発生について説明できる。	中村 浩彰
3	6月10日(水) 3時限	顔面の発生 顎関節 唾液腺	1. 鰓弓について説明できる。 2. 口蓋の発生について説明できる。 3. 顎関節の構造について説明できる。 4. 唾液腺の組織学的特徴について説明できる。	中村 浩彰
4	8月21日(金) 3時限	1. 細胞 2. 上皮組織 3. 結合組織 4. 軟骨・骨組織 5. 血液 6. 筋組織 7. 神経組織	1. 上皮を形態学的に分類できる。 2. 結合組織の線維要素と細胞要素を説明できる。 3. 骨組織の細胞について説明できる。 4. 赤血球、白血球および血小板の形態と機能を説明できる。 5. 筋組織の構造と機能を説明できる。	中村 浩彰
5	8月27日(木) 3時限	組織学各論（消化器系、循環器系、呼吸器系、泌尿器・生殖器系、内分泌系、免疫系）	1. 消化器系の基本構造と機能を説明できる。 2. 内分泌器官の構造、機能およびホルモンについて説明できる。 3. リンパ性器官の構造と機能を説明できる。	中村 浩彰
6	10月1日(木) 2時限	1. 歯の加齢変化 2. 歯周組織の加齢変化 3. 口腔組織の加齢変化	1. エナメル質、象牙質、歯髄およびセメント質の加齢変化を説明できる。 2. 歯周組織の加齢変化を説明できる。 3. 口腔組織の加齢変化について説明できる。	中村 浩彰

回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
7	11月12日(木) 3 時限	歯と顔面の発生 1. 神経堤 2. 歯の発生 3. 顔面と口蓋の形成	1. 神経堤について説明できる。 2. 歯の発生について説明できる。 3. 顔面と口蓋の形成について説明できる。	中村 浩彰
8	11月24日(火) 3 時限	組織学総論・各論 1. 上皮組織 2. 結合組織 3. 血液と骨髓 4. 内分泌器官	1. 上皮を形態学的に分類できる。 2. 結合組織の線維要素と細胞要素を説明できる。 3. 赤血球、白血球および血小板の形態と機能を説明できる。 4. 内分泌器官の構造、機能およびホルモンについて説明できる。	中村 浩彰
9	12月 4 日(金) 2 時限	1. 人体の発生 2. 膜内骨化と軟骨内骨化 3. 石灰化機構	1. 初期発生について説明できる。 2. 膜内骨化と軟骨内骨化について説明できる。 3. 石灰化機構について説明できる。	中村 浩彰

口腔生理学

担当者	教 授：北川純一 講 師：海野俊平
授業概要	歯科医師国家試験出題基準にある生理学・口腔生理学関連の項目のうち、重要なもの、理解が難しいものを中心に解説する。
教科書	プリントを配付する。
参考書	和泉博之・浅沼直和編：「ビジュアル生理学・口腔生理学（第3版）」（学建書院） 森本俊文・山田好秋・二ノ宮裕三・岩田幸一編：基礎歯科生理学（第6版）」（医歯薬出版）
フィードバック方法	Weekly Test、定期試験における正解率の低い問題をくり返し解説する。
注意事項	
準備学習時間 （予習・復習）	60分 予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書で予習を行うこと。（15分） 復 習：講義ノート、配付されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。（45分）
オフィスアワー	随時 18：00～19：00 実習館3階 口腔生理学講座教室

【授業日程】

回数	授業日時	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担当者
1	3月24日(火) 1時限	興奮性組織（神経・筋）、末梢神経・中枢神経	静止膜電位と活動電位について説明できる。 神経の興奮伝導について説明できる。 神経線維の分類について説明できる。 シナプスにおける興奮伝達について説明できる。 骨格筋の構造と収縮機序について説明できる。 筋収縮の種類について説明できる。 心筋の特徴について説明できる。 平滑筋の特徴について説明できる。 脳神経と脊髄神経の機能について説明できる。 自律神経の機能について説明できる。 神経伝達物質について説明できる。 中枢神経系各部の主な機能について概説できる。	北川 純一
2	3月24日(火) 2時限	感覚（感覚の一般的性質・痛覚・歯と歯根膜の感覚・口腔粘膜の感覚・味覚・嗅覚）	感覚受容器について説明できる。 痛覚の特徴について説明できる。 歯の感覚について説明できる。 口腔粘膜の感覚について説明できる。 基本味について説明できる。 味細胞と支配神経について説明できる。 嗅覚受容器について説明できる。	北川 純一
3	6月23日(火) 1時限	顎反射、咀嚼、嚥下、吸嚥、嘔吐	下顎の随意運動と反射を説明できる。 咀嚼の意義と制御機構を説明できる。 嘔吐反射と絞扼反射を説明できる。	北川 純一
4	6月23日(火) 2時限	発声と構音	発声に関わる筋の作用について説明できる。 構音機構について説明できる。 母音の特徴について説明できる。 子音の分類について説明できる。	北川 純一
5	9月1日(火) 3時限	唾液	唾液の生成と分泌機構について説明できる。 唾液腺の神経支配について説明できる。	海野 俊平

回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
6	9月30日(水) 3時限	循環、呼吸、血液	<p>心筋の性質について説明できる。</p> <p>刺激伝導系と心電図について説明できる。</p> <p>血圧受容器について説明できる。</p> <p>血管の収縮調節について説明できる。</p> <p>血液による酸素と二酸化炭素の運搬について説明できる。</p> <p>呼吸ガス受容器について説明できる。</p> <p>血液の酸塩基平衡について説明できる。</p> <p>肺気量について説明できる。</p> <p>呼吸運動について説明できる。</p> <p>赤血球・白血球・血小板および血漿成分の機能について説明できる。</p> <p>血液凝固過程について説明できる。</p> <p>血液型と血球凝集反応について説明できる。</p>	海野 俊平
7	10月6日(火) 3時限	内分泌、消化吸収	<p>ホルモンの作用機構について説明できる。</p> <p>ホルモンによる糖代謝・体液量・カルシウム代謝の調節について説明できる。</p> <p>糖質・タンパク質・脂質の消化吸収について説明できる。</p> <p>消化液の働きと分泌調節について説明できる。</p> <p>ホルモンによる消化機能の調節について説明できる。</p>	海野 俊平
8	10月19日(月) 3時限	総復習Ⅰ（神経、感覚、口腔機能）	<p>興奮性組織と神経系について復習する。</p> <p>感覚と口腔感覚について復習する。</p> <p>顎反射、嚥下、吸嚥、嘔吐、発声について復習する。</p>	北川 純一
9	12月4日(金) 3時限	総復習Ⅱ（唾液、循環、呼吸、血液、内分泌、消化吸収）	<p>唾液について復習する。</p> <p>循環について復習する。</p> <p>呼吸について復習する。</p> <p>血液について復習する。</p> <p>内分泌について復習する。</p>	海野 俊平

口腔生化学

担当者	教 授：宇田川信之、平岡行博、小林泰浩 准教授：山下照仁、中村美どり 講 師：上原俊介 特任教授：高橋直之
授業概要	生命現象の分子メカニズムを理解するために、生化学・分子生物学の基礎知識を学ぶ。 1. 生命の単位 2. 細胞の化学成分 3. 生物体の機能とタンパク質 4. 遺伝子とその継承 5. カルシウム代謝ホルモン 6. 齲蝕の生化学
教科書	宇田川信之：「歯科国試パーフェクトマスター口腔生化学」 金森孝雄：「口腔生化学サイドリーダー（第6版）」（学建書院） 宇田川信之他：「口腔生化学（第5版）」（医歯薬出版）
参考書	
フィードバック方法	試験実施後、疑問や質問等がある場合は試験実施3日間以内にメールにて担当教員に送ること。その後、学生イントラ等で解説する。
注意事項	教科書は必ず持参すること。当日のアシストテストおよび資料類はまとめて保存すること。
準備学習時間 (予習・復習)	90分 予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書で確認すること。(10分) 復 習：当該講義の weekly Test の復習ノートを必ず作成すること。(80分)
オフィスアワー	いつでも OK。要予約。電話：070-5014-3303または E-mail：nobuyuki.udagawa@mdu.ac.jp 実習館2階 総合歯科医学研究所研究室

【授業日程】

回数	授業日時	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
1	3月31日(火) 3時限	酵素、ホルモン、収縮性・輸送タンパク質および遺伝子の種類と役割	各種タンパク質および遺伝子についてその役割を理解する。	宇田川信之
2	4月23日(木) 3時限	受容体タンパク質の特徴とシグナル伝達機構 防御タンパク質の種類と役割および免疫機構とそれによって引き起こされる自己免疫疾患	細胞内のシグナル伝達と免疫調節機構について理解する。	高橋 直之
3	6月22日(月) 1時限	結合組織を構成する構造タンパク質の種類と特徴	結合組織を構成するタンパク質の役割を理解する。	平岡 行博
4	6月22日(月) 2時限	骨の形成と吸収に関与する細胞とその役割	骨形成と骨吸収機構について理解する。	宇田川信之
5	9月23日(水) 3時限	DNA から RNA そしてアミノ酸が合成されタンパク質が産生される機構	セントラルドグマの実体について理解する。	小林 泰浩
6	10月8日(木) 3時限	遺伝子操作技術および遺伝子治療の実際	遺伝子操作技術と遺伝子治療の実際を理解する。	山下 照仁
7	10月9日(金) 3時限	生命現象を支える臓器と栄養素 糖質・脂質・タンパク質の代謝機構	三大栄養素の代謝について理解する。	上原 俊介

回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
8	10月22日(木) 3 時限	骨・象牙質・エナメル質の石灰化メカニズム 血清カルシウム代謝調節ホルモン（副甲状腺ホルモン・ビタミンD・カルシトニン）の作用機序 ビタミン欠乏症の原因と症状	硬組織の形成（石灰化）について理解する。 血清カルシウム濃度の調節機構について理解する。	中村美どり
9	12月7日(月) 1 時限	齲蝕の生化学 代用糖（非齲蝕性甘味料）の種類とその性質	齲蝕の発症と予防について生化学的に理解する。	宇田川信之

口腔細菌学

担当者	教 授：吉田明弘
授業概要	1. 細菌学総論・各論 2. 免疫学（自然免疫・獲得免疫） 3. アレルギー・自己免疫疾患 4. バイオフィーム 5. 口腔細菌学 6. 化学療法 7. 院内感染 8. 滅菌・消毒 9. ウイルス学 10. 真菌学
教科書	川端重忠他編：「口腔微生物学・免疫学（第4版）」（医歯薬出版） 全国歯科衛生士教育協議会監修：「疾病の成り立ち及び回復過程の促進 2 微生物学」（医歯薬出版）
参考書	寺尾豊著：「歯科国試パーフェクトマスター 口腔微生物学・免疫学」（医歯薬出版）
フィードバック方法	定期試験実施後、正解率が低い問題に対し講義中に解説する。
注意事項	本講義は歯科医師国家試験出題基準に基づいた重要事項のみを取り扱うため、講義で取り扱わない基礎的知識については各自学習を要する。講義は予習を前提に進めるため、講義範囲の予習をして講義に臨むこと。講義には教科書・ノート・カラーペンを持参すること。
準備学習時間 （予習・復習）	90分 予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書等で予習を行う。（45分） 復 習：講義ノート、配付資料を用いて復習し、教科書等を利用して各自知識を整理する。（45分）
オフィスアワー	金曜日 16：30～17：30 本館5階東棟 口腔細菌学講座研究室 要予約（akihiro.yoshida@mdu.ac.jp）

【授業日程】

回数	授業日時	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担当者
1	3月23日(月) 3時限	免疫学①	自然免疫と抗原提示について説明できる。	吉田 明弘
2	4月16日(木) 3時限	免疫学②	液性免疫について説明できる。 細胞性免疫について説明できる。 アレルギー・自己免疫疾患について説明できる。	吉田 明弘
3	7月20日(月) 3時限	医科細菌学①	医学上重要な細菌感染症について説明できる。	吉田 明弘
4	9月24日(木) 3時限	医科細菌学②	医学上重要な細菌感染症について説明できる。 薬剤耐性と院内感染について説明できる。	吉田 明弘
5	10月23日(金) 3時限	ウイルス学①	ウイルスおよびウイルス感染症について説明できる。 DNA ウイルスおよびウイルス感染症について説明できる。	吉田 明弘
6	11月6日(金) 3時限	ウイルス学②	RNA ウイルスおよびウイルス感染症について説明できる。	吉田 明弘
7	11月17日(火) 3時限	口腔細菌学①	口腔バイオフィーム、菌垢について説明できる。 口腔から全身に波及する感染症について説明できる。	吉田 明弘
8	12月7日(月) 2時限	口腔細菌学②	う蝕細菌の特徴と病原性について説明できる。 菌周病細菌の特徴と病原性について説明できる。	吉田 明弘

口腔病理学	
担当者	准教授：村上聡 助 教：嶋田勝光
授業概要	1. 細胞損傷、修復、循環障害、炎症、嚢胞および腫瘍などの総論を復習する。 2. 病理組織診断の基礎的知識を復習する。 3. 口腔領域の代表的な炎症性疾患、粘膜疾患、嚢胞、腫瘍および腫瘍性疾患の病理学的特徴を復習する。
教科書	賀来亨・山本浩嗣編：「スタンダード口腔病理学」(学建書院) 高木實編：「口腔病理アトラス（第2版）」(文光堂) 下野正基編：「スタンダード病理学」(学建書院)
参考書	Cotran,Kumar&Collins：「Robbins Pathologic Basis of Disease」7th edition (W.B.Saunders Co.) 横山武他編：「現代の病理学、総論・各論」(金原出版) 向井清・真鍋俊明、深山正久編：「外科病理学（第4版）」(文光堂) 鈴木利光・森道夫監訳：「アンダーウッド 病理学」(西村書店) 川原栄・横井豊治監訳：「ルービン カラー基本病理学」(西村書店)
フィードバック方法	Weekly Test の低正答率項目については講義中に解説する。
注意事項	1. 授業に際して、以下のような場合は原則として欠席とする。 ①遅刻、②無断退出など 2. 講義に持参するもの ①3年次の授業ノート・資料（学生イントラ資料を含む：再配布しない） ②3年次のレジュメ 3. 学生イントラにアップされた資料は著作権に留意して適宜利用する。
準備学習時間 (予習・復習)	120分 予 習：講義内容に該当する項目を3年次の講義ノートを利用して復習する。(60分) 復 習：講義内容の項目について再整理し、疾患の名称・病態・病理組織像を理解する。(60分)
オフィスアワー	随時 本館東棟5階口腔病理学講座医局 予約の場合 1) 口腔病理学講座医局に来室のうえ日時を予約 2) メール予約の場合は必ず返信メールを確認して来室 村上：satoshi.murakami@mdu.ac.jp

【授業日程】

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	4月6日(月) 3時限	病因、病態（必修・総論） 1. 細胞傷害と修復 2. 腫瘍	1. 細胞傷害と組織傷害について説明できる。 2. 壊死の多様性、原因、意義および形態的所見の特徴を説明できる。 3. 壊死とアポトーシスについて説明できる。 4. 萎縮萎縮と仮性肥大を説明できる。 5. 修復と再生について説明できる。 6. 化生を説明できる。 7. 肉芽組織の構成成分と意義を説明できる。 8. 創傷治癒に関与する細胞とその過程を説明できる。 9. 異物の種類と処理反応を説明できる。 10. 器質化を説明できる。 11. 腫瘍の定義と原因を説明できる。 12. 腫瘍の組織発生を説明できる。 13. 異型性、退形成および分化を説明できる。 14. 腫瘍の異型性と多形性を説明できる。 15. 局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。 16. 発癌機構を概説できる。	村上 聡

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
2	4月15日(水) 3時限	病因、病態 (必修・総論・各論) 1. 炎症 2. 感染症 3. 免疫異常 4. 移植免疫	1. 炎症の定義と発生機序を説明できる。 2. 炎症細胞の種類と働きを説明できる。 3. 炎症の分類、病理組織学的変化および経時的変化を説明できる。 4. 炎症の原因別分類と病因特異的組織変化を説明できる。 5. 急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。 6. 自己免疫疾患を列挙できる。 7. 移植にともなう免疫反応を概説できる。	嶋田 勝光
3	4月28日(火) 3時限	病因、病態 (必修・総論) 1. 循環障害	1. 虚血、充血およびうっ血の徴候、原因および転帰を説明できる。 2. 出血の原因、種類および転帰を説明できる。 3. 血栓症の形態学、成因と条件および転帰を説明できる。 4. 塞栓症について塞栓の運ばれる経路、塞栓の種類および転帰を説明できる。 5. 梗塞の種類、形態および転帰を説明できる。 6. 浮腫の原因とその転帰を説明できる。 7. ショックの原因と成因を説明できる	嶋田 勝光
4	6月16日(火) 3時限	病因、病態 (必修・総論・各論) 1. 口腔粘膜疾患	1. 口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。	嶋田 勝光
5	6月26日(金) 1時限	病因、病態 (必修・総論・各論) 1. 嚢胞	1. 顎骨に発生する歯源性嚢胞の組織学的特徴を列挙できる。 2. 顎骨に発生する非歯源性嚢胞の組織学的特徴を列挙できる。 3. 軟組織に発生できる嚢胞の組織学的特徴を列挙できる。	嶋田 勝光
6	6月26日(金) 2時限	病因、病態 (必修・総論・各論) 1. 歯源性腫瘍 2. 唾液腺腫瘍	1. 歯源性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 2. エナメル上皮腫の特徴、症状および治療法を説明できる。 3. 唾液腺腫瘍の組織学的特徴を列挙できる。	嶋田 勝光
7	9月25日(金) 3時限	病因、病態 (必修・総論・各論) 1. 口腔の非歯源性腫瘍・腫瘍様病変 2. 病理診断法	1. 前癌病変の組織学的特徴を列挙できる。 2. 口腔癌の組織学的特徴を概説できる。 3. 非歯源性良性腫瘍の組織学的特徴を列挙できる。 4. 腫瘍類似疾患の組織学的特徴を列挙できる。 5. 生検と剖検を概説できる。	嶋田 勝光
8	11月2日(月) 3時限	総括：病因、病態 1. 細胞傷害と修復 2. 腫瘍 3. 循環障害 4. 炎症 5. 感染症 6. 免疫異常 7. 移植免疫	1. 細胞傷害と組織傷害について説明できる。 2. 壊死とアポトーシスを説明できる。 3. 萎縮、仮性肥大、修復、再生、化生を説明できる。 4. 肉芽組織について説明できる。 5. 創傷治癒、異物処理を説明できる。 6. 腫瘍の定義と原因を説明できる。 7. 腫瘍の組織発生を説明できる。 8. 腫瘍の増殖、浸潤、転移を説明できる。 9. 発癌機構を概説できる。 10. 循環障害の種類と各々の原因と病態を説明できる。 11. 炎症細胞の種類と働きを説明できる。 12. 炎症の分類、病理組織学的変化および経時的変化を説明できる。 13. 炎症の原因別分類と病因特異的組織変化を説明できる。 14. 感染症の種類と原因を説明できる。 15. 自己免疫疾患を列挙できる。 16. 移植にともなう免疫反応を概説できる。	村上 聡

回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
9	11月16日(月) 3 時限	総括：顎・口腔領域の疾患 嚢胞	1. 顎骨に発生する菌原性嚢胞の組織学的特徴を列举できる。 2. 顎骨に発生する非菌原性嚢胞の組織学的特徴を列举できる。 3. 軟組織に発生する嚢胞の組織学的特徴を列举できる。	村上 聡
10	11月25日(水) 3 時限	総括：顎・口腔領域の疾患 1. 菌原性腫瘍 2. 唾液腺腫瘍	1. 菌原性腫瘍の種類と特徴を列举できる。 2. エナメル上皮腫の特徴、症状および治療法を説明できる。 3. 唾液腺腫瘍の組織学的特徴を列举できる。	村上 聡
11	12月 7 日(月) 3 時限	総括：顎・口腔領域の疾患 1. 粘膜疾患 2. 口腔の非菌原性腫瘍・腫瘍様病変 3. 病理診断法	1. 口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる 2. 前癌病変の組織学的特徴を列举できる。 3. 口腔癌の組織学的特徴を概説できる。 4. 非菌原性良性腫瘍の組織学的特徴を列举できる。 5. 腫瘍類似疾患の組織学的特徴を列举できる。 6. 生検と剖検を概説できる。	村上 聡

歯科薬理学

担当者	教 授：十川紀夫
授業概要	1. 薬物に関する法律や規定を理解する。 2. 種々の方法で適用された薬物の生体内運命（薬物動態）を理解する。 3. 薬物の作用に関する基本的事項（作用機序）を理解する。 4. 薬物の併用による作用の変化（薬物相互作用）について理解する。 5. 薬物の副作用・有害作用の種類とその予防対策に関する基本的事項を理解する。
教科書	大谷啓一監修、鈴木邦明・戸荀彰史・青木和弘・兼松隆・筑波隆幸編：「現代歯科薬理学（第6版）」（医歯薬出版） 大浦清、坂上宏、戸刈彰史、二藤彰、山崎純編集：「ポイントがよくわかるシンプル歯科薬理学」（永末書店）
参考書	渡邊裕司監訳：「ハーバード大学講義テキスト 臨床薬理学 原書3版」（丸善出版）
フィードバック方法	定期試験実施後、正答率が低い問題に対して、解答例を学生イントラに掲載、または補講等で解説する。
注意事項	薬物と薬物、薬理学と他の科目、基礎と臨床など、薬物に関する「繋がりを」意識しながら勉強すること。
準備学習時間 （予習・復習）	120分 予 習：シラバスを確認し、当該講義範囲の内容について教科書で確認しておくこと。（30分） 復 習：当該講義範囲の内容について、講義資料、教科書、歯科医師国家試験過去問題集などを用いて、関連事項を含め総合的に復習すること。（90分）
オフィスアワー	随時 時間があればできる限り対応します。 実習館3階 歯科薬理学講座教授室

【授業日程】

回数	授業日時	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担当者
1	4月7日(火) 1時限	薬物の作用機序・薬理作用	1. 薬理作用の基本形式と分類を理解する。 2. 薬物の作用機序を理解する。 3. 薬理作用を規定する要因（用量と反応）を理解する。 4. 薬物の併用（協力作用、拮抗作用）を理解する。	十川 紀夫
2	4月7日(火) 2時限	薬物の作用機序・薬理作用	1. 薬理作用の基本形式と分類を理解する。 2. 薬物の作用機序を理解する。 3. 薬理作用を規定する要因（用量と反応）を理解する。 4. 薬物の併用（協力作用、拮抗作用）を理解する。	十川 紀夫
3	4月24日(金) 3時限	薬物の適用と薬物動態	1. 薬物の適用方法の種類と特徴を理解する。 2. 薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）を理解する。	十川 紀夫
4	6月26日(金) 3時限	薬理作用を規定する要因	1. 薬理作用を規定する要因（感受性）を理解する。 2. 薬物の連用の影響（薬物耐性、蓄積および薬物依存）を理解する。 3. 加齢、病態による薬物動態の変化を理解する。	十川 紀夫
5	7月22日(水) 3時限	薬物相互作用	1. 薬力学的薬物相互作用を理解する。 2. 薬物動態学的薬物相互作用を理解する。	十川 紀夫
6	9月14日(月) 3時限	1. 薬物相互作用薬物の副作用 2. 有害作用と医薬品開発	1. 薬物の副作用、有害作用の種類とその予防対策に関する基本的事項を理解する。 2. 医薬品開発を理解する。	十川 紀夫

回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
7	10月12日(月) 3 時限	医薬品関連法令	1. 医薬品の分類を理解する。 2. 薬物の表示と保管を理解する。 3. 日本薬局方を理解する。	十川 紀夫
8	10月15日(木) 3 時限	各論および必修該当事項の復習(1)	各論および必修項目に該当する内容を理解する。	十川 紀夫
9	10月26日(月) 3 時限	各論および必修該当事項の復習(2)	各論および必修項目に該当する内容を理解する。	十川 紀夫
10	12月 8 日(火) 1 時限	各論および必修該当事項の復習(3)	各論および必修項目に該当する内容を理解する。	十川 紀夫

歯科理工学

担当者	教 授：黒岩昭弘 特任教授：永澤栄
授業概要	各項目の基礎知識の再確認と専門用語の意味の理解度を再確認する。
教科書	中畠裕他：「スタンダード歯科理工学第7版」（学建書院） 全国歯科衛生士教育協議会監修：「最新歯科衛生士教本歯科材料」（医歯薬出版）
参考書	2年次のノート
フィードバック方法	各確認テストで行なわれた設問について理解度の低い項目について講義・解説においてフィードバックを行う。
注意事項	教科書は必ず最新版を持参すること。 新たなノートを作製すること。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予 習：シラバスの学習項目を確認し、教科書および2年次ノートの目を通しておくこと。(20分) 復 習：講義内容についてノート、教科書をもとに復習し、理解できていないところがないか再確認すること。(40分)
オフィスアワー	月曜日～金曜日 午後5：30以降（黒岩） 実習館1階 歯科理工学医局 曜日と時間はE-mail で予約を入れる。上記時間以外は居ないことがあるので、E-mail：akihiro.kuroiwa@md.u.ac.jp で予約を入れる。

【授業日程】

回数	授業日時	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
1	3月26日(木) 3時限	生体材料の科学	材料の性質を説明する。	黒岩 昭弘 永澤 栄
2	4月17日(金) 1時限	高分子材料（レジン）	高分子材料について、取扱いと性質について理解する。	黒岩 昭弘
3	4月17日(金) 2時限	高分子材料（レジン）	高分子材料について、取扱いと性質について理解する。	黒岩 昭弘
4	6月22日(月) 3時限	接着処理・技術 装着用材料	歯質接着処理・歯科材料接着処理材料について理解する。	黒岩 昭弘
5	6月25日(木) 1時限	金属・鋳造・接合・熱処理技術	金属とその成形技術について理解する。	黒岩 昭弘
6	6月25日(木) 2時限	金属・鋳造・接合・熱処理技術	金属とその成形技術について理解する。	黒岩 昭弘
7	7月2日(木) 3時限	印象・模型材料	印象、模型について理解する。	黒岩 昭弘
8	8月28日(金) 3時限	陶材	陶材、陶材の築盛・焼成、陶材と金属との接合を理解する	黒岩 昭弘
9	10月2日(金) 3時限	インプラント・歯科矯正用材料	インプラント・歯科矯正用材料を理解する。	黒岩 昭弘
10	10月5日(月) 3時限	診療用器械・研磨	診療用器械・研磨を理解する。	黒岩 昭弘
11	10月16日(金) 3時限	総括①	歯科材料を説明する	黒岩 昭弘
12	12月8日(火) 2時限	総括②	歯科材料を説明する	黒岩 昭弘

公衆衛生学

担当者	教授：山賀孝之 助 教：定岡直 特任教授：牧 茂
授業概要	近年の我が国における歯科保健の向上には著しいものがあるが、超高齢化社会に際し、より一層の向上が求められる。そこで保健意識を高めるのに必要な手法、科学的根拠をまとめると共に最近の疫学調査の動向についても補足する。 歯科医師として適切な歯科保健・医療・福祉を実践するために、社会と歯科医学との関係についての知識を習得する。
教科書	安井 利一他編：「口腔保健・予防歯科学」（医歯薬出版） 末高 武彦他編：「スタンダード衛生・公衆衛生」（学建書院） 石井 拓男他編：「スタンダード社会歯科学」（学建書院） 社会歯科学研究会編著「歯科五法コンメンタール 第3版」（ヒョーロン）
参考書	末高武彦他編：「新口腔保健学」（医歯薬出版、2009年） 荒川浩久他編：「スタンダード口腔保健学－健康科学として考える（第2版）」（学建書院、2008年） 国民福祉の動向（財団法人厚生統計協会） 厚生労働省ホームページ 世界保健機関（WHO）ホームページ
フィードバック方法	試験実施後の正答、評価への疑問や質問は試験後3日以内に担当教員にその旨申し出ること。その後Q&A形式で学生イントラ、補講等で解説する。
注意事項	2、3、4年次の授業資料に内容を追加記録するか、ノートを作成すること。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書で予習すること。(30分) 復 習：講義ノート、配付されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。(30分)
オフィスアワー	月曜日～金曜日 随時 本館1階東棟 公衆衛生学講座医局

【授業日程】

回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
1	3月13日(金) 2時限	健康の概念、健康増進、健康日本21 健康増進と疾病予防 地域保健	健康の概念を説明できる。 疾病予防について説明できる。 地域保健の概要を説明できる。	山賀 孝之
2	4月10日(金) 1時限	疾病の予防 健康の保持増進 健康の定義と概念	1. 疾病予防の概念について説明できる。 2. 生活習慣と健康について説明できる。 3. 健康保持増進対策について説明できる。 4. 国民の保健医療対策について説明できる。	山賀 孝之
3	4月10日(金) 2時限	感染症予防	感染症の分類、感染経路、感染予防について説明できる。	山賀 孝之
4	4月15日(水) 1時限	院内感染予防 医薬品の安全性 臨床試験	1. 院内感染について説明できる。 2. 医薬品の安全性を理解する。 3. 院内感染について説明できる。 4. 薬機法のGCPを説明できる。	定岡 直
5	4月15日(水) 2時限	チーム医療 地域連携 医療連携 廃棄物	1. チーム歯科医療、地域の保健・医療と歯科医療機関について説明できる。 2. かかりつけ歯科医師の業務を理解する。 3. 廃棄物処理が理解できる。	定岡 直

回数	授業日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
6	4月23日(木) 1時限	医療関係法規 歯科医療機関の管理	1. 医療法、薬事法、薬剤師法について説明できる。 2. 医師法、歯科医師法、歯科衛生士法、歯科技工士法について説明できる。	牧 茂
7	4月23日(木) 2時限	医療関係法 歯科医療機関の管理	1. 医療法、薬事法、薬剤師法について説明できる。 2. 医師法、歯科医師法、歯科衛生士法、歯科技工士法について説明できる。	牧 茂
8	5月7日(木) 1時限	医療事故・医療裁判 社会と歯科医療	1. 医療事故と医療過誤について説明できる。 2. 社会的問題について説明できる。	牧 茂
9	5月7日(木) 2時限	医療事故・医療裁判 社会と歯科医療	1. 医療事故と医療過誤について説明できる。 2. 社会的問題について説明できる。	牧 茂
10	5月15日(金) 3時限	医療制度、学校保健行政、労働衛生、 環境保全、歯科保健医療	1. 保健・医療制度の特徴、保健・医療・福祉の組織との連携、保健行政、歯科保健医療の情報について説明できる。 2. 地域保健法が説明できる。 3. 保健の業務等が理解できる。	牧 茂
11	6月11日(木) 3時限	統計学の基本 スクリーニング検査	調査方法と統計的分析法を説明できる。 疫学研究法を説明できる。 歯科領域のスクリーニング調査について説明できる。	定岡 直
12	6月12日(金) 3時限	人口統計	人口動向、人口問題を説明できる。	定岡 直
13	6月23日(火) 3時限	保健統計	主な保健医療統計を説明できる。	定岡 直
14	6月30日(火) 1時限	母子保健・母子歯科保健	ライフステージにおける予防を説明できる。 集団レベルの予防と健康管理（母子歯科保健）を説明できる。	牧 茂
15	6月30日(火) 2時限	学校保健・学校歯科保健	ライフステージにおける予防を説明できる。 集団レベルの予防と健康管理（学校歯科保健）を説明できる。	牧 茂
16	7月3日(金) 1時限	産業保健、産業歯科保健 成人・高齢者保健、成人・高齢者歯科保健	産業保健について説明できる。 成人・高齢者保健を説明できる。	牧 茂
17	7月3日(金) 2時限	産業保健、産業歯科保健 成人・高齢者保健、成人・高齢者歯科保健	産業保健について説明できる。 成人・高齢者保健を説明できる。	牧 茂
18	7月27日(月) 3時限	精神保健	1. 精神保健について説明できる。 2. 発育段階別の精神保健について説明できる。 3. 精神保健医療福祉制度について説明できる。	牧 茂
19	9月4日(金) 1時限	社会保障制度 保健・医療・福祉の仕組みと関係法規	1. 社会保障制度について説明できる。 2. 医療機関の開設と管理について説明できる。	牧 茂
20	9月4日(金) 2時限	社会保障制度 保健・医療・福祉の仕組みと関係法規	1. 社会保障制度について説明できる。 2. 医療機関の開設と管理について説明できる。	牧 茂
21	9月14日(月) 1時限	保健・医療・福祉の仕組み 介護保険制度	1. 介護保険制度について説明できる。 2. 地域連携医療に携わる職種を理解する。	牧 茂
22	9月14日(月) 2時限	保健・医療・福祉の仕組み 介護保険制度	1. 介護保険制度について説明できる。 2. 地域連携医療に携わる職種を理解する。	牧 茂

回数	授業日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
23	9月30日(水) 1時限	環境保健	環境による健康への影響を説明できる。 環境基準と環境汚染を説明できる。	定岡 直
24	9月30日(水) 2時限	食品保健、食中毒	国民栄養の現状について説明できる。 日本人の食事摂取基準について説明できる。	定岡 直
25	10月1日(木) 3時限	医療経済	1. 国民医療費が理解できる。 2. 健康日本21の基本項目が理解できる。	山賀 孝之
26	10月7日(水) 1時限	口腔疾患の疫学	口腔疾患の統計的特徴を説明できる。	山賀 孝之
27	10月7日(水) 2時限	口腔疾患の疫学	口腔疾患の統計的特徴を説明できる。	山賀 孝之
28	10月8日(木) 1時限	生活習慣と口腔の健康 口腔清掃 プラークコントロール	口腔疾患の予防と健康管理を理解する。 生活習慣に関して適切に指導できる。 口腔と全身との関連を説明できる。 口腔清掃について説明できる。	山賀 孝之
29	10月8日(木) 2時限	生活習慣と口腔の健康 口腔清掃 プラークコントロール	口腔疾患の予防と健康管理を理解する。 生活習慣に関して適切に指導できる。 口腔と全身との関連を説明できる。 口腔清掃について説明できる。	山賀 孝之
30	10月13日(火) 1時限	齲蝕の予防・管理	齲蝕の予防、保健指導について説明できる。	山賀 孝之
31	10月13日(火) 2時限	齲蝕のリスク管理・保健指導	齲蝕の予防、リスク管理、保健指導について説明できる。	山賀 孝之
32	10月14日(水) 3時限	国際保健	1. 国際保健について説明できる。 2. 日本の保健と社会保障制度の状況について説明できる。	牧 茂
33	10月20日(火) 3時限	保健衛生統計処理	歯科医師として知っておくべき統計処理に伴う計算ができる。	牧 茂
34	11月26日(木) 1時限	歯周疾患の予防・管理・保健指導	歯周疾患の予防、保健指導について説明できる。	山賀 孝之
35	12月8日(火) 3時限	まとめ、補完	総まとめと補完	山賀 孝之

全部床義歯学

担当者	教 授：黒岩昭弘 講 師：松山雄喜
授業概要	全部床における基礎的な知識の確認・応用的な臨床的手技について理解する。
教科書	山縣健佑・黒岩昭弘：「図説 無菌顎補綴学」（学建書院） 市川哲雄他編：「無菌顎補綴治療学（第3版）」（医歯薬出版） 黒岩昭弘：「全部床義歯学サイドリーダー（第5版）」（学建書院） 細井紀雄他編：「コンプリートデンチャーテクニク 第6版」（医歯薬出版）
参考書	麻布デンタルアカデミー：「実践2019⑦ 全部床義歯学」
フィードバック方法	試験の正答、評価への疑問や質問は担当教員に申し出ること。その後 Q&A 形式で学生イントラ、補講等で解説する。
注意事項	指定された教科書、参考書を必ず持参すること。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予 習：各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。(15分) 復 習：講義中に指定した教科書の項目や写真を中心に講義内容を復習すること。(45分)
オフィスアワー	講義実施日 16：30～17：30 本館 4 階東棟 歯科補綴学講座医局 連絡先：TEL 0263－51－2046

【授業日程】

回数	授業日時	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
1	3月23日(月) 1時限	歯科インプラント総論	インプラントの歴史や基本構造を理解し、利点や欠点、種類や特性について学習する。天然歯との違いについて理解する。	黒岩 昭弘
2	3月23日(月) 2時限	インプラント治療のリスクファクター	インプラント治療を把握する上で重要である全身疾患やリスクファクターについて理解する。	黒岩 昭弘
3	3月30日(月) 3時限	人体の正常構造と機能 咬合・咀嚼	基準平面、彎曲について理解する。 下顎位、下顎運動、顎路、切歯路について理解する。 咬合様式、咀嚼について理解する。	黒岩 昭弘
4	4月8日(水) 1時限	主要症状、検査、治療 高齢者の歯科治療	全部床義歯製作時に行う検査について理解する。 下顎運動の記録方法について理解する。 無菌顎顎堤の経時変化について理解する。 歯の喪失による顔貌の変化について理解する。 加齢に伴う顎口腔の変化について理解する。	黒岩 昭弘
5	4月8日(水) 2時限	全部床義歯の要件と構成	金属床義歯について理解する。 即時義歯について理解する。	黒岩 昭弘
6	6月25日(木) 3時限	診査と診断 治療計画・前処置	ランドマークの補綴的意義について理解する。 全部床義歯に関与する筋について理解する。 被圧変位量について理解する。 フラビーガム・義歯性線維腫・義歯性口内炎の病態および対処方法について理解する。 治療計画・前処置を理解する。	黒岩 昭弘
7	7月1日(木) 3時限	印象、模型、咬合床	印象採得について理解する。 模型の製作方法について理解する。 咬合床の製作方法について理解する。	黒岩 昭弘
8	7月22日(木) 1時限	咬合採得(1)	咬合採得の流れを理解する。	黒岩 昭弘

回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
9	7月22日(水) 2時限	咬合採得(2)	フェイスボウについて理解する。	黒岩 昭弘
10	9月2日(水) 1時限	咬合採得(3)	ゴシックアーチについて理解する。	黒岩 昭弘
11	9月2日(水) 2時限	咬合器(1)	咬合器について理解する。	黒岩 昭弘
12	9月28日(月) 2時限	咬合器(2)	半調節性咬合器を用いる場合の咬合採得の流れについて理解する。 顎路調整について理解する。	松山 雄喜
13	9月29日(火) 2時限	人工歯排列(1)	前歯部人工歯排列、臼歯部人工歯排列について理解する。 交叉咬合排列について理解する。 リンガライズドオクルージョンについて理解する。	黒岩 昭弘
14	10月6日(火) 1時限	人工歯排列(2)	調節彎曲について理解する。 咬合平衡について理解する。	黒岩 昭弘
15	10月6日(火) 2時限	歯肉形成、試適	歯肉形成、蠟義歯試適について理解する。 パラボグラムについて理解する。	黒岩 昭弘
16	10月9日(金) 1時限	埋没、重合	埋没重合後の咬合器再装着について理解する。	黒岩 昭弘
17	10月9日(金) 2時限	削合、研磨	削合について理解する。	黒岩 昭弘
18	11月26日(木) 2時限	装着、調整①	新義歯装着、調整について理解する。	松山 雄喜
19	12月10日(木) 1時限	装着、調整②	新義歯装着、調整について理解する。	松山 雄喜
20	12月16日(水) 3時限	術後管理、患者教育①	術後管理、患者教育について理解する。	黒岩 昭弘
21	12月24日(木) 2時限	術後管理、患者教育②	術後管理、患者教育について理解する。	黒岩 昭弘

部分床義歯学

担当者	教 授：黒岩昭弘 講 師：笠原隼男、松山雄喜、富士岳志
授業概要	部分床義歯における基礎的な知識の確認・応用的な臨床の手技について理解する。
教科書	藍稔他編：「スタンダードパーシャルデンチャー補綴学（第3版）」（学建書院） 歯科医師国家試験対策研究会編：「セレクト部分床義歯 縮刷版」（学建書院） 赤川安正他編：「歯科学生のパーシャルデンチャー（第6版）」（医歯薬出版） 五十嵐順正編：「パーシャルデンチャーテクニック（第5版）」（医歯薬出版）
参考書	麻布デンタルアカデミー：「実践2020⑧ 部分床義歯学」
フィードバック方法	試験実施後、評価に対する疑問や質問等がある場合は、試験実施後一週間以内にメールや口頭等で科目担当教授に連絡すること。その後、Q & A 形式でイントラまたは補講等で解説する。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予 習：各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。（15分） 復 習：講義中に指定した教科書の項目や図を中心に講義内容を復習すること（45分）
オフィスアワー	講義実施日 16：30～17：30 本館4階東棟 歯科補綴学講座医局 連絡先：TEL 0263-51-2046

【授業日程】

回数	授業日時	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担当者
1	5月13日(水) 1時限	インプラントのための局所診査	術前診断における診断用ワックスアップやステント、CT シミュレーション意義を理解する。	笠原 隼男
2	5月13日(水) 2時限	インプラント治療に必要な解剖学	上顎骨や下顎の形態や骨質、インプラントで注意すべき血管、神経などを理解する。また、歯槽骨の経時的変化を把握する。	笠原 隼男
3	5月22日(金) 1時限	部分床義歯学総論(1)	部分床義歯とブリッジの違いについて理解する。 部分床義歯の構成要素について理解する。 支持、把持、維持について理解する。	松山 雄喜
4	5月22日(金) 2時限	部分床義歯学総論(2)	直接支台装置、間接支台装置について理解する。	松山 雄喜
5	6月1日(月) 3時限	部分床義歯学総論(3)	欠損の分類について理解する。 義歯の支持様式について理解する。 義歯の回転離脱に対する対応について理解する。	松山 雄喜
6	6月29日(月) 3時限	クラスプ(1)	キャストクラスプ、ワイヤークラスプについて理解する。 サーカムファレンシャルクラスプ、パークラスプについて理解する。	笠原 隼男
7	7月21日(火) 3時限	クラスプ(2)	クラスプの種類について理解する。	笠原 隼男
8	7月27日(月) 1時限	その他の支台装置	クラスプ以外の支台装置について理解する。	笠原 隼男
9	7月27日(月) 2時限	その他の構成装置 連結装置	レスト、隣接面板の役割について理解する。 大連結子、小連結子について理解する	笠原 隼男
10	8月31日(月) 3時限	診査・診断 補綴的前処置	部分床義歯製作で行う診査・診断について理解する。 補綴的前処置について理解する	笠原 隼男

回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
11	9月23日(水) 1時限	印象採得	部分床義歯の印象採得について理解する。	笠原 隼男
12	9月23日(水) 2時限	設計	部分床義歯の設計について理解する。	松山 雄喜
13	10月15日(木) 1時限	模型	作業模型に行う処置について理解する。	富士 岳志
14	10月15日(木) 2時限	メタルフレームの製作	メタルフレームの製作手順について離解する。	富士 岳志
15	10月22日(木) 1時限	咬合採得	部分床義歯の咬合採得について理解する。	笠原 隼男
16	10月22日(木) 2時限	口腔内試適、装着、調整	新義歯の装着、調整について理解する。	笠原 隼男
17	11月13日(金) 3時限	術後管理	術後管理について理解する。	富士 岳志
18	12月10日(木) 2時限	義歯修理	義歯破損の原因、義歯修理の方法について理解する。	富士 岳志
19	12月17日(木) 1時限	特殊な義歯	顎義歯、スプリントについて理解する。	笠原 隼男
20	12月24日(木) 3時限	部分床義歯の総復習	これまで学習した内容について復習する。	笠原 隼男

冠・架工義歯学

担当者	教 授：倉澤郁文 講 師：笠原隼男
授業概要	4年次の冠・架工義歯学および同実習、5年次の臨床講義、臨床実習で得られた知識の関連性について理解を深める。また専門的な補綴装置の適応・設計・手技について理解する。
教科書	矢谷博文他編：「クラウンブリッジ補綴学（第5版）」（医歯薬出版） 會田雅啓他編：「冠橋義歯補綴学テキスト」（永末書店） 石橋寛二他編：「クラウンブリッジテクニック」（医歯薬出版） 赤川安正他編：「よくわかる口腔インプラント学」（医歯薬出版）
参考書	古谷野潔他編：「プロソドンティクス（第1巻）」（永末書店） 冠・架工義歯学（4年次講義）配付のプリント 冠・架工義歯学実習（4年次）実習書 日本補綴歯科学会編：「歯科補綴学専門用語集」（医歯薬出版） 菅沼岳史：「クラウン・ブリッジ補綴学サイドリーダー（第3版）」（学建書院）
フィードバック方法	試験実施後、正解率の低い問題に対して講義で解説する。
注意事項	今までに綴った冠・架工義歯学のノートを活用し、授業後に要点をまとめ、学習効果を高めるように工夫すること。サイドリーダーはわかりやすい挿絵があり、専門用語集は用語の確認に役立つ。復習時に「クラウンブリッジ補綴学（第4版）」の学習の目標に対する答えをそれぞれ数行でまとめると実力が付く。
準備学習時間 （予習・復習）	60分 予 習：実習内容について事前に把握しておくこと。（30分） 復 習：十分に理解できない点については、参考書などを利用して能動的に学習すること。（30分）
オフィスアワー	講義実施日 16：30～17：30 本館4階東棟 歯科補綴学講座医局 質問に先立ち、自ら文献等で調べた場合は、その文献を持参することを推奨する。

【授業日程】

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	4月22日(水) 3時限	冠架工義歯学総論(1)	歯科補綴学の総論を理解する。	倉澤 郁文
2	4月27日(月) 1時限	インプラント補綴治療と予後管理(1)	インプラント補綴設計について理解する。	笠原 隼男
3	4月27日(月) 2時限	インプラント補綴治療と予後管理(2)	インプラント補綴設計について理解する。	笠原 隼男
4	5月18日(月) 1時限	冠架工義歯学総論(2)	歯科補綴学の総論を理解する。	倉澤 郁文
5	5月18日(月) 2時限	冠架工義歯学総論(3)	歯科補綴学の総論を理解する。	倉澤 郁文
6	6月4日(木) 3時限	冠架工義歯学各論(1) クラウンブリッジの製作過程(1)	冠架工義歯の診断について理解する。	倉澤 郁文
7	6月30日(火) 3時限	冠架工義歯学各論(2) クラウンブリッジの製作過程(2)	支台歯形成・印象採得について理解する	倉澤 郁文
8	7月10日(金) 3時限	冠架工義歯学各論(3) クラウンブリッジの製作過程(3)	歯冠補綴装置の種類と用途を理解する。	倉澤 郁文
9	8月20日(木) 3時限	冠架工義歯学各論(4) クラウンブリッジの製作過程(4)	歯冠補綴装置の種類と用途を理解する。	倉澤 郁文

回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
10	8月27日(木) 1時限	冠架工義歯学各論(5) クラウンブリッジの技工操作(1)	冠架工義歯の技工操作について理解する。	笠原 隼男
11	8月27日(木) 2時限	冠架工義歯学各論(6) クラウンブリッジの技工操作(2)	冠架工義歯の技工操作について理解する。	笠原 隼男
12	9月11日(金) 3時限	冠架工義歯学各論(7) クラウンブリッジの技工操作(3)	冠架工義歯の技工操作について理解する。	倉澤 郁文
13	9月24日(木) 1時限	冠架工義歯学各論(8) クラウンブリッジの技工操作(4)	冠架工義歯の技工操作と臨床操作の接点について理解する。	倉澤 郁文
14	9月24日(木) 2時限	冠架工義歯学各論(9) クラウンブリッジの技工操作(5)	冠架工義歯の技工操作と臨床操作の接点について理解する。	倉澤 郁文
15	10月30日(金) 3時限	冠架工義歯学の臨床手技(1)	冠架工義歯の臨床操作を理解する。	倉澤 郁文
16	11月17日(火) 1時限	冠架工義歯学の臨床手技(2)	冠架工義歯の臨床操作を理解する。	倉澤 郁文
17	11月17日(火) 2時限	冠架工義歯学の臨床手技(3)	冠架工義歯の臨床操作を理解する。	倉澤 郁文
18	12月10日(木) 3時限	冠架工義歯学の臨床手技(4)	冠架工義歯の臨床操作を理解する。	倉澤 郁文
19	12月17日(木) 2時限	口腔インプラント 診断から上部構造製作	インプラント術前補綴設計から埋入、上部構造の製作に至る一連の流れを理解する。	笠原 隼男
20	12月25日(金) 1時限	冠架工義歯学の臨床手技 (まとめ)	冠架工義歯の臨床手技を理解する。	倉澤 郁文

保存修復学

担当者	教 授：亀山敦史
授業概要	歯科医師国家試験の合格に必要な保存修復領域の必修事項、総論、各論項目に関する知識、および臨床実地問題に対応できる臨床推論能力を修得する。
教科書	千田彰・宮崎真至・林 美加子・向井義晴・斎藤隆史編：「保存修復学（第7版）」（医歯薬出版） 田上順次・奈良陽一郎・山本一世・斎藤隆史監修：「保存修復学21（第5版）」（永末書店） 日本歯科保存学会編：「う蝕治療ガイドライン（第2版詳細版）」（永末書店） (http://www.hozon.or.jp/member/publication/guideline/file/guideline_2015.pdf からダウンロード可)
参考書	千田彰・寺下正道・寺中敏夫・宮崎真至編：「保存修復学（第6版）」（医歯薬出版） 千田彰・田上順次・寺下正道・片山直編集：「保存修復クリニカルガイド（第2版）」（医歯薬出版）
フィードバック方法	・理解できない事項や確認したい事項がある場合には積極的にオフィスアワーを活用すること。 ・メールでの質問も受け付けます（atsushi.kameyama@mdu.ac.jp）。 ・Weekly Test や定期試験で正答率の低い問題については学生イントラに解説を掲載するので確認すること。
注意事項	・講義は欠席しないこと。やむを得ず欠席した場合は速やかに欠席届を提出すること。 ・教科書を必ず持参すること。 ・講義中にポイントとなる事項などは、教科書の該当ページにメモを取ること。 ・講義の撮影・録画は認めない。
準備学習時間 (予習・復習)	90分 予 習：シラバスで講義内容を確認し、関連する国家試験過去問題をチェックする。(30分) 復 習：講義内容に関連する教科書記載ページに目を通し、関連する国家試験過去問題すべてに目を通す。(60分)
オフィスアワー	平日（基本的には講義を行った日） 17：30以降 本館3階 歯科保存学講座 教授室

【授業日程】

回数	授業日時	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
1	4月13日(月) 1時限	日本歯科保存学会編「う蝕治療ガイドライン 第2版」の概要① 1. エナメル質の初期う蝕への非切削での対応 2. 初発う蝕に対する検査・診断と切削介入の決定 3. 中等度の深さの象牙質う蝕におけるう蝕の除去範囲 4. 深在性う蝕における歯髄保護	1. う蝕治療ガイドラインで明記されているクリニカルクエスチョンに対する学会での推奨項目を説明できる。(想起) 2. 永久歯エナメル質初期齲蝕に対するフッ化物塗布の有効性を説明できる。(想起) 3. 永久歯エナメル質初期齲蝕に対する高フッ化物徐放性グラスアイオノマーセメント塗布の有効性を説明できる。(想起) 4. 永久歯エナメル質初期齲蝕に対するレジン系材料による封鎖の有効性を説明できる。(想起) 5. 咬合面齲蝕の診断に有効な検査法を列挙できる。(想起) 6. 隣接面齲蝕の診断に有効な検査法を列挙できる。(想起) 7. 切削の対象となる齲蝕の進行程度を説明できる。(想起) 8. 除去すべきう蝕象牙質の診断基準を説明できる。(想起) 9. 齲蝕検知液の有効性とその使用法を説明できる。(想起) 10. コンポジットレジン修復時における象牙質・歯髄複合体の保護の必要性について説明できる。(想起)	亀山 敦史

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
2	4月13日(月) 2時限	日本歯科保存学会編「う蝕治療ガイドライン 第2版)」の概要② 5. 露髄の可能性の高い深在性う蝕への対応 6. 臼歯部におけるコンポジットレジン修復の有用性 7. 補修(再研磨、シーラント、補修修復)の有用性 8. 根面う蝕への対応	1. 歯髄温存療法による露髄回避について、その有効性と適応、手順および使用薬剤を説明できる。(想起) 2. 臼歯咬合面(1級窩洞、2級窩洞)における直接法コンポジットレジン修復とメタルインレー修復の臨床成績について説明できる。(想起) 3. 臼歯コンポジットレジン修復窩洞に必要な窩洞形態について説明できる。(想起) 4. 根管治療後の臼歯部修復におけるコンポジットレジン有効性を説明できる。(想起) 5. 辺縁着色、辺縁不適合および辺縁性二次齲蝕に対する補修(再研磨、シーラント、補修修復)の有用性について説明できる。(想起) 6. 初期根面齲蝕に対するフッ化物を用いた非侵襲的治療の有効性について説明できる。(想起) 7. 根面齲蝕の修復処置における使用材料を選択できる。(問題解決) 8. フッ化ジアンミン銀による根面齲蝕の進行抑制について、その機序と有効性、短所を説明できる。(想起)	亀山 敦史
3	4月24日(金) 1時限	歯の硬組織疾患 歯の症候 齲蝕の病因と病態	1. 歯の硬組織疾患を分類できる。(想起) 2. 硬組織疾患について、それぞれを説明できる。(想起) 3. 齲蝕の好発年齢と性、好発部位を説明できる。(想起) 4. tooth wear を分類し、説明できる。(想起) 5. 発育異常に伴う歯の硬組織疾患を列挙し説明できる。(想起) 6. 齲蝕の発症機構を説明できる。(想起) 7. 齲蝕の発症要因を列挙し、その関連性を説明できる。(想起) 8. 齲蝕のリスクファクターを列挙できる。(想起) 9. 齲蝕活動性試験を説明できる。(想起) 10. ブラークコントロールを説明できる。(想起) 11. 齲蝕の病態と病巣の構造、および進行を説明できる。(想起) 12. 齲蝕を分類できる。(想起) 13. ICDASにおける齲蝕の判定基準を説明できる。(想起)	亀山 敦史
4	4月24日(金) 2時限	齲蝕の処置 1. エナメル質齲蝕の処置 2. 象牙質齲蝕の処置 3. 根面齲蝕の処置	1. 齲蝕病巣の構造を図示し説明できる。(想起) 2. 初期エナメル質齲蝕に対する再石灰化療法を説明できる。(想起) 3. エナメル質齲蝕の諸層を分類し、各層の特徴を説明できる。(想起) 4. エナメル質齲蝕に対する処置法を説明できる。(想起) 5. 急性齲蝕と慢性齲蝕の臨床的特徴を説明できる。(想起) 6. 象牙質齲蝕の諸層を分類し、各層の特徴を説明できる。(想起) 7. 象牙質齲蝕の処置法と除去法を説明できる。(想起) 8. 根面齲蝕の特徴を説明できる。(想起) 9. 根面齲蝕の処置法を説明できる。(想起)	亀山 敦史

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
5	6月3日(木) 3時限	窩洞 ・窩洞の分類 ・窩洞の構成と各部の名称 ・接着性修復窩洞と非接着性修復窩洞 窩洞に具備すべき諸条件① ・窩洞外形 ・保持形態	1. 窩洞を分類し、説明できる。(想起) 2. 窩洞の構成および名称を説明できる。(想起) 3. 窩洞に具備すべき諸条件を列挙できる。(想起) 4. 窩洞外形に影響を与える因子を列挙し、説明できる。(想起) 5. 修復物の脱落因子を列挙し、説明できる。(想起) 6. 窩洞に具備すべき各条件(窩洞外形、保持形態、抵抗形態、便宜形態、窩縁形態、無菌的な窩洞)を説明できる。(想起)	亀山 敦史
6	6月4日(木) 1時限	窩洞に具備すべき諸条件② ・抵抗形態 ・便宜形態 ・窩縁形態 ・窩洞の清掃	1. 窩洞に具備すべき各条件(窩洞外形、保持形態、抵抗形態、便宜形態、窩縁形態、無菌的な窩洞)を説明できる。(想起)	亀山 敦史
7	6月4日(木) 2時限	象牙質・歯髄複合体の保護法	1. 象牙質・歯髄複合体の保護の目的を説明できる。(想起) 2. 歯髄傷害の原因を列挙できる。(想起) 3. 高速切削時の注意事項を列挙できる。(想起) 4. 象牙質・歯髄複合体の保護法を列挙し、説明できる。(想起) 5. 象牙質・歯髄複合体保護の目的と適応症を説明できる。(想起) 6. 象牙質・歯髄複合体の保護に用いる使用材料・薬剤を説明できる。(想起)	亀山 敦史
8	7月17日(金) 1時限	コンポジットレジン修復① ・レジン接着システム ・前歯コンポジットレジン修復 (3級、4級、5級、くさび状欠損)	1. 接着性材料を分類できる。(想起) 2. レジン接着システムを分類し、各々を説明できる。(想起) 3. レジン接着システムと歯質への接着機構を説明できる。(想起) 4. レジン接着システムと修復材料への接着機構を説明できる。(想起) 5. コンポジットレジン修復の特徴を列挙し説明できる。(想起) 6. コンポジットレジンの組成を説明できる。(想起) 7. コンポジットレジン进行分类できる。(想起) 8. 光照射器を分類し、説明できる。(想起) 9. 前歯に対するコンポジットレジン修復の手順を説明できる。(想起) 10. 修復に必要な器材を列挙し、使用法を説明できる。(想起) 11. コンポジットレジン修復窩洞の特徴を説明できる。(想起)	亀山 敦史
9	7月17日(金) 2時限	コンポジットレジン修復② ・白歯コンポジットレジン修復 (1級、2級) 修復治療の術後管理① ・保全(メンテナンス) ・患者指導 ・補修修復 ・再研磨	1. 白歯に対するコンポジットレジン修復の手順を説明できる(想起) 2. 白歯部コンポジットレジン修復に必要な器材を列挙し、使用法を説明できる(想起) 3. C-factorの概念を説明できる。(想起) 4. 修復治療の術後管理を概説できる。(想起) 5. 補修修復の適応とその術式を説明できる。(想起)	亀山 敦史

回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
10	9月2日(水) 3時限	メタルインレー修復 修復治療の術後管理② ・メタルインレーの再装着 ・補修修復	<ol style="list-style-type: none"> 1. メタルインレー修復の特徴を説明できる。(想起) 2. メタルインレー用歯科用金属の種類と組成を説明できる。(想起) 3. メタルインレー修復の適応症と窩洞形態を説明できる。(想起) 4. メタルインレー修復の製作手順を説明できる。(想起) 5. メタルインレー修復の製作に用いる材料とその使用法を説明できる。(想起) 6. メタルインレー合着時における誤飲・誤嚥対策を説明できる。(想起) 7. 修復物脱落時の対応を説明できる。(想起) 	亀山 敦史
11	9月11日(金) 1時限	コンポジットレジンインレー修復	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンポジットレジンインレー修復の長所・短所を列挙できる。(想起) 2. コンポジットレジンインレー修復の適応症を説明できる。(想起) 3. コンポジットレジンインレー修復窩洞の特徴を他の修復窩洞と比較し説明できる。(想起) 4. コンポジットレジンインレー修復の手順を説明できる。(想起) 	亀山 敦史
12	9月11日(金) 2時限	セラミックインレー修復 ベニア修復	<ol style="list-style-type: none"> 1. セラミックインレー修復の適応症を説明できる。(想起) 2. セラミックインレー修復窩洞の特徴を他の修復窩洞と比較し説明できる。(想起) 3. セラミックインレー修復の手順を説明できる。(想起) 4. CAD/CAM装置を用いた修復の長所・短所を説明できる。(想起) 5. CAD/CAM修復に使用する装置や材料について概説できる。(想起) 6. ベニア修復を分類し、各々について説明できる。(想起) 7. ベニア修復の術式を説明できる。(想起) 	亀山 敦史
13	10月2日(金) 1時限	間接修復の接着	<ol style="list-style-type: none"> 1. 間接修復における合着と接着の違いと各々のメカニズムを説明できる。(想起) 2. 合着・接着材料の種類を列挙できる。(想起) 3. 合着・接着材料の所要性質を列挙できる。(想起) 4. 各々の合着・接着材料の組成と特徴を説明できる。(想起) 5. 間接修復物の合着・接着時における窩洞形成面の表面処理法とそのメカニズムを説明できる。(想起) 6. 間接修復物の合着・接着時における修復物への処理法とそのメカニズムを説明できる。(想起) 	亀山 敦史

回数	授業日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
14	10月2日(金) 2時限	グラスアイオノマーセメント修復 アマルガム修復の除去法 象牙質知覚過敏の処置	<ol style="list-style-type: none"> 1. グラスアイオノマーセメントの特徴を説明できる。(想起) 2. グラスアイオノマーセメントの硬化機構を説明できる。(想起) 3. グラスアイオノマーセメントと歯質への接着機構を説明できる。(想起) 4. グラスアイオノマーセメント修復窩洞の特徴を説明できる。(想起) 5. ART法を説明できる。(想起) 6. アマルガムに含有される水銀が人体と環境に及ぼす影響を説明できる。(想起) 7. アマルガムの撤去・除去時における注意点を列挙できる。(想起) 8. 象牙質知覚過敏症のメカニズムを説明できる。(想起) 9. 象牙質知覚過敏症の原因を説明できる。(想起) 10. 象牙質知覚過敏症の処置法を列挙し説明できる。(想起) 11. 象牙質知覚過敏症の処置方針を説明できる。(想起) 12. 象牙質知覚過敏処置の基本術式を説明できる。(想起) 	亀山 敦史
15	10月5日(月) 1時限	変色歯への対応	<ol style="list-style-type: none"> 1. 変色の原因を説明できる。(想起) 2. 変色歯の処置法を説明できる。(想起) 3. 漂白法の分類を説明できる。(想起) 4. 歯科用漂白剤の種類を列挙し説明できる。(想起) 5. 漂白のメカニズムを説明できる。(想起) 	亀山 敦史
16	10月5日(月) 2時限	歯の切削 歯科用レーザー	<ol style="list-style-type: none"> 1. 切削器具および工具を列挙できる。(想起) 2. 各々の切削器具および工具の用途を説明できる。(想起) 3. 各々の切削器具および工具の使用法を説明できる。(想起) 4. 歯科用レーザーの種類について説明できる。(想起) 5. レーザーの安全な使用法について説明できる。(想起) 6. レーザーの適応症について説明できる。(想起) 	亀山 敦史
17	12月9日(水) 1時限	修復物の技工	<ol style="list-style-type: none"> 8. メタルインレー修復における技工操作の手順とその目的を説明できる。(想起) 2. 技工に用いる材料の種類と所要性質を説明できる。(想起) 4. メタルインレーの鑄造法を説明できる。(想起) 5. 鑄造収縮とその補償法を説明できる。(想起) 6. 鑄造欠陥の成因とその対策を列挙し説明できる。(想起) 6. コンポジットレジンインレーの製作法を説明できる。(想起) 7. コンポジットレジンインレーの製作に必要な器材を列挙できる。(想起) 8. セラミックインレーの各種製作法を説明できる。(想起) 9. セラミックインレーの製作に必要な器材を列挙できる。(想起) 	亀山 敦史
18	12月15日(火) 3時限	演習問題および解説	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分のウィークポイントを発見できる。(解釈) 2. 誤りを修正できる。(問題解決) 	亀山 敦史
19	12月23日(水) 2時限	歯科医師国家試験に向けての総復習		亀山 敦史

歯内療法学

担当者	教 授：増田宜子
授業概要	3年、4年次の「歯内療法学」「歯内療法学実習」、5年次「臨床実習」「臨床講義」で学んだことを基本に総復習し、様々な歯内疾患の症候、病態、を体系的に理解できるよう学習し、検査法、診断および治療法が選択できる能力を養う。症例写真を多く供覧し、臨床における応用力を身につける。
教科書	勝海一郎他：「歯内治療学（第5版）」（医歯薬出版）
参考書	「歯科医師国家試験問題集実践」 「歯科国試 KEY WORDS」 興地隆史他編：「第5版エンドドンティクス」（永末書店） 須田英明他編：「エンドドンティクス21 改訂版」（永末書店） S.Cohen 他：「Pathways of the Pulp 10th ED」（Mosby）
フィードバック方法	定期試験については解説時間、Weekly Test、Daily Test については当日のオフィスアワーにて個別に解説を行う。
注意事項	実施されるテストの解答を暗記するのではなく、解答に結びつく理屈・機序を理解し、応用力を養うよう心がける。授業に集中してまとめノートを作成すること。
準備学習時間 （予習・復習）	60分 予 習：講義内容について教科書・試験問題集で復習する。（15分） 復 習：講義プリントを参考に講義内容を復習し、疑問点を担当者に質問する。（45分）
オフィスアワー	月曜日～金曜日 18：00～20：00 本館4階西棟 歯科保存学講座教授室

【授業日程】

回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
1	4月13日(月) 3時限	1. 歯内療法学総合講義の進め方 2. 定期試験の行い方 3. 歯髄疾患	1. 歯内療法学総合講義の進め方を説明できる。 2. 定期試験の行い方を説明できる。 3. 歯髄疾患について説明できる。 4. 可逆性歯髄炎と不可逆性歯髄炎について説明できる。	増田 宜子
2	4月21日(火) 1時限	根尖性歯周疾患	1. 根尖性歯周組織疾患の原因について説明できる。 2. 根尖性歯周組織疾患の急性炎と慢性炎について説明できる。 3. 根尖性歯周組織疾患の分類と臨床症状を説明できる。	増田 宜子
3	4月21日(火) 2時限	歯内 - 歯周疾患	歯内一歯周疾患を病態にしたがって分類・診断し治療法について説明できる。	増田 宜子
4	5月12日(火) 1時限	歯の外傷	1. 外傷歯の診断と処置について説明できる。 2. 外傷歯の治療法について説明できる。	増田 宜子
5	5月12日(火) 2時限	1. 内部吸収 2. 外部吸収 3. 根尖性歯周疾患が全身に及ぼす影響	1. 歯の病的吸収の原因、種類、診断および治療法について説明できる。 2. 根尖性歯周疾患が全身に及ぼす影響について説明できる。	増田 宜子
6	6月8日(月) 3時限	根管処置 (髄室開拓、根管形成)	1. 髄室開拓について説明できる。 2. 根管形成について説明できる。	増田 宜子
7	6月10日(水) 1時限	根管処置 (化学的清掃、根管貼薬、仮封)	1. 根管の化学的清掃について説明できる。 2. 根管の消毒について説明できる。 3. 仮封について説明できる。	増田 宜子

回数	授業日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
8	6月10日(水) 2時限	根管充填	1. 根管充填の時期について説明できる。 2. 根管充填材の所要性質について説明できる。 3. 根管充填の術式について説明できる。	増田 宜子
9	8月20日(木) 1時限	歯髄保存療法	歯髄保存療法について説明できる。	増田 宜子
10	8月20日(木) 2時限	1. 歯髄除去療法 2. 根未完成歯の治療	1. 歯髄除去療法について説明できる。 2. 根未完成歯に対する治療法について説明できる。	増田 宜子
11	8月26日(水) 3時限	根尖性歯周疾患の治療	根尖性歯周組織疾患に対する治療法を説明できる。	増田 宜子
12	9月7日(月) 3時限	偶発症と安全対策	歯内療法における偶発症とその対応を説明できる。	増田 宜子
13	9月25日(金) 1時限	外科的歯内療法	1. 外科的歯内療法の意義を説明できる。 2. 外科的歯内療法の種類、適応症、および禁忌症を説明できる。	増田 宜子
14	10月16日(金) 1時限	1. 歯の変色 2. 歯の漂白	歯の変色の原因、適応症、治療法および留意点について説明できる。	増田 宜子
15	10月16日(金) 2時限	1. 高齢者の歯髄疾患と治療 2. 高齢者の根尖性歯周疾患と治療	1. 象牙質・歯髄複合体の老化による変化を説明できる。 2. 高齢者に対する歯内療法について説明できる。	増田 宜子
16	10月23日(金) 1時限	歯髄疾患	1. 歯髄疾患について説明できる。 2. 可逆性歯髄炎と不可逆性歯髄炎について説明できる。	増田 宜子
17	10月23日(金) 2時限	根尖性歯周疾患	1. 根尖性歯周組織疾患の原因について説明できる。 2. 根尖性歯周組織疾患の急性炎と慢性炎について説明できる。 3. 根尖性歯周組織疾患の分類と臨床症状を説明できる。	増田 宜子
18	12月9日(水) 2時限	まとめ①	これまで学習した内容を体系的に理解し、説明することができる。	増田 宜子
19	12月16日(水) 1時限	まとめ②	これまで学習した内容を体系的に理解し、説明することができる。	増田 宜子
20	12月23日(水) 3時限	まとめ③	これまで学習した内容を体系的に理解し、説明することができる。	増田 宜子

歯周病学

担当者	教 授：吉成伸夫 助 教：尾崎友輝、中村 卓
授業概要	第95回から第113回までの歯科医師国家試験の問題を分析し、第114回歯科医師国家試験に向けての傾向と対策を行う。
教科書	吉江弘正・伊藤公一・村上伸也・申基喆編：「臨床歯周病学 Clinical Periodontology（第2版）」（医歯薬出版） 吉江弘正・米山武義・吉成伸夫編：「高齢者への歯周治療と口腔管理」（インターアクション、2018）
参考書	「歯科医師国家試験問題集 実践2021 1、必須」（麻布デンタルアカデミー） 「歯科医師国家試験問題集 実践2021 6、歯周病学」（麻布デンタルアカデミー）
フィードバック方法	疑問がある場合は講義日の Q&A にて質問すること。
注意事項	
準備学習時間 （予習・復習）	60分 予 習：シラバスを確認し、事前に講義概要について教科書・参考書等で予習を行うこと。（15分） 復 習：講義内容を復習し、教科書・参考書を利用して各自理解を深める。（45分）
オフィスアワー	月曜日～金曜日 18：00～19：00 本館 5 階西棟 歯科保存学講座医局

【授業日程】

回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担当者
1	4月14日(火) 3時限	歯周病の治療計画、治療の流れ	治療計画の意義を理解する。 検査、診断に基づく治療計画の立案、順序を理解する。	吉成 伸夫
2	4月20日(月) 1時限	歯周病の検査（歯周組織検査項目の内容、測定意義）	正常な歯周組織の構造、機能を理解する。 歯周組織の構造、病因をふまえた検査を理解する。 根分岐部病変の検査を理解する。 歯周組織検査項目（現症）の内容を理解する。 歯周病検査の測定意義、相互関係を理解する。 歯周病の病態読影を理解する。	吉成 伸夫
3	4月20日(月) 2時限	歯周病の検査（各種検査器具の使用法、結果判定）	エックス線写真検査の意義、方法を理解する。 細菌、免疫検査の意義、方法を理解する。 咬合検査の意義、方法を理解する。 口臭検査の意義、方法を理解する。 歯周病の疫学、指数を理解する。	吉成 伸夫
4	5月11日(月) 1時限	歯周病の分類（試験に出題されやすい病名を中心に）	日本歯周病学会による歯周病分類システム（2006）の内容について理解する。	尾崎 友輝
5	5月11日(月) 2時限	特殊な歯周病、口臭	特殊な歯周病の種類、特徴、治療法を理解する。 口臭の分類と対応を理解する。	尾崎 友輝
6	5月18日(月) 3時限	歯周基本治療（ブラークコントロール）	病因（細菌）から考えるブラークコントロールの目的、意義を理解する。 ラポールとアドヒアランスを理解する。 ブラークコントロールの分類（機械的、化学的）を理解する。 ブラッシング法の種類（毛先を使った方法、わき腹を使った方法）を理解する。	吉成 伸夫
7	5月25日(月) 3時限	歯周基本治療（スケーリング・ルートプレーニング：SRP）	SRPの目的、意義を理解する。 SRPの治癒形態を理解する。 スケーラーの種類、構造、適応、術式を理解する。 スケーラーのシャープニングを理解する。	吉成 伸夫

回数	授業日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
8	6月5日(金) 1時限	歯周基本治療（咬合性外傷、咬合調整、暫間固定）	病因（外傷）としての咬合性外傷、ブラキシズム、食片圧入を理解する。 咬合調整の目的、意義、方法、順序を理解する。 暫間固定の目的、意義、種類を理解する。 歯内歯周病変への対応を理解する。 ブラークリテンションファクターの除去を理解する。	中村 卓
9	6月5日(金) 2時限	歯周病の薬物療法 レーザーによる歯周病治療	歯周病の病因（細菌）から考える薬物療法の種類と適応を理解する。 歯周病治療における歯科用レーザーの用途を理解する。	中村 卓
10	7月29日(水) 1時限	再評価検査	再評価検査の意義、目的を理解する。 歯周病治療後の不快事象とその対応を理解する。	吉成 伸夫
11	7月29日(水) 2時限	歯周外科治療（歯周外科の基礎）	歯周外科の目的を理解する。	吉成 伸夫
12	9月1日(火) 1時限	歯周外科治療（切除療法、組織付着療法）	切除療法の種類とその適応、術式を理解する。 歯肉弁根尖側移動術（生物学的幅径）を理解する。 組織付着療法の種類とその適応、術式を理解する。 歯肉弁、歯槽骨の種類を理解する。	吉成 伸夫
13	9月1日(火) 2時限	歯周外科治療（歯周組織再生療法）	骨移植の種類、方法を理解する。 GTR法、エナメルマトリックスプロテイン、FGF-2を応用した方法の適応、術式を理解する。 ティッシュエンジニアリングを理解する。	吉成 伸夫
14	9月18日(金) 1時限	歯周外科治療（歯周形成外科）	歯周形成外科の目的と分類を理解する。 歯周形成外科の種類とその適応、術式を理解する。 付着歯肉と根面被覆の違いを理解する。	吉成 伸夫
15	9月18日(金) 2時限	歯周外科治療（根分岐部病変に対して）	根分岐部病変に対する外科処置の種類とその適応、術式を理解する。 他の術式との併用法を理解する。	吉成 伸夫
16	10月21日(水) 3時限	歯周外科治療（総括）	臨床的に重要度、頻度の高い術式について理解する。 類似した術式の違いについて理解する。 歯周組織の治療形態を理解する。	尾崎 友輝
17	11月12日(水) 1時限	口腔機能回復治療	口腔機能回復治療の目的、種類を理解する。 歯周補綴処置を理解する。 矯正治療を理解する。 インプラントを理解する。	吉成 伸夫
18	11月12日(水) 2時限	メインテナンス、SPTと予防	メインテナンスとSPTの目的、意義、基準を理解する。 メインテナンスの意義を理解する。 歯周病予防の方法（1次予防～3次予防）を理解する。	吉成 伸夫
19	11月25日(水) 1時限	病因から見直す歯周病治療	歯周病の病因因子（細菌、宿主、環境）の種類とその対応を理解する。	吉成 伸夫
20	11月25日(水) 2時限	全身疾患と歯周病の関係	歯周病に影響する全身疾患を理解する。 歯周病が影響を与える全身疾患を理解する。 ペリオドンタルメディシンを理解する。 病因（宿主）から見た全身疾患を理解する。	吉成 伸夫
21	11月26日(水) 3時限	高齢者の歯周病治療	高齢者の特徴を理解する。 歯周組織の加齢変化を理解する。 高齢者に対する歯周病治療の留意点を理解する。	尾崎 友輝

回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
22	12月9日(水) 3時限	国家試験に向けての菌周病総まとめ①	菌周組織の構造、機能、病因、検査、診断、治療計画の立案、分類、特徴、口臭領域の必修問題を克服する。 菌周基本治療の内容、各治療法における一般問題を克服する。	吉成 伸夫
23	12月16日(水) 2時限	国家試験に向けての菌周病総まとめ②	菌周外科治療（切除療法、組織付着療法、菌周組織再生療法、菌周形成外科、根分岐部病変に対する外科治療）の臨床実地問題を克服する。	吉成 伸夫
24	12月24日(木) 1時限	国家試験に向けての菌周病総まとめ③	口腔機能回復治療、メンテナンス、SPT、全身疾患と菌周病の関係、高齢者の菌周病治療における一般問題を克服する。	吉成 伸夫

小児歯科学

担当者	教 授：大須賀直人 准教授：正村正仁、中村浩志 講 師：中山聡、森山敬太
授業概要	小児期から成人期に至る口腔機能の健康を維持・増進することを目的に全身ならびに口腔領域の正常な成長発育を理解するとともに、発生する疾患や異常について成長発育を考慮した予防法および治療法ならびに口腔健康管理について理解、修得する。
教科書	大須賀直人他：「小児の口腔科学（第5版）」（学建書院）
参考書	大須賀 直人他：「小児歯科基礎・臨床実習（第2版）」（医歯薬出版） 大須賀 直人他：「小児歯科学（第4版）」（医歯薬出版） 大須賀 直人他：「乳歯列における外傷歯の診断と治療（第2版）」（クイッテセンス出版） 大須賀 直人他：「歯科医師のための小児科学入門」（MDU 出版会） 大須賀 直人他：「乳幼児の口と歯の健診ガイド」（医歯薬出版）
フィードバック方法	配布資料、教科書、ノートを確認してフィードバックする。
注意事項	教科書を持参し、板書内容や説明内容を記載すること。
準備学習時間 （予習・復習）	60分 予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書等で予習をおこなうこと。（30分） 復 習：講義ノート・配付された資料等を復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。（30分）
オフィスアワー	月～金曜日 17：30～18：30 本館2階東棟 小児歯科学講座医局

【授業日程】

回数	授業日時	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担当者
1	3月24日(火) 3時限	人体の正常構造と機能 人体の発生、成長・発育、加齢	小児の身体の発育、精神の発達などを説明できる。	中村 浩志
2	3月31日(火) 1時限	口腔、顎、顔面の発生と成長・発育(1) 加齢・歯の喪失による変化(1) 病因・病態(1)	口腔、顎、顔面の発生と成長・発育について説明できる。 加齢・歯の喪失による変化について説明できる。 小児歯科領域の疾患の病因・病態について説明できる。	中村 浩志
3	3月31日(火) 2時限	口腔、顎、顔面の発生と成長・発育(2) 加齢・歯の喪失による変化(2) 病因・病態(2)	口腔、顎、顔面の発生と成長・発育について説明できる。 加齢・歯の喪失による変化について説明できる。 小児歯科領域の疾患の病因・病態について説明できる。	中村 浩志
4	4月20日(月) 3時限	乳歯・幼若永久歯の特徴 小児の齲蝕	乳歯・幼若永久歯の特徴について説明できる。 小児齲蝕の特徴について説明できる。	中村 浩志
5	5月25日(月) 1時限	小児の歯周組織と疾患	小児歯周組織と疾患の予防と処置について説明できる。	正村 正仁
6	5月25日(月) 2時限	小児の歯科診療	小児患者の診査・診断・歯科対応法について説明できる。	正村 正仁
7	6月3日(水) 1時限	小児齲蝕の予防法・進行抑制法・保健指導	小児齲蝕の予防法・進行抑制法・保健指導について説明できる。	正村 正仁
8	6月3日(水) 2時限	小児の歯冠修復	乳歯および幼若永久歯の歯冠修復について説明できる。	中山 聡

回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
9	6月9日(火) 1時限	小児の歯内療法(1)	乳歯および幼若永久歯の歯内療法について説明できる。	中山 聡
10	6月9日(火) 2時限	小児の歯内療法(2)	乳歯および幼若永久歯の歯内療法について説明できる。	中山 聡
11	6月11日(木) 1時限	外科的処置	小児歯科領域の外科的処置について説明できる。	大須賀直人
12	6月11日(木) 2時限	歯の外傷	小児の歯の外傷と処置について説明できる。	大須賀直人
13	8月31日(月) 1時限	児童虐待・小児の顎口腔疾患(1)	児童虐待について説明できる。 小児歯科領域の顎口腔疾患について説明できる。	中山 聡
14	8月31日(月) 2時限	小児の顎口腔疾患(2)	小児歯科領域の顎口腔疾患について説明できる。	中山 聡
15	9月28日(月) 1時限	咬合誘導	咬合誘導咬合誘導概論、保険と保険装置、咬合誘導法について説明できる。	大須賀直人
16	9月29日(火) 1時限	治療時に留意すべき小児疾患(1)	治療時に留意すべき小児疾患(1)	森山 敬太
17	10月14日(水) 1時限	治療時に留意すべき小児疾患(2)	小児歯科治療時に留意すべき疾患について説明できる。	森山 敬太
18	10月14日(水) 2時限	まとめ(1) 成長発育	成長発育関連の内容について理解を完全なものとする。	正村 正仁
19	10月21日(水) 1時限	まとめ(2) 成長発育	成長発育関連の内容について理解を完全なものとする。	正村 正仁
20	10月21日(水) 2時限	まとめ(3) 齲蝕と歯内療法および歯周疾患	齲蝕と歯内療法および歯周疾患の内容について理解を完全なものとする。	正村 正仁
21	12月14日(月) 2時限	まとめ(4) 齲蝕と歯内療法および歯周疾患	齲蝕と歯内療法および歯周疾患の内容について理解を完全なものとする。	森山 敬太
22	12月22日(火) 1時限	まとめ(5) 外科的処置・口腔粘膜疾患	外科的処置・口腔粘膜疾患関連の内容について理解を完全なものとする。	森山 敬太

歯科矯正学

担当者	教 授：岡藤 範正 准教授：川原 良美
授業概要	歯科矯正学の知識について総復習を行い、更なる知識を深める。
教科書	相馬邦道・後藤滋巳・葛西一貴・山本照子・飯田順一郎編：「歯科矯正学（第5版）」（医歯薬出版）
参考書	清水典佳・鈴木里奈編：「歯科国試パーフェクトマスター 歯科矯正学」（医歯薬出版） 歯科矯正学基礎実習 臨床実習マニュアル 歯科矯正学（講義）配付プリント
フィードバック方法	定期試験、Weekly Test 実施後に正解率が低い問題に対し解答例または記入例を次週講義冒頭に掲示するので確認すること
注意事項	医療人となることを踏まえて行動する。全ての授業に出席すること
準備学習時間 （予習・復習）	60分 予 習：教科書・参考書で知識の再確認を行うこと（30分） 復 習：授業プリント、講義ノートを復習し、十分に理解できなかった点については積極的に理解する様に能動的に学習に努めること（30分）
オフィスアワー	授業日（18：00～20：00） 本館2階東棟 歯科矯正学講座医局、教授室 オフィスアワー以外の時間帯でも在室時は随時可能 連絡先 E-mail：岡藤 範正：norimasa.okafuji@mdu.ac.jp

【授業日程】

回数	授業日時	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担当者
1	3月25日(水) 3時限	咬合、成長発育の原則 歯科矯正学総論と咬合（正常咬合・不正咬合）	1. 咬合、成長発育の原理を理解し、説明できる。	岡藤 範正
2	4月21日(火) 3時限	セファログラム、模型分析を用い、診断をたてることができる。	セファロ分析、模型分析ができる。	岡藤 範正
3	4月28日(火) 1時限	矯正治療の抜歯の基準、矯正治療と装置の適応について(1)	1. エックス線分析について説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 各種不正咬合の治療を説明できる。	岡藤 範正
4	4月28日(火) 2時限	矯正治療の抜歯の基準、矯正治療と装置の適応について(2)	1. エックス線分析について説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 各種不正咬合の治療を説明できる。	岡藤 範正
5	5月7日(水) 3時限	矯正歯科治療によって起こる生体の反応	Tooth size ratio、エックス線分析について説明できる。	岡藤 範正
6	5月15日(金) 1時限	混合歯列と永久歯列の矯正治療	混合歯列と永久歯列の各種不正咬合の治療について説明できる。	岡藤 範正
7	5月15日(金) 2時限	混合歯列と永久歯列の矯正治療	混合歯列と永久歯列の各種不正咬合の治療について説明できる。	岡藤 範正
8	6月16日(火) 1時限	顎変形症と保定	顎変形症の治療を説明できる。 保定を説明できる。	川原 良美
9	6月16日(火) 2時限	顎変形症と保定	顎変形症の治療を説明できる。 保定を説明できる。	川原 良美
10	7月21日(火) 1時限	復習1 成長発育、検査、診断、模型分析、A.L.D、Tooth size ratio、エックス線分析(1)	成長発育、セファログラム、模型分析を用い、診断をたてることができる。	岡藤 範正

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
11	7月21日(火) 2時限	成長発育、検査、診断、模型分析、 A.L.D、Tooth size ratio、エックス線分析(2)	成長発育、セファログラム、模型分析を用い、診断をたてることができる。	岡藤 範正
12	7月28日(火) 3時限	復習 2 矯正治療と歯の移動	1. 矯正治療によって起こる生体の反応を説明できる。 2. 矯正治療の抜歯の基準を説明できる。	岡藤 範正
13	9月3日(木) 1時限	復習 3 Tooth size ratio、エックス線分析(1)	Tooth size ratio、エックス線分析を説明できる。	岡藤 範正
14	9月3日(木) 2時限	矯正治療と装置の適応について(2) 混合歯列と永久歯列の矯正治療(2)	1. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 2. 各種不正咬合の治療を説明できる。 3. 混合歯列と永久歯列の各種不正咬合の治療について説明できる。	岡藤 範正
15	9月28日(月) 3時限	矯正治療と装置の適応について(1) 混合歯列と永久歯列の矯正治療(1)	1. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 2. 各種不正咬合の治療を説明できる。 3. 混合歯列と永久歯列の各種不正咬合の治療について説明できる。	岡藤 範正
16	9月29日(火) 3時限	矯正治療と装置の適応について(2) 混合歯列と永久歯列の矯正治療(2)	1. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 2. 各種不正咬合の治療を説明できる。 3. 混合歯列と永久歯列の各種不正咬合の治療について説明できる。	岡藤 範正
17	10月20日(火) 1時限	復習 1 成長発育、検査、診断	成長発育、模型分析を用い、診断をたてることができる。	岡藤 範正
18	10月20日(火) 2時限	復習 2 成長発育、検査、診断	成長発育、模型分析を用い、診断をたてることができる。	岡藤 範正
19	10月27日(火) 1時限	復習 3 矯正治療と歯の移動	1. 矯正治療によって起こる生体の反応を説明できる。 2. 矯正治療の抜歯の基準を説明できる。	岡藤 範正
20	10月27日(火) 2時限	復習 4 エックス線分析	エックス線分析を説明できる。	岡藤 範正
21	12月11日(金) 2時限	復習 5 矯正治療と装置の適応について 混合歯列と永久歯列の矯正治療	1. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 2. 各種不正咬合の治療を説明できる。 3. 混合歯列と永久歯列の各種不正咬合の治療について説明できる。	岡藤 範正
22	12月21日(月) 1時限	復習 6 顎変形症保定	1. 顎変形症の治療を説明できる。 2. 不正咬合の後戻りの原因、予防法を理解できる。	岡藤 範正

口腔外科学

担当者	教 授：各務秀明
授業概要	1. 口腔外科学総論（全身的症候、局所的症候、主要症候） 2. 口腔外科学総論（検査） 3. 口腔外科学総論（治療・手術） 4. 先天異常・発育異常 5. 顎関節疾患 6. 損傷・口腔粘膜疾患 7. 炎症・感染症・アレルギー性疾患 8. 嚢胞・腫瘍および類似疾患 9. 症候性疾患 10. 唾液腺疾患 11. 口腔領域の神経疾患 12. 血液疾患・出血性素因 13. 有病者の歯科、口腔外科治療
教科書	白砂 兼光・古郷 幹彦：「口腔外科学（第4版）」（医歯薬出版） 山根 源之他編：「口腔内科学」（永末書店） 実践（麻布デンタルアカデミー）
参考書	道 健一監修：「改訂版 口腔顎顔面疾患カラーアトラス」（永末書店） 栗田 賢一・覚道 健治：「SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療（第5版）」（永末書店） 榎本昭二ほか監修「最新口腔外科学 第5版」（医歯薬出版株式会社）
フィードバック方法	Weekly Test、定期テスト、模試にて正答率の低い問題については講義にて解説を行う。
注意事項	歯科医師として必要とされる口腔外科の知識を確実なものとする。こと。 国家試験の出題傾向を理解すること。
準備学習時間 （予習・復習）	60分 予 習：当日の講義内容をレジュメ、テキストで確認しておくこと。（15分） 復 習：当日の講義内容をレジュメを中心に復習し、教科書・参考書を利用して各自知識を整理すること。 （45分）
オフィスアワー	月～金曜日 17：00～18：00 本館5階東棟 口腔顎顔面外科学講座教授室 不在の場合もあるので、できるだけ事前に電話にて予約をしてください。電話0263-51-2065

【授業日程】

回数	授業日時	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担当者
1	3月16日(月) 1時限	口腔外科診断学（全身的症候、局所症候、主要症候）と検査	口腔外科疾患の診断に必要な症状を理解する。口腔外科治療口腔外科疾患の診断に必要な検査を理解する。	各務 秀明
2	3月16日(月) 2時限	有病者の歯科・口腔外科治療	有病者や全身状態に配慮が必要な患者に対する知識を習得する。	各務 秀明
3	3月25日(水) 1時限	治療・手術法	手術の基礎と代表的な手術、その他の治療について理解する。	各務 秀明
4	3月25日(水) 2時限	症候性疾患	口腔に症状を現す全身疾患について理解する。	各務 秀明
5	3月27日(金) 1時限	炎症	炎症の診断、治療法について理解する。	各務 秀明
6	3月27日(金) 2時限	自己免疫・アレルギー性疾患	自己免疫疾患およびアレルギー性疾患について理解する。	各務 秀明

回数	授業日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
7	4月6日(月) 1時限	損傷(1)総論、軟組織損傷	損傷について理解する。軟組織損傷の治療について理解する。	各務 秀明
8	4月6日(月) 2時限	損傷(2)歯の外傷、歯槽骨骨折、顎骨骨折	歯の外傷および歯槽骨骨折の診断、治療について理解する。顎骨骨折の診断、治療について理解する。	各務 秀明
9	4月7日(火) 3時限	粘膜疾患	口腔粘膜疾患の種類と特徴、診断法について理解する。 それぞれの疾患の臨床所見から鑑別診断ができる。 確定診断のための検査法が選択できる。 それぞれの疾患の治療法が説明できる。	各務 秀明
10	4月14日(火) 1時限	顎関節疾患(1)総論、各論 1	顎関節疾患について理解する。	各務 秀明
11	4月14日(火) 2時限	顎関節疾患(2)各論 2	顎関節症について理解する。	各務 秀明
12	4月22日(水) 1時限	唾液腺疾患(1)総論、各論 1	唾液腺疾患について理解する。	各務 秀明
13	4月22日(水) 2時限	唾液腺疾患(2)各論 2	唾液腺疾患について理解する。	各務 秀明
14	5月14日(木) 1時限	先天異常	先天異常について理解する。	各務 秀明
15	5月14日(木) 2時限	唇顎口蓋裂	唇顎口蓋裂の診断および治療について理解する。	各務 秀明
16	5月22日(金) 3時限	インプラント治療、 骨再生治療	インプラント治療について理解する。 口腔外科領域で行われている骨再生治療の種類について理解する。 骨再生治療の基礎となる生物学を理解する。 それぞれの骨再生法の術式と特徴について理解する。	各務 秀明
17	5月26日(火) 3時限	口腔領域の神経疾患(1)心因性病態、神経痛と類似疾患	心因性病態、精神神経疾患、三叉神経痛、帯状疱疹痛、舌咽神経痛、非菌原性疼痛、茎状突起過長症を理解する。	各務 秀明
18	6月12日(金) 1時限	口腔領域の神経疾患(2)顔面神経麻痺、味覚異常、顔面神経痙攣	顔面神経麻痺、味覚異常、三叉神経麻痺、舌咽神経麻痺、軟口蓋麻痺、舌下神経麻痺、顔面痙攣、三叉神経痙攣を理解する。	各務 秀明
19	6月12日(金) 2時限	血液疾患(1)	血液疾患の基礎、貧血、白血病、白血球減少症を理解する。	各務 秀明
20	6月24日(水) 1時限	血液疾患(2)出血性素因	出血性素因(止血機構、出血傾向の検査、血管壁の異常、血小板の異常、凝固因子の異常、線溶系の異常)を理解する。	各務 秀明
21	6月24日(水) 2時限	顎変形症の診断と治療	顎変形症の中で、外科的矯正が必要な症例を診断できる。 外科的矯正の治療の流れを理解できる。 症例に応じて、適切な外科的矯正の治療法を選択できる。	各務 秀明
22	7月1日(水) 1時限	顎変形症の手術	顎変形症の手術方法と、それぞれの方法の長所、短所を説明できる。	各務 秀明
23	7月1日(水) 2時限	顎・口腔の腫瘍(1)非菌原性腫瘍、腫瘍類似疾患 1	口腔領域の良性腫瘍、特に非菌原性腫瘍の診断、治療法について理解する。	各務 秀明

回数	授業日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
24	7月3日(金) 3時限	顎・口腔の腫瘍(2)非菌原性腫瘍、腫瘍類似疾患 2	口腔領域の腫瘍類似疾患の診断、治療について理解する。	各務 秀明
25	7月6日(月) 3時限	顎・口腔の腫瘍(3)菌原性腫瘍	口腔領域の良性腫瘍、特に菌原性腫瘍の診断、治療法について理解する。	各務 秀明
26	7月17日(金) 3時限	顎・口腔の腫瘍(4)悪性腫瘍 1	口腔領域の悪性腫瘍の診断について理解する。	各務 秀明
27	7月20日(月) 1時限	顎・口腔の腫瘍(5)悪性腫瘍 2	口腔領域の悪性腫瘍の治療法について理解する。	各務 秀明
28	7月20日(月) 2時限	顎・口腔の腫瘍(6)悪性腫瘍 3	口腔領域の悪性腫瘍切除後の再建法について理解する。	各務 秀明
29	7月28日(火) 1時限	嚢胞(1)総論、各論 1 : 顎嚢胞	顎嚢胞の診断、治療法を理解する。	各務 秀明
30	7月28日(火) 2時限	嚢胞(2)各論 2 : 顎嚢胞、軟組織嚢胞	顎骨にできる技能法、軟組織嚢胞の診断、治療法を理解する。	各務 秀明
31	8月28日(金) 1時限	国試口腔外科の総合演習(1)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
32	8月28日(金) 2時限	国試口腔外科の総合演習(2)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
33	9月7日(月) 1時限	国試口腔外科の総合演習(3)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
34	9月7日(月) 2時限	国試口腔外科の総合演習(4)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
35	9月17日(木) 1時限	国試口腔外科の総合演習(5)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
36	9月17日(木) 2時限	国試口腔外科の総合演習(6)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
37	10月1日(木) 1時限	国試口腔外科の総合演習(7)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
38	10月19日(月) 1時限	国試口腔外科の総合演習(8)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
39	10月19日(月) 2時限	国試口腔外科の総合演習(9)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
40	10月26日(月) 1時限	国試口腔外科の総合演習(10)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
41	10月26日(月) 2時限	国試口腔外科の総合演習(11)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
42	11月13日(金) 1時限	国試口腔外科の総合演習(12)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
43	11月13日(金) 2時限	国試口腔外科の総合演習(13)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
44	11月24日(火) 1時限	国試口腔外科の総合演習(14)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
45	11月24日(火) 2時限	国試口腔外科の総合演習(15)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明

回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
46	12月14日(月) 1 時限	国試対策講義(1)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
47	12月21日(月) 3 時限	国試対策講義(2)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明
48	12月25日(金) 3 時限	国試対策講義(3)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	各務 秀明

歯科麻酔学

担当者	教授：澁谷徹 講師：谷山貴一
授業概要	1. 全身管理 2. 局所麻酔 3. 精神鎮静法 4. 全身麻酔 5. 全身の偶発症 6. 救急処置 7. 疼痛治療
教科書	丹羽 均・入船 正浩・小長谷 光・澁谷 徹・深山 治久編：「第5版 臨床歯科麻酔学」（永末書店）
参考書	嶋田 昌彦・相山 加綱・深山 治久・丹羽 均編：「わかる！できる！歯科麻酔実践ガイド」（医歯薬出版） 福島 和昭監修・一戸 達也他編：「歯科麻酔学（第8版）」（医歯薬出版） 今井 裕・岩渕 博史監修・石垣 佳希他編：「有病者歯科学」（永末書店）
フィードバック方法	Daily Test、Weekly Test の正答率が低い問題につき解説を行う。
注意事項	講義内容を正しく理解し、知識を着実に積み重なっていくこと。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予 習：シラバスの講義内容について予習する。(30分) 復 習：教科書、講義資料および講義ノートをもとに復習を行う。(30分)
オフィスアワー	月曜日～金曜日 16：30～17：30 本館5階西棟 歯科麻酔学講座教授室、医局

【授業日程】

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	4月16日(木) 1時限	歯科治療時に留意すべき全身疾患・状態(1) 高血圧、虚血性心疾患 先天性心疾患、心臓弁膜症	心臓循環器系疾患患者の歯科治療時の全身管理について説明できる。	谷山 貴一
2	4月16日(木) 2時限	歯科治療時に留意すべき全身疾患・状態(2) 気管支喘息 糖尿病、甲状腺機能亢進症、 副腎皮質機能低下症 妊娠	呼吸器疾患患者の歯科治療時の全身管理を説明できる。 内分泌・代謝性疾患患者の歯科治療時の全身管理を説明できる。 妊娠患者の歯科治療時の全身管理を説明できる。	澁谷 徹
3	4月27日(月) 3時限	バイタルサイン モニター 血液検査 全身状態評価	バイタルサインを列挙し、説明できる。 意識障害を評価できる。 血圧・脈拍数を測定し、評価できる。 モニター機器について説明できる。 血液検査での異常値を判別できる。 全身状態を評価できる。	澁谷 徹
4	6月1日(月) 1時限	局所麻酔法 局所的合併症	局所麻酔法について説明できる。 局所麻酔時の局所的合併症について説明できる。	澁谷 徹
5	6月1日(月) 2時限	局所麻酔薬 血管収縮薬	局所麻酔薬の作用機序と作用に影響する因子について説明できる。 血管収縮薬の種類と特徴を説明できる。	谷山 貴一

回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
6	6月8日(月) 1時限	歯科治療時の全身的偶発症(1) 血管迷走神経反射 過換気症候群 局所麻酔薬中毒 アナフィラキシーショック 血管収縮薬による反応 メトヘモグロビン血症	歯科治療時に生じる全身的偶発症の原因・症状・処置・予防について説明できる。	澁谷 徹
7	6月8日(月) 2時限	歯科治療時の全身的偶発症(2) 誤飲・誤嚥 全身疾患の増悪	歯科治療時に生じる全身的偶発症の原因・症状・処置・予防について説明できる。	谷山 貴一
8	7月6日(月) 1時限	救急蘇生法 成人・小児・乳児に対する一次救命処置	救急蘇生法について説明できる。 救急薬品について説明できる。	澁谷 徹
9	7月6日(月) 2時限	精神鎮静法 基本手技 心電図	精神鎮静法について説明できる。 基本手技(注射法、採血法)について説明できる。 心電図の基本を説明できる。 不整脈を診断できる。 心筋虚血による心電図変化を説明できる。	谷山 貴一
10	8月26日(水) 1時限	全身麻酔(1) 全身麻酔法 吸入麻酔薬、静脈麻酔薬、 筋弛緩薬 麻酔前投薬	全身麻酔に使用する薬剤人と器具について説明できる。 麻酔前投薬について説明できる。	澁谷 徹
11	8月26日(水) 2時限	全身麻酔(2) 日帰り全身麻酔 全身麻酔時の合併症	日帰り全身麻酔について説明できる。 全身麻酔時の合併症・偶発症について説明できる。	谷山 貴一
12	9月3日(木) 3時限	疼痛治療 三叉神経痛 非定型顔面痛 顔面神経麻痺 三叉神経麻痺 癌性疼痛	慢性痛について説明できる。 神経麻痺について説明できる。 癌性疼痛の治療法について説明できる。	澁谷 徹
13	10月12日(月) 1時限	全身疾患 循環器系疾患、 呼吸器系疾患、その他の疾患 全身状態評価	歯科治療時に留意すべき全身疾患について説明できる。 全身状態を適切に評価できる。	澁谷 徹
14	10月12日(月) 2時限	全身的偶発症 血管迷走神経反射 過換気症候群 アナフィラキシーショック 異物の誤飲・誤嚥	歯科治療時に起こりうる全身偶発症について説明できる。	谷山 貴一
15	10月30日(金) 1時限	救急蘇生法 救急薬品	救急蘇生法について説明できる。 救急薬品について説明できる。	谷山 貴一
16	10月30日(金) 2時限	疼痛治療 星状神経節ブロック 局所麻酔薬 血管収縮薬	口腔顎顔面領域の慢性痛に対する治療を説明できる。 星状神経節ブロックについて説明できる。 局所麻酔薬について説明できる。 血管収縮薬について説明できる。	澁谷 徹
17	12月11日(金) 3時限	全身状態評価 歯科治療時に留意すべき全身疾患	全身状態を評価できる。 心臓循環器系疾患患者の歯科治療時の全身管理について説明できる。 呼吸器系疾患患者の歯科治療時の全身管理について説明できる。	澁谷 徹

回数	授業日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
18	12月21日(月) 2 時限	救急蘇生法 心電図	救急蘇生法について説明できる。 不整脈を診断できる。	澁谷 徹

歯科放射線学

担当者	教 授：田口明
授業概要	歯科放射線学の基礎的事項および重要事項について、特に視覚的素材を中心に理解を深めることができるように試験と解説を交えて講義する。
教科書	田口 明編：歯科放射線学第6 学年総合講義2020年度版
参考書	田口 明編：「基礎からわかる歯科放射線学」改訂第2 版（IDP 出版） 金田 隆編：「Q & A で学ぶ歯科放射線学：SBOs 講義」（学建書院） 中山英二・森本泰宏編：「口腔・歯・顎・顔面 ポケット画像解剖」（医学情報社）
フィードバック方法	試験において正解率が低い問題について詳細な説明を行う。
注意事項	テキストの復習を必ず行うこと。 国家試験の出題傾向を理解すること。
準備学習時間 (予習・復習)	120分 予 習：事前にシラバスを確認し、講義内容について理解しておくこと。(60分) 復 習：講義内容をしっかり読みかえし、内容を理解すること。(60分)
オフィスアワー	金曜日 17：30～19：00 本館5 階西棟 歯科放射線学講座教授室

【授業日程】

回数	授業日時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
1	3 月13日(金) 3 時限	電離放射線の種類、エックス線の発生とエックス線装置の基本的構造	電離の意味と電離放射線の種類を説明できる。 口内法撮影の種類と適応および利点について説明できる。	田口 明
2	3 月30日(月) 1 時限	エックス線写真の画質、電離放射線の基本と人体への影響、電離放射線の単位、放射性同位元素	コントラストを説明できる。 電離放射線の単位の基本を説明できる。 電離放射線の人体への影響を分類して説明できる。 放射線同位元素の概念について説明できる。	田口 明
3	3 月30日(月) 2 時限	パノラマエックス線撮影の原理 造影剤と CT の基本的概念	パノラマエックス線撮影の原理を説明できる。 CT の構造と CT 値および撮影の基本的概念を説明できる。	田口 明
4	5 月11日(月) 3 時限	エックス線画像形成 各種画像診断装置	エックス線画像形成に関与する因子と画像形成の基本について説明できる。 各種画像装置の適応について説明できる。	田口 明
5	5 月14日(木) 3 時限	放射線防護 電離放射線の影響	放射線防護の基本原則について説明できる。 電離放射線の人体への影響を説明できる。	田口 明
6	6 月 5 日(金) 3 時限	画像情報管理システム 口内法正常解剖	画像情報管理システムについて説明できる。 口内法の正常解剖を説明できる。	田口 明
7	6 月24日(水) 3 時限	パノラマエックス線写真正常解剖 画像検査法の選択	パノラマエックス線写真の正常解剖を説明できる。 病変に適した画像検査法を選択できる。	田口 明
8	7 月 2 日(木) 1 時限	口腔顎顔面領域の診断 特殊画像検査	診断の考え方の基本を身につける。 特殊画像検査法の特徴を説明できる。	田口 明
9	7 月 2 日(木) 2 時限	口腔顔面領域の放射線治療	口腔顎顔面領域の放射線治療について説明できる。 放射線治療の副作用を述べることができる。	田口 明
10	8 月21日(金) 1 時限	口腔顎顔面領域の疾患における画像診断(1)	口腔顎顔面領域の疾患についての画像診断ができる。	田口 明
11	8 月21日(金) 2 時限	口腔顎顔面領域の疾患における画像診断(2)	口腔顎顔面領域の疾患についての画像診断ができる。	田口 明

回数	授業日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
12	9月25日(金) 2時限	口腔顎顔面領域の疾患における画像診断(3)	口腔顎顔面領域の疾患についての画像診断ができる。	田口 明
13	11月6日(金) 1時限	口腔顎顔面領域の疾患における画像診断(4)	顎口腔領域の疾患における画像診断ができる。 顎口腔領域の疾患に関連する胸部エックス線所見が理解できる。	田口 明
14	11月6日(金) 2時限	口腔顎顔面領域の疾患における画像診断(5)	顎口腔領域の疾患における画像診断ができる。 顎口腔領域の疾患に関連する胸部エックス線所見が理解できる。	田口 明
15	11月20日(金) 1時限	口腔顎顔面領域の疾患における画像診断(6)	口腔顎顔面領域の疾患（隣接疾患）についての画像診断ができる。	田口 明
16	11月20日(金) 2時限	口腔顎顔面領域の疾患における画像診断(7)	口腔顎顔面領域の疾患（隣接疾患）についての画像診断ができる。	田口 明
17	12月11日(金) 1時限	歯科医療における最新放射線医学	歯科医療の領域で用いられる最新放射線医学について理解できる。	田口 明
18	12月17日(木) 3時限	最新特殊検査画像	最新特殊検査画像の基礎を理解し、画像選択を行って診断ができる。	田口 明
19	12月25日(金) 2時限	全身疾患と顎骨病変	全身疾患で現れる顎口腔領域の兆候について画像診断ができる。	田口 明

障害者歯科学・高齢者歯科学

担当者	教 授：齋島弘之 講 師：望月慎恭
授業概要	スペシャルニーズのある患者の対応を学ぶ。 1. 院内感染 2. 症候群の特徴 3. 障害特性 4. 全身と局所の加齢変化 5. 高齢者によくみられる疾患
教科書	障害者歯科学会編：「スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科（第2版）」（医歯薬出版） よくわかる高齢者歯科学（医歯薬出版）
参考書	森崎市治郎編：「障害者歯科ガイドブック（第1版）」（医歯薬出版） 渡辺誠監修：「高齢者歯科学（第1版）」（永末書店）
フィードバック方法	Weekly Test の結果を確認し、次回の講義で補足する。
注意事項	時間を有効に活用すること。 疑問はその場で質問すること。
準備学習時間 (予習・復習)	90分 予 習：あらかじめキーワードとその定義を単語帳に記載しておくこと。(30分) 復 習：講義内容をまとめること。(60分)
オフィスアワー	月曜日～金曜日 17:30-19:00 本館1階 地域連携歯科学講座教授室 連絡先：0263-51-8655

【授業日程】

回数	授業日時	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
1	4月17日(金) 3時限	院内感染	スタンダードプリコーションを説明する。 衛生的な手洗いを説明する。 抗菌薬の適正使用について説明する。 適切な滅菌・消毒を説明する。 適切な医療廃棄物処理について説明する。	望月 慎恭
2	5月13日(水) 3時限	障害	障害者と保護者の心理（Drotar の保護者の心理、Cohn の段階理論、死の受容のプロセス）を説明する。 緩和ケアと全人的苦痛を説明する。 脳性まひ、Down 症の概要と歯科治療上の配慮点を説明する。	齋島 弘之
3	5月26日(火) 1時限	症候群(1)	1. 反対咬合を呈する症候群を説明する。 2. 小下顎症の症候群を説明する。 3. 第1・2鰓弓症候群を説明する。 4. 骨形成不全症の症候群を説明する。 5. エナメル質形成不全の症候群を説明する。 6. 歯の脱落を起こす症候群を説明する。	望月 慎恭
4	5月26日(火) 2時限	症候群(2)	7. 過成長の症候群を説明する。 8. 常染色体異常の症候群を説明する。 9. 性染色体異常の症候群を説明する。 10. 神経・皮膚症候群を説明する。 11. 色素沈着の症候群を説明する。	齋島 弘之

回数	授業日 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
5	7月10日(金) 1時限	身体障害	身体障害者福祉法を説明する。 脳性まひの概要と歯科治療上の配慮点を説明する。 筋ジストロフィーの概要と歯科治療上の配慮点を説明する。 ALS の概要と歯科治療上の配慮点を説明する。 Parkinson 病の概要と歯科治療上の配慮点を説明する。 脳血管疾患の概要と歯科治療上の配慮点を説明する。	龍島 弘之
6	7月10日(金) 2時限	精神障害	精神障害を説明する。 双極性障害、認知症、統合失調症、てんかん、発達障害の概要と歯科治療上の配慮すべき事項を説明する。	龍島 弘之
7	7月29日(水) 3時限	全身の加齢、老化	高齢者の特性と全身の加齢変化を説明する。 高齢者の全身状態の評価を説明する。	望月 慎恭
8	9月17日(木) 3時限	高齢者によくみられる疾患(1)	循環器疾患、脳・神経疾患の概要と対応を説明する。	望月 慎恭
9	11月16日(月) 1時限	高齢者によくみられる疾患(2)	高齢者によくみられる代謝性疾患、腎・肝疾患呼吸器疾患、内分泌疾患の概要と対応を説明する。	龍島 弘之
10	11月16日(月) 2時限	障害者歯科における行動調整	精神発達の評価を説明する。 基本的行動調整を説明できる。 行動療法を説明できる。 笑気吸入鎮静法を説明できる。 全身麻酔下歯科治療を説明できる。	龍島 弘之
11	12月14日(月) 3時限	チーム医療・多職種連携	医療連携、チーム医療、訪問診療を説明する。 要介護高齢者と障害者における口腔ケアの役割を説明する。	龍島 弘之
12	12月22日(火) 2時限	高齢者歯科まとめ	全身の症候と対応を説明する。 高齢者によくみられる疾患の概要と対応を説明する。	望月 慎恭

摂食嚥下療法学

担当者	教授：靱島弘之 講師：望月慎恭
授業概要	スペシャルニーズのある患者の対応を学ぶ。 1. 摂食・嚥下リハビリテーション
教科書	向井美恵他編：「歯科学学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学（第1版）」
参考書	障害者歯科学会編：「スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科（第2版）」（医歯薬出版）
フィードバック方法	Weekly Test の結果を確認し、次の講義で補足する。
注意事項	時間を有効に活用すること。 疑問はその場で質問すること。
準備学習時間 (予習・復習)	90分 予習：あらかじめキーワードとその定義を単語帳に記載しておくこと。(30分) 復習：講義内容をまとめること。(60分)
オフィスアワー	月曜日～金曜日 17:30-19:00 本館1階 地域連携歯科学講座教授室 連絡先：0263-51-8655

【授業日程】

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	5月12日(火) 3時限	摂食嚥下療法(1)	嚥下障害の所見を説明する。 嚥下障害への検査を説明する。 嚥下障害の診断を説明する。	靱島 弘之
2	6月9日(火) 3時限	摂食嚥下療法(2)	摂食・嚥下障害の解剖と生理を説明する。	靱島 弘之
3	9月4日(金) 3時限	摂食嚥下療法(3)	摂食嚥下機能のスクリーニングを説明する	望月 慎恭
4	11月2日(月) 1時限	摂食嚥下療法(4)	摂食嚥下機能の精密検査を説明する	望月 慎恭
5	11月2日(月) 2時限	摂食嚥下療法(5)	摂食嚥下調整食を説明する。 摂食嚥下障害患者の栄養管理を説明する。 構音発語障害の病態を説明する。 舌接触補助床を説明する。 食事介助を説明する。	靱島 弘之
6	12月15日(火) 1時限	摂食嚥下療法(6)	嚥下障害を合併する疾患と経過を説明する。	靱島 弘之
7	12月22日(火) 3時限	摂食嚥下療法(7)	摂食嚥下障害への対応を説明する。	靱島 弘之

医療面接法

担当者	准教授：森啓
授業概要	医療倫理を説明できる。 一般歯科診療の流れを説明できる。 医療面接法の基本的流れを説明できる。 コミュニケーションの技法を説明できる。 インフォームド・コンセントを説明できる。 チーム医療を説明できる。 診療記録記載方法を説明できる。
教科書	なし
参考書	斎藤清二：「はじめての医療面接」（医学書院） 伊藤孝訓：「改訂版 歯科医療面接 アートとサイエンス」（シエン社）
フィードバック方法	各テストの理解が不十分な点について資料を配布する。 必要があれば事前に資料配付する。
注意事項	必要な資料は配付する。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予 習：講義内容についてしっかり調べておくこと。(30分) 復 習：資料を調べる際にはノートや教科書・参考書を利用してしっかり内容を理解すること。(30分)
オフィスアワー	月曜日 - 金曜日 17:30以降～ 本館2階北棟病院共同教員室

【授業日程】

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	3月16日(月) 3時限	プロフェッショナリズム（医の倫理と生命倫理、患者中心の視点） 診療技能と患者ケア	1. 歯科医師に必要な倫理的行動と規範を説明できる。 2. 患者中心の医療とセカンドオピニオンを説明できる。 3. 医療面接に必要なプロセスと技能と臨床推論を説明できる。	森 啓
2	11月20日(金) 3時限	チーム医療の実践（医療面接） 一般歯科診療の基本（診療録） 医療英語 コミュニケーション能力	1. 歯科診療に必要な態度と基本的技能を説明できる。 2. カルテ入力方法（POMR）を説明できる。 3. チーム医療の内容（多職種連携）、病院連携を説明できる。 4. 歯科診療に必要な英語表現を説明できる。	森 啓
3	12月15日(火) 2時限	医療面接	1. 医療面接の意義を説明できる。 2. 医療面接の目的を説明できる。 3. 医療面接に必要なスキルを説明できる。	森 啓
4	12月23日(水) 1時限	臨床推論	1. 口腔・顎顔面領域の疾患を正しく診断し、患者の立場を尊重した治療方針・治療計画を立案説明できる。 2. 臨床推論について説明できる。	森 啓

2020 年度 6 学年 日程表

曜			月	火	水	木	金	土	日
1			3/9	3/10	3/11	3/12	3/13	3/14	3/15
	1	9:00～ 10:30							
	2	10:40～ 12:10		公衆衛生学-1					
	3	13:10～ 14:40		小児歯科学-1					
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

2			3/16	3/17	3/18	3/19	3/20	3/21	3/22
	1	9:00～ 10:30	口腔外科学-1・2				春分の日		
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	医療面接法-1						
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

3			3/23	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29
	1	9:00～ 10:30	全部床義歯学-1・2	口腔生理学-1・2	口腔外科学-3・4	口腔組織学-1・2	口腔外科学-5・6		
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	口腔細菌学-1	歯科放射線学-1	歯科矯正学-1	歯科理工学-1	口腔解剖学-1		
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

4			3/30	3/31	4/1	4/2	4/3	4/4	4/5
	1	9:00～ 10:30	歯科放射線学-2・3	小児歯科学-2・3					
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	全部床義歯学-3	口腔生化学-1					
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

5			4/6	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12
	1	9:00～ 10:30	口腔外科学-7・8	歯科薬理学-1・2	全部床義歯学-4・5		公衆衛生学-2・3		
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	口腔病理学-1	口腔外科学-9	口腔解剖学-2				
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

曜			月	火	水	木	金	土	日
6			4/13	4/14	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19
	1	9:00～ 10:30	保存修復学-1・2	口腔外科学-10・11	公衆衛生学-4・5	歯科麻酔学-1・2	歯科理工学-2・3		
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	歯内療法学-1	歯周病学-1	口腔病理学-2	口腔細菌学-2	障害者歯科学・高齢者歯科学-1		
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

7			4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26
	1	9:00～ 10:30	歯周病学-2・3	歯内療法学-2・3	口腔外科学-12・13	公衆衛生学-6・7	保存修復学-3・4		
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-4	歯科矯正学-2	冠・架工義歯学-1	口腔生化学-2	歯科薬理学-3		
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

8			4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3
	1	9:00～ 10:30	冠・架工義歯学-2・3	歯科矯正学-3・4	昭和の日	オリエンテーション			憲法記念日
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	歯科麻酔学-3	口腔病理学-3		連携講義-1・2・3 (MDUゼミ・宇佐美・全部床)	連携講義-4・5・6 (MDUゼミ・宇佐美・全部床)	連携講義-7・8・9 (MDUゼミ・宇佐美・全部床)	
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

9			5/4	5/5	5/6	5/7	5/8	5/9	5/10
	1	9:00～ 10:30	みどりの日	こどもの日	振替休日	公衆衛生学-8・9	歯科矯正学-5		
	2	10:40～ 12:10					連携講義-10・11・12 (MDUゼミ・小出・社会歯科学)	連携講義-13・14・15 (MDUゼミ・宇佐美・部分床)	
	3	13:10～ 14:40				健康診断			
	4	14:50～ 16:20				総合講義演習 (14:50～17:00)			
	5	16:30～ 18:00				Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)			

10			5/11	5/12	5/13	5/14	5/15	5/16	5/17
	1	9:00～ 10:30	歯周病学-4・5	歯内療法学-4・5	部分床義歯学-1・2	口腔外科学-14・15	歯科矯正学-6・7		
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	歯科放射線学-4	摂食嚥下療法学-1	障害者歯科学・高齢者歯科学-2	歯科放射線学-5	公衆衛生学-10	連携講義-16・17・18 (MDUゼミ・宇佐美・部分床)	
	4	14:50～ 16:20	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)		
	5	16:30～ 18:00	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)		

曜			月	火	水	木	金	土	日
11			5/18	5/19	5/20	5/21	5/22	5/23	5/24
	1	9:00～ 10:30	冠・架工義歯学- 4・5	授業なし	Ⅰ期試験	Ⅰ期試験解説	部分床義歯学-3・4	連携講義-19・ 20・21 (MDUゼミ・宇 佐美・部分床)	
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	歯周病学-6				口腔外科学-16		
	4	14:50～ 16:20	総合講義演習 (14:50～17:00)				総合講義演習 (14:50～17:00)		
	5	16:30～ 18:00	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)				Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)		

12			5/25	5/26	5/27	5/28	5/29	5/30	5/31		
	1	9:00～ 10:30	小児歯科学・5・6	障害者歯科学・高齢者歯科学・3・4				Weekly test-1			
	2	10:40～ 12:10									
	3	13:10～ 14:40			歯周病学-7	口腔外科学-17	連携講義-22・23・24 (MDUゼミ・宇佐美・歯内療法)	連携講義-25・26・27 (MDUゼミ・宇佐美・歯内療法)		連携講義-28・29・30 (MDUゼミ・宇佐美・歯内療法)	補講・自習
	4	14:50～ 16:20			総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)					
	5	16:30～ 18:00			Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)					

13			6/1	6/2	6/3	6/4	6/5	6/6	6/7
	1	9:00～ 10:30	歯科麻酔学-4・5	Ⅰ期試験追再試	小児歯科学-7・8	保存修復学-6・7	歯周病学-8・9	Weekly test-2	
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	部分床義歯学-5		保存修復学-5	冠・架工義歯学-6	歯科放射線学-6		
	4	14:50～ 16:20	総合講義演習 (14:50～17:00)		総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)		
	5	16:30～ 18:00	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)		Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)		

14			6/8	6/9	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14	
	1	9:00～ 10:30	歯科麻酔学-6・7	小児歯科学-9・10	歯内療法学-7・8	小児歯科学-11・12	口腔外科学-18・19	Weekly test-3		
	2	10:40～ 12:10								
	3	13:10～ 14:40	歯内療法学-6		摂食嚥下療法学-2	口腔組織学-3	公衆衛生学-11	公衆衛生学-12		補講・自習
	4	14:50～ 16:20	総合講義演習 (14:50～17:00)		総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)		
	5	16:30～ 18:00	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)		Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)		

15			6/15	6/16	6/17	6/18	6/19	6/20	6/21
	1	9:00～ 10:30	授業なし (マッチング、 医局、 大学院説明会)	歯科矯正学-8・9					
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40		口腔病理学-4					
	4	14:50～ 16:20		総合講義演習 (14:50～17:00)					
	5	16:30～ 18:00		Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)					

曜			月	火	水	木	金	土	日
16			6/22	6/23	6/24	6/25	6/26	6/27	6/28
	1	9:00～ 10:30	口腔生化学-3・4	口腔生理学-3・4	口腔外科学-20・21	歯科理工学-5・6	口腔病理学-5・6	Weekly test-4	
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	歯科理工学-4	公衆衛生学-13	歯科放射線学-7	全部床義歯学-6	歯科薬理学-4		
	4	14:50～ 16:20	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	補講・自習	
	5	16:30～ 18:00	Daily test (17:00～17:15)	Daily test (17:00～17:15)	Daily test (17:00～17:15)	Daily test (17:00～17:15)	Daily test (17:00～17:15)		
Daily test 復習 (17:15～18:00)			Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test 復習 (17:15～18:00)			

17			6/29	6/30	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5
	1	9:00～ 10:30	口腔解剖学・3・4	公衆衛生学・14・15	口腔外科学・22・23	歯科放射線学・8・9	公衆衛生学・16・17	Weekly test-5	
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	部分床義歯学・6	冠・架工義歯学・7	全部床義歯学・7	歯科理工学・7	口腔外科学・24		
	4	14:50～ 16:20	総合講義演習 (14：50～17：00)	総合講義演習 (14：50～17：00)	総合講義演習 (14：50～17：00)	総合講義演習 (14：50～17：00)	総合講義演習 (14：50～17：00)	補講・自習	
	5	16:30～ 18:00	Daily test (17：00～17：15)	Daily test (17：00～17：15)	Daily test (17：00～17：15)	Daily test (17：00～17：15)	Daily test (17：00～17：15)		
			Daily test 復習 (17：15～18：00)	Daily test 復習 (17：15～18：00)	Daily test 復習 (17：15～18：00)	Daily test 復習 (17：15～18：00)	Daily test 復習 (17：15～18：00)		

18			7/6	7/7	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12
	1	9:00～ 10:30	歯科麻酔学・8・9	授業なし	Ⅱ期試験	Ⅱ期試験解説	障害者歯科学・高齢者歯科学・5・6	連携講義-43・44・45 (MDUゼミ・井上・生理)	
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	口腔外科学-25				冠・架工義歯学-8		
	4	14:50～ 16:20	総合講義演習 (14：50～17：00)				総合講義演習 (14：50～17：00)		
	5	16:30～ 18:00	Daily test (17：00～17：15) Daily test 復習 (17：15～18：00)				Daily test (17：00～17：15) Daily test 復習 (17：15～18：00)		

19			7/13	7/14	7/15	7/16	7/17	7/18	7/19
	1	9:00～ 10:30					保存修復学-8・9	Weekly test-6	
	2	10:40～ 12:10	連携講義-46・ 47・48 (DES・矯正・ 内科・摂食嚥下・ 口外)	連携講義-49・ 50・51 (DES・矯正・ 内科・摂食嚥下・ 口外)	連携講義-52・ 53・54 (DES・矯正・ 内科・摂食嚥下・ 口外)	連携講義-55・ 56・57 (DES・矯正・ 内科・摂食嚥下・ 口外)		連携講義-58・ 59・60 (MDUゼミ・井 上・生理)	
	3	13:10～ 14:40						口腔外科学-26	
	4	14:50～ 16:20					総合講義演習 (14:50～17:00)		
	5	16:30～ 18:00					Daily test (17:00～17:15)		
						Daily test 復習 (17:15～18:00)			

20			7/20	7/21	7/22	7/23	7/24	7/25	7/26
	1	9:00～ 10:30	口腔外科学-27・28	歯科矯正学-10・11	全部床義歯学-8・9	海の日	スポーツの日	Ⅱ期試験追再試	夏季休業
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	口腔細菌学-3	部分床義歯学-7	歯科薬理学-5				
	4	14:50～ 16:20	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)				
	5	16:30～ 18:00	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)				

曜			月	火	水	木	金	土	日
21			7/27	7/28	7/29	7/30	7/31	8/1	8/2
	1	9:00～ 10:30	部分床義歯学・8・9	口腔外科学・29・30	歯周病学・10・11	連携講義・61・ 62・63 (MDUゼミ・宇 佐美・理工)	連携講義・64・ 65・66 (MDUゼミ・宇 佐美・理工)	夏季休業	夏季休業
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	公衆衛生学・18	歯科矯正学・12	障害者歯科学・高 齢者歯科学・7				
	4	14:50～ 16:20	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)				
	5	16:30～ 18:00	Daily test (17:00～17:15)	Daily test (17:00～17:15)	Daily test (17:00～17:15)				
Daily test 復習 (17:15～18:00)			Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test 復習 (17:15～18:00)					

22			8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8	8/9
	1	9:00～ 10:30	夏季休業	夏季休業				夏季休業	夏季休業
	2	10:40～ 12:10			連携講義-67・ 68・69 (MDUゼミ・宇 佐美・保存)	連携講義-70・ 71・72 (MDUゼミ・宇 佐美・保存)	連携講義-73・ 74・75 (MDUゼミ・宇 佐美・保存)		
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

23			8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15	8/16
	1	9:00～ 10:30	山の日	夏季休業					
	2	10:40～ 12:10			連携講義-76・ 77・78 (MDUゼミ・宇 佐美・歯周病)	連携講義-79・ 80・81 (MDUゼミ・宇 佐美・歯周病)	連携講義-82・ 83・84 (MDUゼミ・宇 佐美・歯周病)		
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

24			8/17	8/18	8/19	8/20	8/21	8/22	8/23
	1	9:00～ 10:30				歯内療法学-9・10	歯科放射線学- 10・11	Weekly test-7	
	2	10:40～ 12:10	連携講義-85・ 86・87 (DES・矯正・ 内科・摂食嚥下・ 口外)	連携講義-88・ 89・90 (DES・矯正・ 内科・摂食嚥下・ 口外)	連携講義-91・ 92・93 (DES・矯正・ 内科・摂食嚥下・ 口外)				
	3	13:10～ 14:40				冠・架工義歯学-9	口腔組織学-4	補講・自習	
	4	14:50～ 16:20				総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)		
	5	16:30～ 18:00				Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)		

25			8/24	8/25	8/26	8/27	8/28	8/29	8/30
	1	9:00～ 10:30	演習 模擬試験 (DES 1)	演習 模擬試験 (DES 1)	歯科麻酔学-10・11	冠・架工義歯学- 10・11	口腔外科学-31・32		
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40			歯内療法学-11	口腔組織学-5	歯科理工学-8		
	4	14:50～ 16:20			総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)		
	5	16:30～ 18:00			Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)		

曜			月	火	水	木	金	土	日
26			8/31	9/1	9/2	9/3	9/4	9/5	9/6
	1	9:00～ 10:30	小児歯科学- 13・14	歯周病学-12・13	全部床義歯学- 10・11	歯科矯正学- 13・14	公衆衛生学- 19・20	Weekly test-8	
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	部分床義歯学-10	口腔生理学-5	保存修復学-10	歯科麻酔学-12	摂食嚥下療法学-3		
	4	14:50～ 16:20	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	補講・自習	
	5	16:30～ 18:00	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)		

27			9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12	9/13
	1	9:00～ 10:30	口腔外科学-33・34 歯内療法学-12 総合講義演習 (14:50～17:00) Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	授業なし	Ⅲ期試験	Ⅲ期試験解説	保存修復学-11・12 冠・架工義歯学-12 総合講義演習 (14:50～17:00) Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)		
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

28			9/14	9/15	9/16	9/17	9/18	9/19	9/20		
	1	9:00～ 10:30	公衆衛生学-21・ 22	演習 模擬試験 (麻布 1)	演習 模擬試験 (麻布 1)	口腔外科学-35・36	歯周病学-14・15	Weekly test-9			
	2	10:40～ 12:10				障害者歯科学・高 齢者歯科学-8	口腔解剖学-5	補講・自習			
	3	13:10～ 14:40								歯科薬理学-6	
	4	14:50～ 16:20								総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)
	5	16:30～ 18:00								Daily test (17:00～17:15)	Daily test (17:00～17:15)
Daily test 復習 (17:15～18:00)			Daily test 復習 (17:15～18:00)								

29			9/21	9/22	9/23	9/24	9/25	9/26	9/27
	1	9:00～ 10:30	敬老の日	秋分の日	部分床義歯学- 11・12 口腔生化学-5 総合講義演習 (14:50～17:00) Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	冠・架工義歯学- 13・14 口腔細菌学-4 総合講義演習 (14:50～17:00) Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	歯内療法学-13 歯科放射線学-12 口腔病理学-7 総合講義演習 (14:50～17:00) Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Ⅲ期試験追再試	
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

30			9/28	9/29	9/30	10/1	10/2	10/3	10/4
	1	9:00～ 10:30	小児歯科学-15	小児歯科学-16	公衆衛生学-23・24	口腔外科学-37	保存修復学-13・14	Weekly test-10	
	2	10:40～ 12:10	全部床義歯学-12	全部床義歯学-13		口腔組織学-6			
	3	13:10～ 14:40	歯科矯正学-15	歯科矯正学-16	口腔生理学-6	公衆衛生学-25	歯科理工学-9		
	4	14:50～ 16:20	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	体育祭 補講・自習	
	5	16:30～ 18:00	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)		

曜			月	火	水	木	金	土	日
31			10/5	10/6	10/7	10/8	10/9	10/10	10/11
	1	9:00～ 10:30	保存修復学- 15・16	全部床義歯学- 14・15	公衆衛生学- 26・27	公衆衛生学- 28・29	全部床義歯学- 16・17	Weekly test-11	
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	歯科理工学-10	口腔生理学-7	口腔解剖学-6	口腔生化学-6	口腔生化学-7	補講・自習	
	4	14:50～ 16:20	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)		
	5	16:30～ 18:00	Daily test (17:00～17:15)	Daily test (17:00～17:15)	Daily test (17:00～17:15)	Daily test (17:00～17:15)	Daily test (17:00～17:15)		
Daily test 復習 (17:15～18:00)			Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test 復習 (17:15～18:00)			

32			10/12	10/13	10/14	10/15	10/16	10/17	10/18
	1	9:00～ 10:30	歯科麻酔学- 13・14	公衆衛生学- 30・31	小児歯科学- 17・18	部分床義歯学- 13・14	歯内療法学- 14・15	Weekly test-12	
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	歯科薬理学-7	口腔解剖学-7	公衆衛生学-32	歯科薬理学-8	歯科理工学-11	補講・自習	
	4	14:50～ 16:20	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)		
	5	16:30～ 18:00	Daily test (17:00～17:15)	Daily test (17:00～17:15)	Daily test (17:00～17:15)	Daily test (17:00～17:15)	Daily test (17:00～17:15)		
			Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test 復習 (17:15～18:00)		

33			10/19	10/20	10/21	10/22	10/23	10/24	10/25
	1	9:00～ 10:30	口腔外科学- 38・39	歯科矯正学- 17・18	小児歯科学- 19・20	部分床義歯学- 15・16	歯内療法学- 16・17	Weekly test-13	
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	口腔生理学-8	公衆衛生学-33	歯周病学-16	口腔生化学-8	口腔細菌学-5	補講・自習	
	4	14:50～ 16:20	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)		
	5	16:30～ 18:00	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)		

34			10/26	10/27	10/28	10/29	10/30	10/31	11/1
	1	9:00～ 10:30	口腔外科学- 40・41	歯科矯正学- 19・20	連携講義-94・ 95・96 (MDUゼミ・宇 佐美・演習)	連携講義-97・ 98・99 (MDUゼミ・宇 佐美・演習)	歯科麻酔学- 15・16	補講・自習	
	2	10:40～ 12:10					冠・架工義歯学-15		
	3	13:10～ 14:40	歯科薬理学-9	口腔解剖学-8			総合講義演習 (14:50～17:00)		
	4	14:50～ 16:20	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)			Daily test (17:00～17:15)		
	5	16:30～ 18:00	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)			Daily test 復習 (17:15～18:00)		

35			11/2	11/3	11/4	11/5	11/6	11/7	11/8
	1	9:00～ 10:30	摂食嚥下療法学- 4・5	文化の日	演習 模擬試験 (麻布2)	演習 模擬試験 (麻布2)	歯科放射線学- 13・14	Weekly test-14	
	2	10:40～ 12:10					口腔細菌学-6		
	3	13:10～ 14:40	口腔病理学-8				総合講義演習 (14:50～17:00)		
	4	14:50～ 16:20	総合講義演習 (14:50～17:00)				Daily test (17:00～17:15)		
	5	16:30～ 18:00	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)				Daily test 復習 (17:15～18:00)		

曜			月	火	水	木	金	土	日
			11/9	11/10	11/11	11/12	11/13	11/14	11/15
36	1	9:00～ 10:30	演習 模擬試験 (DES 2)	演習 模擬試験 (DES 2)	特別講義-1・2	歯周病学-17・18	口腔外科学-42・43		
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40			特別講義-3・4 (内科学)	口腔組織学-7	部分床義歯学-17		
	4	14:50～ 16:20				総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)		
	5	16:30～ 18:00				Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)		

			11/16	11/17	11/18	11/19	11/20	11/21	11/22
37	1	9:00～ 10:30	障害者歯科学・高 齢者歯科学-9・10	冠・架工義歯学- 16・17	特別講義-5・6	特別講義-9・10	歯科放射線学- 15・16	Weekly test-15	
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40	口腔病理学-9	口腔細菌学-7	特別講義-7・8 (内科学)	特別講義-11・12 (法歯学)	医療面接法-2		
	4	14:50～ 16:20	総合講義演習 (14:50～17:00)	総合講義演習 (14:50～17:00)			総合講義演習 (14:50～17:00)		
	5	16:30～ 18:00	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)	Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)			Daily test (17:00～17:15) Daily test 復習 (17:15～18:00)		

			11/23	11/24	11/25	11/26	11/27	11/28	11/29		
38	1	9:00～ 10:30	勤労感謝の日	口腔外科学-44・45	歯周病学-19・20	公衆衛生学-34	授業なし	Weekly test-16			
	2	10:40～ 12:10				全部床義歯学-18					
	3	13:10～ 14:40		口腔組織学-8	口腔病理学-10	歯周病学-21					
	4	14:50～ 16:20		総合講義演習 (14：50～17：00)	総合講義演習 (14：50～17：00)	総合講義演習 (14：50～17：00)		補講・自習			
	5	16:30～ 18:00		Daily test (17：00～17：15)	Daily test (17：00～17：15)	Daily test (17：00～17：15)					
				Daily test 復習 (17：15～18：00)	Daily test 復習 (17：15～18：00)	Daily test 復習 (17：15～18：00)					

			11/30	12/1	12/2	12/3	12/4	12/5	12/6
39	1	9:00～ 10:30	Ⅳ期試験	Ⅳ期試験解説	演習 模擬試験 (麻布3)	演習 模擬試験 (麻布3)	口腔解剖学-9		
	2	10:40～ 12:10					口腔組織学-9		
	3	13:10～ 14:40					口腔生理学-9		
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

			12/7	12/8	12/9	12/10	12/11	12/12	12/13
40	1	9:00～ 10:30	口腔生化学-9	歯科薬理学-10	保存修復学-17	全部床義歯学-19	歯科放射線学-17	Ⅳ期試験追再試	
	2	10:40～ 12:10	口腔細菌学-8	歯科理工学-12	歯内療法学-18	部分床義歯学-18	歯科矯正学-21		
	3	13:10～ 14:40	口腔病理学-11	公衆衛生学-35	歯周病学-22	冠・架工義歯学-18	歯科麻酔学-17		
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

曜			月	火	水	木	金	土	日
41			12/14	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19	12/20
	1	9:00～ 10:30	口腔外科学-46	摂食嚥下療法学-6	歯内療法学-19	部分床義歯学-19	連携講義-100・101・102 (MDU セミ・宇佐美・演習) 連携講義-103・104・105 (MDU セミ・宇佐美・演習)		
	2	10:40～ 12:10	小児歯科学-21	医療面接法-3	歯周病学-23	冠・架工義歯学-19			
	3	13:10～ 14:40	障害者・高齢者歯 科学-11	保存修復学-18	全部床義歯学-20	歯科放射線学-18			
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

42			12/21	12/22	12/23	12/24	12/25	12/26	12/27
	1	9:00～ 10:30	歯科矯正学-22	小児歯科学-22	医療面接法-4	歯周病学-24	冠・架工義歯学-20	冬季休業	冬季休業
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-18	障害者・高齢者歯 科学-12	保存修復学-19	全部床義歯学-21	歯科放射線学-19		
	3	13:10～ 14:40	口腔外科学-47	摂食嚥下療法学-7	歯内療法学-20	部分床義歯学-20	口腔外科学-48		
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

43			12/28	12/29	12/30	12/31	1/1	1/2	1/3
	1	9:00～ 10:30	冬季休業	冬季休業	冬季休業	冬季休業	元旦	冬季休業	冬季休業
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

44			1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	1/10
	1	9:00～ 10:30	冬季休業	冬季休業	卒業試験	卒業試験	授業なし		
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

45			1/11	1/12	1/13	1/14	1/15	1/16	1/17
	1	9:00～ 10:30	直前講義（麻布）	直前講義（麻布）	ファウンダーズデイ		演習 模擬試験 (DES 3)	演習 模擬試験 (DES 3)	
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

曜			月	火	水	木	金	土	日
46			1/18	1/19	1/20	1/21	1/22	1/23	1/24
	1	9:00～ 10:30	卒業追再試験	卒業追再試験	口腔解剖学	口腔細菌学	公衆衛生学	直前講義 (DES)	直前講義 (DES)
	2	10:40～ 12:10			口腔組織学	口腔病理学	保存修復学		
	3	13:10～ 14:40			口腔生理学	歯科薬理学	歯内療法学		
	4	14:50～ 16:20			口腔生化学	歯科理工学	歯周病学		
	5	16:30～ 18:00							

47			1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31
	1	9:00～ 10:30	全部床義歯学	歯科矯正学	摂食嚥下療法学		創立記念日	歯科医師国家試験 (予定)	歯科医師国家試験 (予定)
	2	10:40～ 12:10	部分床義歯学	歯科放射線学	歯科麻酔学				
	3	13:10～ 14:40	冠架工義歯学	小児歯科学	医療面接法				
	4	14:50～ 16:20	口腔外科学	障害者・高齢者歯科学					
	5	16:30～ 18:00							

48			2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	2/6	2/7
	1	9:00～ 10:30				卒業式 (予定)			
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

49			2/8	2/9	2/10	2/11	2/12	2/13	2/14
	1	9:00～ 10:30	建国記念日						
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

2020年度 第6学年 年間予定

2020年

3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月		
1 日			1 水			1 金			1 月			1 水			1 土 夏季休業(～8/11)			1 火		
2 月			2 木			2 土			2 火 I 期 追・再試験			2 木			2 日			2 水		
3 火			3 金			3 日 憲法記念日			3 水			3 金			3 月			3 木		
4 水			4 土			4 月 みどりの日			4 木			4 土 Weekly Test 5			4 火			4 金		
5 木			5 日			5 火 こどもの日			5 金			5 日			5 水			5 土 Weekly Test 8		
6 金			6 月			6 水 振替休日			6 土 Weekly Test 2			6 月			6 木			6 日		
7 土			7 火			7 木 健康診断			7 日			7 火 授業なし			7 金			7 月		
8 日			8 水			8 金			8 月			8 水 II 期試験			8 土			8 火 授業なし		
9 月			9 木 授業なし			9 土			9 火			9 木 II 期試験 解説			9 日			9 水 III 期試験		
10 火 I 期開始			10 金 健康診断			10 日			10 水			10 金 III 期開始			10 月 山の日			10 木 III 期試験 解説		
11 水			11 土			11 月			11 木			11 土			11 火 夏季休業終了			11 金 IV 期開始		
12 木			12 日			12 火			12 金			12 日			12 水			12 土		
13 金			13 月			13 水			13 土 Weekly Test 3			13 月			13 木			13 日		
14 土			14 火			14 木			14 日			14 火			14 金			14 月		
15 日			15 水 交通安全講習会			15 金			15 月 マッチング・医局・大学院説明会			15 水			15 土			15 火 演習		
16 月			16 木			16 土			16 火			16 木			16 日			16 水 演習		
17 火 演習			17 金			17 日			17 水			17 金			17 月			17 木		
18 水 演習			18 土			18 月			18 木			18 土 Weekly Test 6			18 火			18 金		
19 木 演習			19 日			19 火 授業なし			19 金			19 日			19 水			19 土 Weekly Test 9		
20 金 春分の日			20 月			20 水 I 期試験			20 土			20 月			20 木			20 日		
21 土			21 火			21 木 I 期試験 解説			21 日			21 火			21 金			21 月 敬老の日		
22 日			22 水			22 金 II 期開始			22 月			22 水			22 土 Weekly Test 7			22 火 秋分の日		
23 月			23 木			23 土			23 火			23 木 海の日			23 日			23 水		
24 火			24 金			24 日			24 水			24 金 スポーツの日			24 月 演習			24 木		
25 水			25 土			25 月			25 木			25 土 II 期 追・再試験			25 火 演習			25 金		
26 木			26 日			26 火			26 金			26 日			26 水			26 土 III 期 追・再試験		
27 金			27 月			27 水			27 土 Weekly Test 4			27 月			27 木			27 日		
28 土			28 火			28 木			28 日			28 火			28 金			28 月		
29 日			29 水 昭和の日 観桜会・松濤祭			29 金			29 月			29 水			29 土			29 火		
30 月			30 木 オリエンテーション			30 土 Weekly Test 1			30 火			30 木			30 日			30 水		
31 火						31 日						31 金			31 月					

2021年

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	木	1	日	1	火	IV期試験 解説	1	金	元日	1	月
2	金	2	月	2	水	演習	2	土		2	火
3	土	3	火	3	木	演習	3	日		3	水
Weekly Test 10 体育祭		文化の日						卒業式(予定)			
4	日	4	水	4	金		4	月		4	木
5	月	5	木	5	土		5	火	冬季休業終了	5	金
6	火	6	金	6	日		6	水	卒業試験	6	土
7	水	7	土	7	月		7	木	卒業試験	7	日
8	木	8	日	8	火		8	金	授業なし	8	月
9	金	9	月	9	水		9	土		9	火
10	土	10	火	10	木		10	日		10	水
Weekly Test 11		演習									
11	日	11	水	11	金		11	月	成人の日	11	木
12	月	12	木	12	土	IV期 追・再試験	12	火		12	金
13	火	13	金	13	日		13	水		13	土
14	水	14	土	14	月		14	木	ファウンダーズデイ	14	日
15	木	15	日	15	火		15	金	演習	15	月
16	金	16	月	16	水		16	土	演習	16	火
17	土	17	火	17	木		17	日		17	水
Weekly Test 12											
18	日	18	水	18	金		18	月	卒業試験 追・再試験	18	木
19	月	19	木	19	土		19	火	卒業試験 追・再試験	19	金
20	火	20	金	20	日		20	水		20	土
										春分の日	
21	水	21	土	21	月		21	木		21	日
Weekly Test 15											
22	木	22	日	22	火		22	金		22	月
23	金	23	月	23	水		23	土		23	火
		勤労感謝の日						天皇誕生日			
24	土	24	火	24	木		24	日		24	水
Weekly Test 13											
25	日	25	水	25	金		25	月		25	木
26	月	26	木	26	土	冬季休業(～1/5)	26	火		26	金
27	火	27	金	27	日		27	水		27	土
		授業なし									
28	水	28	土	28	月		28	木		28	日
Weekly Test 16											
29	木	29	日	29	火		29	金	創立記念日	29	月
30	金	30	月	30	水		30	土	歯科医師国家試験 (予定)	30	火
31	土			31	木		31	日	歯科医師国家試験 (予定)	31	水

病 院 概 要

【病院概要】

病院敷地面積	10,986.5㎡
病院建設延面積	15,843.80㎡（地下1階、地上4階）
病院理念	<p>建学の精神に立脚し患者個人の尊厳を重んじた手厚い医療を行う。教学一致の不断の研鑽と高雅な学識、技法に基づく臨床教育及び生涯教育を行い人間性豊かな知識・技術・態度に優れた医療人を育成する。</p> <p>真理を追究し、真理に基づいた医療のために幅広く有意義な臨床研究を推進し先進的かつ質の高い医療を提供しつつ優れた医療人を育成し医学の発展と地域社会に貢献する。</p>
基本方針	私たちは「やさしく、安全、親切で、確かな医療」を提供できる病院を目指します。
標榜科	歯科、矯正歯科、小児歯科、歯科口腔外科、内科、消化器内科、神経内科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科
受付・診療時間	<p>口腔診療部</p> <p>初診受付 平 日 8:30～11:00／13:00～16:00 土曜日 8:30～11:00</p> <p>再診受付 平 日 8:30～11:30／13:00～16:30 土曜日 8:30～11:30</p>
診療時間	<p>診療時間 平 日 9:00～12:00／13:00～17:00 土曜日 9:00～12:00</p> <p>内科・消化器内科・神経内科・耳鼻いんこう科※1・皮膚科※2</p> <p>初診受付 平 日 8:30～11:30／14:00～16:30 再診受付 平 日 8:30～11:30／14:00～16:30 診療時間 平 日 9:00～12:00／14:00～17:00</p> <p>※土曜日は休診となります。</p> <p>※1 耳鼻いんこう科は水曜日手術日、第4金曜日休診となります。</p> <p>※2 皮膚科は午後再診完全予約制（手術等）、木曜日休診となります。</p> <p>眼科</p> <p>初診受付 平 日 8:30～11:00 再診受付 月・水・木・金 8:30～11:00／13:30～15:30 診療時間 平 日 9:00～12:00／13:30～17:00</p> <p>※土曜日は休診となります。</p> <p>※再診は予約制になります。午後の診療は予約のみとなります。</p>
休診日	日曜、祝日、創立記念日、夏季休業、年末年始休業等

患者数	2017年度1日平均外来 525人（医科を含む） 2017年度1日平均入院 8人（同）
病床数	病床数31床
主な設備	チェアーユニット108台、超音波診断装置、MRI、マルチスライス CT スキャナー、歯科用小型エックス線 CT（3DX）、マイクロスコープレーザー治療装置、レーザー溶接機、デンタルキャディムシステム、歯科用シミュレーションシステム、電子カルテシステム、医療用画像管理システム（PACS）

【カルテの閲覧】

2008年4月15日よりカルテは電子化されている。レポート提出等で電子カルテの閲覧が必要になった場合は、担当医の許可を得て指示を仰ぐ。

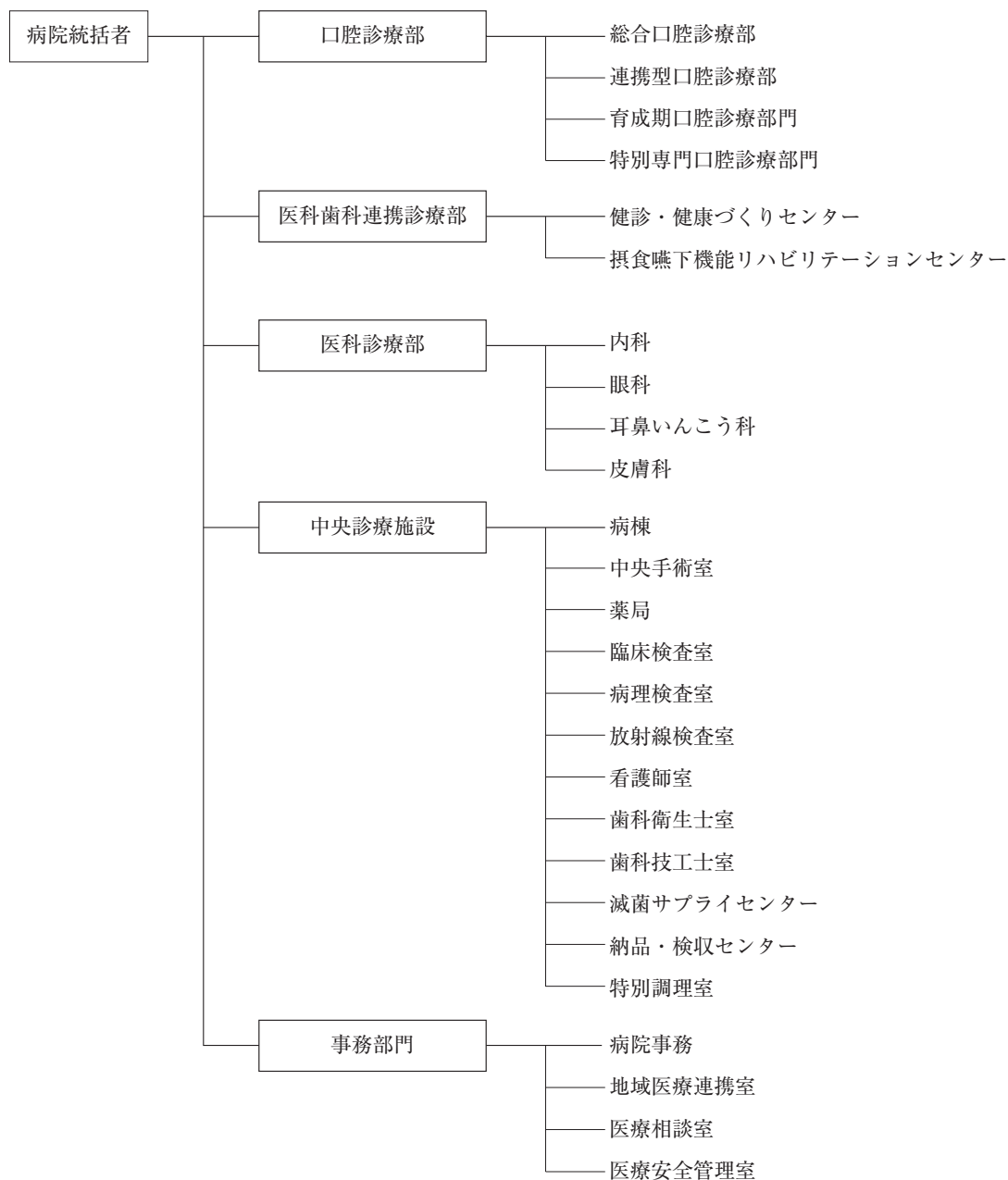
【法令関係】

歯科医業を行っていくためには、種々の法令の制約を受けることになる。歯科医業に関連する法令としては、歯科医師法、薬事法、医療法、健康保険法（国民健康保険法）、保険医療機関及び保険医療養担当規則、歯科点数表の解釈などがある。

歯科医師法	歯科医師の任務、免許、試験、業務等について定めた法律
薬事法	医薬品、医薬部外品、化粧品及び医療用具に関する事項を規制し、これらの品質、有効性及び安全性を確保することを目的とする法律
医療法	医療を提供する体制の確保を図り、もって国民の健康の保持に寄与することを目的とし、医療施設の計画的な整備、医療施設の人的構成、構造設備、管理体制等の規制、医療法人の規制等を行う法律
健康保険法	医療保険制度の中の1つの保険制度 勤労者（加入者）及びその家族が業務外の事由により病気やけがをしたり、死亡、出産した場合に備えて、被保険者と事業主とが保険料を負担して、被保険者及び被扶養者の保険事故に対して保険給付を行い、勤労者やその家族の生活の安定を図ることを目的とした法律
保険医療機関及び保険医療養担当規則	保険医療の原則を定めたものであり、保険医療機関が保険診療を行うにあたっての責務等を定めたものと、保険医が診療を行う際の診療方針等を定めたものの2部から構成されている。
歯科点数表の解釈	保険診療においては個々の医療行為を点数化し、診療報酬明細書（レセプト）として支払機関を通じて保険者に請求する。1点単価は10円であり、歯科点数表は基本診療科、指導管理等、在宅医療、検査、画像診断、投薬、注射、リハビリ、処置、手術、麻酔、放射線治療、歯冠修復及び欠損補綴、歯科矯正の各部から構成されている。歯科点数表は通常2年ごとに改定される。

【組織図】

病院の組織図は以下のようになっている。病院の運営に係る重要事項は、病院長会議及び口腔診療会議、医科診療会議で審議される。臨床実習については、臨床実習運営委員会によりカリキュラムの策定・実習の評価・進級の予備判定等、運営が図られている。

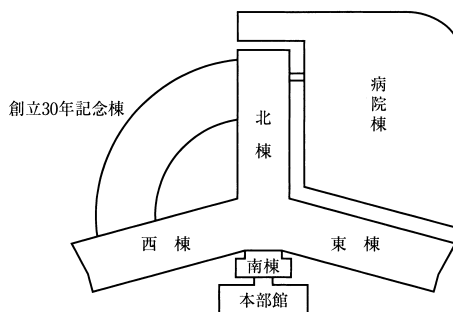


施設概要図



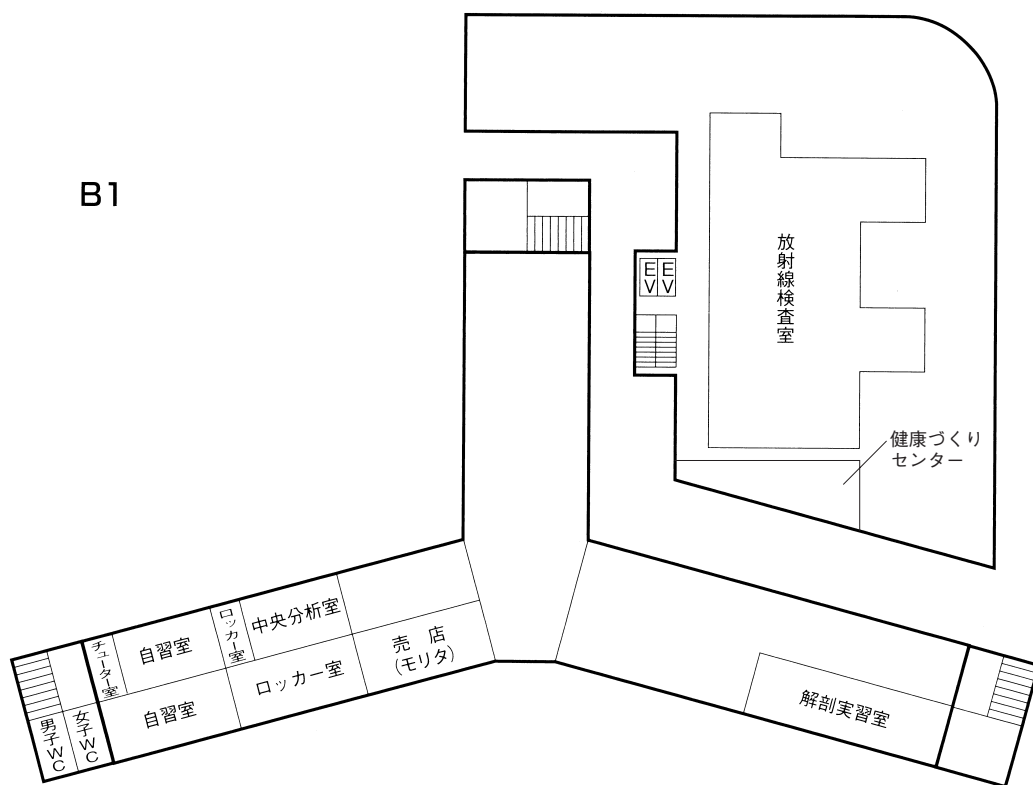
①	大 学 本 館	⑧	陸 上 競 技 場	
②	本 部 館	⑨	野 球 場	
③	体 育 館	⑩	ゴ ル フ 練 習 場	
④	実 習 館	⑪	創 立 30 年 記 念 棟	
⑤	講 義 館	⑫	総合歯科医学研究所	
⑥	ハイテクセンター	⑬	CAMPUS INN	
⑦	図 書 会 館	⑭	病 院 棟	⑮ ク ラ ブ ハ ウ ス

本部館 本館 病院棟 概略

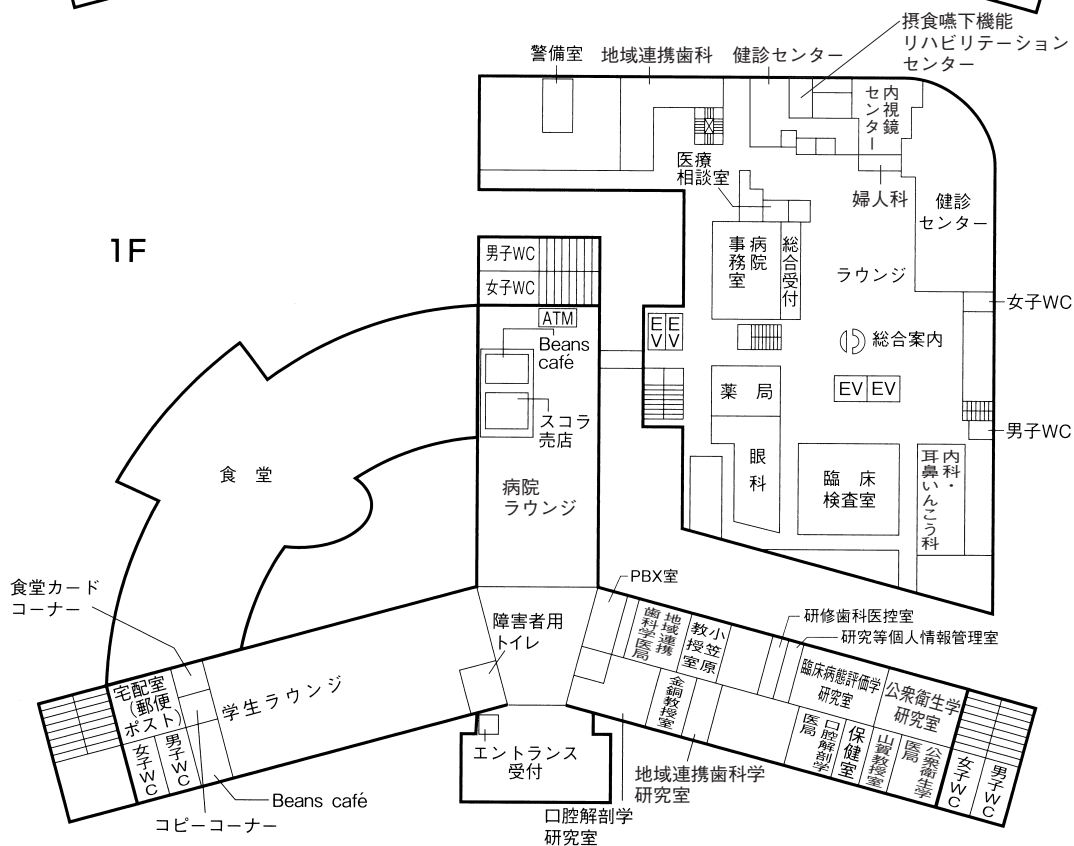


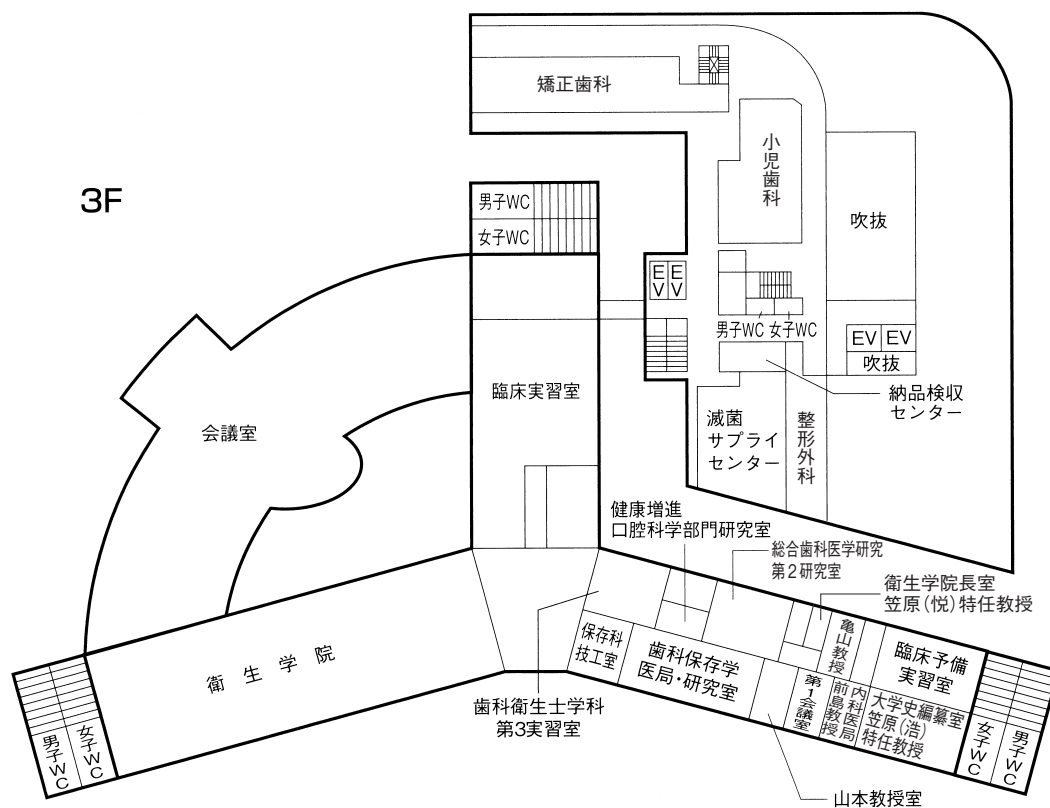
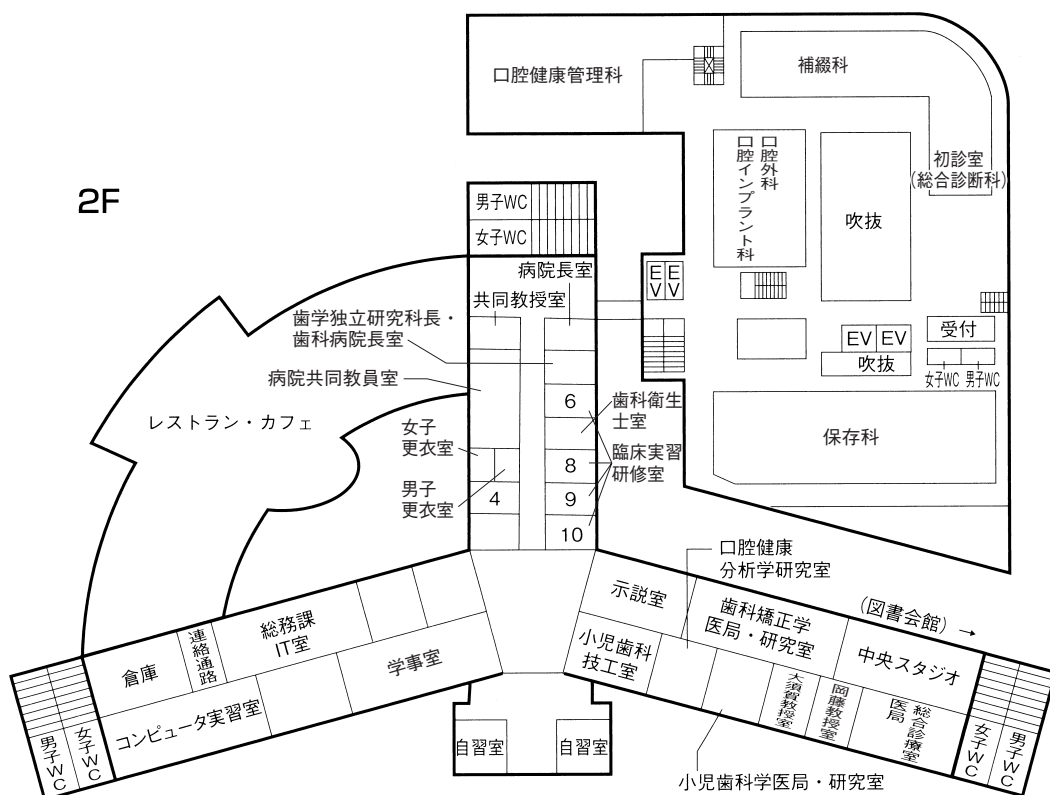
	西棟	北棟	本部館	南棟	東棟	病院棟	創立30年記念棟	
7F	屋上	講堂			屋上			
6F					教室 (601, 602)			
5F	吉成教授 (歯科保存学) 田口教授 (歯科放射線学) 澁谷教授 (歯科麻酔学) 富田教授 (病院総合診療部門) 内田教授 (病院総合診療部門) 臨床研修医控室 共同教授室 (川特任教授)	5 学年 ロッカー 一室			吉田教授 (口腔細菌学) 長谷川教授 (硬組織疾患制御再建学部門) 芳澤教授 (口腔顎顔面外科学) 各務教授 (硬組織疾患制御再建学部門)			
	中村教授 (口腔解剖学) 黒岩教授 (歯科補綴学) 歯科技工士控室 歯科技工士技工室 相馬教授 (耳鼻咽喉科学) 増田教授 (歯科保存学)	多目的 ホール			学生技工自習室 臨床予備自習室 鋳造・研磨室 重合室、石膏室 共同教授室 (倉澤教授、音琴教授、配島教授)	病棟 中央手術室 サービスステーション 談話室・相談室		
3F	衛生学院	臨床自習室	役員室 秘書課		山本教授 (病院総合診療部門) 臨床予備自習室 歯科衛生士学科第3実習室 大学史編集室 衛生学院長室 内科医局 前島教授 (内科学) 亀山教授 (歯科保存学)	小児歯科・矯正歯科 連絡通路 (本館北棟3階) 納品検品センター 滅菌サプライセンター 整形外科	会議室	
2F	コンピュータ実習室 学事室	病院長室 研究科長・ 歯科病院長室 臨床実習・ 研修室 共同教授室 病院共同 教員室 歯科衛生士室	学長室 総務課 経理室	自習室	岡藤教授 (歯科矯正学) 大須賀教授 (小児歯科学) 示談室 中央スタジオ 総合診療室医局	口腔外科・口腔インプラント科 口腔健康管理科 2階総合ホール 連絡通路 (本館北棟2階) 保存科 補綴科 初診室 (総合診断科)	レストラン カフェ	
1F	学生ラウンジ Beans café 宅配室 (郵便ポスト) 食堂カードコーナー コピーコーナー	病院ラウンジ Beans café スコラ売店 ATM (八十二・ ゆうちょ)	管理課 入試広報室 事務局 総務課	エントランス 受付	金銅教授 (口腔解剖学) 小笠原教授 保健室 山賀教授 (公衆衛生学)	地域連携歯科 警備室 薬局 眼科 臨床検査室 内科 耳鼻いんこう科 健診センター 内視鏡センター 婦人科	摂食嚥下機能リハビリテーションセンター 総合案内 総合受付 自動精算コーナー 病院事務室 医療相談室 電子カルテ閲覧室 連絡通路 (本館北棟1階)	食堂
B F	売店 (モリタ) 中央分析室 自習室、ロッカー室				解剖実習室 霊安室 保存室	放射線検査室 健康づくりセンター		

B1

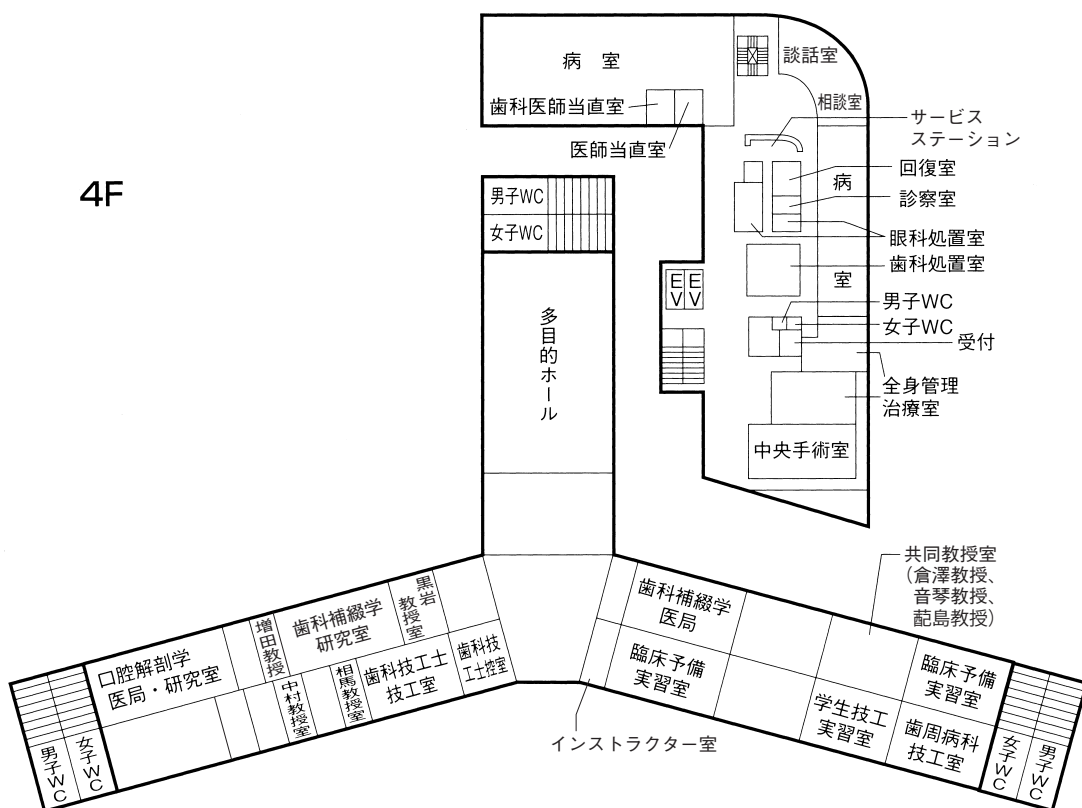


1F

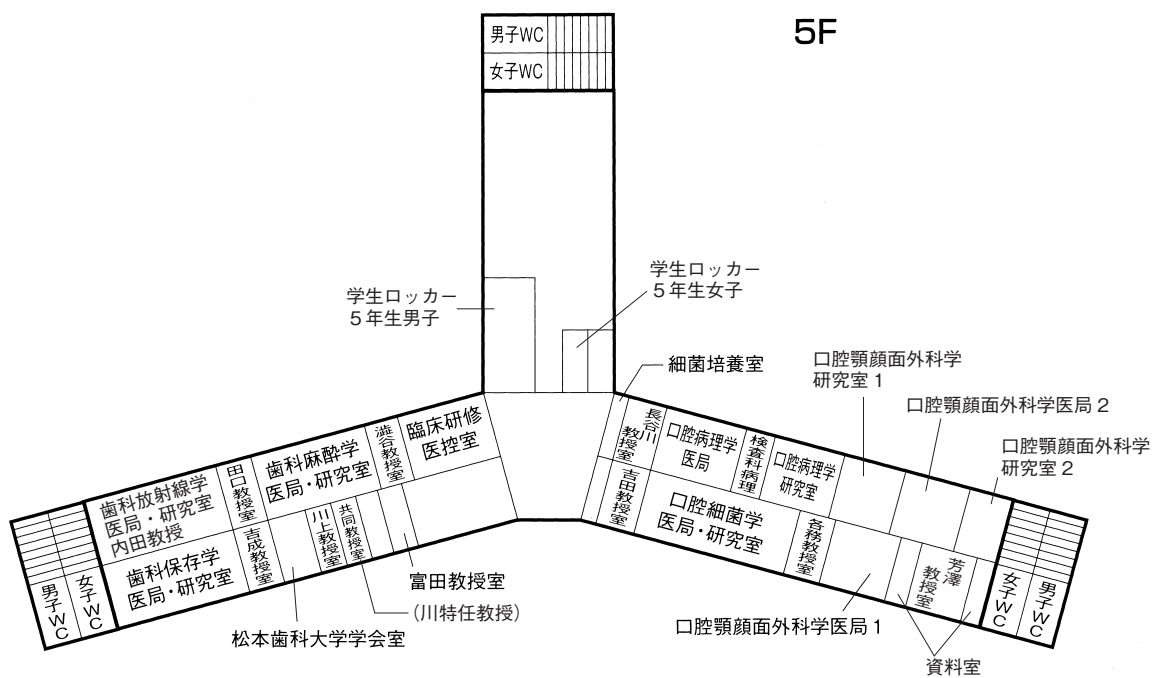


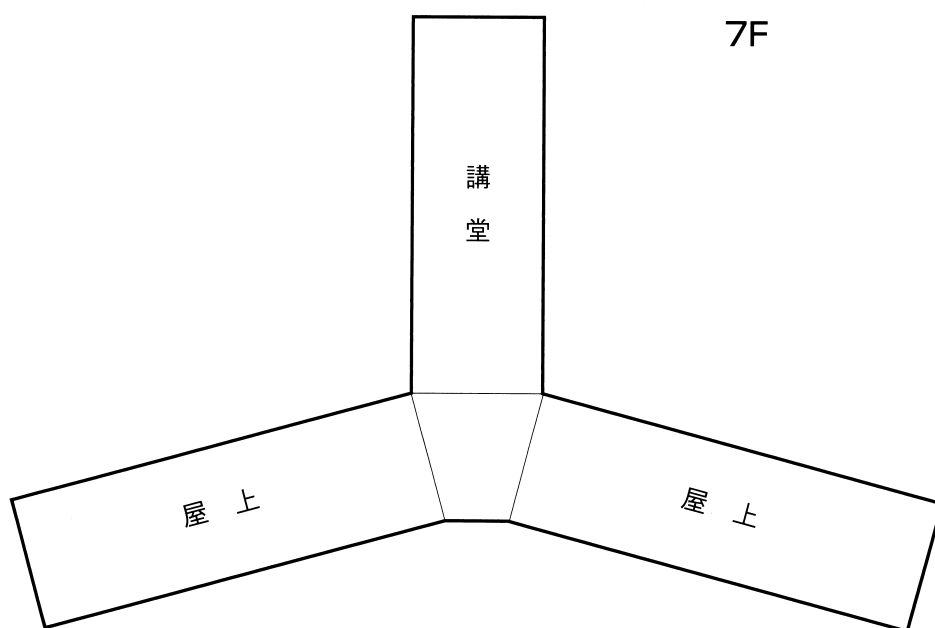
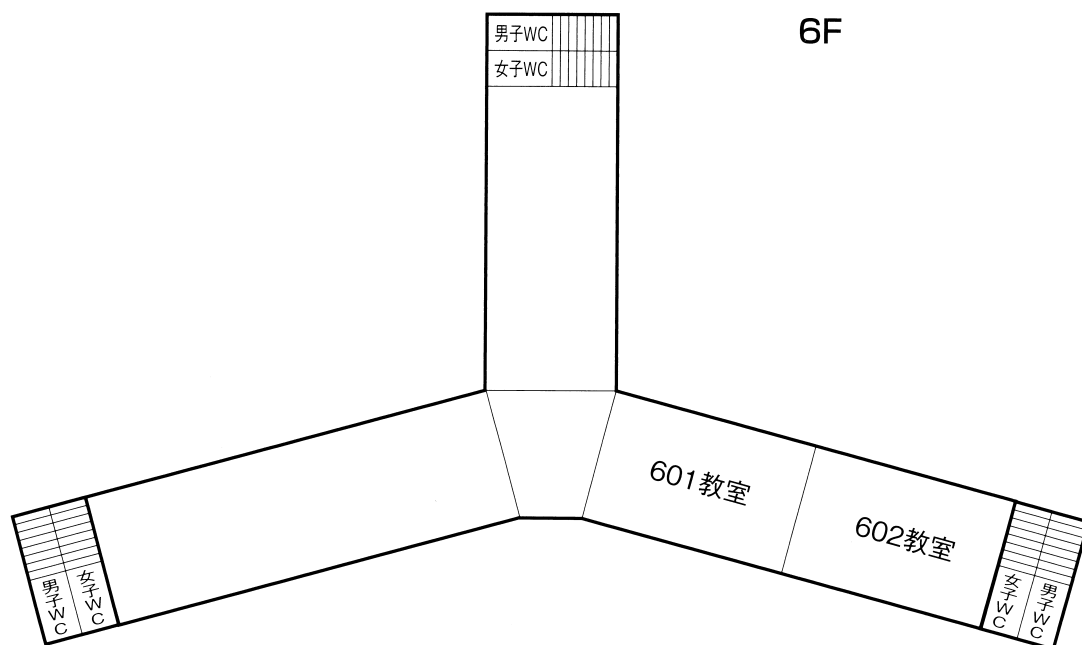


4F



5F





講義館概要

- | | |
|----------|-----------|
| ① | ⑥ |
| ② 共同教授室 | ⑦ |
| ③ 非常勤講師室 | ⑧ 英語非常勤講師 |
| ④ | ⑨ |
| ⑤ | ⑩ |

2F

①	②	③	④	共同研究室		⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
201				ロビー				202			
204				標 本 室	講 師 室 勤			203			

1F

駐輪場	101	105	102	駐輪場
106	ロビー			107
	103		104	

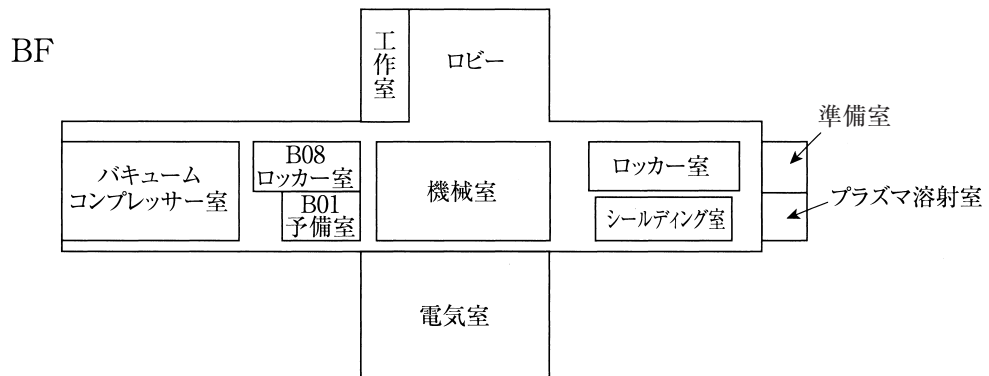
(正面玄関)

BF

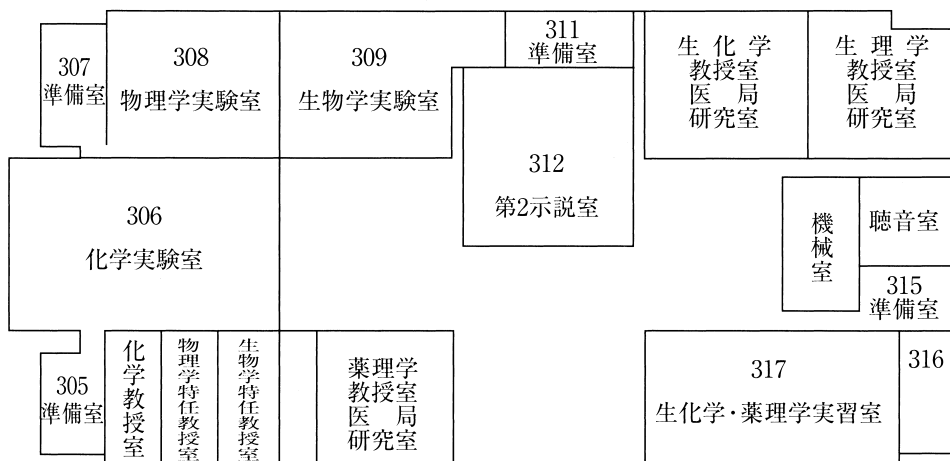
男子ロッカー室		
B01	<div>女子ロッカー</div> <div>空調機械室</div>	B02
男子ロッカー室		

実習館概要

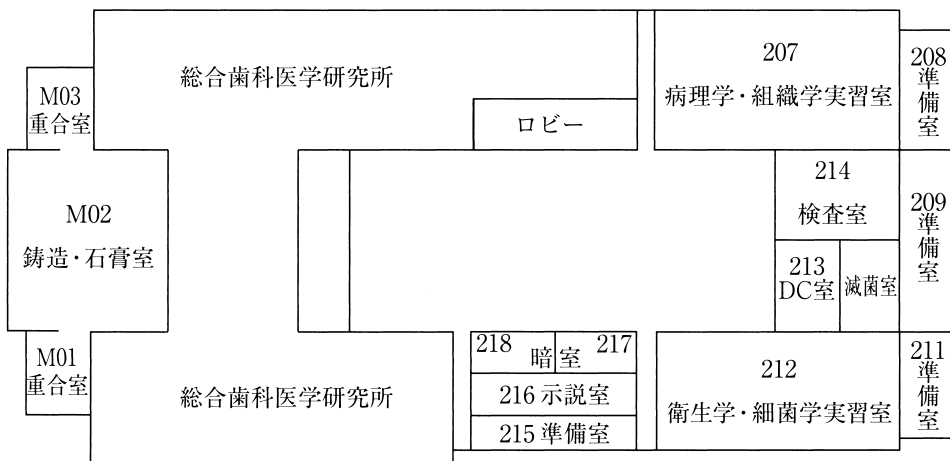
3 F	平岡教授（化学） （生物学） 北川教授（口腔生理学） 宇田川教授（口腔生化学） 十川教授（歯科薬理学） 教室（312） 実験室（306、308、309） 実習室（317）
2 F	教室（216）、総合歯科医学研究所 高橋特任教授 実習室（207、212）
1 F	永澤特任教授（歯科補綴学） 実習室（101、113） 共同教員室 売店（アマービレスコラ）
B F	学生ロッカー室



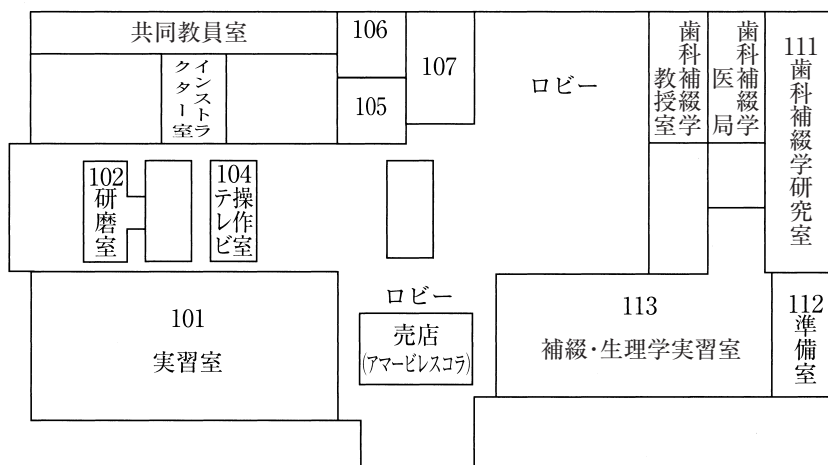
3F



2F



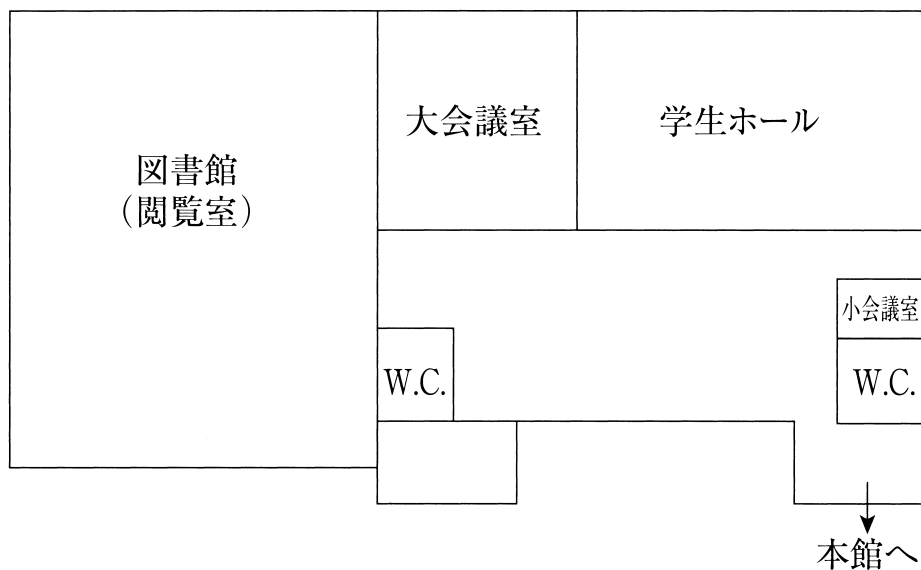
1F



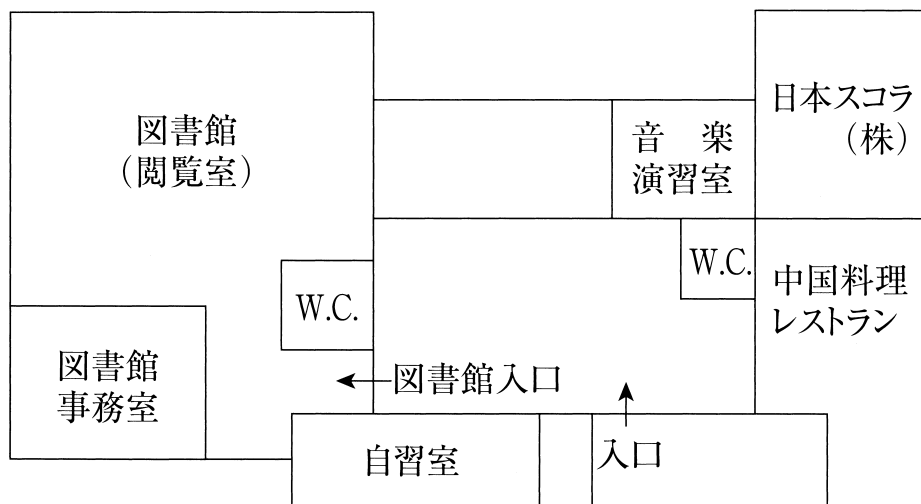
(正面玄関)

図書会館概要

2F

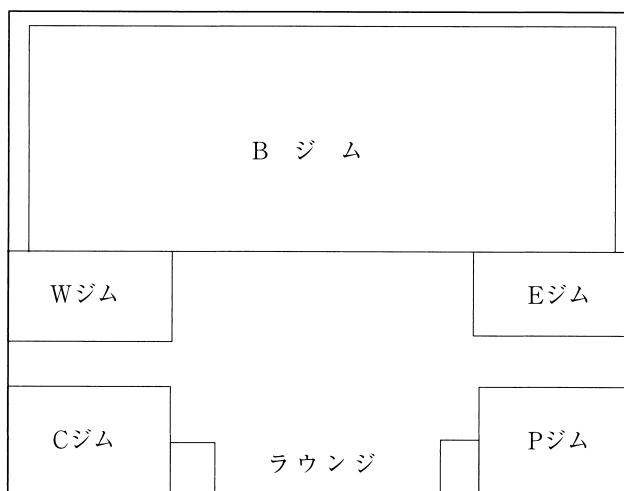


1F

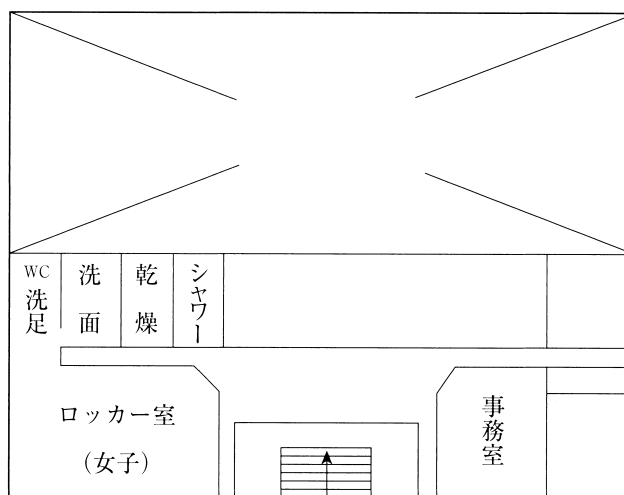


体育館概要

3F

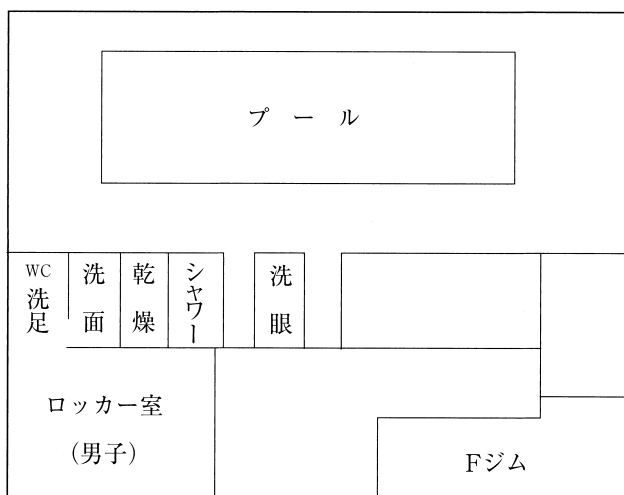


2F

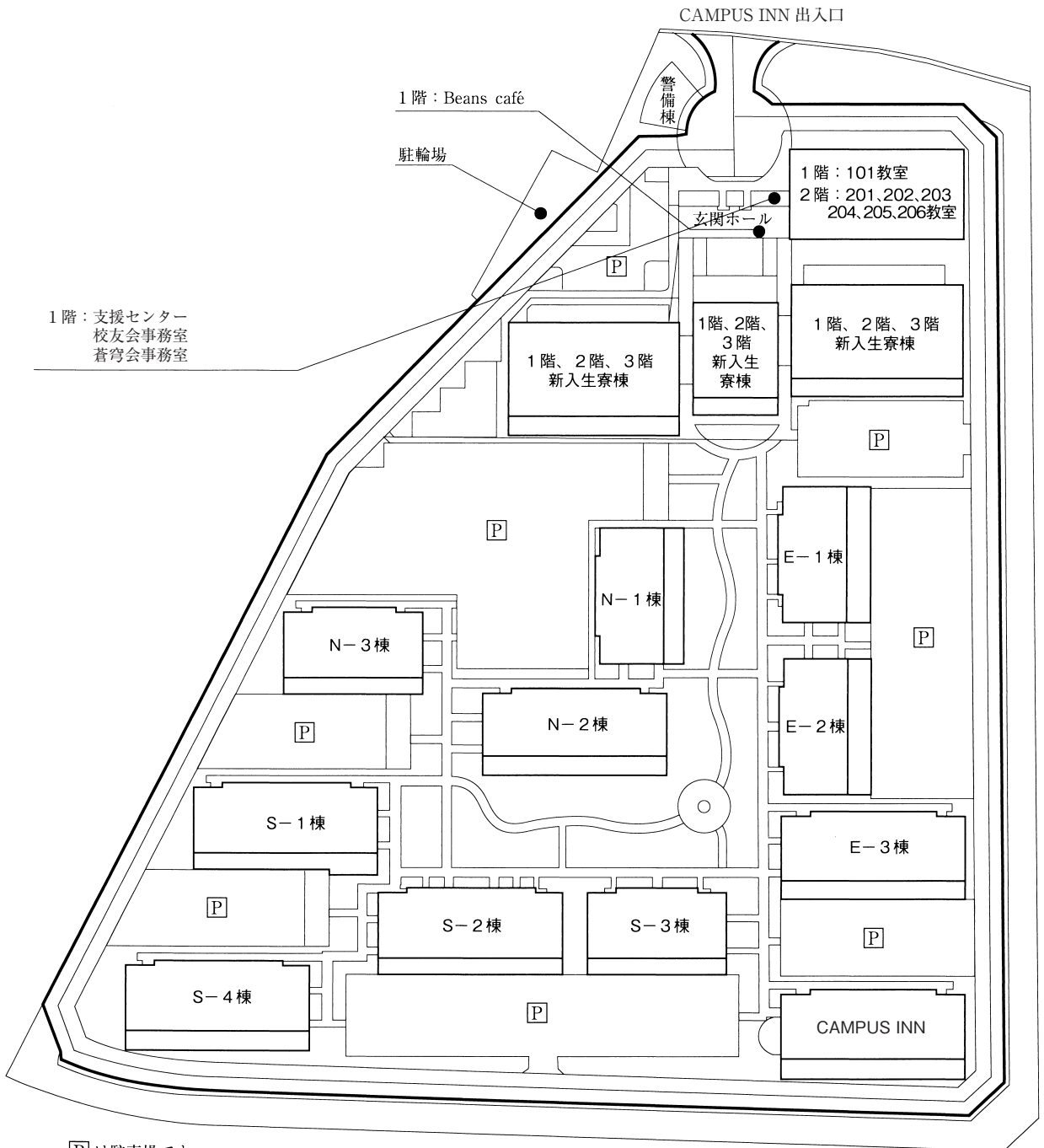


入口

1F



CAMPUS INN 配置図



□P は駐車場です。

授業大要（シラバス） 2020 年度

発 行 2020 年 4 月

松 本 歯 科 大 学

川 原 一 祐

印 刷 日本ハイコム株式会社

